MultiWriter 3300N
レーザプリンタ

NEC

活用マニュアル

活用マニュアルについて

このMultiWriter 3300Nには、ユーザーズマニュアルと活用マニュアルの2種類のマニュアルがあります。本書の印刷したい章を以下から選び、イメージアイコンをクリックするとAcrobat Readerでご希望の章を開くことができます。本書の印刷の仕方については「はじめに」の「本書を印刷するには」(viiiページ)をご覧ください。

はじめに
本書をお読みいただくために、知っておいていただきたい内容、目次、また、便利な使い方「MOPYING」について記載しています。

こちら↑

1章　オプション
別売品(オプション)の紹介、取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

こちら↑

2章　プリンターソフトウエアのインストール
プリンターソフトウエアをインストールして、プリンターを使用できるまでについて説明しています。

こちら↑

3章　ネットワークでの設定
ユーティリティーを使ったIPアドレスの設定方法。IPP、LPR(TCP/IP)を使った印刷方法について説明します。

こちら↑

4章　より進んだ使い方
プリンターソフトウエアを使った、便利な印刷機能について詳しく説明しています。

こちら↑

5章　用紙のセット
使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

こちら↑

6章　操作パネル
操作パネルのスイッチやランプについて説明しています。

こちら↑

7章　メニューモード
操作パネル上のスイッチを使って設定できるメニューモードの詳細について説明しています。

こちら↑

8章　日常の保守
消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。

こちら↑

9章　困ったときには
困ったときの症状をもとに、原因と処置方法を説明します。

こちら↑

10章 ユーザーサービス
さまざまなユーザーサービスについて説明しています。

こちら↑

付録　技術情報
このプリンターの性能、印刷範囲や制御コードなどの詳しい技術情報について説明しています。

こちら↑

用語解説・索引
わからない用語の解説や、索引があります。

こちら↑

893-810059-501-A　第3版

プリンターに添付で、本書の他にあるユーザーズマニュアルには以下のことが書かれています。必要に応じて併せてお読みください。

ユーザーズマニュアルの概要

商標について

NEC、NECロゴは、日本電気株式会社の登録商標です。

Adobe、およびAcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

MULTIWRITER、MOPYINGは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標、または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

2003年 12月　初版
2005年 12月　第2版
2007年　3月　第3版

893-810059-501-A　第3版

MultiWriter 3300N

レーザプリンタ

活用マニュアル

893-810059-501-A
第3版

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置くことをお勧めします。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。
このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、プリンター内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。
	破裂するおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。
	感電のおそれがあることを示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。**感電や火災**のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。**感電**するおそれがあります。
	火気に近づけないでください。**発火**するおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと**感電や発火**のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。**感電や火傷などの傷害**が起こるおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。		アース線を接続してください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Netscapeは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、TrueTypeは米国Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderおよびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標、または商標です。
MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorks、Printing Force FUJI XEROXロゴは富士ゼロックス株式会社の登録商標、または商標です。
その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。
Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Srandard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system Enterprise Editionの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows NT 3.5はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

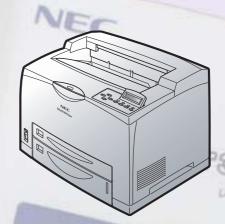
893-810059-501-A　第3版

はじめに

このたびは、NECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 3300Nは高性能なCPUを採用し、大容量給紙、大容量排紙、スループットの高速化を実現したレーザープリンターです。さらに、用途に合わせた豊富な給紙／排紙を実現しています。

特長を以下に示します。

- 最高30ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
- 両面印刷機能（オプション）対応
- オフセット排紙（オプション）対応
- 最大給紙容量2400枚
- 厚紙対応（坪量最大216g/m^2）
- ハガキ～A3、長尺紙をサポート
- ネットワークインターフェース標準装備
- USB 2.0 インターフェース標準装備
- 最高1500dpi相当の解像度（600dpi+SET）
- 低消費電力5W以下（待機時）

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING」を実現しています。「MOPYING」については、「プリンティングスタイル「MOPYING」とは」（9ページ）をお読みください。

マニュアルをお読みになり、MultiWriter 3300Nを十分にご活用ください。

2003年12月　初版
2007年2月　第3版

Printing Force FUJI XEROXロゴが適用された商品には、富士ゼロックス株式会社のプリンター技術が活用されています。

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 3300N本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル」と電子マニュアルの「活用マニュアル」があります。活用マニュアルは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの［MANUAL］フォルダーに収録されています。各プリンターソフトウエアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。それぞれ、目的に応じてマニュアルをお読みいただき、MultiWriter 3300Nを十分にご活用ください。

MultiWriter 3300N　ユーザーズマニュアル

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。

（本書）

MultiWriter 3300N　活用マニュアル（電子マニュアル）

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウエアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルは、Adobe社のAcrobat Readerで参照および印刷ができるPDF形式になっています。ご使用の目的に応じて活用してください。記載内容については「活用マニュアルについて」（viiページ）をご覧ください。

活用マニュアルについて

この活用マニュアルを使いやすくお読みいただくために、以下に簡単な目的別のガイドを記載します。

チェック

１ページから始まる「安全にお使いいただくために」にはプリンターを安全にお使いいただくための注意事項が記載してあります。必ずお読みください。

活用マニュアルガイド

本書を印刷するには

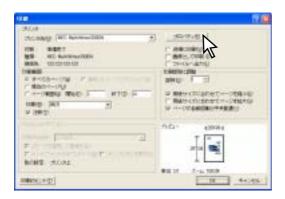
このマニュアルはA4サイズの大きさで作成されています。ここではWindows XPの環境でMultiWriter 3300Nを使って活用マニュアルを両面印刷*する手順を説明します。他のOSをお使いの方は多少画面表示が異なりますが、手順は同じです。

* 両面印刷を行うにはオプションの両面印刷ユニットが必要です。

❶ **[ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。**

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

❷ **[プロパティ]をクリックする。**

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❸ **[メイン]シートの左側にある[機能選択バー]から[両面印刷]をクリックする。**

[レイアウト]シートが表示されます。

❹ **[長辺綴じ]をクリックする。**

❺ **[用紙]タブをクリックする。**

[用紙]シートが表示されます。

❻ **[用紙サイズ]から[A4]を選択し、[OK]をクリックする。**

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

❼ **印刷部数を指定して[OK]をクリックする。**

両面印刷で出力されます。

ユーザーズマニュアルのように両面で仕上がります。

目次

3章　ネットワークでの設定 91

4章　より進んだ使い方 217

5章　用紙のセット 303

6章　操作パネル 319

7章　メニューモード 331

8章　日常の保守 379

9章　困ったときには 387

10章 ユーザーサービス 423

付録 技術情報 431

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

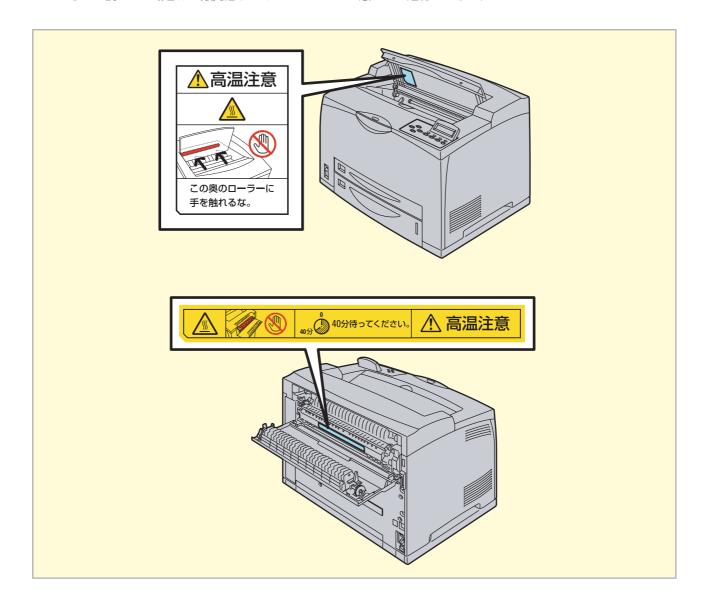
MultiWriter 3300Nプリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。

高温注意

この奥のローラーに
手を触れるな。

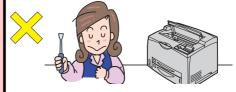
0
40分
40分待ってください。
高温注意

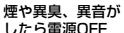
893-810059-501-A　第3版

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」（iiページ）を参照してください。

プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解・修理・改造はしない

マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

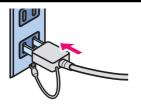
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

EPカートリッジを火の中に投げ入れない

EPカートリッジを火の中に投げ入れないでください。EPカートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

指定以外の場所にアース線を取り付けない

万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐためにアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース線
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）の行っている接地端子
- アース線の取り付けは、電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、接地接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースがとれない場所やアースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

次のような場所にはアース線を取り付けないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり、危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

掃除機でトナーを吸い取らない

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

注意

壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

電源コードに薬品類をかけない

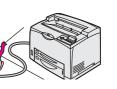
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

⚠注意

高温注意

プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触るとやけどするおそれがあります。

巻き込み注意

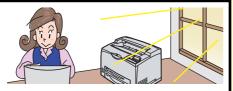
プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない

EPカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

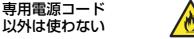
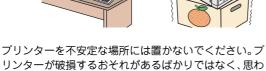
直射日光が当たるところには置かない

プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンターを1人で持ち上げない

プリンターの質量は約22kgです（EPカートリッジ含まず）。

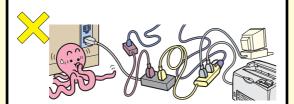
プリンター側面にあるくぼみを両手でしっかりと持ち、2人以上で運んでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

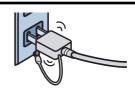
⚠注意

不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

無線LANボードに関する安全上のご注意

オプションの無線LANボードを取り付けた場合の注意事項について説明します。

心臓ペースメーカーに近づけない

植え込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

飛行機内では使用しない

飛行機内では無線LANボードを装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

使用禁止区域では使用しない

心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源は切ってください。

無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

ぬれた手で触らない

無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

注意

無線LANカードの差し込む向きを間違えない

無線LANボードのPCカードスロットに無線LANカードを取り付けるときは、カードの向きを間違えないでください。差し込む向きを間違うと故障や発火の原因となるおそれがあります。

補聴器のそばで使用しない

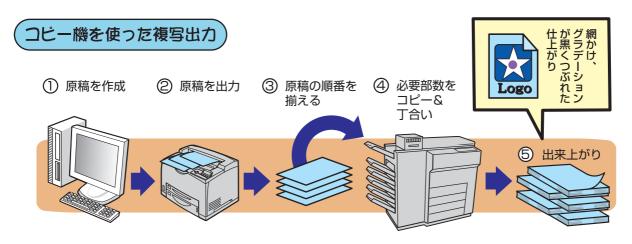
補聴器を装着されている方、またはその近くで無線LANボードを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くで無線LANボードを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし、事故の原因となるおそれがあります。

～MultiWriterを使って手間もコストも大幅削減！～

MOPYING（Multiple Original coPY and printING）とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。MultiWriter 3300Nに搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。

コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

コピー機を使わずに必要部数をそのまま印刷

MultiWriter 3300Nはジョブセパレート機能による簡単仕分け印刷を標準でサポートしています。例えば、会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要な分だけ直接印刷すれば、オリジナルの品質で資料が作成できます。

MOPYINGによるオリジナル出力

MultiWriter 3300Nは600dpi（23.6ドット/mm）の解像度に対応しています。オリジナル出力なので写真やグラフの網かけ、グラデーションがきれいに出ます。コピー機のように、いちいち原稿に合わせて濃度調整をする必要はありません。

資料がすべてオリジナルだからきれいな仕上がり

Logo

① 原稿の作成・順番を揃える

② 必要部数を丁合い＆ジョブセパレート

③ 出来上がり

¥ コピー機よりコストが安い

MultiWriterを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。MultiWriterは感光体とトナーを一体型にしたEPカートリッジを採用することで、トナー交換の作業を容易にし、メンテナンスを不要にしています。

さらに、MultiWriter 3300Nは、約15,000ページ*1印刷可能なEPカートリッジ（型番：PR-L3300-12）は、1枚あたり約3円*2、約6,000ページ*1印刷可能なEPカートリッジ（型番：PR-L3300-11）は、1枚あたり約5円*2と低コスト。

MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが半分以下で済みます。

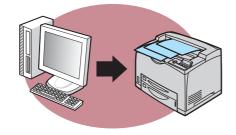
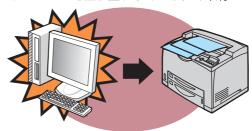
*1　A4サイズ1枚あたりの画像面積比（1ページ中の黒い部分の面積比と印刷範囲との比率）が約5%の片面連続印刷時
*2　平成17年12月現在

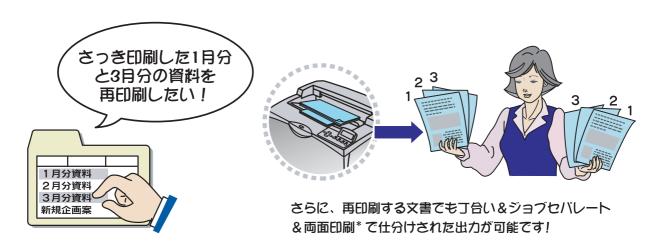
一度印刷した文書なら、すぐリプリント（再印刷）

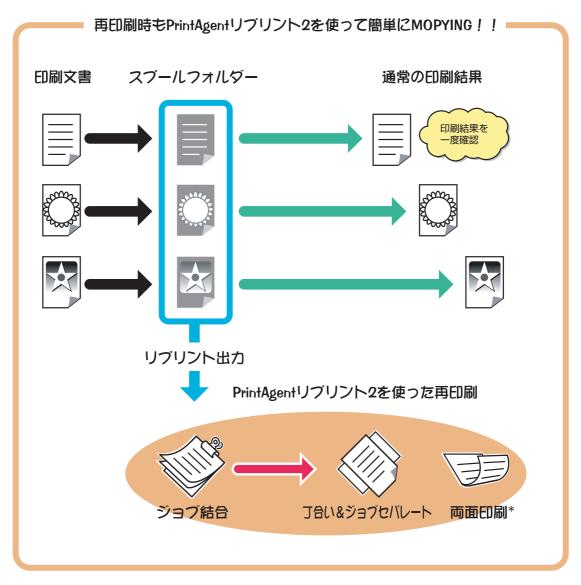
「リプリント機能」を使うと、一度でも印刷したデータなら設定範囲内でコンピューターのスプールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えば、いちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷が可能。

しかも蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。

コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

① 一度印刷したデータなら・・・

② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ印刷

しかも、覚えているドキュメントで自由な組み合わせが可能（ジョブ結合）

さらに、再印刷する文書でも丁合い&ジョブセパレート&両面印刷* で仕分けされた出力が可能です！

*　両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

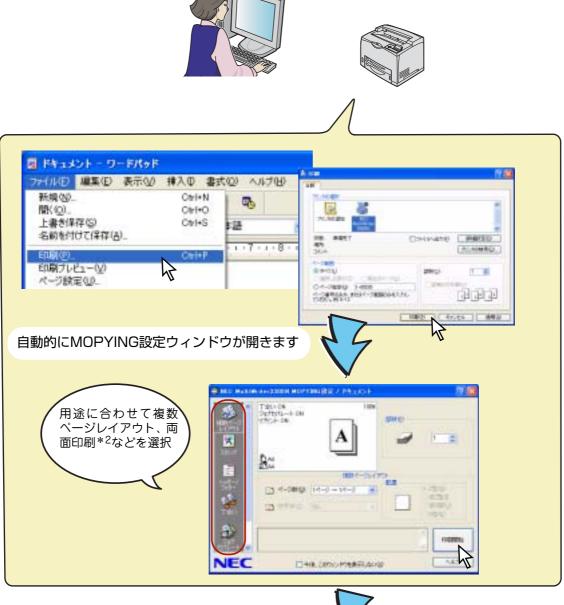
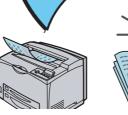
リプリント機能はMultiWriterに添付されている印刷統合ソフトウエア「PrintAgent」のPrintAgent リプリント2が提供します。

＊ 両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

MOPYING設定ウィンドウで簡単設定

MultiWriter 3300Nでは､印刷開始前にプリンタードライバーのプロパティで設定を忘れても大丈夫です。アプリケーションの印刷を選択した後に「MOPYING設定ウィンドウ」が表示される*1ので、複数ページ印刷や両面印刷*2の設定が印刷開始後でも簡単に行えます。これによって、より快適にMOPYINGを実現できます。

アプリケーションで印刷・・・

自動的にMOPYING設定ウィンドウが開きます

用途に合わせて複数ページレイアウト、両面印刷*2などを選択

複数ページレイアウト印刷、両面印刷*2、仕分け印刷などのMOPYINGが簡単にできます！

*1　標準設定ではMOPYING設定ウィンドウは表示されません。MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、プリンターソフトウエアのインストール時、またはプロパティダイアログボックスで有効にする必要があります。手順については「MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する」(241ページ) をご覧ください。

*2　両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

MultiWriter 3300Nは、毎分30ページの高速印刷を実現します。しかも電子ソート機能*[1]を使えばプリンターのメモリーに印刷データを蓄えて必要部数を印刷するので、コンピューターからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です*[2]。これによって、トータル印刷処理時間が短縮されます。

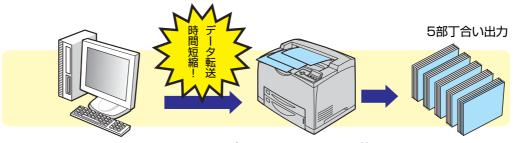
*1 電子ソート機能を有効にする場合、64MB以上のメモリー増設（オプション）が必要です。
*2 増設メモリー容量、ページ数により必要枚数分データ転送を行う場合があります。

従来の丁合い機能を使った出力

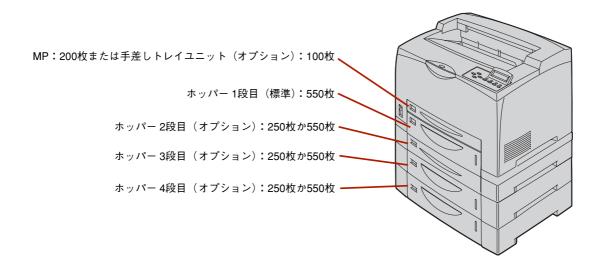
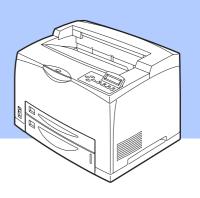
部数分のデータ転送が必要

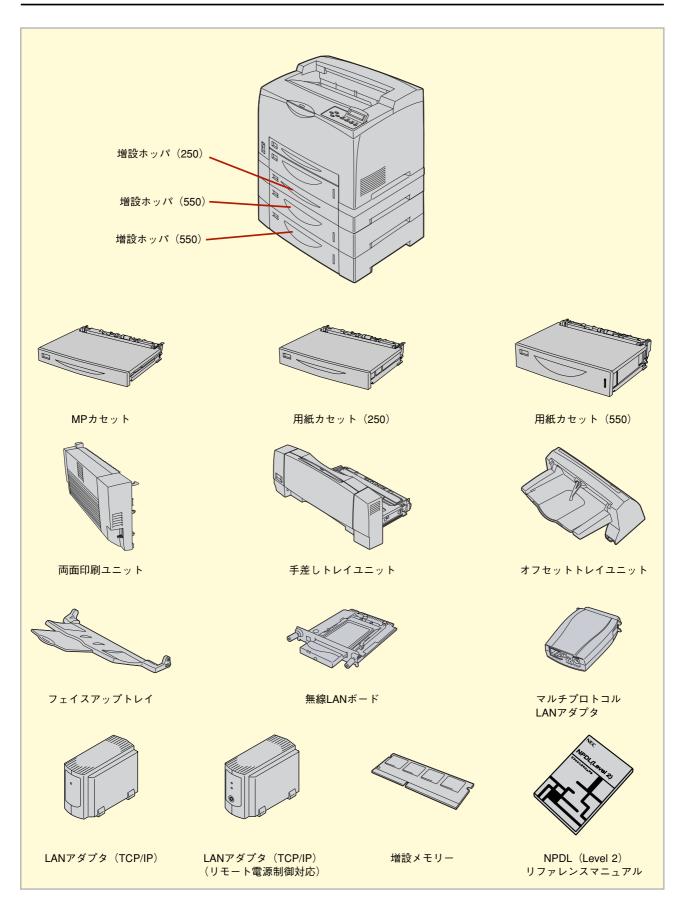
5部丁合い出力

電子ソート機能を使った出力

5部丁合い出力

プリンターのメモリーに蓄えられた
データを使って電子ソート

**MultiWriter 3300Nは、増設ホッパーを最大3台まで増設可能です。
標準ホッパー、MP（または手差し）も合わせた用紙容量は
最大2,400枚（2,300枚）になります。**

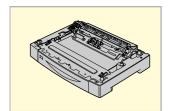
1章
オプション

この章では、MultiWriter 3300N用として提供される別売品（オプション）を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

増設ホッパ（250）
増設ホッパ（550）
増設ホッパ（550）
MPカセット
用紙カセット（250）
用紙カセット（550）
両面印刷ユニット
手差しトレイユニット
オフセットトレイユニット
フェイスアップトレイ
無線LANボード
マルチプロトコル
LANアダプタ
LANアダプタ（TCP/IP）
LANアダプタ（TCP/IP）
（リモート電源制御対応）
増設メモリー
NPDL（Level 2）
リファレンスマニュアル

オプション一覧

オプション品の紹介

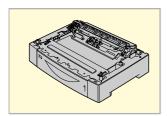
オプション品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

給紙オプション

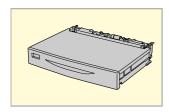
増設ホッパ（250）（型番 PR-L3300-02)

はがき～A3サイズの用紙を250枚までセットすることができます。

PR2000/4R-02、PR2200X-02、PR-L2200X2-02、PR-L2650-02、PR-L2300-02、PR-L2360-02は使用できません。

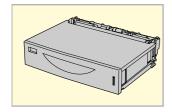
項目	型番 PR-L3300-02
サイズ	505(W)× 589(D)×112(H) mm（カセット最大伸張時） 505(W)× 373(D)×112(H) mm（カセット縮小時）
質量	約5.5kg
用紙種類	普通紙、ラベル、OHP、厚紙
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒、定形外（幅77～297mm×長さ148～431mm）
備考	最大3台まで増設可能

増設ホッパ（550）（型番 PR-L3300-03)

はがき～A3サイズの用紙を550枚までセットすることができます。
PR2000/4R-03、PR2400-03、PR2200X-03、PR-L2200X2-03、PR-L2650-03、PR-2300-03、PR-2360-03は使用できません。

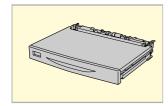
項目	型番 PR-L3300-03
サイズ	505(W)× 589(D)×143(H) mm（カセット最大伸張時） 505(W)× 373(D)×143(H) mm（カセット縮小時）
質量	約6.0kg
用紙種類	普通紙、ラベル、OHP、厚紙
用紙サイズ	A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒、定形外（幅77～297mm×長さ148～431mm）
備考	最大3台まで増設可能

用紙カセット（250）（型番 PR-L3300-04)

増設ホッパ（250）用の用紙カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意しておき、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換することができて便利です。

項目	型番 PR-L3300-04
サイズ	365.5(W)× 532(D)×52(H) mm（カセット最大伸張時） 365.5(W)× 316(D)×52(H) mm（カセット縮小時）
質量	約1.9kg

用紙カセット（550）（型番 PR-L3300-05）

標準ホッパー、増設ホッパ（550）用の用紙カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意しておき、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換することができて便利です。

項目	型番 PR-L3300-05
サイズ	365.5(W)× 532(D)×83.5(H) mm（カセット最大伸張時） 365.5(W)× 316(D)×83.5(H) mm（カセット最小時）
質量	約2.4kg

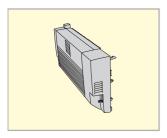
MPカセット(型番 PR-L3300-MP)

MP用の増設MPカセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意しておき、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換することができて便利です。

項目	型番 PR-L3300-MP
サイズ	365.5(W)× 528(D)×49(H) mm（カセット最大伸張時） 365.5(W)× 312(D)×49(H) mm（カセット最小時）
質量	約1.9kg

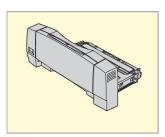
MultiWriter 3300Nが対応しているカセットは以下のとおりです。

カセット	増設ホッパ（250）(PR-L3300-02)	増設ホッパ（550）(PR-L3300-03)	本体給紙部	
			標準ホッパー	MP
PR-L3300-04	○	×	×	×
PR-L3300-05	×	○	○	×
PR-L3300-MP	×	×	×	○

○ ：取り付け可
× ：取り付け不可

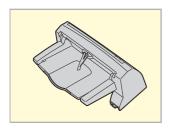
両面印刷ユニット(型番 PR-L3300-DL)

両面印刷を行うためのユニットです。

項目	型番 PR-L3300-DL
サイズ	435(W)× 68.5(D)×203.5(H) mm
質量	約1.7kg
対応用紙	A3、B4、A4、B5、A5、レター、 定形外（幅100～304mm×長さ140～431mm）

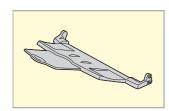
手差しトレイユニット(型番 PR-L3300-TU)

用紙を手差しで給紙するためのユニットです。標準ホッパーで使用できない定形外用紙や長尺紙などを印刷するときに便利です。MPカセットの代わりに取り付けます。

項目	型番 PR-L3300-TU
サイズ	482(W)× 392(D)×222(H) mm
質量	約4.5kg
対応用紙	A3、B4、A4、B5、A5、レター、 はがき、往復はがき、封筒（洋形4号）、 定形外（幅77～304mm×長さ100～508mm）、 長尺紙（幅297mm×長さ900mm）

排紙オプション

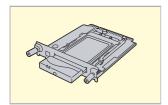
オフセットトレイユニット(型番 PR-L3300-OT)

仕分け印刷するためのユニットです。

項目	型番 PR-L3300-OT
サイズ	501(W)× 310(D)×210(H) mm
質量	約2.7kg
排紙容量	500枚
対応用紙	A4、B5、A5、レター、はがき、往復はがき、 封筒（洋形4号）、定形外（幅77～304mm×長さ127～297mm）

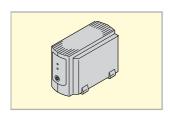
フェイスアップトレイ(型番 PR-L3300-FT)

フェイスアップ排出するためのトレイです。
厚紙などを印刷する場合、用紙のカールを抑制することができます。

項目	型番 PR-L3300-FT
サイズ	425(W)× 66(D)×136(H) mm
質量	約0.25kg
排紙容量	70枚
対応用紙	A4、B5、A5、レター、はがき、往復はがき、 封筒（洋形4号）、定形外（幅77～304mm×長さ100～297mm）

ネットワークオプション

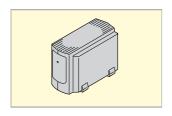
無線LANボード（型番 PR-WLX-13）

IEEE802.11b規格に準拠し、転送速度最大11Mbpsの無線LAN環境にプリンターを接続する内蔵型LANボードです。従来の有線LANシステムのようにネットワークケーブルが散乱することなく、ネットワークケーブル敷設工事の必要がないため、安価に、また手軽にLAN環境が構築できます。さらに、MultiWriter 3300Nと組み合わせることで世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると、無線LAN環境を初めて構築する方や不慣れな方でも、設定項目ごとにウィザード画面上でサポートされている解説や操作手順により、簡単に分かりやすく設定を行なうことができます。

LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-03TR2）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応している外置き型LANアダプターです。

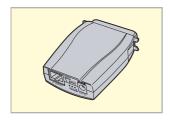
さらに、MultiWriter 3300Nと組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

PrintAgent（プリンタ管理ユーティリティ）のリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。（詳細は4章の「リモート電源制御」（282ページ）をご覧ください。）

LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-02T2）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応している外置き型LANアダプターです。

さらに、MultiWriter 3300Nと組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

LANアダプタ（TCP/IP）（型番：PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2）が対応しているPrinter-MIB、操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターの動作双方向をECPモードにする必要があります。詳しくは、ユーザーズマニュアル1章の「Step 4　IPアドレスとサブネットマスクを設定する」を参照してください。

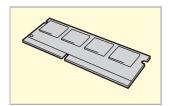
マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、マルチプロトコルに対応している外付け型LANアダプターです。
本LANアダプターはPrintAgent、SNMP（Printer MIB、Host Resource MIB）には対応していません。詳しくはPR-NPX-05のセットアップガイドをご覧ください。

LANアダプターネットワーク環境

<table>
<tr><th colspan="2">PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2</th><th colspan="2">PR-NPX-05</th></tr>
<tr><th>ネットワーク OS</th><th>プロトコル</th><th>ネットワーク OS</th><th>プロトコル</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000</td><td rowspan="6">TCP/IP</td><td>Windows XP、Windows Server 2003</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>Windows 2000</td><td rowspan="3">TCP/IP
NetBEUI</td></tr>
<tr><td>Windows Me、Windows 98、Windows 95
（NEC TCP/IP Printing Systemにより対応）</td><td>Windows Me、Windows 98、Windows 95
（NEC Network Printer Portにより対応）</td></tr>
<tr><td>Windows NT 4.0</td><td>Windows NT 4.0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">UNIX</td><td>UNIX</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>Netware　3.X/4.X/5.X</td><td>IPX/SPX</td></tr>
</table>

メモリー

増設メモリ（128MB)、(256MB)

(型番PR-MW-M013、PR-MW-M014)

MultiWriter 3300Nには1枚だけ取り付けることができます。
取り付けることにより次の効果があります。

- 電子ソート機能
- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- メモリー不足で印刷できない長尺紙への印刷や両面印刷などの解消
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファーの拡大

増設メモリーそれぞれのメモリー容量は以下のとおりです。

品名	型番	メモリー容量
増設メモリ（128MB）	PR-MW-M013	128MB
増設メモリ（256MB）	PR-MW-M014	256MB

リファレンスマニュアル

日本語ページプリンタ言語NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル

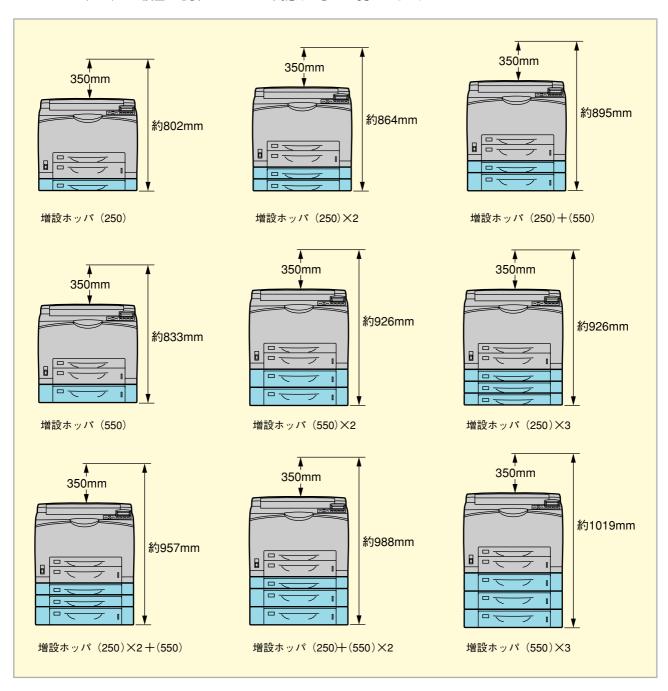
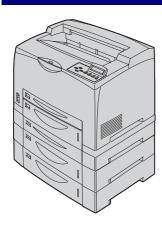
(型番PC-PRNPDL2-RM)

ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

増設ホッパー

大量印刷をサポートするために、本プリンターには増設ホッパ（250）（型番 PR-L3300-02）と増設ホッパ（550）（型番 PR-L3300-03）の2種類の増設ホッパーがそれぞれ用意され、最大3台増設が可能です。

増設ホッパーの設置に必要な高さ

増設ホッパーを設置するために必要な高さを示します。プリンターの周囲に必要な設置スペースについてはユーザーズマニュアルの1章の「1　設置に必要なスペースを用意する」をご覧ください。

増設ホッパーの取り付け

増設ホッパ（250）/（550）は、上から1台目（ホッパー 2）、2台目（ホッパー 3）、3台目（ホッパー 4）のどちらにでも取り付けることができます。
ここでは1台目、2台目を取り付ける方法を示します。3台目の取り付け方法は2台目と同じです。

注意

プリンターを移動する際は、2人以上でプリンター正面および背面に向かい合って、左右両側のくぼみをしっかりと持って運んでください。プリンターの質量は約22kgです。（EPカートリッジ含まず）
1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。取り付けは2人以上で行ってください。
また、プリンターの重心は背面にありますので、背面方向へ倒れないように注意してください。

重要

- 取り付け方法の詳細について、増設ホッパーに添付の設置手順書を十分にお読みになってから取り付けてください。
- 増設ホッパーに添付の固定クリップを必ず取り付けてプリンターと増設ホッパーを固定させてください。

❶ **プリンターの電源をOFFにする。**

重要

電源スイッチは必ずOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

❷ **電源コードとプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

❸ **プリンターから用紙カセットを取り外す。**

❹ **プリンターを一時的に移動させる。**

プリンターの左右の取っ手を持ち、しっかりした台や机の上に置いてください。

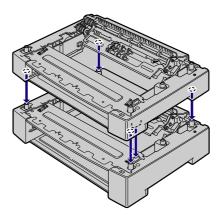
❺ **1番下の段に取り付ける増設ホッパーを、プリンターのあった場所に置く。**

増設ホッパーを1台だけ取り付ける場合は、手順❽に進んでください。

重要

- 増設ホッパーを運ぶときは、1台ずつ運んでください。
- 増設ホッパーの左右の取っ手を持って運んでください。

❻ **上の段に取り付ける増設ホッパーを持ち上げ、下の段の増設ホッパーに取り付ける。**

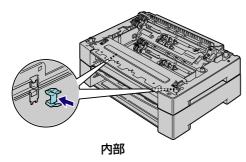
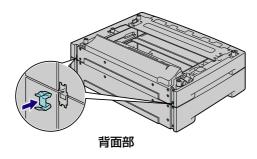
増設ホッパーの取り付け向きに注意し、上下の増設ホッパーの四隅にある取り付けピンの位置を合わせて、増設ホッパーの上に静かに置きます。

重要

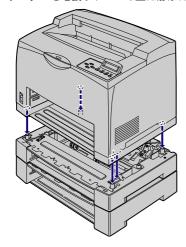
増設ホッパーを複数台取り付ける場合は、1番下の段の増設ホッパーから順番に1台ずつ載せ、最後にプリンターを載せてください。

❼ **増設ホッパーの内部（2か所）、背面部（2か所）にある差し込み部に付属の固定クリップを押し込む。**

固定クリップは、しっかりと押し込んでください。

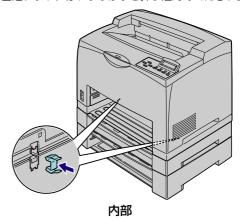
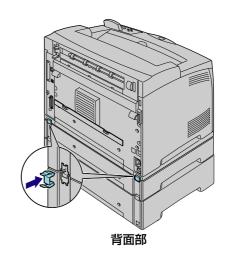
内部

背面部

❽ **プリンターを増設ホッパーの上に取り付ける。**

増設ホッパーの四隅にある取り付けピンの位置に合わせて、プリンターを増設ホッパーの上に静かに置きます。

❾ **プリンター内部（2か所）、背面部（2か所）にある差し込み部に付属の固定クリップを押し込む。**

固定クリップは、しっかりと押し込んでください。

内部

背面部

❿ **プリンター、増設ホッパーに用紙カセットを取り付ける。**

⓫ **電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。**

増設ホッパーへの用紙のセット

増設ホッパーへの用紙のセット方法は標準のホッパーと同じです。5章の「ホッパー、MPに用紙をセットする」(307ページ) をご覧ください。

重要

用紙をセットし終えた用紙カセットは重くなっています。増設ホッパーに取り付ける際は用紙カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

ホッパーの切り替え

取り付けた増設ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ2」、「ホッパ3」または「ホッパ4」にします。

ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- プリンターが初期化されるまで維持する方法................................[給紙先]スイッチによる切り替え
- プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法 .... メニューモードによる切り替え

プリンターが初期化されるまで維持する方法

操作パネルの[給紙先]スイッチを使って増設ホッパーを選択します。

❶ **[印刷可] スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。**

❷ **[給紙先]スイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ2”、“ホッパ3” または “ホッパ4” にする。**

```
ホッパ゜2    A4ヨコ ポ゜ート
```

❸ **[印刷可] スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

❹ **コンピューターからデータを送る。**

この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更
- プリンターを初期化する

プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

❶ **メニューモードに入る。**

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

```
テストメニュー        →
```

❷ **[▼]スイッチを2回押す。**

“ヨウシメニュー →” と表示されます。

```
ヨウシメニュー        →
```

❸ **[▶]スイッチを2回押す。**

ホッパー初期設定の表示になります。

```
ホッパ゜  ショキセッテイ
←           ホッパ゜1＊
```

❹ **［設定変更］スイッチを押して、ディスプレイ下段を“←　ホッパ2＊”、“←　ホッパ3＊”または“←　ホッパ4＊”に変更する。**

```
 ホッパ゜ ショキセッテイ
←           ホッパ゜ 2＊
```

❺ **［印刷可］スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。**

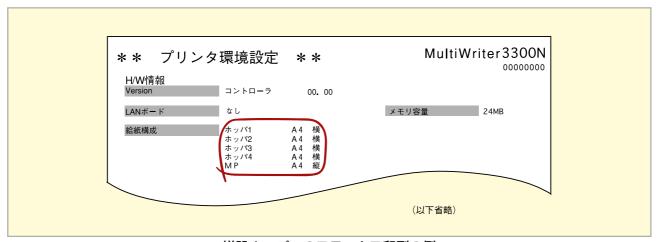
ディスプレイ上段に“ホッパ2××　×××”、“ホッパ3××　×××”または“ホッパ4××　×××”と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。

```
ホッパ゜2   A4ヨコ ポ゜ート
フツウシ          NPDL
```

この状態は、同じ方法でホッパーの選択を変更しないかぎり維持されます。

テスト印刷

増設ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「8　テスト印刷をする」を参照してください。

増設ホッパーを1台取り付け、用紙が正常に給紙された場合、次のように「ホッパ2」と印刷されます。2台目に取り付けた場合は「ホッパ3」、3台目を取り付けた場合は「ホッパ4」と印刷されます。

増設ホッパーのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、増設ホッパーの取り付けは完了です。

リレー給紙の設定

リレー給紙とは、印刷を行っている時に給紙先の用紙がなくなった場合に用紙がセットされている別の給紙先に自動的に切り替える機能です。この機能を利用するためには同じサイズ、同じ用紙種別および、同じセット方向（A4の場合のみ）の用紙がホッパー、ＭＰ、手差し（オプション）、もしくは増設ホッパーにセットされていて、プリンターのリレー給紙設定を有効にする必要があります。

> **チェック**
>
> A4用紙サイズをセットした場合は用紙のセット方向を同じにしてください。

リレー給紙機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1　リレー給紙を有効にする
Step 2　給紙方法を設定する

Step 1 リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

❶ **メニューモードに入る。**

［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ **操作パネルの［▼］スイッチ、［▶］スイッチ、［設定変更］スイッチを押して、“ヨウシメニュー”の“リレーキュウシ”をONにする。**

詳しくは、7章の「メニューツリー」(337～349ページ) をご参照ください。

> **チェック**
>
> リレー給紙させるホッパーまたはMP、手差しすべての“リレーキュウシ”をONにしてください。

リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ　　リレー　　ON＊

❸ **［メニュー終了］スイッチを押す。**

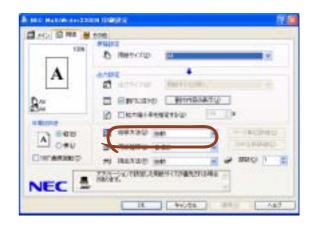
❹ **設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはMP、手差しの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

Step 2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに、［給紙方法］で［自動］を選択します。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **給紙方法が［自動］になっていることを確認する。**

プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、ユーザーズマニュアルの「5章 印刷するには」を参照してください。

❸ **［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、［OK］をクリックして印刷する。**

増設ホッパーの取り外し

増設ホッパーを取り外す場合は次の手順で行ってください。ここでは1台目と2台目を取り外す方法を示します。3台目の取り外し方法は2台目と同じです。

- プリンターを1人で持ち上げないでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。プリンターを移動する時には、2人以上でプリンター正面および背面に向かい合って、左右両側のくぼみをしっかりと持って運んでください。プリンターの質量（EPカートリッジ含まず）は、約22kgです。
- プリンターに増設ホッパーを取り付けたまま、運搬、移設しないでください。プリンターや増設ホッパーを落として、破損するおそれがあります。運搬および移設の際は、必ず1台ずつ運んでください。

重要

取り外し方法の詳細については、増設ホッパーに添付の設置手順書を十分にお読みになってから取り外してください。

❶ **プリンターの電源を OFF にし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

重要

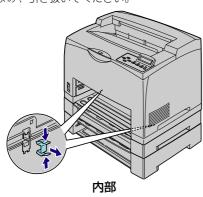
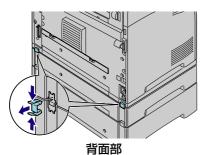
電源スイッチは必ずOFFにしてください。ONにしたまま取り外すと故障の原因になることがあります。

❷ **プリンターから用紙カセットを取り外す。**

❸ **プリンターと増設ホッパーを固定しているプリンターの内部（2か所）、背面部（2か所）の固定クリップを取り外す。**

固定クリップを取り外すときは、固定クリップの上下をつまみ、引き抜いてください。

内部

背面部

チェック

取り外した固定クリップは増設ホッパーと一緒に大切に保管してください。

❹ **プリンターを増設ホッパーから取り外し、一時的に台や机の上に置く。**

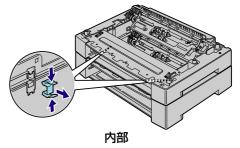
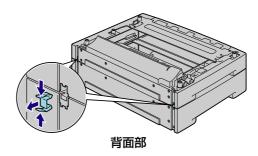
重要

プリンターを持ち上げるとき、取っ手以外の場所を持たないでください。プリンターが破損することがあります。

❺ **1台目と2台目の増設ホッパーを固定している増設ホッパー内部（2か所）、背面部（2か所）の固定クリップを取り外す。**

固定クリップを取り外すときは、固定クリップの上下をつまみ、引き抜いてください。

内部

背面部

チェック

取り外した固定クリップは増設ホッパーと一緒に大切に保管してください。

❻ **増設ホッパーを台の上から外す。**

3台目の増設ホッパーが取り付けられている場合は、プリンター、1台目、2台目の増設ホッパーを一時的に台や机の上に置いてから3台目を移動させてください。

重要

増設ホッパーを運ぶときは、1台ずつ増設ホッパーの左右の取っ手を持って運んでください。

❼ **プリンターを元の位置に置く。**

❽ **プリンターに用紙カセットを取り付ける。**

❾ **電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。**

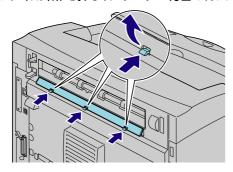
両面印刷ユニット

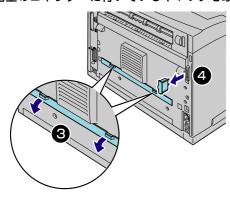
両面印刷ユニットは両面印刷を行うためのユニットです。

両面印刷ユニットの取り付け

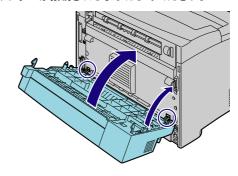
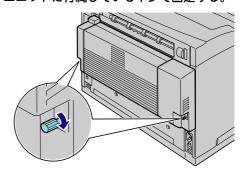
❶ プリンターの電源をOFFにし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。

> 重要
>
> 電源スイッチは必ずOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

❷ ツメ（3か所）を押し、プリンター背面のカバーを外す。

❸ プリンター背面のカバーのツメ（2か所）に指をかけ、カバーを取り外す。

❹ 右上のコネクターに付いているキャップを取り外す。

> チェック
>
> 取り外したカバーとキャップは大切に保管しておいてください。

❺ 両面印刷ユニット下部にある左右の突起部をプリンター背面の穴に差し込み、両面印刷ユニットの上部をプリンターに合わせる。

このとき、両面印刷ユニットのコネクターとプリンターのコネクターが接続されるようにしてください。

❻ 両面印刷ユニットの下部の左右2か所を両面印刷ユニットに付属しているネジで固定する。

❼ 電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。

テスト印刷

両面印刷ユニットが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「8　テスト印刷をする」を参照してください。

両面印刷ユニットを取り付け、用紙が正常に給紙された場合、次のように「両面印刷メニュー」と印刷されます。

両面印刷ユニットのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、両面印刷ユニットの取り付けは完了です。

両面印刷ユニットの取り外し

両面印刷ユニットを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

重要

プリンターの電源をOFFにしてから取り外してください。電源がONのまま取り外すと、プリンターが故障するおそれがあります。

手差しトレイユニット

手差しトレイユニットは用紙を手差しで給紙するためのユニットです。標準の用紙カセットから給紙できないサイズの用紙（長尺紙など）を給紙できます。MPカセットの代わりに取り付けます。

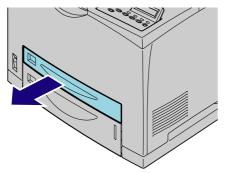
手差しトレイユニットの取り付け

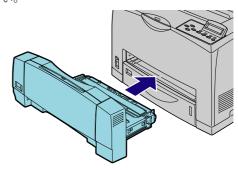
❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

重要

電源スイッチは必ずOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

❷ **MPカセットを引き抜く。**

引き抜いたMPカセットは、大切に保管してください。

❸ **手差しトレイユニットをプリンターの奥に突き当たるまでしっかり押し込む。**

手差しトレイユニットに用紙をセットする方法は、5章の「手差しに用紙をセットする」（311ページ）を参照してください。

❹ **電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。**

テスト印刷

手差しトレイユニットが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「8　テスト印刷をする」を参照してください。

手差しトレイユニットを取り付け、用紙が正常に給紙された場合、次のように「手差し」と印刷されます。

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊　　MultiWriter3300N
00000000

H/W情報

Version	コントローラ	00．00		
LANボード	なし		メモリ容量	24MB
給紙構成	ホッパ1	A4　横		
	手差し	A4　横		

（以下省略）

手差しトレイユニットのステータス印刷の例

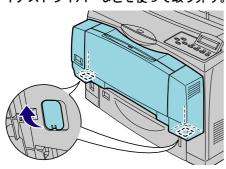
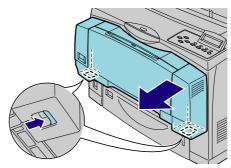
ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、手差しトレイユニットの取り付けは完了です。

手差しトレイユニットの取り外し

手差しトレイユニットを取り外す場合は次の手順で行ってください。

❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

> **重要**
>
> 電源スイッチは必ずOFFにしてください。ONにしたまま取り外すと故障の原因になることがあります。

❷ **手差しトレイユニットの下部の左右にあるカバーをマイナスドライバーなどを使って取り外す。**

❸ **カバーを外した奥にあるレバーを外側に広げ、手差しトレイユニットをそのまま引き抜く。**

❹ **MPカセットを取り付ける。**

❺ **電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。**

オフセットトレイユニット

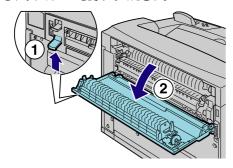
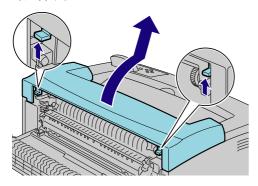
オフセットトレイユニットは排出される用紙を振り分けて、仕分け印刷を行うためのユニットです。

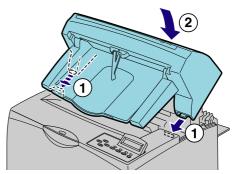
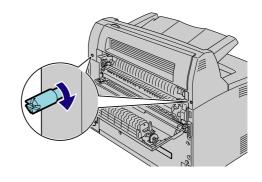
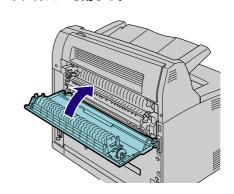
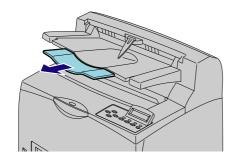
オフセットトレイユニットの取り付け

❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

> **重要**
>
> 電源スイッチは必ずOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると故障の原因になることがあります。

❷ **プリンター背面の左上端にあるリアカバー開閉レバーを上げ（①）、リアカバーを開ける（②）。**

オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、両面印刷ユニットの両面印刷ユニットカバーを開けてから、リアカバーを開けてください。

❸ **排出部上部の左右にあるレバーを上げ、排出部カバーを取り外す。**

> **チェック**
>
> 取り外したカバーは大切に保管してください。

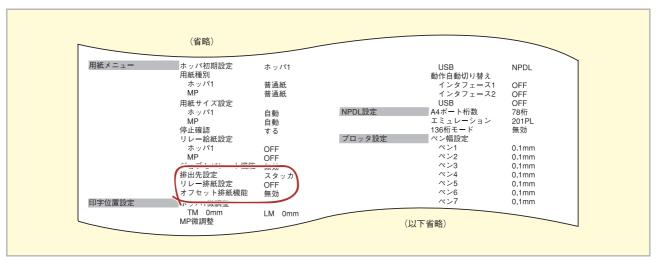
❹ **オフセットトレイユニットカバーの左右の突起部をプリンター上部にある穴に差し込み（①）、プリンター上部へゆっくりと取り付ける（②）。**

❺ **オフセットトレイユニットカバー下部の左右2か所をオフセットトレイユニットに付属しているネジで固定する。**

❻ **リアカバーを閉じる。**

❼ 延長トレイを引き出す。

重要

オフセットトレイは必ず開いた状態で使用してください。オフセットトレイを上に折りたたんだ状態で印刷すると、紙づまりの原因になります。

❽ 電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。

テスト印刷

オフセットトレイユニットが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「8　テスト印刷をする」を参照してください。

オフセットトレイユニットを取り付け、用紙が正常に給紙された場合、次のように「排出先設定」、「リレー排紙設定」、「オフセット排紙機能」の項目が印刷されます。

オフセットトレイユニットのステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、オフセットトレイユニットの取り付けは完了です。

オフセットトレイユニットの取り外し

オフセットトレイユニットを取り外すときは、取り付けの手順を逆に行ってください。

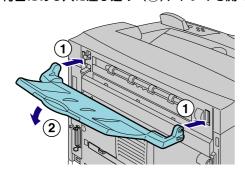
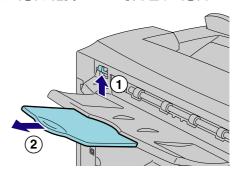
重要

プリンターの電源をOFFにしてから取り外してください。電源がONのまま取り外すと、プリンターが故障するおそれがあります。

フェイスアップトレイ

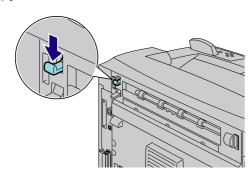
フェイスアップトレイは用紙の印刷面を上面にして排出するためのトレイです。

フェイスアップトレイの取り付け

❶ **フェイスアップトレイの左右の突起部をプリンター背面にある穴に差し込み（①）、トレイを開く（②）。**

❷ **下図の位置のフェイスアップトレイ排紙レバーを上げ（①）、延長トレイを引き出す（②）。**

フェイスアップトレイの取り付けが完了したら、プリンタードライバーの［プロパティ］でオプション構成を変更してください。詳細はプリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

フェイスアップトレイの取り外し

❶ **フェイスアップトレイを持ち上げるようにしながら、プリンターから取り外す。**

❷ **図の位置のフェイスアップトレイ排紙レバーを下げる。**

チェック

フェイスアップトレイを取り外したときは、フェイスアップトレイ排紙レバーを必ず下げてください。レバーを上げた状態で印刷すると用紙がプリンターの背面に排出され正常にスタックされずに紙づまりの原因となります。

フェイスアップトレイの取り外しが完了したら、プリンタードライバーの［プロパティ］でオプション構成を変更してください。詳細はプリンタードライバーのオンラインヘルプを参照してください。

無線LANボード

MultiWriter 3300Nを無線でネットワークに接続するために、無線LANボード（型番：PR-WLX-13）が用意されています（20ページ参照）。

使い方や操作方法については、無線LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

重要

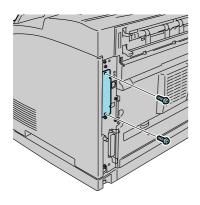
無線LANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンター背面のコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

無線LANボードの取り付け

❶ **プリンターの電源を OFF にし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

警告

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

❷ **「I/F2」と刻印されたLANボード用スロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。**

チェック

無線LANボード用スロットのプレートおよびネジは大切に保管しておいてください。ボードを取り外しプリンターを元に戻すときに必要です。

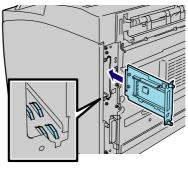
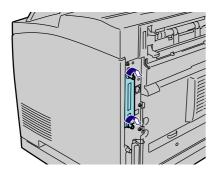
❸ **ネジがついている方を手前にして、図のようにガイドレールに沿って無線LANボードを両手で差し込む。**

手ごたえがあるまで押し込みます。

注意

- 無線LANボードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- 無線LANボードを強く押し込むと、プリンターが倒れてけがをするおそれがあるので注意してください。

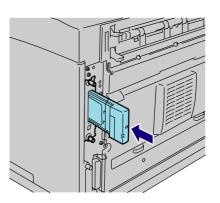
チェック

図のようにプリンターの右カバーに手をかけながら無線LANボードに親指をあてて、水平に押してください。

❹ 無線LANボードの前面にあるネジ2本でプリンターに固定する。

❺ 無線LANカードを無線LANボードのスロットに差し込む。

注意

- 無線LANカードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- MACアドレスが記載されているラベルが貼られている面を、背面から見て右側にして、カードをスロットに差し込んでください。向きを間違うと故障や発火の原因となります。

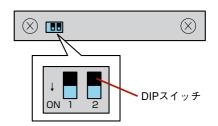
チェック

MultiWriter 3300Nに無線LANボード（型番：PR-WLX-13)を取り付けると、標準で装着されているLANインターフェースは使用できなくなります。

次に、次のページの「ピア・ツー・ピアグループ接続の通信モードを設定する」に進んでください。

ピア・ツー・ピアグループ接続の通信モードを設定する

無線LANボードにある2極のDIPスイッチによるピア・ツー・ピアグループ接続の通信モードに設定手順を説明します。

❶ **プリンターの電源をOFFにする。**

重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま設定変更すると、故障の原因となることがあります。

❷ **先の細いボールペンなどでDIPスイッチを切り替えて通信モードを設定する。**

SW 番号	機能	OFF（工場設定値）	ON
SW1	ピア・ツー・ピア グループ接続時に「ピア・ツー・ピア グループ」と「アドホック」のいずれの通信モードで動作するかを設定します。通信モードは、無線LANボードと無線接続するコンピューターが使用している無線LANカードの種類によって決まります。	ピア・ツー・ピア グループ ネットワーク名（ESS-ID）を入力設定する無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。	アドホック* 無線通信に使用するチャンネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。
SW2	（未使用）	－	－

* アドホック設定時は、使用するチャンネルバンドが「チャンネル1」固定になります。また、無線LAN環境に関する設定の変更を行ったら、必ずプリンターの電源をOFF/ONしてください。

重要

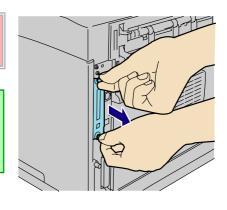
無線LANボードを装着したプリンターを無線LAN環境に接続するためには、無線に関する初期設定が必要です。詳しくは無線LANボードに添付のセットアップガイドをご覧ください。

無線LANボードの取り外し

無線LANボード（型番：PR-WLX-13）を取り外すときは、プリンターの電源をOFFにして、電源コードを抜いてから取り付け手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

チェック

無線LANボードはネジが緩んで遊びができたら、取り外せます。ネジは完全に取り外さないで、図のようにネジ2本を持って無線LANボードを引き出してください。

LANアダプター

MultiWriter 3300Nをネットワークに接続するためのLANアダプターはPR-NP-02T2、PR-NP-03TR2、PR-NPX-05の3種類が用意されています。(20～21ページ参照)

LANアダプターの取り付け・取り外し手順を説明します。なお、それぞれの取り付け手順は異なります。詳しくは各LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

IPアドレスなどの設定方法については「3章　ネットワークでの設定」(91ページ)をご覧ください。

チェック

LANアダプターのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。

LANアダプターの取り付け

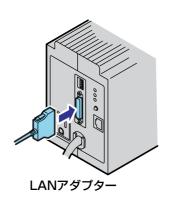
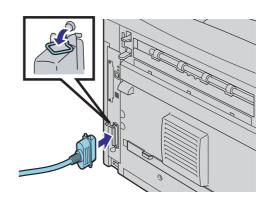
ここでは、PR-NP-02T2を例に取り付け手順を説明します。

1. **プリンターの電源をOFFにし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。**

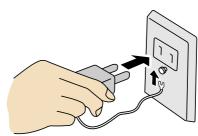
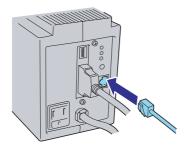
重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

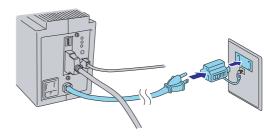
2. **LANアダプターの電源コードを抜く。**

3. **LAN アダプターのインターフェース用ソケットとプリンターのインターフェースコネクターをLANアダプター添付のプリンターケーブルで接続する。**

LANアダプター

プリンターの［I/F1］コネクター

4. **プリンターの電源コードをACコンセントに差し込む。**

❺ **ネットワークケーブルのコネクターをLANアダプターのEthernet用コネクターに差し込む。**

❻ **LANアダプターの電源コードをコンセントに差し込む。**

チェック

LANアダプターの電源コードは3極プラグです。2極の壁付きACコンセント（AC100V、電源容量15A以上）に差し込む場合は、3極/2極変換プラグをご使用ください。

❼ **LANアダプター前面のランプが緑色に点灯することを確認する。**

ご使用の際、PR-NT-03TR2の場合は、プリンターの電源を入れてからLANアダプター前面のスイッチを押して電源を入れてください。

コンフィグレーションページの印刷

以下の手順に従ってコンフィグレーションページを印刷してください。

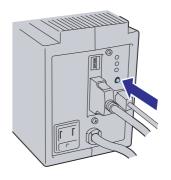
❶ **プリンターの電源をONにする。**

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

重要

コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は5章の「ホッパー、MPに用紙をセットする」（307ページ）を参照してセットしてください。

❷ **LANアダプター背面のコンフィグレーションページボタンを押す。**

PR-NPX-05でのコンフィグレーションページの印刷方法については、PR-NPX-05に添付のセットアップガイドを参照してください。

LANアダプターの取り外し

LANアダプターを取り外すときは、LANアダプターがデータの受信中でないことを確認してから、取り付け手順❻から逆に行ってください。

増設メモリー

増設メモリーを取り付けることで、次のような効果があります。

- 電子ソート機能を有効にする
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファーの拡大
- 両面印刷時および長尺紙への印刷時のメモリー不足の解消
- 複雑な印刷データの印刷性能向上

重要

指定のSO-DIMMタイプの増設メモリーを使用してください。指定以外の増設メモリーを使用すると、故障の原因となることがあります。

増設メモリーの取り付け

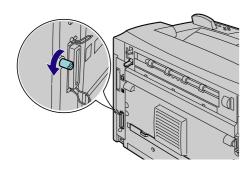
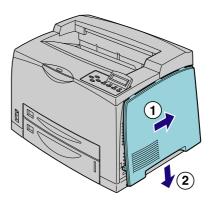
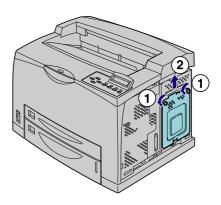
重要

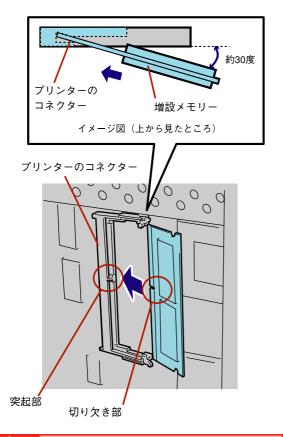
増設メモリーは大変デリケートな電子部品です。増設メモリーを取り扱うときは、プリンター背面のインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

❶ プリンターの電源を OFF にし、電源コードやプリンターケーブルなど、プリンターに接続されているケーブルをプリンターから取り外す。

警告

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

❷ 右カバーのネジ1本をゆるめる。

❸ 右カバーを背面方向に少しずらし（①）、下側の突起を外してから下方向に引き抜く（②）。

❹ 金属カバーの上側のネジ（2か所）をゆるめて（①）、金属カバーを上側に引き抜く（②）。

❺ 増設メモリーをプリンタボードのコネクターに取り付ける。

増設メモリーの切り欠き部をプリンターボードのコネクター突起部に合わせ、プリンターのコネクターに対して約30度の挿入角度で増設メモリーの端子が当たるまで挿入します。

重要

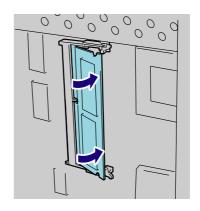
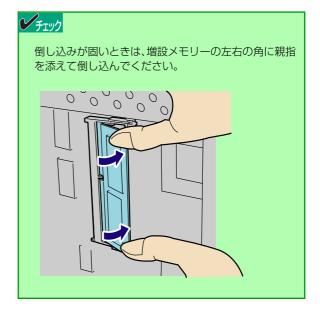
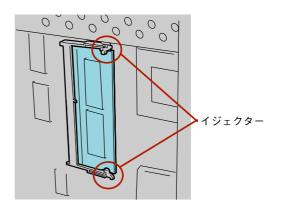
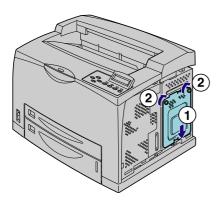
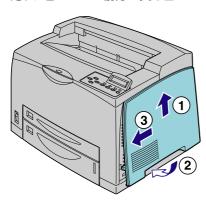
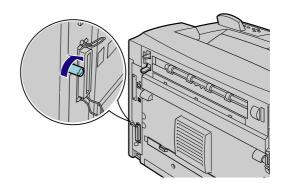
- 増設メモリーの切り欠き部の向きがコネクターの突起部と正しく合っていることを確認してください。逆の場合は増設メモリーの切り欠き部とコネクターの突起部の位置が合わず、挿入することができません。
- 奥まで確実に押し込んでください。

❻「カチッ」という音がするまでソケットに倒し込む。

重要

奥までしっかり倒し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクターまたは増設メモリーを破損するおそれがあります。

チェック

倒し込みが固いときは、増設メモリーの左右の角に親指を添えて倒し込んでください。

❼ イジェクターが立ち上がり、しっかり固定できたことを確認する。

❽ 金属カバー下部の突起を本体側の切り欠きに合わせて差し込み（①）、金属カバーの上部のネジ（2か所）で固定する（②）。

❾ 右カバー上部の突部（3か所）を上カバーの内側に差し込み（①）、下部の突起部を本体に差し込んでから（②）、右カバーを前方に突き当てる（③）。

❿ 右カバーをネジ1本で固定する。

⓫ 電源コードやプリンターケーブルなど、接続されていたケーブルをプリンターに取り付ける。

テスト印刷

増設メモリーが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。手順については、ユーザーズマニュアル1章の「8　テスト印刷をする」を参照してください。

次のように印刷されていれば、増設メモリーは正しく取り付けられたことになります。

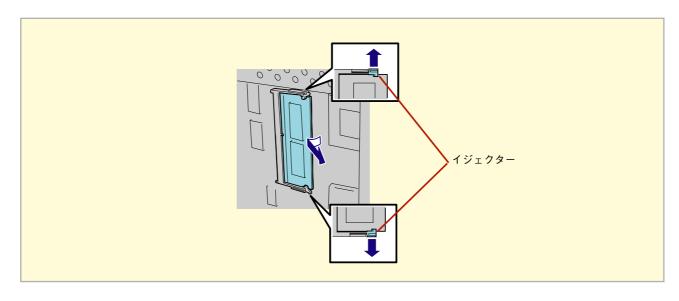
増設メモリーを増設したステータス印刷の例
（標準メモリー 24MBに256MBメモリーを増設した場合）

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設メモリーの取り付けは完了です。

増設メモリーの取り外し

増設メモリーを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

なお、増設メモリーを取り外すときはコネクターのイジェクターを横に押し広げて斜めに引き抜いてください。

使用できるプリンターケーブル

MultiWriter 3300Nで使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。お使いになっているコンピューターによって使用できるプリンターケーブルが異なります。

コンピューター		プリンターケーブル*[1]
PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205*[2] PR-UCX-02*[3]
	IBM、富士通、東芝、DELL、その他各社	PC-PRCA-01 PR-UCX-02*[3]
PC-9800シリーズデスクトップタイプミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp･As･Ae･Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA･BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTiCanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *[5]	PC-CA202*[4] PC-CA204*[2]
	PC-98XA･XL･XL^2･RL*[5]	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203*[2]
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *[5] SV-98シリーズ	PC-CA202*[4] PC-CA204*[2]
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf･Np･Nx･Nd･Nm･Ne3･Ne2･Nd2 PC-9801NL/A･NS/A	PC-CA202*[4] PC-CA204*[2]
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*[4] PC-CA204*[2]
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*[4] PC-CA204*[2]

*[1]　他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。
*[2]　PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205のケーブルの長さは4.0m。
*[3]　PR-UCX-02のケーブルの長さは2.0m。
*[4]　ケーブルの長さは1.5m。
*[5]　ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

2章
プリンターソフトウエアのインストール

この章では、Windows XP*[1]、Windows Me、Windows 98*[2]、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版環境にプリンターソフトウエアをインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

*1 以下、本書でWindows XPと表記している場合は、Windows XP Home EditionとProfessionalを含みます。
*2 以下、本書でWindows 98と表記している場合は、Windows 98 Second Editionを含みます。

重要

- MultiWriterのプリンターソフトウエアを正しくインストールするためには、インストールする前に9章の「PrintAgentを正しく動作させるために」（405ページ）をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

- **Windows Server 2003をお使いのお客様へ**
  本書にWindows Server 2003の記述がない場合は､Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。
- **フロッピーディスクでインストールする場合**
  本書ではCD-ROMを使った手順を説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクを入れ替えてください。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

MultiWriter 3300Nに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のコンピューター環境に対応した、ソフトウエアを提供しています。

このCD-ROMは、ISO9660フォーマットに従って作成されています。CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめに
  プリンターソフトウエアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- インストール
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0に対応した、プリンターソフトウエアをインストールできます。
- オンラインマニュアル
  オンラインマニュアルを閲覧または印刷するためには「Adobe Acrobat Reader」が必要です。詳細については「マニュアルの種類と使い方」(viページ) またはメニュープログラム内のユーティリティーをご覧ください。
- ユーティリティー
  - iPrinting.DeliveryService
  - ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks（体験版）」
  - NEC Internet Printing System（Windows 98、Windows 95対応版およびWindows NT 4.0対応版）
  - NEC TrueTypeバーコードフォントキット
    NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。
  - NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
  - 帳票エディタ「帳楽」お試し版
  - EASY設定ユーティリティ
  - 無線LANプリンタ導入ウィザード
  - NEC印刷ログユーティリティ
  - MultiWriterドライバ配信
  - Adobe Acrobat Reader
- バージョンアップ
  CD-ROMに収録されている最新のプリンタードライバーにアップデートできます。詳細や手順については「ご利用の前に」(Update.txt) または4章の「プリンタードライバーのバージョンアップ」(300ページ)をご覧ください。

その他に、MultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアを収録しています。詳しくは、それぞれのソフトウエアに関連するフォルダー内にある、「はじめにお読みください」(Readme.txt) をご覧ください。

プリンターソフトウエアの動作環境

MultiWriter 3300Nに添付のプリンターソフトウエアの動作環境は以下のとおりです。

接続方法	動作コンピューター*1	対応OS	メモリー
ネットワークインターフェース パラレルインターフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows 95（日本語版） Windows Server 2003*3（日本語版） Windows 2000（日本語版） Windows NT 4.0（日本語版）	OSの動作条件に準じます。
	PC-9800シリーズ		
USBインターフェース*4	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows Server 2003*3（日本語版） Windows 2000（日本語版）	

*1 OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各OSのマニュアルを参照してください。
*2 Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。
*3 64ビット バージョン WIindows Server 2003には対応していません。
*4 USBインターフェース接続において、OSのアップグレードの組みあわせによっては正常に動作しない場合があります。

チェック

メモリーについては、PrintAgentをクライアントーサーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は256Mバイト以上）のメモリーを搭載し運用されることを推奨します。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- 標準装備の LAN インターフェースやオプションの LAN アダプターでプリンターがネットワークに接続されている。（対応している型番については「1章　オプション」（15ページ）をご覧ください。）
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）で接続されている。
- 共有プリンターの場合（クライアント・サーバー接続）、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネット ワークボード／カード／アダプターなどを接続し、ネット ワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

重要

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするために必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に確認してください。

インストール方法	Windows XP、Windows Server 2003、Windpws 2000 日本語版	Windows Me、Windows 98、Windows95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約13.0MB	約11.0MB	約12.0MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約16.5MB	最大 約14.5MB	最大 約15.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約18.5MB	最大 約16.5MB	最大 約17.5MB
プリンタードライバーのみ	約5.5MB	約3.5MB	約4.5MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールする前に、お使いになるコンピューターの条件に従ってインストール方法を選択します。以下の組み合せを確認して、それぞれのページへ進んでください。

なお、プリンターを管理したり、LANインターフェース、またはオプションの無線LANボードやLANアダプターの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、「プリンター管理者用インストール」（80ページ）をご覧ください。

コンピューターとケーブルで接続する

USBケーブルで接続する場合	
ご使用のOS • Windows XP • Windows Server 2003 • Windows Me • Windows 98 • Windows 2000	→ 「USBインターフェース接続によるインストール」（59ページ）をに進んでください。
パラレルインターフェースケーブル（プリンターケーブル）で接続する場合	
プリンタードライバーとPrintAgentを共にインストールする	→ 『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）に進んでください。
プラグ・アンド・プレイ*でインストールする	→ 「パラレルインターフェース接続によるインストール」（67ページ）に進んでください。

ネットワークで接続する

プリンタードライバーとPrintAgentを共にインストールする	
『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）に進んでください。	
プリンタードライバーのみインストールする	
ネットワーク接続に[NEC TCP/IP Port]を使用する	→ 『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）へ進み、接続先に［NEC TCP/IP Port］を選択して、PrintAgentのインストール選択手順で［インストールを選択しない］を選択してインストールしてください。
ネットワーク接続にOSがもつ機能を使用する	→ 3章の「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」（147ページ）に進んでください。
ターミナルサービスを使用する	
3章の「ターミナルサービス環境」（187ページ）に進んでください。	

MS-DOS環境でご使用の場合

「日本語MS-DOS環境」（87ページ）に進んでください。

* 「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003，Windows 2000がインストールされているコンピューターで新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターの起動時や接続時にその周辺機器を検出し、自動的にインストールが実行される機能です。

「インストールプログラム」からのインストール

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターでMultiWriterをご利用になる場合、プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）をインストールします。

プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

- LANインターフェース、またはオプションの無線LANボードやLANアダプターで接続されたプリンターに印刷する場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、［NEC TCP/IP Port］を選択します。
- パラレルインターフェースで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、［ローカルポート］を選択します。

ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）のインストール手順を説明します。

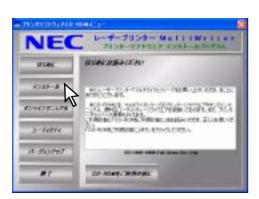
チェック

Windows XPにインストールするユーザーは、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、［Administrators］または［Domain Admins］グループのメンバーである必要があります。

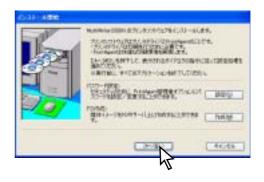
❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **［インストール］をクリックする。**

❹ **右側のボックスから［MultiWriter3300N］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ **［次へ］をクリックする。**

はじめに、プリンタードライバーをインストールする設定を行います。

❻［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。

［プリンタドライバをインストールしない］を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックしてください。

MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW3300N¥Disk1¥Drivers.txt」を参照してください。

❼プリンターの接続先を選び、［次へ］をクリックする。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。

- ［ローカルポート］は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- ［NEC TCP/IP Port］は、プリンターがLANインターフェース、またはオプションの無線LANボードやLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

＜［ローカルポート］を選んだ場合＞

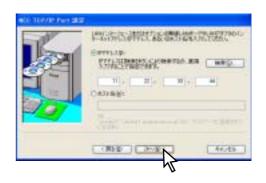
希望するポートを選び［次へ］をクリックする。
手順❽へ進んでください。

＜［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。
手順❾へ進んでください。

＜［NEC TCP/IP Port］を選んだ場合＞

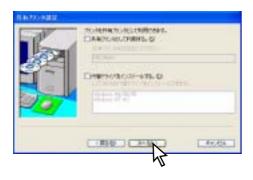
LANインターフェース、またはオプションの無線LANボードやLANアダプターのIPアドレス、またはホスト名を設定し、［次へ］をクリックする。

IPアドレスまたはホスト名を設定する時は、LANインターフェース、またはオプションの無線LANボードやLANアダプターにIPアドレスまたはホスト名が設定されている必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者にお尋ねください。

IPアドレスを設定する場合

プリンターの電源がONになっていることを確認して、[検索]をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK] をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽ **[次へ] をクリックする。**

ネットワークに接続され、Windows XP、Windows Server 2003，Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順❾へ進んでください。

チェック

すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

続いて、PrintAgentのインストールを行います。

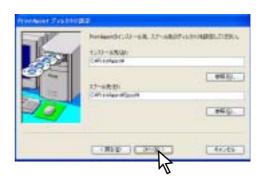
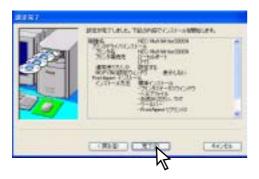
❾ **[PrintAgentをインストールする] を選び、[次へ] をクリックする。**

[PrintAgentをインストールしない] を選んだときは、手順⓬へ進んでください。

❿ **使用目的に応じて [標準インストール] または [一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ] をクリックする。**

[一般ユーザ向けカスタムインストール] を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて [次へ] をクリックしてください。[全追加] をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除] をクリックするとすべてチェックが外れます。

⓫ **PrintAgent のインストール先とスプールファイルの作成先を指定してからフォルダーを確認して [次へ] をクリックする。**

すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⓬へ進んでください。

次のメッセージが表示されたときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更するか不要なファイルを削除してください。

⓬ **設定した内容を確認し、［完了］をクリックする。**

⓭ **［OK］をクリックする。**

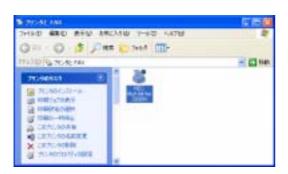
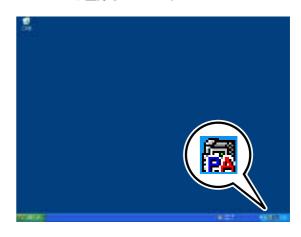
⓮ **インストールが終了したら［OK］をクリックする。**

チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⓯ **プリンターソフトウエアが正常にインストールされていることを確認する。**

カスタムインストールでインストールした場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

□ ［プリンタとFAX］フォルダー内に［NEC MultiWriter3300N］アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、［PrintAgentシステム］アイコンが登録されている。

□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［MultiWriter3300N］というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

チェック

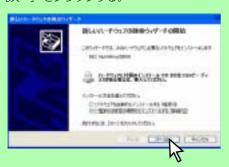
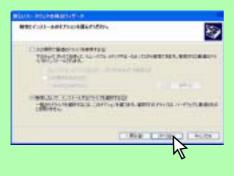
Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、スタートメニューの［プログラム］から確認することができます。

□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［PrintAgent管理ツール］というフォルダーが追加され、［プリンター覧］が登録されている。（カスタムインストールでプリンター覧を選択した場合）

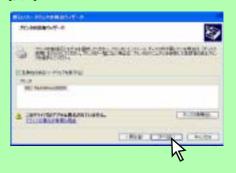
□ スタートメニューの［すべてのプログラム］の下に［PrintAgentリプリント2］が登録されている。

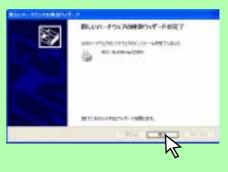
チェック

Windows XP、Windows Server 2003をご使用の場合、プリンターソフトウエアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この場合は、以下の手順に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。［プリンタとFAX］フォルダーに新しいプリンタアイコンは作成されません。

1. ［一覧または特定の場所からインストールする］を選んで［次へ］をクリックする。

2. ［検索しないで、インストールするドライバを選択する］を選んで、［次へ］をクリックする。

3. ［ディスク使用]をクリックする。

4. ファイルのコピー元を指定して、[OK]をクリックする。ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK4」と入力します。

5. ［次へ]をクリックする。

6. ［続行]をクリックする。

7. ［完了]をクリックする。

USBインターフェース接続によるインストール

ここでは、USB インターフェースでプリンターに接続した時のプリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。パラレルインターフェースで接続した場合の「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ったインストール手順については、「パラレルインターフェース接続によるインストール」(67ページ) を参照してください。

Windows XP 、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を例にとって説明します。

❶ **プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。**

Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

ここでは、プリンターソフトウェアCD-ROMをセットしないでください。プリンターソフトウェアCD-ROMは手順❽でセットします。

❹ **［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）を行ってください。

✔チェック

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **［検索しないでインストールするドライバを選択する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❻ **［プリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **［ディスク使用］をクリックする。**

❽ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❾ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK4」と入力します。

❿ **使用するプリンター名を選び、［次へ］をクリックする。**

インストールを開始します。

✔チェック

以下の［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ **［完了］をクリックする。**

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

✔チェック

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ） の手順に従い、手順❻で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んでインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。**

Windows Me 日本語版を起動します。

［新しいハードウェア］ダイアログボックスが表示された後、［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、次ページの「［新しいハードウェアの追加］ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

❻ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのドライブでフォルダー名「USBDRV」を示しているドライバーを選んで、［OK］をクリックする。**

❼ **インストールされたことを確認し、［完了］をクリックする。**

❽ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）を行ってください。

✔チェック

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❾ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、［OK］をクリックする。**

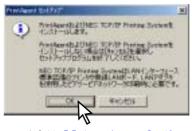
❿ **プリンター名を確認し、［完了］をクリックする。**

プリンタードライバーのインストールが開始されます。

⓫ **［完了］をクリックする。**

先に［PrintAgentセットアップ］ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓬ **PrintAgentをインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）の手順❾からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

チェック

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

［新しいハードウェアの追加］ダイアログボックスが表示されなかった場合

以下の手順を行った後、再びUSBケーブルを接続する手順を行ってください。

❶ **［コントロールパネル］フォルダーを開く。**

❷ **［システム］アイコンをダブルクリックする。**

❸ **［デバイスマネージャ］シートをクリックする。**

❹ **［その他のデバイス］で？マークの［MultiWriter3300N］を選択し、［削除］をクリックする。**

❺ **USBケーブルを取り外す。**

❻ **削除されたことを確認して、USBケーブルを接続する。**

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。**

Windows 98 日本語版を起動します。

USBデバイス検出画面が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、「［新しいハードウェアの追加］ダイアログボックスが表示されなかった場合」（62ページ）の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

❻ **［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **USBドライバーの検索場所を指定し、［次へ］をクリックする。**

［検索場所］をチェックし、CD-ROMのドライブ名、「¥USBDRV」を入力します。

❽ **デバイス名を確認し、［次へ］をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。

❾ **［完了］をクリックする。**

❿ ［次へ］をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合、『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）を行ってください。

> ✔チェック
>
> 接続先のポート名は「USBXXX」になります。

⓫ ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。

⓬ 選択項目の中から［CD-ROMドライブ］をチェックして［次へ］をクリックする。

⓭ ［次へ］をクリックする。

⓮ プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが始まります。

⓯ ［完了］をクリックする。

先に［PrintAgentセットアップ］ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓰ PrintAgentをインストールする場合は［OK］をクリックする。

このあとは『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）の手順❾からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

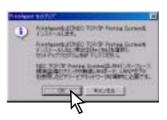
> ✔チェック
>
> 必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。**

Windows 2000 日本語版を起動します。

USBデバイス検出画面が表示されます。

> ✔チェック
>
> ここでは、プリンターソフトウェアCD-ROMをセットしないでください。プリンターソフトウェアCD-ROMは手順❼でセットします。

❹ **［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）を行ってください。

> ✔チェック
>
> 接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **［デバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

> ✔チェック
>
> すでに一度プリンタードライバーがインストールされたコンピューターの場合は［NEC MultiWriter3300N］と表示されます。

❻ **［場所を指定］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❽ **ファイルのコピー元を指定し、［OK］をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW3300N￥DISK4」と入力します。

❾ **内容を確認し、［次へ］をクリックする。**

インストールを開始します。

❿［完了］をクリックする。

チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［いいえ］をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

チェック

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）の手順に従い、手順❻で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んでインストールしてください。

パラレルインターフェース接続によるインストール

ここではパラレルインターフェースを使ってプリンターに接続した時の「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ったインストール手順について説明します。

Windows XP 、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を例にとって説明します。

❶ **プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。**

Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

> **チェック**
>
> ここでは、プリンターソフトウェアCD-ROMをセットしないでください。プリンターソフトウェアCD-ROMは手順❽でセットします。

❹ **[一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選び、[次へ] をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、『「インストールプログラム」からのインストール』(54ページ) を行ってください。

> **チェック**
>
> 接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **[検索しないでインストールするドライバを選択する] を選び、[次へ] をクリックする。**

❻ **[プリンタ] を選び、[次へ] をクリックする。**

❼ **[ディスク使用] をクリックする。**

❽ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❾ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW3300N￥DISK4」と入力します。

❿ **使用するプリンター名を選び、［次へ］をクリックする。**

インストールを開始します。

✔チェック

以下の［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ **［完了］をクリックする。**

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

✔チェック

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）の手順❻で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んでインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。**

Windows Me 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

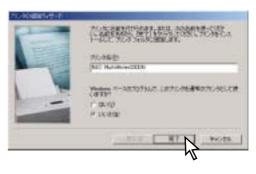
❺ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）の手順を行ってください。

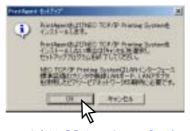
チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❻ **選択項目の中の［場所］が CD-ROM のルートを示しているドライバーを選択して、［OK］をクリックする。**

❼ **プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。**

❽ **［完了］をクリックする。**

先に［PrintAgentセットアップ］ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

❾ **PrintAgentをインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）の手順❾からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。**

Windows 98 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

> ✔チェック
>
> ここでは、プリンターソフトウェアCD-ROMをセットしないでください。プリンターソフトウェアCD-ROMは手順❻でセットします。

❹ **［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）を行ってください。

> ✔チェック
>
> 接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❻ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❼ **選択項目の中から［CD-ROM ドライブ］をチェックして［次へ］をクリックする。**

❽ **［次へ］をクリックする。**

❾ **プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。**

❿ **［完了］をクリックする。**

先に［PrintAgentセットアップ］ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓫ **PrintAgentをインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）の手順❾からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

チェック

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。**

Windows 95 日本語版を起動すると[デバイスドライブウィザード]か[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスが表示されなかった場合、『「インストールプログラム」からのインストール』(54ページ)を行ってください。

> **チェック**
>
> 接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

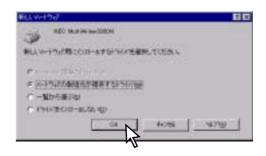
<[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合>

プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、[次へ]をクリックする。

手順❹に進んでください。

<[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示された場合>

[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]をクリックする。

手順❾に進んでください。

❹ **[完了]をクリックする。**

❺ **プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。**

❻ **[OK]をクリックする。**

❼ **［ファイルのコピー元］を指定して、［OK］をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW3300N￥DISK2」と入力します。プリンタードライバーがインストールされます。

❽ **PrintAgentをインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）の手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストール手順を終了します。

> ✔チェック
>
> 必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

❾ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❿ **［ファイルのコピー元］を指定して、［OK］をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW3300N￥DISK2」と入力します。

⓫ **プリンターの名前を確認し、［完了］をクリックする。**

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ **PrintAgentをインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）の手順❾からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

> ✔チェック
>
> 必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが点灯したことを確認したら、コンピューターの電源をONにする。**

Windows 2000 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

> ✔チェック
>
> ここでは、プリンターソフトウェアCD-ROMをセットしないでください。プリンターソフトウェアCD-ROMは手順❼でセットします。

❹ **［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）を行ってください。

> ✔チェック
>
> 接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **［デバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❻ **［場所を指定］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❽ **ファイルのコピー元を指定し、［OK］をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW3300N￥DISK4」と入力します。

❾ **内容を確認し、［次へ］をクリックする。**

インストールを開始します。

❿ **［完了］をクリックする。**

チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［いいえ］をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

チェック

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）の手順に従って、手順❻で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んでインストールしてください。

プリンタードライバーの削除

必要なファイルを削除してしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除（アンインストール）してから行います。ここではプリンタードライバーの削除手順を説明します。

重要

- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- プリンターが印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

Windows XP、Windows 2000、Windows Server 2003 日本語版

❶ **［プリンタとFAX］フォルダーを開く。**

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。Windows 2000の場合は［プリンター］フォルダーを開きます。

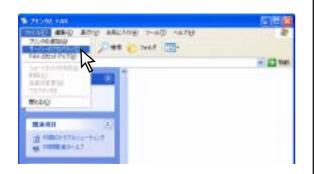
❷ **［NEC MultiWriter3300N]アイコンをクリックする。**

❸ **［ファイル］メニューの［削除］をクリックする。**

❹ **［はい］をクリックする。**

MultiWriter3300Nのプリンタードライバーが削除されます。

❺ **［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックする。**

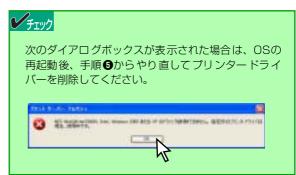
［プリントサーバーのプロパティ］が開きます。

❻ **［ドライバ］タブをクリックする。**

❼ **［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC MultiWriter3300N］をクリックする。**

❽ **［削除］をクリックする。**

❾ **［はい］をクリックする。**

チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、OSの再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ **［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC MultiWriter3300N］が削除されたことを確認し、［閉じる］をクリックする。**

［プリントサーバーのプロパティ］を閉じます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0 日本語版

❶ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

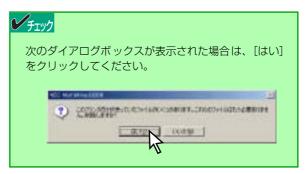
❷ **［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックする。**

❸ **［ファイル］メニューの［削除］をクリックする。**

❹ **［はい］をクリックする。**

MultiWriter 3300Nのプリンタードライバーが削除されます。

チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 3300Nのプリンターソフトウエアのインストーラーでは、プリンターソフトウエアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。

ここではPrintAgentの追加と削除方法を説明します。

重要

追加・削除の手順を始める前に9章の「PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項」(405ページ)をお読みください。

❶ **[コントロールパネル] フォルダーを開く。**

❷ **[プログラムの追加と削除] アイコンをダブルクリックする。**

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は [アプリケーションの追加と削除] をクリックします。

❸ **[PrintAgentオプション選択] ダイアログボックスを開く。**

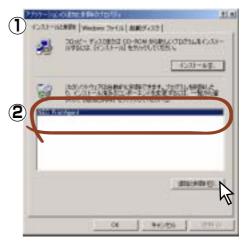
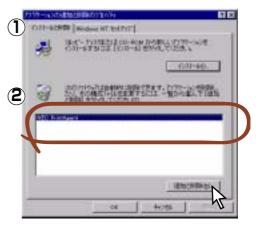
<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>

① 左側の [機能選択] バーから [プログラムの変更と削除] をクリックする。

② [NEC PrintAgent] を選んで、[変更/削除] をクリックする。

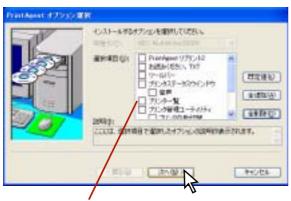
<Windows Me、Windows 98、WIndows 95、Windows NT 4.0の場合>

① [インストールと削除] シートを開く。

② 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から [NEC PrintAgent] を選んで、[追加と削除] をクリックする。

Windows Me、Windows 98、Windows 95

Windows NT 4.0

❹ **対象機種を選択してからチェックを変更し、［次へ］をクリックする。**

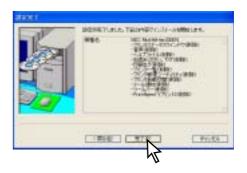
チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。

また、複数機種のチェックを付ける（外す）と複数機種のオプションを同時に追加（削除）することができます。

管理者向けカスタムインストールを行った場合は
選択できるオプションが異なります。

チェック

- 他の MultiWriter シリーズのプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROMドライブにセットされている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❺ ［完了］をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。

❻ ［OK］をクリックする。

❼ **追加・削除が終了したら［OK］をクリックする。**

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

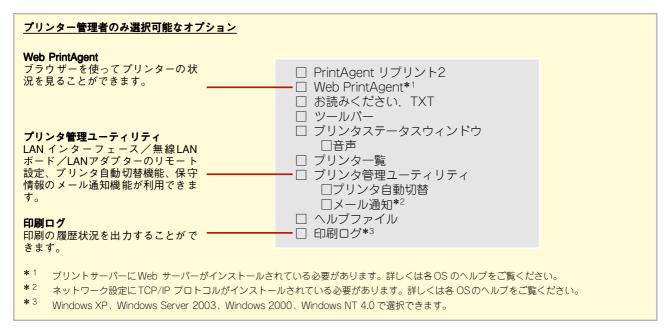
❽ **すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から［NEC PrintAgent］が削除されたことを確認し、［OK］をクリックする。**

プリンター管理者用インストール

ここではプリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

以下は、ネットワーク環境でMultiWriter 3300Nを使用するときに便利な機能です。

- プリンターを一元に管理する
- プリンターを自動切替で利用する
- 印刷ログを出力する
- e-mailメンテナンスを利用する
- Web PrintAgentを利用する

以上を設定するには、プリンターソフトウエアを管理者向けでインストールする必要があります。インストールの手順は次ページを参照してください。

また、プリンターを管理する方は以下の機能も利用することができます。

- パスワードの設定（86ページ）
  プリンター管理者以外の人による「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の使用や、プリンターソフトウエアの削除から保護するためのパスワードの設定が可能です。

- FD作成（インストール媒体の作成）（427ページ）
  プリンターソフトウエアCD-ROMからインストール用のフロッピーディスクを作成します。またファイルサーバーのハードディスクなど任意の媒体にコピーすることができます。プリンター管理者がハードディスクなどにコピーし、複数台のコンピューターにプリンターソフトウエアを指定した内容で短時間にインストールしたい場合などに便利です。

インストール手順

プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に9章の「PrintAgentを動作させる前に」（405ページ）を参照してから確認してください。

インストール方法	Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 日本語版	Windows Me 、Windows 98、Windows 95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約13.0MB	約11.0MB	約12.0MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約16.5MB	最大 約14.5MB	最大 約15.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約18.5MB	最大 約16.5MB	最大 約17.5MB
プリンタードライバのみ	約5.5MB	約3.5MB	約4.5MB

ここでは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版に対応したプリンターソフトウエアをプリンター管理者としてインストールする手順をWindows XP 日本語版を例に説明します。

❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **［インストール］をクリックする。**

❹ **右側のボックスから［MultiWriter3300N］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。

［プリンタドライバをインストールしない］を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックしてください。

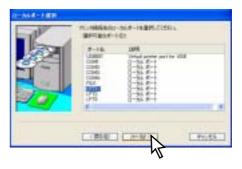
MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW3300N¥Disk1¥Drivers.txt」を参照してください。

❼ プリンターの接続先を選ぶ。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。

- ［ローカルポート］は、コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- ［NEC TCP/IP Port］は、プリンターがLANインターフェース/無線LANボード、またはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

＜［ローカルポート］を選んだ場合＞

希望するポートを選び、［次へ］をクリックする。

手順❽へ進んでください。

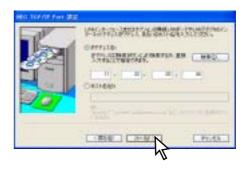
＜［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。

手順❾へ進んでください。

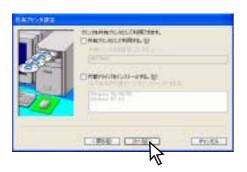
＜［NEC TCP/IP Port］を選んだ場合＞

LANインターフェース、無線LANボードまたはLANアダプターのIPアドレスあるいはホスト名を設定して［次へ］をクリックする。

IPアドレスを設定する場合

プリンターの電源がONになっていることを確認して、[検索]をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK]をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽ **[次へ]をクリックする。**

ネットワークに接続され、Windows XP、Windows Server 2003，Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順⓭へ進んでください。

チェック

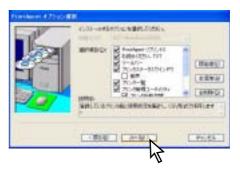
すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

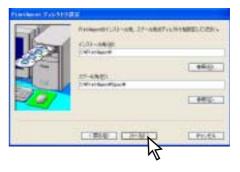
❾ **[PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。**

[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順⓭へ進んでください。

❿ **[管理者向けカスタムインストール]を選び、[次へ]をクリックする。**

⓫ **任意の機能を選び、[次へ]をクリックする。**

[全追加]をクリックすると、すべてチェックされます。[全削除]をクリックすると、すべてチェックが外れます。

⓬ **PrintAgent のインストール先とスプールファイルの作成先を指定し、[次へ]をクリックする。**

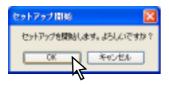
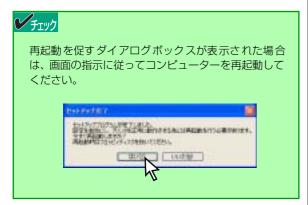
すでに他のMultiWriterのPrintAgentがインストールされている場合は、このダイアログボックスは表示されません。

⓭ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

⑭［OK］をクリックする。

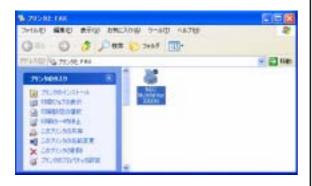
ソフトウエアのインストールが開始されます。

⑮インストールが終了したら、［OK］をクリックする。

チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⑯プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

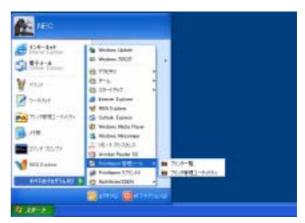
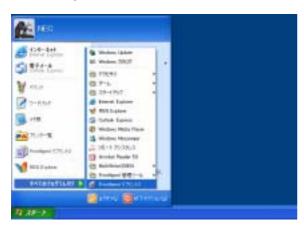
管理者向けカスタムインストールで選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

□ ［プリンタとFAX］フォルダー内に、［NEC MultiWriter3300N］アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、［PrintAgentシステム］アイコンが登録されている。

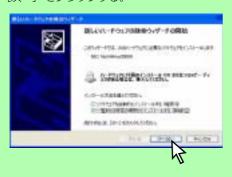
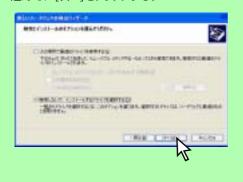
□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［MultiWriter3300N］というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

チェック

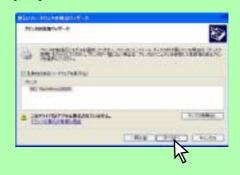
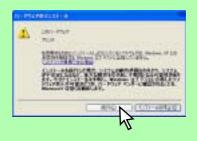
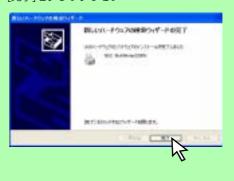
Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、スタートメニューの［プログラム］から確認することができます。

□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［PrintAgent管理ツール］というフォルダーが追加され、その下に［プリンタ管理ユーティリティ］と［プリンター覧］が登録されている。

☐　スタートメニューの［すべてのプログラム］に［PrintAgent リプリント2］が登録されている。

✔チェック

Windows XP、Windows Server 2003をご使用の場合、プリンターソフトウエアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この場合は、以下の手順に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。［プリンタとFAX］フォルダーに新しいプリンタアイコンは作成されません。

1. ［一覧または特定の場所からインストールする］を選んで［次へ］をクリックする。

2. ［検索しないで、インストールするドライバを選択する］を選んで、［次へ］をクリックする。

3. ［ディスク使用］をクリックする。

4. ファイルのコピー元を指定して、［OK］をクリックする。ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK4」と入力します。

5. ［次へ］をクリックする。

6. ［続行］をクリックする。

7. ［完了］をクリックする。

パスワードの設定

プリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールした場合、パスワードを設定できます。以下の手順で設定します。Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版に対応しています。

チェック

- パスワードで保護される機能はPrintAgentプリンタ管理ユーティリティの起動、プリンターソフトウエアの削除です。
- 設定したパスワードはPrintAgentに対応した機種で共通に使用されます。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください

❷ **［インストール］をクリックする。**

❸ **右側のボックスから［MultiWriter3300N］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

❹ **パスワード設定の［設定］をクリックする。**

❺ **パスワードとパスワードの確認を入力し、［設定］をクリックする。**

半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードを設定しない場合は空白のまま［設定］をクリックします。すでに入力しているパスワードを解除する場合はボックス内の文字を削除して、［設定］をクリックします。

日本語MS-DOS環境

ここでは、日本語MS-DOS環境から印刷をするために必要なプリンターの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

使用しているアプリケーション上で印刷するときにプリンターの名称を指定します。指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。（ただしアプリケーションによっては機能の一部が使用できないことがあります。）

優先順位	プリンター名称	動作モード＊1
1	MultiWriter 3650N、2860N、2850N、2850、2360N、2360、2350N、2350、2150、2130、2800N、2800、2300N、2300、2100、210S	ページプリンター（もしくは、レーザープリンター）
2	MultiWriter 2650M、2250H、2650、2650E、2250、2050	
3	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2、2200X	
4	MultiWriter 2400、2400X、2000X、2000FW、2200NW2、PC-PR2000/6W	
5	MultiWriter 2200NW、2000E、PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W、PC-PR4000E/4、PC-PR4000/4	
6	MultiWriter 1250、1400X、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4R、PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4 あるいはNPDL Level 2	
7	PC-PR1000、PC-PR1000/2、PC-PR2000、PC-PR602＊2,＊3 あるいはNPDL	
8	PC-PR201シリーズ	201PLエミュレーション
9	PC-PR101シリーズ	

＊1　ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、本プリンターの動作モードは201PL エミュレーションモード（お買い上げ時の設定）のままご使用になれます。

＊2　A4 ポートレート桁数が 80 桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。

＊3　文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定を変更してください。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、メニューモードを使ってプリンターを設定します。
メニューモードの操作方法、メニューツリーおよび各設定項目については「7章　メニューモード」（331ページ）を参照してください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系、あるいは101系プリンターを選択した場合は、アプリケーションと本プリンターを次のような設定が標準です。

ソフトウエア：　シートフィーダー付き、単票（カット紙）、連続送り
プリンター：　201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS環境で、オプションの両面印刷ユニットを使って両面印刷する際に必要な情報について説明します。MS-DOS環境で印刷する場合はメニューモード、および操作パネルの［両面］スイッチで設定します。

オプションの両面印刷ユニットを装着しないと、両面印刷のためのメニュー項目は表示されません。

両面印刷の設定

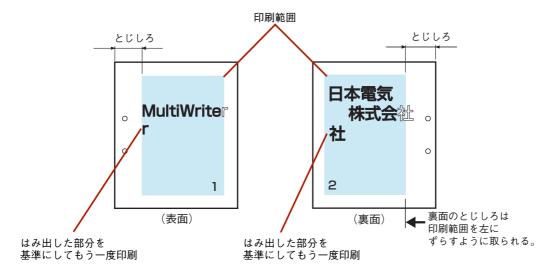
MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合、次の設定変更が必要です。
両面印刷をする場合、64MB以上のメモリーの増設をお勧めします。

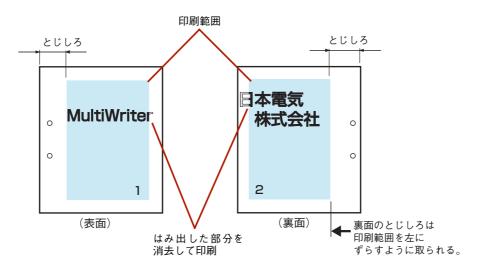
両面印刷のために必要な設定項目

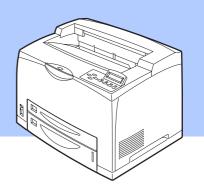
メニューモード設定項目	備考
印字位置設定メニュー ー 表面微調整 ー 裏面微調整	表面、裏面ともに TM：+3.9　～　−3.9ミリ LM：+3.9　～　−3.9ミリ
両面印刷メニュー ー 初期設定ON ー 初期設定OFF	−
両面印刷メニュー ー とじしろロング1 ー とじしろショート1 ー とじしろロング2 ー とじしろショート2	7章の「両面印刷メニュー」（353ページ）を参照してください。
両面印刷メニュー：余白	0　～　20ミリ
両面印刷メニュー ー クリップON ー クリップOFF	余白を多く取り過ぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定します。
両面印刷メニュー ー 奇数ページ片面 ー 奇数ページ両面	両面印刷時の奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法を設定します。

クリッピング機能について

余白（とじしろ）を多く取り過ぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能とは、このような場合に印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま印刷するかを選択します。ただし、両面印刷時にのみ有効で、7章の「両面印刷メニュー」（353ページ）で設定します。

- 「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることになります。（アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります）。

クリップOFF（チェックしていない）の場合

- 「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

クリップON（チェックしている）の場合

3章
ネットワークでの設定

この章では、ネットワークに接続してお使いになる場合のネットワーク設定およびネットワークユーティリティーの詳細について説明しています。また、無線LANボード使用時の注意事項についても説明しています。無線LANボードをお使いの方は、設定を行う前にお読みください。

- 標準LANインターフェースをお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

1 ユーティリティーによるネットワークの設定
2 コンフィグレーションページの印刷
3 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

- 無線LANボードをお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

1 無線LANボードに関する安全上のご注意
2 ユーティリティーによるネットワークの設定
3 コンフィグレーションページの印刷
4 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

- LANアダプター*をお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

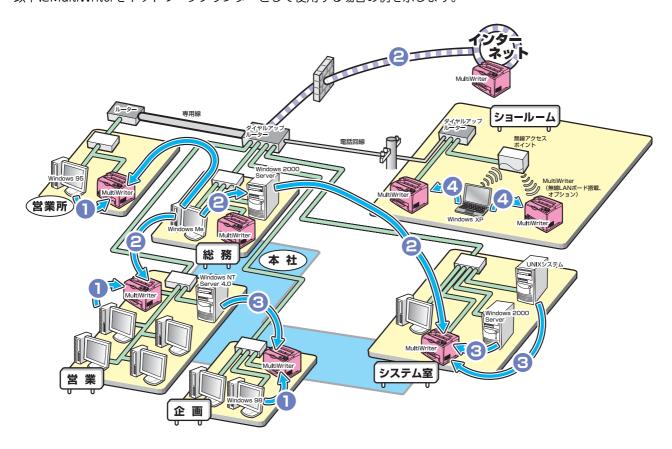
1 ユーティリティーによるネットワークの設定
LANアダプターのIPアドレスやサブネットマスクなどの設定は、標準LANインターフェースの設定と同様に行えます。詳しくは、各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してください。
2 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

＊　LANアダプタ（型番：PR-NPX-05）をお使いの場合は、LANアダプターに添付のセットアップガイドを参照してください。なお、PR-NPX-05はPrintAgentには対応していません。

Windows Server 2003をお使いのお客様へ

本書にWindows Server 2003の記述がない場合は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

MultiWriterを使ったネットワーク印刷

以下にMultiWriterをネットワークプリンターとして使用する場合の例を示します。

❶ PrintAgent
PrintAgentは部門内、ワークグループでの使用に適した印刷管理ソフトウエアです。
丁合い、リプリント、ジョブセパレートなどの機能によりMOPYINGを快適に利用できます。

❷ IPP（Internet Printing Protocol）
Windows XP、Windows Server 2003、 Windows 2000、Windows Meで標準サポートされたインターネット印刷プロトコルです。
印刷先をURLで指定することでインターネットに接続されている遠隔地のプリンターまたはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000のIPPサーバーを経由して印刷することができます。
Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0用にはNEC Internet Printing Systemを使うことで利用できます。

❸ LPR
UNIXシステムネットワークで標準の1つとして利用されている印刷プロトコルです。
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0に標準で搭載されています。

❹ NEC TCP/IP Printing System（NEC Network Port）
NEC製のプリンターやネットワークオプションが使用できるプリンターで共通して使用できる印刷方式です。
PrintAgentソフトウエアと共に使用することでプリンターとの双方向通信を実現します。

無線LANボードに関する安全上のご注意

ここでは、無線LANボードを安全にお使いいただくための注意事項について説明します。注意事項の内容をよく読んでご理解いただき、無線LANボードをより安全にご活用ください。

- 心臓ペースメーカーに近づけない

  植え込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

- 使用禁止区域では使用しない

  心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。

  また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源を切ってください。

  無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

- 飛行機内では使用しない

  飛行機内では、無線LANボードを装着したプリンターの電源を切ってください。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがありますので、詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

- ぬれた手で触らない

  無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

ユーティリティーによるネットワークの設定

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、ネットワークインターフェースのIPアドレスやサブネットマスクなどを設定する必要があります。ここでは、標準実装LANインターフェースを使用する際に必要な設定方法について説明しています。
以下のいずれかの方法で設定してください。また、DHCPを使用して設定する場合は、「より便利なネットワーク機能」の「DHCP」（194ページ）を参照してください。

- プリンターの操作パネル............................... ユーザーズマニュアルを参照してください。
- EASY設定ユーティリティ .... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。簡単にIPアドレスなどの設定ができます。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ....... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。プリンターソフトウエアを管理者向けとしてインストールすると使用できます。
  ユーティリティーの詳細についても説明しています。「PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ」（97ページ）を参照してください。
- 無線LANプリンタ導入ウィザード .... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。簡単に無線LANボードの設定ができます。設定に関する解説や操作手順がウィザードの画面上に表示されます。
- WWWブラウザー.. 汎用の WWW ブラウザーを使用してプリンターをネットワーク環境で使用するための設定をします。
- Telnet .... Telnetで接続し、プリンターをネットワーク環境で使用するための設定をします。
- UNIXコマンド .... UNIXコマンド「ping」と「arp」を使用して設定します。

ユーティリティーでIPアドレスを設定する前にコンフィグレーションページを印刷して、LANインターフェースのMACアドレスを確認してください。コンフィグレーションページの印刷は操作パネルから行います。コンフィグレーションページ印刷については、「コンフィグレーションページの印刷」（212ページ）を参照してください。

また、ネットワークプリンターに印刷するためには、IPアドレスを設定した後にコンピューターのOSについて設定が必要です。各OSの設定方法については、「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」（147ページ）を参照してください。

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。このユーティリティーはWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの［EASY］フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

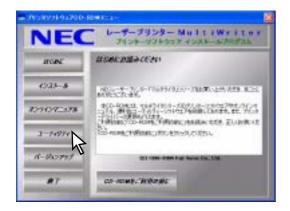
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

ここでは、Windows XP 日本語版を例にとって説明します。

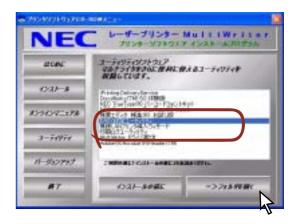
❶ **Windows XPを起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

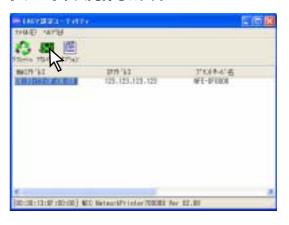
お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **［ユーティリティ］をクリックする。**

❹ **［EASY設定ユーティリティ］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。**

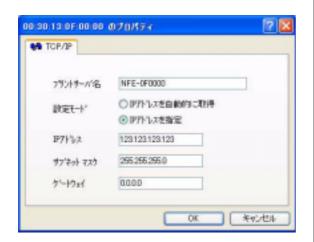
プリンターソフトウエアCD-ROM内の［EASY］フォルダーが開きます。

❺ **［NICSET］アイコンをダブルクリックする。**

［EASY設定ユーティリティ］ウィンドウが表示されます。

❻ **一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、［プロパティ］をクリックする。**

［TCP/IP］タブが表示されます。

一覧にプリンターが表示されない場合は、［リフレッシュ］をクリックし、再検索を行ってください。

❼ **プリントサーバー名を確認する。**

ネットワーク上から見たプリンターの名前が［プリントサーバ名］ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

❽ **［設定モード］で［IPアドレスを指定］を選択する。**

❾ **［IPアドレス］と［サブネットマスク］を入力する。**

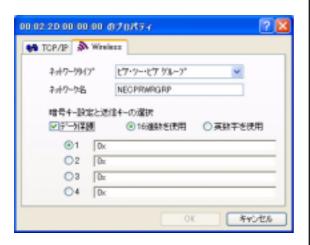
❿ **［ゲートウェイアドレス］を設定する。**

ゲートウェイ（ルーター）を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

LANインターフェース､LANアダプターを使用している場合は、手順⓯へ進んでください。

⓫ **無線 LAN ボードを使用している場合は、［Wireless］タブをクリックする。**

［Wireless］シートが表示されます。

⓬ **［ネットワークタイプ］で接続する無線LAN環境を選択する。**

- ピア・ツー・ピアグループ
  ネットワーク名（ESS-ID）を入力設定する無線LANカード（NEC無線LANカードなど）を使用したコンピューターとピア・ツー・ピア グループ接続します。

✔チェック

アドホックタイプでご使用の場合は、無線LANボード（型番 PR-WLX-13）のセットアップガイドを参照してください。

アドホックは、無線通信に使用するチャネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。アドホック設定時は、使用するチャネルバンドが「チャネル1」固定になります。

- レジデンシャル・ゲートウェイ
  NEC無線LANアクセスポイント（型番PK-WL002H）経由でネットワークに無線接続します。
- アクセスポイント
  IEEE802.11b 準拠のアクセスポイント経由でネットワークに接続します。
  NEC無線LANアクセスポイントN（型番 PK-WL003）、無線LANアクセスポイントE（型番 PK-WL005）、無線LANアクセスポイントS（型番 PK-WL007）、または無線LANアクセスポイントEX（型番 PK-WL010）経由でネットワークに接続する場合は、この項目を選択します。

⓭ **ネットワーク名（ESS-ID）を入力する。**

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

⓮ **データ保護を設定する。**

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により､無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは、次のように使用します。

- 無線 LAN ボードが受信する無線メッセージを復号します。4つ設定することができます。
- 無線 LAN ボードが送信する無線メッセージを暗号化します。キー 1から4の中から選択された1つの暗号キーは、無線LANボードが送信する無線メッセージを暗号化します。選択された暗号キーは、必ず設定する必要があります。

暗号キーは、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、無線LANボードにデータを送信する時に使用する暗号キーと同じものを設定します。

使用できる文字は、半角英数字と文字記号（「*」アスタリスクを除く）。

暗号キーの5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数のみで設定することができます。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、ネットワーク設定の初期化を実行し、再度設定を行ってください。

⓯ **［OK］をクリックして、EASY 設定ユーティリティを終了する。**

以上で設定は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。IPアドレスの設定以外にもネットワークに接続されたプリンターの状態を監視したり、ネットワーク接続や監視に必要な各種パラメーターを設定したりすることができます。インストールについては2章の「プリンター管理者用インストール」の「インストール手順」（81ページ）を参照してください。また、操作方法などの詳細についても説明していますので、参照してください。

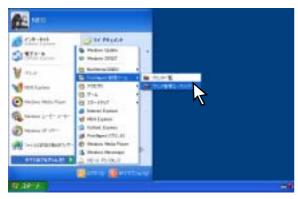
重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0環境でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。
- LANインターフェースの設定項目は、プリンターやLANボードの種類によって異なります。

ここでは、Windows XP 日本語版を例にとって説明します。

❶ **プリンタ管理ユーティリティを起動する。**

［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に［プリンタ管理ユーティリティ］をクリックします。

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、［プログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。

❷ **ウィンドウの左側ボックスから［NEC プリントサーバ］を選択する。**

プリンターがまだ登録されていないときは、［プリンタ］メニューから［プリンタの登録］をクリックしてプリンターを登録してください。

❸ **ウィンドウの右側ボックスから対象のプリンターを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。**

❹ **［TCP/IP］タブをクリックする。**

❺ **［マニュアルで設定する］を選択する。**

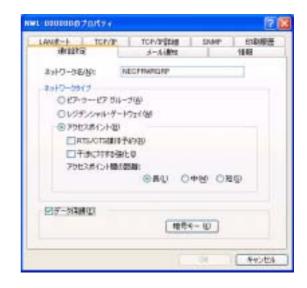
重要

- ［マニュアルで設定する］を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、［UNIXコマンドで設定する］を選んでください。
- 無線LANボードは、UNIXコマンドによる設定には対応していません。［UNIXコマンドで設定する］は選択しないでください。

❻ **IPアドレスとサブネットマスクを入力する。**

LANインターフェース、LANアダプターを使用している場合は、手順⓫に進んでください。

❼ **無線LANボードを使用している場合は、［通信設定］タブをクリックする。**

［通信設定］シートが表示されます。

❽［ネットワーク名］を入力する。

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

❾［ネットワークタイプ］で接続する無線LAN環境を選択する。

各項目についての説明は、「［通信設定］シート」（117ページ）をご覧ください。

❿データ保護を設定する。

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。

各項目についての説明は、「［通信設定］シート」（117ページ）をご覧ください。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、ネットワーク設定の初期化を実行し、再度設定を行ってください。

⓫［OK］をクリックして終了する。

以上で設定は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティの詳細

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティは、LANインターフェースを標準実装したプリンターやオプションの無線LANボード/LANアダプターを接続しているプリンターのネットワーク設定や状態の確認やPrintAgentのいろいろな機能を設定するユーティリティーです。
このユーティリティーは、プリンター管理者向けのツールとして以下のような設定やプリンター運用時の監視機能を提供しています。ただし、ご使用のLANインターフェース/無線LANボード/LANアダプターにより、その内容は異なります。

ここでは、Windows XP 日本語版環境でPrintAgentプリンタ管理ユーティリティの画面左のツリービューで［NECプリントサーバ］を選択している場合について説明します。

- ネットワークプリンターの設定と管理
  - ネットワークプリンターの一覧の確認

  - プリンターの状態の確認

  - IPアドレスの設定
  - プリンターの構成
  - リモート電源制御（型番 PR-NP-03TR2 LANアダプタ装着時）

- PrintAgentの機能
  - 印刷ジョブの制御
  - プリンタステータスウィンドウの起動
  - 保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）の設定
  - プリンタ自動切替の設定（グループプリンター作成の設定）

ご利用までの手順

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティがネットワークで使用できるようになるまでの手順について説明します。

重要

プリンタ管理ユーティリティをご使用になるときは、以下の点に注意してください。

- PrintAgent プリンタ管理ユーティリティをインストールする前にコンピューターのネットワーク設定（IP アドレスなど）がすでに行われていることを確認してください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動していることにより、メモリー不足で他のアプリケーションソフトウエアが実行できない場合は、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを終了してください。
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合、Administratorsの権限を持ったユーザーでログインしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログインした場合には設定を行えません。
- LANインターフェースへの設定は、LANインターフェースと同一ネットワークアドレスに接続されたコンピューターを使用してください。
- Windows 2000で、IPX/SPX互換トランスポートを使用する場合、ネットワーク上にNetWareサーバーが起動している必要があります。NovellのNetWareクライアントソフトウエアをインストールすることで一部の機能が有効になります（「［NetWare］シート」（120ページ）参照）。
- オプションのLANアダプターに添付のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをすでにご使用の場合は、これを削除（アンインストール）した後、プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールしてください。アンインストール方法については、オプションのLANアダプターに添付の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。

Step1　使用環境を確認する

このPrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用できるプリンターは、本プリンター（型番 PR-WLX-13装着時含む）です。

また、以下に示すネットワークオプションが使用できるプリンターも対象となります。

- PR-NP-02T2　LANアダプタ（TCP/IP）
- PR-NP-03TR2　LANアダプタ（TCP/IP）
- イーサネットコネクターを標準で装備したプリンター
  例えば、MultiWriter 2860NやMultiWriter 2360Nなど。

ただし、本ユーティリティに対応していないプリンターもあります。その場合はプリンターに添付のユーティリティを使用してください。

Step2　イーサネットコネクターを装備しているプリンターを接続する

ケーブルの接続方法などは、プリンターに添付のユーザーズマニュアルをご覧ください。

Step3 PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールする

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをコンピューターにインストールします。インストールは、PrintAgentのインストール時に［管理者向けカスタムインストール］を選択し、［プリンタ管理ユーティリティ］にチェックを付けることで行います。

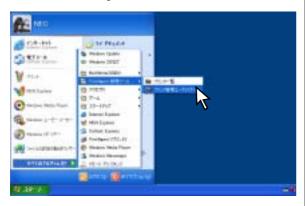
プリンターソフトウエアのインストールプログラムで後から追加インストールを行ったり、削除することができます。詳細については、2章の「プリンター管理者用インストール」（80ページ） を参照してください。

Step4 プリンターを登録する

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使ってLANインターフェースの設定を行うためにプリンターの登録を行います。新規にLANインターフェースをネットワークに接続した場合は、このプリンターのコンフィグレーションページの印刷結果にあるMACアドレスなども参照してください。コンフィグレーションページの印刷方法については、「コンフィグレーションページの印刷」（212ページ） を参照してください。

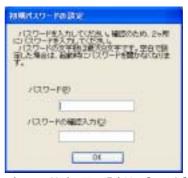
❶ **プリンタ管理ユーティリティを起動する。**

［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に［プリンタ管理ユーティリティ］をクリックします。

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、［プログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。

❷ **パスワードの入力、設定をする。**

パスワードを既に設定している場合は、パスワードを入力するダイアログボックスがされますので、パスワードを入力してください。

パスワードの設定をたずねるダイアログボックスが表示されます。

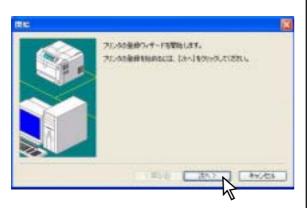
［はい］をクリックするとパスワードの設定ウインドウが表示されます。パスワードは、半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードが不要の場合は、［いいえ］をクリックしてください。後から［ツール］メニューの［パスワードの変更］で設定できます。

❸ **プリンターを登録していない場合、プリンターを登録するかどうかの［確認］ダイアログボックスが表示されるので、どちらかをクリックする。**

［はい］をクリックした時は手順❺に、「いいえ」をクリックした時は手順❹に進んでください。

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、画面左のツリービューで［NECプリントサーバ］を選択してください。

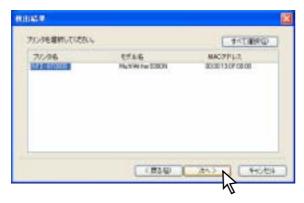
❹ **［プリンタ］メニューから［プリンタの登録］をクリックする。**

［プリンタの登録］ウィザードが開始されます。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ **設定するプリンターを自動で検索するか、マニュアルで検索するかを選び、［次へ］をクリックする。**

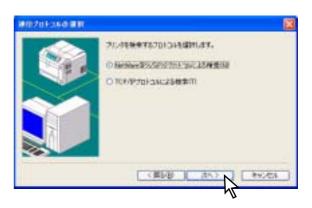
［はい］を選ぶと、ネットワーク内で登録されていないプリンターを自動的に検索します。手順❼に進んでください。

［いいえ］を選ぶと、プロトコル、MACアドレスなどを入力して検索します。手順❽に進んでください。

❼ **登録したいプリンターを選び、［次へ］をクリックする。**

手順⓱に進んでください。

❽ **LANインターフェースと通信するプロトコルを選び、［次へ］をクリックする。**

「NetWare（IPX/SPX）プロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順❾に進んでください。

「TCP/IPプロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順⓭に進んでください。

❾ **プリンターの検索方法を選び、［次へ］をクリックする。**

「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順❿に進んでください。

「ネットワーク番号とMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順⓬に進んでください。

❿ **ネットワーク番号を入力して、［次へ］をクリックする。**

✔チェック

存在しないネットワーク番号を入力しないでください。入力すると動作が遅くなることがあります。

⓫ **登録したいプリンターを選び、［次へ］をクリックする。**

手順⓱に進んでください。

⓬ **ネットワーク番号と MAC アドレスを入力して、［次へ］をクリックする。**

手順⓱に進んでください。

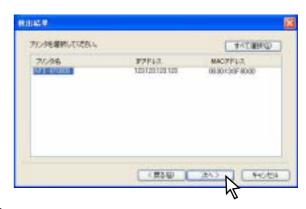
⓭ **プリンターの検索方法を選び、［次へ］をクリックする。**

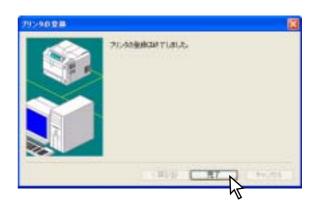
「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順⓮に進んでください。

「IPアドレスとMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順⓰に進んでください。

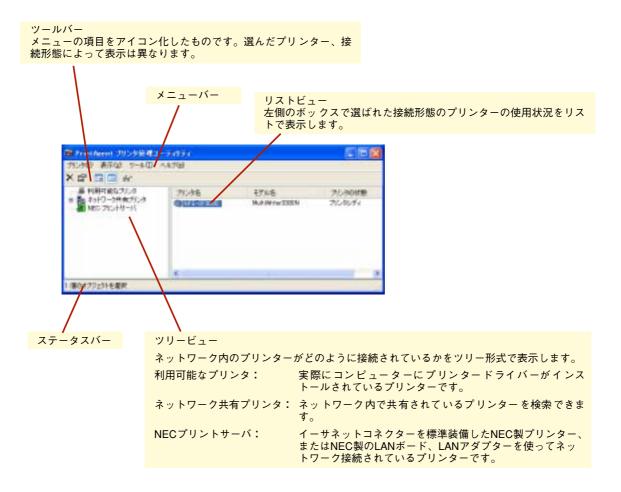
⓮ **ブロードキャストアドレス、またはIPアドレスを入力して［次へ］をクリックする。**

⓯ **登録したいプリンターを選び、［次へ］をクリックする。**

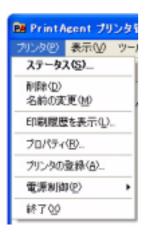
手順⓱に進んでください。

⓰ **IP アドレスと MAC アドレスを入力し、［次へ］をクリックする。**

⓱ **［完了］をクリックする。**

以上でプリンターの登録は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティのメニュー

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動すると以下のウィンドウが表示されます。

各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。

［プリンタ］メニュー

リストビューでプリンターを選んでいるときに実行できる機能は次のとおりです。

■　ステータス

以下のようなプリンターのステータス画面を表示します。プリンターのステータス画面ではプリンターの状態、モデル名、プリンターの構成が表示されます。この画面は、ツールバーの［ステータス］ボタンをクリックしても表示することができます。

■　削除

選択したプリンターを削除します。ツールバーの［削除］ボタンをクリックしても同じ機能を実行することができます。

■　名前の変更

選択したプリンターの［プリンタ名］ボックスがハイライトし、名前を変更することができます。デフォルトでは［LANポート］シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、任意の名前に変更できます。また、ここでの変更は［LANポート］シートのプリンター名には影響しません。

■　印刷履歴を表示

ネットワーク経由で印刷した履歴を表示します。

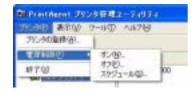
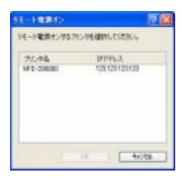
■　プロパティ

選択したプリンターの設定（LANボードまたはLANアダプター接続時は、これらの設定）を変更することができます。プロパティの内容については「［プロパティ］ダイアログボックス」をご覧ください。

■　プリンタの登録

プリンターを登録するための［プリンタの登録］ウィザードが起動します。

■　電源制御

リモート電源制御機能を持つLANアダプター（型番 PR-NP-03TR2）を使って接続されたプリンターの電源をON/OFFできます。ON/OFFは［リモート電源制御］シートの設定に従います。NECプリントサーバーのリストビューにリモート電源制御機能をもつプリンターを登録し、次のサブメニューを実行します。

- オン（またはオフ）
  ［電源制御］のサブメニュー［オン］または［オフ］をクリックすると、それぞれ電源制御可能なプリンターを選ぶダイアログボックスが表示されます。プリンターを選択し、［OK］をクリックすることで［リモート電源制御］シートの設定に従ってON/OFFします。

リモート電源ON

リモート電源OFF

- スケジュール
  ［電源制御］のサブメニュー［スケジュール］をクリックすると、スケジュール可能なプリンターをON/OFFするためのタスク名の一覧が表示されます。

  この一覧では、電源ON、電源OFFのペアで20台までスケジュール管理ができます。また、スケジュールの設定状況は、各タスク名ごとに4つまでその概要を一覧に表示します。

  各タスク名の上で右クリックすると、以下の画面のようなサブメニューが表示されます。ここでプリンターをON/OFFするスケジュールを設定します。プリンターのON/OFFは［リモート電源制御］シートの設定に従います。

＜スケジュールの設定＞

［電源制御］のサブメニュー［スケジュールの設定］を選ぶと、プリンターの電源をON/OFFする日時の設定を行うダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジュール機能を使用しています。設定の詳細については、このダイアログボックスのポップアップヘルプも参照してください。

［電源制御］のサブメニュー［スケジュールのクリア］を選ぶと、選択したタスク名に設定した複数のスケジュールをすべて削除します。

重要

スケジュール機能使用上のご注意

- ［スケジュールの設定］で表示されているダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジューラーを使用しています。タスクスケジューラーの一時停止をしている場合は、タスクスケジュラーの続行を行ってください。［コントロールパネル］または、［マイコンピュータ］－［タスク］または、［Scheduled Tasks］あるいは［エクスプローラ］－［コントロールパネル］－［タスク］の［詳細設定］から設定できます。Windows XPでは、［コントロールパネル］で［クラシックに切り替える］を行うと表示されます。
- NECプリントサーバのリストビューに表示されている［プリンタ名］を変更した場合、既に設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。

  ［スケジュールのクリア］でスケジュールを削除し、新たに表示されているタスク名にスケジュールを設定し直してください。
- プリンターのIPアドレスを変更した場合、既に設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。次の手順に従ってIPアドレスを修正してください。

  ①［スケジュールの設定］から［タスク］を開く。

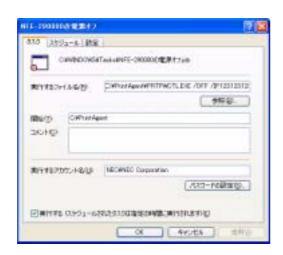
  ②［実行するファイル名］ボックスに表示されているIPアドレスの「IP/:」以降を修正する。

  （例）

  IPアドレス「111.222.123.123」を「100.200.123.123」に変更する場合

  「/IP:111.222.123.123」を「/IP:100.200.123.123」と修正します。
- NECプリントサーバに登録したプリンターを削除しても、このプリンターに対するスケジュールは削除されません。
- プリンタ管理ユーティリティをアンインストールすると、電源制御に必要なファイルもアンインストールされてしまい、設定時刻になってもプリンターのオン・オフができなくなります。

  ［コントロールパネル］または、［マイコンピュータ］－［タスク］または、［Scheduled Tasks］あるいは、［エクスプローラ］－［コントロールパネル］－［タスク］からタスク名を表示し、タスク名を右クリックして削除してください。Windows XPでは、［コントロールパネル］で［クラシックに切り替える］を行うと表示されます。
- ［電源制御］はTCP/IPプロトコルを使用していますので、ご使用のコンピューターにTCP/IPプロトコルが組み込まれていることを確認してください。

－［タスク］シート
［タスク］シートでは、次のような設定ができます。

項　目	説　明
実行するファイル名	プリンターの電源をON/OFFする実行ファイル名です。
開始	プリンターの電源をON/OFFする実行ファイルへのパスです。変更しないでください。
実行する	［スケジュール］シートで設定した日時にON/OFFする実行ファイルを実行するためにチェックを付けてください。

－［スケジュール］シート
［スケジュール］シートでは、次のような設定ができます。

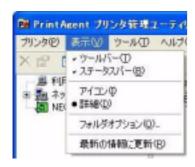
項　目	説　明
新規	プリンターをON（またはOFF）する日時の設定を行います。［タスクのスケジュール］で日単位、週単位等の選択ができます。 ［新規］を数回クリックすると、複数の日時の設定を行うことができます。 複数の設定を行った場合、［スケジュール制御］の一覧には、最初の4つの設定の概要が表示されます。
削除	［新規］で設定したスケジュールを1つずつ削除します。
詳細設定	［詳細設定］をクリックすると、次の設定項目が表示されます。 • 開始日 プリンターのON/OFFを開始する日付を設定します。 • 終了日 プリンターのON/OFFを終了する日付を設定します。 • タスクを繰り返し実行 チェックを外してください。
複数のスケジュールを表示する	チェックを付けてください。

－［設定］シート

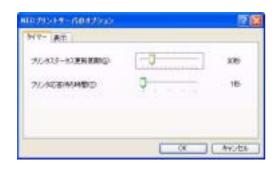
［設定］シートでは、次のような設定ができます。

項　目	説　明
タスク完了時	［今後実行する予定のないタスクは削除する］をチェックしてください。
アイドル時	チェックを外してください。
電源の管理	チェックを外してください。

［表示］メニュー

［表示］メニューでは、次のような機能が実行できます。

- ツールバー
  ツールバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- ステータスバー
  ステータスバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- アイコン
  右のようなプリンターの一覧をアイコンで表示します。

- 詳細
  右のようなプリンタの一覧をリストで表示します。

- フォルダオプション
  NECプリントサーバの設定を行います。［NECプリントサーバのオプション］ダイアログボックスを表示します。
  ー［タイマー］シート

項　目	説　明
プリンタステータス更新周期	登録されたプリンターの状態を確認しリストを更新する周期を設定します。10秒から120秒まで10秒刻みで設定できます。初期値は30秒です。
プリンタ応答待ち時間	プリンターとの通信時、本ユーティリティがプリンターからの応答を待つ時間を設定します。プリンターからの応答が遅い場合、待ち時間をより長く設定してください。初期値は1秒です。

ー［表示］シート

詳細リスト表示のとき列見出しの項目を選択します。［プリンタ名］と［プリンタの状態］は、はじめから表示されています。

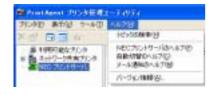
デフォルトでは、［LANポート］シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、プリンター名を2回クリックすると、任意の名前に変更することができます。ここでの変更は、［LANポート］シートのプリンター名には影響しません。

項　目	説　明
モデル名	LANボードのモデル名を表示します。
MACアドレス	LANボードの固有のネットワークアドレスを示します。
IPアドレス	LANボードのIPアドレスを表示します。
ネットワーク番号	NetWareプロトコルで通信しているとき、NetWareネットワーク番号を表示します。
FWバージョン	LANボード内のLAN関連ファームウエアのバージョンを表示します。
シリアル番号	プリンターのシリアル番号を表示します。

- 最新の情報に更新
  登録されているプリンターと通信を行い情報を更新します。

［ツール］メニュー

［ツール］メニューでは、［パスワードの変更］が選択できます。
［パスワードの変更］は、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用するためのパスワードの設定・変更を行います。

［ヘルプ］メニュー

［ヘルプ］メニューでは、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティについてのヘルプを参照することができます。

ポップアップメニュー

リストビュー内の任意の場所で右クリックすると表示されるメニューです。以下のような機能が実行できます。

- 表示
  リストビューをアイコン形式で表示するか、リスト形式で表示するかを切り替えます。［表示］メニューの［アイコン］、［詳細］と同じ機能です。
- 最新の情報に更新
  登録されているプリンターと通信を行い情報を更新します。［表示］メニューの［最新の情報に更新］と同じ機能です。
- プリンタの登録
  プリンターを登録します。［プリンタの登録］ウィザードが起動します。［プリンタ］メニューの［プリンタの登録］と同じ機能です。
- 電源制御
  ［プリンタ］メニューの電源制御と同じです。

ツールバー

以下のようにメニューの項目をボタンにしたものがツールバーに用意されています。

［プロパティ］ダイアログボックス

LANポートの設定は、左のような［プロパティ］ダイアログボックスで行います。

チェック

表示される内容は、LANボードによって異なります。また、設定できない項目は、グレーアウトされます。

ダイアログボックスの開き方

［プロパティ］ダイアログボックスは、次の方法で開くことができます。

- ［プリンタ］メニューを使う方法
  ［プリンタ］アイコンを選択してから、［プリンタ］メニューの［プロパティ］を選択します。

- ［プリンタ］アイコンを右クリックする方法
  ［プリンタ］アイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

- ［ツール］ボタンをクリックする方法
  ツールバーのアイコンをクリックします。

［LANポート］シート

LANポートの固有情報を表示設定します。

以下の固有情報を表示します。

- MACアドレス
  プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
- ハードウエアタイプ
  プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
- FWバージョン
  LANボードのファームウエアバージョンです。

以下の固有情報を設定できます。

- プリンタ名
  ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
- プリンタアクセス周期
  プリンターの状態を更新する周期です。初期値は5秒になっています。

プリンターによっては変更ができない機能があります。

［TCP/IP］シート

TCP/IPプロトコルを使ったときのIPアドレスとサブネットマスクを設定できます。

- DHCPサーバから取得する
  LANボードのIPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーから取得して設定します。
- UNIXコマンド（ARP, PING）で設定する
  LANボードのIPアドレスをUNIXコマンドで設定できるようにします。
- マニュアルで設定する
  LANボードのIPアドレスとサブネットマスクをマニュアルで設定します。

> **重要**
>
> ［DHCPサーバから取得する］を選択した場合は、DHCPサーバーへLANボードに設定するIPアドレスを事前に登録しておくことで、不用意なIPアドレスの変化を防止することができます。DHCPサーバーによりIPアドレスが変更された後は登録されたプリンターとしての通信ができなくなります。プリンターを再度、選んで登録し直してください。
>
> ［マニュアルで設定する］を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、［UNIXコマンドで設定する］を選んでください。

［TCP/IP詳細］シート

TCP/IP詳細パラメータを設定します。以下の機能を持たないLANボードでは、このシートは表示されません。

- デフォルトゲートウェイ
  ゲートウェイアドレスを示します。
- 最大セッション数
  TCP/IPの最大接続数を設定します。この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。

- 通信タイムアウト
  TCP/IP接続時にホストコンピュータから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。
  - タイムアウト時間
    タイムアウトまでの時間を示します。設定範囲は「30～7200秒」、初期値は「120秒」になっています。
  - キープアライブパケットを送信する
    通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeep Aliveパケットを送信するか、しないかを設定します。Keep Aliveパケット送信時にホストコンピューターから応答がある場合には、TCP/IP接続が維持されます。
- FTPタイムアウト
  FTP接続時のタイムアウト時間を設定します。設定範囲は「5～60分」、初期値は「10分」になっています。

［SNMP］シート

SNMPプロトコルに必要な設定を行います。SNMP機能を持たないLANボードでは、このシートは表示されません。

- 認証するコミュニティ名
  ホストコンピューターからのSNMP通信の中で、LANインターフェースが受け付けるコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。
- Trap通知先
  Trap通知先のSNMPマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。以下でTrap通知先を設定します。
  - IPアドレス
    LANインターフェースがホストコンピューターにTrapを通知する時のホストコンピューターのIPアドレスを設定します。
  - コミュニティ名
    LANインターフェースがホストコンピューターにTrapを通知する時のホストコンピューターのコミュニティ名を設定します。

> ✔チェック
>
> Trap通知先ホストコンピューターのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインターフェースのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
>
> ［TCP/IP詳細］シートの［デフォルトゲートウェイ］ボックスにゲートウェイアドレスを設定してください。

［リモート電源制御］シート

リモート電源制御に関する設定を行います。プリンターの電源のオン、オフ要求は［プリンタ］メニューの［電源制御］から行います。リモート電源制御機能を持つLANアダプターでのみ、このシートは表示されます。

- リモート電源制御を有効にする
  プリンターの電源へのオン、オフ要求を有効にします。
  オフ要求から［待ち時間］で設定した時間後、プリンターの電源をオフにします。［待ち時間］を「0」に設定した場合は、直ちにオフにします。ただし、プリンターによっては、電源をオフできる状態（印刷中ではないなどの、待機状態）になってからオフする場合があります。
- エラー発生時はリモート電源オフを行わない
  プリンターでエラー発生時は、電源のオフを行いません。
- オン要求後、自動で電源をオフにする
  電源のオンを要求した後、［待ち時間］に設定された時間が経過すると、プリンターの電源をオフにします。

電源制御機能の詳細については、LANアダプター（型番：PR-NP-03TR2）の取扱説明書も参照してください。

［印刷履歴］シート

印刷履歴に関する設定を行います。印刷履歴機能を持たないLANボードではこのシートは表示されません。

- 印刷履歴を作成する
  チェックすると最大50までのジョブの情報を記録します。
- 印刷履歴をプリンタに出力する
  チェックすると印刷履歴の記録ジョブ数が50になると印刷履歴を印刷します。チェックを外すと印刷を行わず古いジョブの記録から上書きされます。

チェック

印刷履歴はプリンターの電源切断時、またはリセット時（LANアダプターご使用の場合はその電源切断時）にすべてクリアされ、内部に保持されません。

IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。設定を［記録］から［記録しない］に変更した場合、プリンターまたはLANアダプターが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

［通信設定］シート

通信に関する設定を行います。プリンターがイーサネットで接続されている場合と無線で接続されている場合では表示内容が異なります。

■　イーサネットで接続されている場合

通信速度、通信方式の設定を行います。

- 自動設定
  10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。また、通信方式も自動で選択されます。
- マニュアルで設定する
  以下の項目をマニュアルで設定できます。
  - 通信速度
    100BASE-TX：100BASE-TX固定の接続設定になります。
    10BASE-T：　10BASE-T固定の接続設定になります。
  - 通信方式
    全二重（Full Duplex）：パケットの送受信を同時に行うことができます。
    半二重（Half Duplex）：パケットの送受信をそれぞれ別々に行うことができます。

■　無線で接続されている場合

ネットワークに関する設定を行います。

- ネットワーク名
  接続したいアクセスポイントやコンピューターに認証機能として設定しているネットワーク名（ESS-ID）と同じ名前を設定します。
- ネットワークタイプ
  以下のネットワークタイプから選択します。
  - ピア・ツー・ピアグループ（あるいはアドホック）
    無線LANカードを取り付けたコンピューターと無線LANプリンターを直接、無線接続します。プリンターのLANボードの設定によって、「ピア・ツー・ピア グループ」または「アドホック」の表示が異なります。

> **チェック**
>
> アドホックタイプでご使用の場合は、無線LANボード（型番 PR-WLX-13）のセットアップガイドを参照してください。
>
> ［アドホック］は、無線通信に使用するチャンネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。アドホック設定時は、使用するチャンネルバンドが「チャンネル1」固定になります。

  - レジデンシャル・ゲートウェイ
    NEC無線LANアクセスポイント（型番 PK-WL002H）経由でネットワークに無線接続します。
  - アクセスポイント
    無線LANアクセスポイント経由でネットワークに無線接続します。以下の項目は、NEC無線LANアクセスポイントN（型番 PK-WL003）、無線LANアクセスポイントE（型番 PK-WL005）、無線LANアクセスポイントS（型番 PK-WL007）または、無線LANアクセスポイントEX（型番 PK-WL010）と無線LANプリンターを接続する場合に、アクセスポイントの設定に合わせた設定を行います。その他のアクセスポイントと接続する場合は変更の必要はありませんので、初期値のままご使用ください。

項　目	説　明
RTS/CTS媒体予約	チェックを付けることでRTS/CTS媒体予約を使用します。 • 使用しない：CSMA/CA機構で無線メッセージの衝突検出と再送を行います。 • 使用する：送信メッセージが長い場合、アクセスポイントがRTSを受信するとCTSを無線端末に送信し、RTSを送信した無線LANボードが転送を完了するまで他の無線端末を待たせます。
干渉に関する強化	ネットワーク内で使用している電子レンジなどとの干渉により、無線ネットワークの性能が落ちている場合にチェックします。
アクセスポイント間の距離	無線LANボードのローミング感度を設定します。「長」から「短」になるほどローミングしやすくなります。 無線ネットワーク環境では、通常、複数のアクセスポイントの設置が密集してくると「長」から「短」の設定になります。無線ネットワーク環境で一致しない値を使うと無線通信性能に著しく影響するおそれがあります。

- データ保護
  チェックすると、WEP（Wired Equivalent Privacy）データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは次のように使用します。
  - キー 1から4の暗号キーは、無線LANボードが受信する無線メッセージを複合します。
  - キー 1から4の中から選択された1つの暗号キーは、無線LANボードが送信する無線メッセージを暗号化します。選択された暗号キーは、必ず設定する必要があります。

［暗号キー］は、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、無線LANボードにデータを送信するときに使用する暗号キーと同じものを設定します。
使用できる文字は、［英数字を使用］を選択時は、半角英数字と文字記号（「＊」アスタリスクを除く）です。［16進数を使用］を選択時は、「0～9」、「A～F」です。
暗号キーの文字数は、5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数でのみ設定することができます。

［情報］シート

プリンターの構成情報を以下の項目で文字とイラストを使って表示します。プリンターと双方向通信ができず、プリンターの情報が取得できないときはこのシートは表示されません。

- モデル名
  プリンターのモデル名です。
- プリンタの構成
  プリンターに装着されているオプションなどの情報です。
- プリンタ言語
  プリンターで使用可能なプリンターの言語を一覧します。

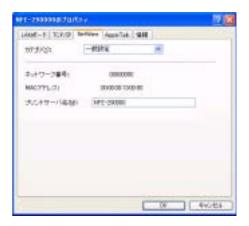
［NetWare］シート

NetWareネットワーク環境で印刷する場合の設定をします。［カテゴリ］の設定によってシートの表示が切り替わります。

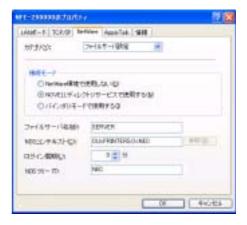
NetWareプロトコルを持たないLANボードではこのシートは表示されません。

■ 一般設定

［一般設定］を選ぶと、以下のような表示や設定ができます。

- ネットワーク番号
  NetWareネットワーク番号を示します。
- MACアドレス
  LANボードのMACアドレスを示します。
- プリントサーバ名
  NetWareで使用するプリントサーバー名を設定します。

■ ファイルサーバ設定

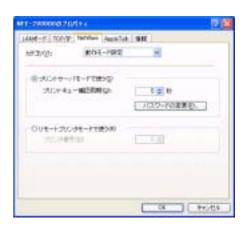
［ファイルサーバ設定］を選択すると、以下のような設定ができます。

- 接続モード
  NetWareサーバーへの接続モードを指定します。
  - NetWare環境で使用しない
    NetWareプリントサービスを使用しないとき選択します。
  - NOVELLディィレクトリサービスで使用する
    NetWare 4.1以降のNDSモードで接続するときに使用します。
  - バインダリモードで使用する
    NetWare 3.1以降で使用できるモードです。

- ファイルサーバ名
  プリントサーバーが定義されているファイルサーバー名を指定します。
- NDSコンテキスト
  NDSモードで接続するときプリントサーバーが定義されているコンテキストを入力します。
- ［参照］
  NDSコンテキスト情報を入力するときに利用します。クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。このボタンは、ご使用のコンピューターにNovellのNetWareクライアントソフトウエアがインストールされていることで有効になります。また、NetWareサーバーにログインしていることが必要です。

- コンテキスト
  現在選択されているコンテキストを表示します。
- コンテキスト選択
  ディレクトリツリーを表示しコンテキストを選択します。
- ログイン周期
  ファイルサーバーとの接続が切れたときに再ログインする周期を設定します。
- NDSツリー
  NDSツリー名を設定します。NDSコンテキストを［参照］で設定した場合、参照したツリーの名前が［NDSツリー］に設定されます。

■ **動作モード設定**

NetWareプリントサービスのモードを指定します。

- プリントサーバモードで使う
  プリントキューの印刷ジョブを確認する周期を設定できます。また、［パスワードの変更］をクリックすると以下のダイアログボックスが表示され、NetWareのファイルサーバーにログインするためのパスワードの設定ができます。
- リモートプリンタモードで使う
  リモートプリンターの番号を選択できます。

［メール通知］シート

トナー残少をメールで通知する設定を行います。

- トナー残少をメールで通知する
  この項目にチェックするとプリンターが「トナー残少」となった場合、設定されたアドレスへメールが送信されます。

> チェック
>
> 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバのIPアドレス
  メールサーバーのIPアドレスを設定します。
- To：
  メールの送信先アドレスを設定します。

> チェック
>
> メールのSubjectは以下で固定です。
> Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc：
  メールの配付先アドレスを設定します。
- From：
  メールの送信元アドレスを設定します。仮のアドレスが使用できますが、必ず「@（アットマーク）」付きの形式で入力してください。
- 本文
  メールの本文を記述します。使用可能な文字は半角文字のうち、「；(セミコロン)」を除いたものです。

無線LANプリンタ導入ウィザード

添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると無線LANボードを簡単に設定することができます。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000または、Windows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターに IP アドレスを設定する場合は、プリンターに IP アドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。
- 800×600ピクセル以上の解像度、High Color（16ビット色）以上を推奨します。

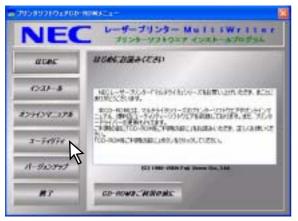
ここではWindows XP 日本語版を例にとって、無線LANプリンタ導入ウィザードの起動方法までを説明します。

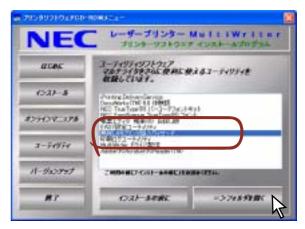
❶ **Windows XPを起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **［ユーティリティ］をクリックする。**

❹ **［無線LANプリンタ導入ウィザード］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。**

プリンターソフトウエアCD-ROM内の［Wireless］フォルダーが開きます。

❺ **［SetupWiz.EXE］アイコンをダブルクリックする。**

［無線LANプリンタ導入ウィザード］が起動します。

❻ **［次へ］をクリックする。**

［設定方法の選択］が表示されます。

設定方法の選択

- 初期設定 ....プリンターが出荷時の状態の場合または無線LANボード／アダプターの設定を初期化してから再度設定したい場合には、こちらを選択してください。
- 設定変更 ....パソコン・プリンター間の通信が可能な状態から無線LANボード／アダプターの設定を変更したい場合には、こちらを選択してください。
- 通信確認 ....設定後の通信確認のために、現在のパソコン設定で通信可能なプリンターを表示確認する場合には、こちらを選択してください。

以降の手順については、無線LANプリンタ導入ウィザードに従って設定を行ってください。

WWWブラウザー

プリンターをネットワーク環境で利用するための設定を汎用のWWWブラウザーで実行する方法について説明します。

重要

LANインターフェースの設定項目は、プリンターや無線LANボード/LANアダプターの種類によって異なります。

WWWブラウザーの起動

LANインターフェースに設定されたIPアドレスをWWWブラウザーのURL入力欄に入力することでLANインターフェースのページを開くことができます。

```
http://ddd.ddd.ddd.ddd/
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANインターフェースのIPアドレスです。

（実行例）

```
http://123.123.123.123/
```

重要

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は以下のことにご注意ください。

- ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシーサーバーを使用しない設定にしてください。
- プリンターとホストコンピューターがルーターなどを介さないで接続された環境で行ってください。

ホストコンピューターの設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

LANインターフェースとの接続に成功すると右のような画面が開きます。

WWWブラウザーでは以下の情報を設定または参照することができます。

- プリンタのステータス
- プリンタの情報
- 印刷履歴
- LANの設定情報
- LANの管理者設定画面

LANの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザーを使用する必要があります。Internet Explorer 3.X以降またはNetscape Navigator 3.X以降などのフレーム対応ブラウザーをご使用ください。

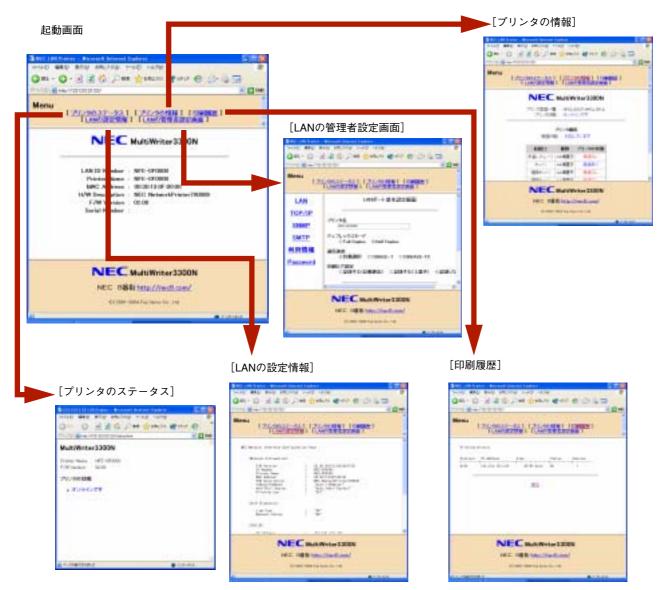
画面の構成

起動画面

［プリンタの情報］

［LANの管理者設定画面］

［LANの設定情報］

［印刷履歴］

［プリンタのステータス］

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

プリンタのステータス

［プリンタのステータス］画面では、プリンターの状態が表示されます。
この画面は起動画面とは別の新規ブラウザーとして起動されます。

チェック

- 状態表示の周期は変更できません。
- プリンター名は［LANの管理者設定画面］で変更することができます。

- Printer Name
  LANインターフェースに登録されたプリンター名を示します。
- F/W Version
  LANインターフェースのファームウェアのバージョンを示します。
- プリンタの状態
  30秒周期にプリンターの状態を監視し、状態が自動的に更新されます。

プリンタの情報

［プリンタの情報］画面では、プリンターの状態、構成情報が表示されます。

- プリンタ言語一覧
  プリンターがサポートしている処理言語を一覧表示します。
- プリンタ状態
  プリンターの情報画面を開いたときのプリンターの状態が表示されます。

> ✔チェック
>
> ステータスはWWWブラウザーの表示を更新するまで変わりません。

- プリンタ構成
  プリンターの給紙ユニット情報、用紙サイズ、および用紙の有無が表示されます。

印刷履歴

［印刷履歴］画面では、LANインターフェース経由で印刷した印刷履歴が表示されます。

> ✔チェック
>
> - プリンターの印刷履歴を表示する場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時の設定では［記録しない］になっています。
> - 印刷履歴を記録するための設定変更は、［LANの管理者設定画面］で行います。

- Protocol：　印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- IP Address：　ホストコンピューターのアドレスです。
- Size ：　プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Satus：　通信結果を示します。
- Session：　プリンターが受けている印刷リクエストの数を示します。

LANの設定情報

［LANの設定情報］画面では、LANインターフェースに設定されている登録情報一覧を参照することができます。

この画面は、コンフィグレーションページより得られる印刷出力情報を画面に表示したものです。

LANの管理者設定画面

［LANの管理者設定画面］では、LANインターフェースの設定確認、設定変更を行うことができます。

チェック

- パスワードの変更に関してはPassword設定画面を参照してください。
- LANインターフェース出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。
- パスワードを忘れた場合は、LAN インターフェースの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LANインターフェースの初期化については、「ネットワーク設定の初期化」（211ページ） を参照してください。

設定の登録は大きく分かれた個々のブロック単位で行います。設定変更後に［設定］を押して登録を行ってください。

設定項目は大きく次の6つに分かれています。

- LAN
  ［LANポート基本設定画面］が表示され、LANインターフェース固有の基本設定を行います。
- TCP/IP
  ［TCP/IP設定画面］が表示され、IPアドレス設定など、ネットワーク接続に必要な設定を行います。
- SNMP
  ［SNMP設定画面］が表示され、SNMP管理プロトコルを使用する場合に、必要な設定を行います。
- SMTP
  ［SMTP設定画面］が表示され、レーザープリンターのトナー残量が少なくなった場合に電子メールを送信する設定を行います。
- 利用情報
  ［利用情報 設定画面］が表示され、利用情報の設定を行います。
- Password
  ［Password設定画面］が表示され、設定を変更するときに入力するパスワードの変更が行えます。

LANポート基本設定画面

［LANポート基本設定画面］では、LANインターフェースのプリンター名や通信速度などの基本的な設定を行います。

- プリンタ名
  LANインターフェース固有の名前を登録することができます。
  登録可能な文字列は半角大文字の英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- デュプレックスモード
  スイッチングハブ接続時のパケットの送受信設定を行います。
  - Full Duplex（全二重通信）
    パケットの送受信を同時に行うことができます。
  - Half Duplex（半二重通信）
    パケットの送受信をそれぞれ別々に実行します。

チェック

「通信速度」で「自動選択」が選ばれているときはデュプレックスモードの設定は無効となり自動選択になります。

- 通信速度
  LANインターフェースの通信速度の設定を行います。
  - 自動選択
    10BASE-Tまたは100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。本設定選択時は、デュプレックスモードも自動判別し、決定します。
  - 10BASE-T
    10BASE-T固定の接続設定になります。
  - 100BASE-TX
    100BASE-TX固定の接続設定になります。

> **チェック**
>
> 10BASE-Tまたは100BASE-TX選択時は、デュプレックスモードの設定が有効になります。

- 印刷ログ設定
  LANインターフェース経由の印刷履歴を記録するための設定を行います。
  - 記録する（自動排出）
    印刷履歴を記録するとともに、最大登録ジョブ数になると、自動的に印刷履歴を印刷出力します。
    最大登録ジョブ数：50
  - 記録する（上書き）
    印刷履歴を記録するとともに最大登録ジョブ数を超えて印刷すると、一番古いジョブから削除（上書き）されます。
  - 記録しない
    印刷履歴は記録されません。

> **チェック**
>
> - 印刷履歴はプリンターの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
> - IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。
> - 設定を［記録する］から［記録しない］に変更した場合、LANインターフェースが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

- Password
  パスワードを入力します。

無線LANボード（PR-WLX-13）を取り付けている場合は、以下が表示されます。

- プリンタ名
  LANインターフェース固有の名前を登録することができます。
- ネットワーク名
  接続したいアクセスポイントやコンピューターに認証機能として設定しているネットワーク名（ESS-ID）と同じ名前を設定します。
- ネットワークタイプ
  以下のネットワークタイプから設定します。
  - ピア・ツー・ピア グループ（あるいはアドホック）
  - レジデンシャル・ゲートウェイ
  - アクセスポイント

  詳しくは、無線LANボードに添付のセットアップガイドをご覧ください。
- アクセスポイント間の距離
  無線LANボードのローミング感度を設定します。「長」から「短」になるとローミングしやすくなります。
- RTS/CTS媒体予約
  この項目をチェックすると、RTS/CTS媒体予約を使用します。

- 干渉に関する強化
  ネットワーク内で使用している電子レンジなどの干渉により、無線ネットワークの性能が落ちている場合にチェックします。
- 暗号化
  WEP（Wired Equivalent Privacy）データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。最大4つまで設定できる暗号キーは、LANプリンターが受信する無線メッセージを復号するために使用されます。詳しくは無線LANボードに添付のセットアップガイドをご覧ください。
- 印刷ログ設定
  無線LANボード経由の印刷履歴を記録するための設定を行います。
- Password
  パスワードを入力します。

無線LAN設定については､｢ユーティリティーによるネットワークの設定｣の｢PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ｣の｢■ 無線で接続されている場合｣（117ページ）を併せてご覧ください。

TCP/IP設定画面

［TCP/IP設定画面］では、TCP/IPに関する設定を行います。

- DHCP
  LANインターフェースのIPアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する機能を使用するかしないかを設定します。［使用する］選択時にDHCPが有効となります。DHCPの詳細については｢DHCPの設定｣（194ページ）を参照してください。
- IPアドレス
  LANインターフェースのIPアドレスを設定します。

重要

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は、次のことに注意してください。

- ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシーサーバーを使用しない設定にしてください。
- プリンターとホストコンピューターがルーターなどを介さないで接続された環境で行ってください。
- 異なるIPアドレスを設定すると応答が返らなくなります。一度、WWWブラウザーを閉じて正しいIPアドレスをURLに指定してください。

- サブネットマスク
  LANインターフェースのサブネットマスクを設定します。

- ゲートウェイ
  ゲートウェイアドレスを設定します。

チェック

- ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能、電子メール配信機能およびルーターを経由した印刷を行う場合に必要です。
- 使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

- FTPタイムアウト
  FTPログイン時のタイムアウト時間を設定します。

  設定範囲　：5～60（分）
  初期値　：10（分）

- 最大セッション数
  TCP/IPの最大接続数を設定します。
  この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。

  設定範囲　：1～64
  初期値　：64

- 通信タイムアウト
  TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。

  設定範囲　：30～7200（秒）
  初期値　：120（秒）

- AutoIp設定（PING）
  UNIXコマンドによるIPアドレス設定時にPINGによるIPアドレス設定を許可するかしないかを設定します。
  ［設定する］選択時にPINGによる設定変更が可能です。

チェック

IPアドレス設定後は、AutoIp設定を「設定しない」にしてください。

- KeepAlive
  ［通信タイムアウト］で設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにキープアライブパケットを送信するかしないかを設定します。
  キープアライブパケット送信時にホストコンピューターから対応がある場合は、TCP/IP接続が維持されます。
  ［使用する］選択時にキープアライブパケットが送信されます。

- アクセス制限
  IPアドレスによるアクセス制限機能を使用するか、しないかを設定します。詳しくは「アクセス制限」（207ページ）を参照してください。

- アクセス制限1
  アクセス制限1の各項目を設定します。項目は以下の4項目で構成されています。

  ー 有効／無効設定
    アクセス制限1のパラメーターの有効／無効を設定する。
  ー アクセス許可／拒否設定
    アクセス制限1のIPアドレス／ネットマスクにマッチしたパケットの取り扱いを設定する。
  ー アクセス制限を行うIPアドレス
    アクセス制限を行うIPアドレスを設定します。
    設定範囲　：各オクテットは0～255
    初期値　：0.0.0.0
  ー アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスク
    アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスクを設定する。
    設定範囲　：各オクテットは0～255
    初期値　：0.0.0.0

- アクセス制限2～5
  各パラメーター、入力条件はアクセス制限１と同じです。

- Password
  パスワードを入力します。

SNMP設定画面

- 認証されたコミュニティ名
  Get Request、Set Requestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。
  コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。
- Trapの設定
  Trap送信先のTrapマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。
  それぞれのTrapマネージャに対し、以下の設定が必要です。
  ［使用する］選択時に有効となります。
  - IPアドレス
    Trap送信するホストコンピューターのIPアドレスを設定します。
  - コミュニティ名
    ホストコンピューターがTrapを受け付けるコミュニティ名を設定します。

> ✔チェック
>
> Trap送信先ホストコンピューターのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインターフェースのネットワークアドレスと異なる場合はゲートウェイアドレスの設定が必要です。
> TCP/IP設定の［ゲートウェイアドレス］欄でゲートウェイアドレスを設定してください。

SMTP設定画面

［SMTP］設定画面では、プリンターのトナー残量が少なくなると、電子メールを送信して通知します。

- トナーの残量が少ないとき、メールで通知
  プリンターのトナーの残量が少ない場合に電子メールを送信するかしないかを設定します。［する］を選択している場合に、有効となります。

> チェック
>
> - トナーの残量が少なくなった初期の状態において、プリンター側のセンサーの状況により、数回電子メールが送信される可能性があります。
> - 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバーのIPアドレス
  メールサーバーのIPアドレスを設定します。

> チェック
>
> メールサーバーのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインターフェースのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
>
> TCP/IP設定画面の［ゲートウェイアドレス］ボックスでゲートウェイアドレスを設定してください。

- To:のメールアドレス
  電子メール送信先のメールアドレスを入力します。

> チェック
>
> メールのSubjectは以下で固定です。
>
> Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc:のメールアドレス
  電子メール送信先の写しが必要な場合にメールアドレスを入力します。
- From:のメールアドレス
  電子メール送信元のメールアドレスを変更します。初期値として「PRN@domain-name」が設定されています。必要に応じて、送信元アドレスの変更を行ってください。

> チェック
>
> From：送信元アドレスを入力する場合
>
> 「ユーザー名@ドメイン名」の形式で必ず入力してください。
>
> 「@」がない場合や「@」の前後に文字列がない場合は入力エラーとなり、設定変更されません。

- メール本文
  電子メールの本文に記載するコメントを入力します。3行まで入力できます。各行ともに最大80文字（80バイト）、計240文字の入力可能です。

> チェック
>
> 本文として使用可能な文字列は、ASCIIコード：0020h～0007Eh（16進）の範囲に限ります。ただし、以下の文字コードは使用することができません。
>
> - “(0022h)
> - &（0026h）
> - ；(003Bh)
> - <（003Ch）
> - >（003Eh）

- Password
  パスワードを入力します。

利用情報 設定画面

- 利用情報記録
  利用情報機能を使用するか、しないかを設定します。

- 利用情報サーバーのIPアドレス
  FTPサーバーのIPアドレスを入力します。
  初期値　　　　　　：0.0.0.0
  初期値の場合、利用情報はプリンターからコンピューターへ送信されず、印刷出力されます。

- ログインユーザー名
  初期値：　　　　　anonymous
  使用できる文字：　半角英数、アンダーバー「_」、およびハイフン「-」。32文字まで有効

- ログインパスワード
  初期値：　　　　　PRN@domain-name
  使用できる文字：　文字コード（0x20-0x7F）、32文字まで有効

- サーバーのポート番号
  初期値：　　　　　21
  設定範囲：　　　　0～65535

- 利用情報ファイル名
  初期値：　　　　　prXXXXXX.csv（LANインターフェースの場合）
  　　　　　　　　　wlXXXXXX.csv（無線LANボードの場合）
  使用できる文字：　半角英数、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、ドット（0x2e）「.」、64文字まで有効。
  　　　　　　　　　ファイル名は、ディレクトリー指定（'/'）ができます。ファイル名は変更できません。ファイル名が存在しない場合は、エラーとなります。

- Password
  パスワードを入力します。

Password設定画面

設定変更するときに入力するパスワードの変更方法を説明します。

画面の指示に従い、以下の3つのパスワードをすべて入力して新しいパスワードの登録を行ってください。

- 現在のパスワード入力
- 新しいパスワード入力
- 新しいパスワード再入力

出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

チェック

- パスワードとして使用可能な文字列は半角英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- 英字の大文字と小文字は区別されます。
- WWWブラウザーからのパスワード変更によりTelnetのログインに必要なパスワードも同時に変更されます。Telnetによるパスワード設定に関しては「Telnet」を参照してください。
- 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LANインターフェースの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るので、再設定が必要です。LANインターフェースの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」(211ページ)を参照してください。

Telnet

ネットワーク環境で利用するための設定をTelnetで変更する方法について説明します。Telnetで接続（ログイン）すると以下の情報を設定または参照することができます。

重要

LANインターフェースの設定項目は、プリンターや無線LANボード/LANアダプターの種類によって異なります。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス
- アクセス制限
- SNMP
- パスワード
- LANボード管理情報

チェック

- Telnetでログインする際はパスワードの入力が必要です。
- パスワードの設定に関しては「パスワード」（142ページ）を参照してください。
- Telnetでログインできるユーザーは1人です。2人以上で同時にログインすると最初にログインしたユーザーのみ受け付けます。

Telnet起動画面

Telnetを使用して設定を変更することができます。

❶ **ログインを希望するLANインターフェースのIPアドレスを指定して、「Enter」キーを押す。**

```
Telnet ddd.ddd.ddd.ddd
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANインターフェースのIPアドレスです。

（実行例）

```
Telnet 11.22.33.44
```

チェック

LANインターフェースのIPアドレスがホストコンピューターと異なるネットワークアドレスの場合、ホストコンピューターのルーティングテーブルにルート・パスを一時的に設定する必要があります。

設定に関しては、ホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

❷ **パスワードを入力する。**

```
Connected to:11.22.33.44

Password:
```

チェック

- パスワードに関しては「パスワード」（142 ページ）を参照してください。
- パスワード入力を間違うと、Telnetからログアウトされます。
- 出荷時のパスワードは「NECPRADMIN」です。

セットアップのメインメニューが表示されます。

```
Main Menu
---------
1.IP Address
2.Subnet Mask
3.Gateway Address
4.Access Limitation setting
---------
5.SNMP setting
---------
6.Password
7.Management
---------
S.Save (Disconnect and Save parameters)
Q.Quit
Type Any No.>
```

❸ **各メニューにはサブメニューがあります。設定変更を行いたい項目の番号を［Type Any No.>］の後に入力する。**

各メニューの設定については、それぞれのページを参照してください。

すべての内容の変更または内容の確認が終わったら、Telnetをログアウトします。

❹ **［Type Any No.>］の後に「S」か「Q」を入力し、「Enter」キーを押してログアウトする。**

「S」入力：設定変更した内容をLANインターフェースに登録してTelnetをログアウトします。

「Q」入力：設定変更した内容をLANインターフェースに登録せずにTelnetをログアウトします。この場合、Telnetログイン前の設定が保持されます。

チェック

- 印刷データ受信中に「S」入力により設定変更を行うと、受信済みのすべての印刷処理終了後に設定変更が行われます。
- 設定変更時はLANインターフェースのリセットが実行されます。リセット処理中はTelnetによるログインはできません。

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

IPアドレス

LANインターフェースのIPアドレスを設定します。

❶ **メインメニューで「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current IP Address: 11.22.33.44

DHCP: OFF
1.Change IP Address
2.DHCP On/Off
3.Exit

Type Any No.>
```

❷ **直接IPアドレスを設定変更する場合は「1」を、DHCP設定を変更する場合は「2」を入力し、「Enter」キーを押す。**

DHCPの詳細については「より便利なネットワーク機能」の「DHCP」（194ページ）を参照してください。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

サブネットマスク

LANインターフェースのサブネットマスクを設定します。

❶ **メインメニューで「2」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current Subnet Mask: 255.0.0.0

1.Change
2.Exit

Type Any No.>
```

❷ **「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

❸ **変更するサブネットマスクを入力する。**

❹ **設定内容を保存してログアウトする。**

ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスを設定します。

❶ **メインメニューで「3」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current Gateway Address: 0.0.0.0

1. Change
2. Exit

Type Any No.>
```

❷ **「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

❸ **変更するゲートウェイアドレスを入力する。**

❹ **設定内容を保存してログアウトする。**

> チェック
>
> ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能、電子メール配信機能、およびルーターを経由した印刷を行う場合に必要です。
>
> 使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

アクセス制限

アクセス制限を設定します。IPアドレスによるアクセス制限には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってアクセス制限を設定してください。詳しくは、「アクセス制限」(207ページ) を参照してください。

> チェック
>
> アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

アクセス制限のOn／Off
- IP アドレスによるアクセス制限機能の On/Off 設定を行えます。

コミュニティ名の設定
- アクセス制限1～5の各項目の設定を行えます。項目は以下の4項目で構成されます。
  - 有効／無効設定
  - アクセス許可／拒否設定
  - アクセス制限を行うIPアドレス
  - アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスク

❶ **メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押す。**

次のように表示されます。

```
Access Limitaion Setting
Current Access Limitaion: Off

1. Access Limitation On/Off
2. 1st Level Access Limitation
3. 2nd Level Access Limitation
4. 3rd Level Access Limitation
5. 4th Level Access Limitation
6. 5th Level Access Limitation
7. Exit

Type Any No.>
```

❷ **アクセス制限On／Offの設定の場合は「1」を、アクセス制限1～5の設定の場合は「2」～「6」を入力し、「Enter」キーを押す。**

設定についてはそれぞれのページを参照してください。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

アクセス制限On／Off

[1. Access Limitation On/Off] を選択した場合は、以下のように表示されます。（上段に現在の設定が表示されます。）

```
Current Access Limitaion: Off

1. On
2. Off

Type Any No.>
```

アクセス制限を使用する(Onにする)場合、「1」を入力し、「Enter」キーを押す。アクセス制限を使用しない(Offにする)場合は、「2」を入力し、「Enter」キーを押す。

アクセス制限のメニュー画面に戻ります。

アクセス制限の設定

［2. 1st Level Access Limitation］を選択した場合は、以下のように表示されます。（上段に現在の設定が表示されます。）

```
1st Level Access Limitation

Access Limitation: Invalid
Access: Accept
Current IP Address:
XXX.XXX.XXX.XXX
Current Net Mask:
XXX.XXX.XXX.XXX
1.Access Limitation Valid/
Invalid
2.Access Accept/Reject
3.Change IP Address
4.Change Net Mask
5.Exit

Type Any No.>
```

アクセス制限2～5の各パラメータ、入力条件はアクセス制限1と同じです。ここでは、アクセス制限1の設定を説明します。

❶ **アクセス制限１を有効にする場合、［1. Access Limitation Valid/Invalid］の設定を［Valid］にする。**

❷ **アクセス制限１の IP アドレス／ネットマスクにマッチしたパケットを［Accept］（許可）または［Reject］（拒否）のいずれで扱うか設定する。**

「2」、「Enter」キーを押して、Accept／Rejectを選択してください。

❸ **アクセス制限を行うIPアドレスを設定する。**

「3」、「Enter」キーを押して、IPアドレスを入力してください。

❹ **アクセス制限を行う IP アドレスのネットマスクを設定する。**

「4」、「Enter」キーを押して、ネットマスクを入力してください。

❺ **すべての設定が完了したら、「5」、「Enter」キーを押して、アクセス制限のメニュー画面に戻る。**

SNMP

SNMPの通信には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってSNMPを設定してください。

- SNMP Trapの設定
  SNMP Trapマネージャーの登録を最大4つまで行えます。
- コミュニティ名の設定
  GetRequest、SetRequestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には最大5つまで異なる名称を登録できます。

❶ **メインメニューで「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
SNMP Setting

1.1st SNMP Trap Manager
2.2nd SNMP Trap Manager
3.3rd SNMP Trap Manager
4.4th SNMP Trap Manager
5.Authentic Community
6.Exit

Type Any No.>
```

チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

❷ **SNMP Trapの設定の場合は、「1」～「4」を、コミュニティ名の設定の場合は「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

設定についてはそれぞれのページを参照してください。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

SNMP Trap

［1. 1st SNMP Trap Manager］～［4. 4th SNMP Trap Manager］を選択した場合は、以下のように表示されます。

```
1. 1st SNMP Trap Manager

Trap: Off
Current IP Address: 0.0.0.0
Current Community Name: public

1.Trap On/Off
2.Change IP Address
3.Change Community Name
4.Exit

Type Any No.>
```

上段に現在の設定が表示されます。

❶ **SNMP Trapを使用する場合、［1. Trap On/Off］の設定を［On］にする。**

❷ **Trap送信先ホストのIPアドレスを設定する。**

「2」、「Enter」キーを押して、IPアドレスを入力してください。

❸ Trap送信のコミュニティ名を設定する。

「3」、「Enter」キーを押して、コミュニティ名を入力してください。

チェック

Trap送信先ホストのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインターフェースのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。「ゲートウェイアドレス」を参照してゲートウェイアドレスを設定してください。

コミュニティ名の設定

[5. Authentic Community] を選択した場合は、以下のように表示されます。

```
Authentic Community

1. Authentic Community1: public
2. Authentic Community2: public
3. Authentic Community3: public
4. Authentic Community4: fxSystemMgr
5. Exit

Type Any No.>
```

現在登録されているコミュニティ名が右側に表示されます。
変更したいコミュニティ名の番号を選択して新しいコミュニティ名を入力してください。

パスワード

Telnetでログインする際に入力するパスワードの変更方法について説明します。LANインターフェース出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

チェック

- パスワードとして使用可能な文字列は、半角英字、数字、ハイフン 「-」、およびアンダーバー「 _ 」です。
- 英語の大文字と小文字は区別されます。
- Telnet のパスワードを変更すると、WWW ブラウザーから設定する場合に必要なパスワードも同時に変更されます。WWW ブラウザーからの設定に関しては、「WWW ブラウザー」（125ページ） を参照してください。

❶ メインメニューで［Type Any No.>］の後に「6」を入力し、「Enter」キーを押す。

❷ パスワードを入力する。

パスワードの変更時は入力ミスを防ぐために2回同じパスワードを入力します。画面の指示に従って新しいパスワードを入力してください。

チェック

- 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LANインターフェースの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LANインターフェースの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」（211ページ） を参照してください。

LANボード管理情報

Telnetにより、LANインターフェースが管理する次の情報を参照または変更することができます。

- LANインターフェース設定情報一覧
  テストページの「LANステータス」で得られる情報を画面上で参照することができます。
- 印刷履歴の確認
  LANインターフェース経由で印刷した印刷履歴を画面上で参照することができます。

チェック

- 印刷履歴の確認を行う場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時は［記録しない］に設定されています。
- 印刷履歴の設定変更はWWWブラウザー（「WWWブラウザー」（125ページ）参照）または付属のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティ（「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」（97ページ）参照）から行います。

- 画面表示ライン数の変更
  LANインターフェース設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。

メインメニューで［Type Any No.>］の後に「7」を入力し、「Enter」キーを押すと以下のように表示されます。

```
Manager Menu

1.Display Cofiguration Data
2.Display Printing Log Data
3.Change Display Line Number
4.Web Management
5.ARP
6.Exit

Type Any No.>
```

LANインターフェース設定情報一覧

［1. Display Configuration Data］を選択すると、コンフィグレーションページの情報が画面に表示されます。
表示内容は「コンフィグレーションページの印刷」（212ページ）を参照してください。

WWWブラウザーへの応答設定

［4. Web Management］を選択し、設定を［Access Enable］にするとWWWブラウザーからのLANインターフェースの設定、閲覧を許可します。
設定を［Access Disable］にすると、WWWブラウザーへの応答はなくなり、WWWブラウザーからの設定、閲覧は行えません。

ARPテーブル更新設定

［1. Request］を選択し、設定を［Current Request Setting : off］にすると、ARPテーブル更新方法が変わります。

> 通常は、［on］でご使用ください。

［2. Life TIme］により、 ARPキャッシュ時間を変更することができます。［1～1200sec］

> 通常は、デフォルトの［120］でご使用ください。

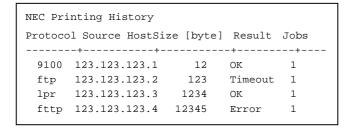
印刷履歴の確認

［2. Display Printing Log Data］を選択すると、LANインターフェース経由で印刷した印刷履歴を画面に表示します。

印刷履歴がない、印刷履歴の記録設定がされていない場合は以下のように表示されます。

```
There is no log data.
```

印刷履歴が存在する場合は以下のように表示されます。

```
NEC Printing History
Protocol Source HostSize [byte]  Result  Jobs
--------+-----------+-----------+---------+----
  9100  123.123.123.1      12    OK        1
  ftp   123.123.123.2     123    Timeout   1
  lpr   123.123.123.3    1234    OK        1
  fttp  123.123.123.4   12345    Error     1
```

- Protocol：印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- Source Host：ホストコンピューターのアドレスです。
- Size [byte]：プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Result：通信結果を示します。
- Jobs：印刷時に受信した印刷ジョブの待ち行列を示します。

チェック

- 印刷履歴はプリンターの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。

画面表示ライン数の変更

［3. Change Display Line Number］を選択すると、LANボード設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。工場出荷時の表示ライン数は［20］です。画面に現在の表示ライン数が表示されますので、新しい表示ライン数を入力してください。

UNIXコマンド

UNIXコマンドを使ってIPアドレスを設定する方法を説明します。

重要

- ここで示す方法でIPアドレスを設定すると、LANインターフェースの設定を初期化するまで同じ方法では設定できません（「ネットワーク設定の初期化」（211ページ）参照）。
  LANインターフェースの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。初期化を行う前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください（「コンフィグレーションページの印刷」（212ページ）参照）。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

ここでは、設定例としてコンピューターのIPアドレスを「123.123.123.1」、プリンターに設定するIPアドレスを「123.123.123.123」とします。

❶ プリンターの電源をOFFにし、再度電源をONにする。

❷ コマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行する。

```
>route add 11.22.33.44 <コンピューターのIPアドレス>
```

（実行例）

```
>route add 11.22.33.44 123.123.123.1
```

❸ pingコマンドを実行する。

```
>ping 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
（画面表示例）

```
Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
```

❹ arpコマンドを実行する。

```
>arp -a 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
（画面表示例）

```
Interface: 123.123.123.1
Internet Address  Physical Address  Type
11.22.33.44       00-30-13-0F-00-00 dynamic
```

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンターのMACアドレスが表示されます。複数のプリンターが接続されている場合には、その中の1つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンターの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

❺ IPアドレスをコンピューターへ登録する。

以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s ＜プリンターに設定するIPアドレス＞＜設定するプリンターのMACアドレス＞
```

（実行例）

```
>arp -s 123.123.123.123 00-30-13-0F-00-00
```

❻ pingコマンドを実行する。

```
>ping  ＜プリンターに設定するIPアドレス＞
```

（実行例）

```
>ping 123.123.123.123
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

コンフィグレーションページを印刷して、IPアドレスが正しく設定されたことを確認してください（「コンフィグレーションページの印刷」（212ページ）を参照）。

続いて他のプリンターのIPアドレスを変更する場合は、以下のコマンドを実行後、手順❸から設定を行ってください。

```
>arp -d 11.22.33.44
```

接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

ここでは、各OSへの設定について説明しています。印刷方法にはIPP、LPR、PrintAgentがあります。設定方法はOSごとに異なります。使用しているOSのページを参照してください。

重要

- PrintAgentは、インターネット印刷プロトコル（IPP）やLPRプロトコルに対応していません。IPPやLPRを使用する場合は、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（408ページ）を参照してください。
- インターネット印刷プロトコル（IPP）を使用した印刷の設定を行う場合には、プリンターの電源をONにする必要があります。

OSの設定を行った後に、ネットワークを介しての印刷がうまくいかなかったときは9章の「ネットワークで思うように印刷できないときは」（411ページ）を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

Windows XP、Windows Server 2003からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows XP、Windows Server 2003から印刷するためには、以下の4つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）................ 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP（Internet Printing Protocol）................ Windows XP、Windows Server 2003に標準で実装されているソフトウエアを使用して印刷します。
- UNIX用印刷サービス（LPR）......................... Windows XP、Windows Server 2003に標準で収録されているUNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port（LPR)..................... Windows XP、Windows Server 2003に標準で実装されているStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります「ユーティリティーによるネットワークの設定」（94ページ）、または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の「「インストールプログラム」からのインストール」（54ページ）を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタとFAX］フォルダーの［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［利用可能なポートの種類］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。**

❺ **［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

❻ **［OK］をクリックする。**

❼ **［閉じる］をクリックする。**

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

✔チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP（Internet Printing Protocol）を使用して印刷するには

Windows XPの環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

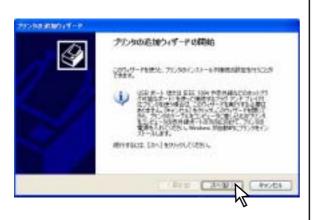
重要

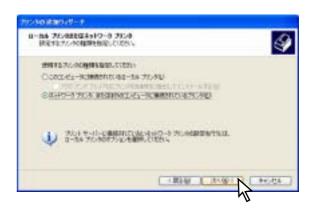
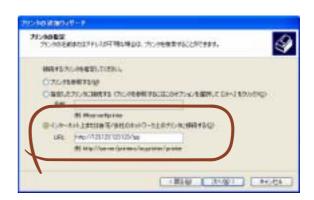
IPP（Internet Printing Protocol）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

❶ **プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

❷ **［終了］をクリックする。**

❸ **［プリンタとFAX］フォルダーの［プリンタのインストール］をクリックする。**

❹ **［次へ］をクリックする。**

❺ **［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックする。**

❻ **［インターネット上または自宅／会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択して、［URL］ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。**

重要

入力可能な形式は「http://」に限られます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合
http://123.123.123.123/ipp

❼［次へ］をクリックする。

該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示された場合は、［OK］をクリックしてください。

❽［ディスク使用］をクリックする。

❾［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK4」と入力します。

❿ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

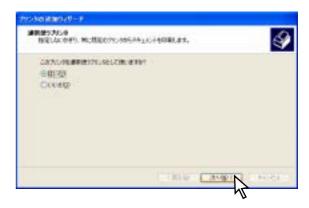
⓫［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓬［完了］をクリックする。

チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ ［プリンタと FAX］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。はじめに、UNIX用印刷サービス（LPR）を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

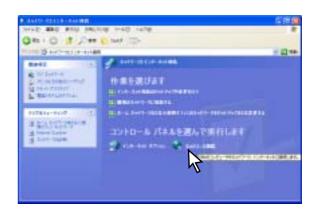
UNIX用印刷サービス（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

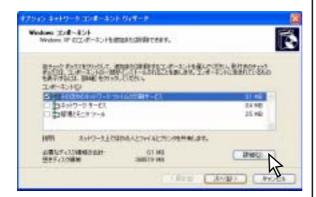
UNIX用印刷サービスのインストール

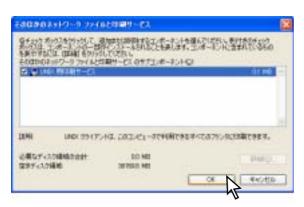
UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows XPのヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ Windows XPのCD-ROMをセットする。

❷ コントロールパネルの［ネットワークとインターネット接続］をクリックする。

❸ ［ネットワーク接続］をクリックする。

❹ ［詳細設定］メニューの［オプション ネットワーク コンポーネント］をクリックする。

❺ ［そのほかのネットワーク　ファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックする。

❻ ［UNIX用印刷サービス］をチェックして、［OK］をクリックする。

［オプション ネットワーク コンポーネントウィザード］ダイアログボックスに戻ります。

❼ ［次へ］をクリックする。

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

❷ ［終了］をクリックする。

プリンターソフトウエアを終了します。

❸ ［プリンタとFAX］フォルダーを開く。

❹ ［プリンタのインストール］をクリックする。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［このコンピュータに接続されているローカル　プリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して［次へ］をクリックする。

❼ ［新しいポートの作成］をクリックし、［LPR Port］を選択する。

［LPR Port］が表示されない場合は、［UNIX用印刷サービス］をインストールしてください。

❽ ［次へ］をクリックする。

❾ ［LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、［OK］をクリックする。

❿ ［ディスク使用］をクリックする。

⓫ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK4」と入力します。

⓬ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

⓭ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓮ ［完了］をクリックする。

チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ **［プリンタと FAX］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。**

以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷するには

Windows XPの環境でLPRを使用してプリンタードライバーのインストール手順から印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

- 従量課金回線でご使用の場合、「SNMPステータスを有効にする」チェックを外してください。チェックを外さないと異常に課金される場合があります。
- Standard TCP/IP Port（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、双方向通信を無効にしてください。

❶ **プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

❷ **［終了］をクリックする。**

❸ **［プリンタとFAX］フォルダーを開く。**

❹ **［プリンタのインストール］をクリックする。**

❺ **［次へ」をクリックする。**

❻ **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックする。**

❼ **［新しいポートの作成］、［Standard TCP/IP Port］を選び、［次へ］をクリックする。**

［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

❽ **［次へ］をクリックする。**

❾ **［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。**

チェック

DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順⓫へ進んでください。
ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順❿へ進んでください。

❿ ［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選び、［次へ］をクリックする。

⓫ 内容を確認し、［完了］をクリックする。

⓬ ［ディスク使用］をクリックする。

⓭ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK4」と入力します。

⓮ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

⓯ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⑯ ［完了］をクリックする。

✔チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは､弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ ［プリンタと FAX］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

次に次ページの「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

LPRバイトカウント機能

LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

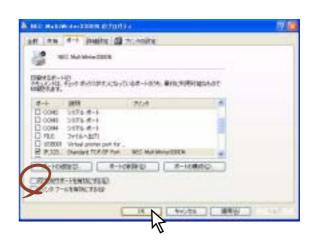
この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。
LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

❶ ［プリンタと FAX］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［ポートの構成］をクリックする。

❹ ［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして、［OK］をクリックする。

❺ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

Windows Me 日本語版

Windows Meからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定方法について説明します。Windows Meから印刷するためには、以下の2つの方法があります。

- NEC TCP/IP Printing System（PrintAgent）... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP（Internet Printing Protocol）...................... Windows　MeのCD-ROMに収録されているIPPクライアントソフトウエアを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（94ページ）、および各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing Systemを使用して印刷するには

NEC TCP/IP Printing System（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶［MultiWriter3300N のプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷［詳細］タブをクリックする。

❸［ポートの追加］をクリックする。

❹［その他］、［追加するポートの種類］で［NEC TCP/IP Printing System］を選び、［OK］をクリックする。

❺ ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❻ ［OK］をクリックする。

［MultiWriter3300Nのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。
ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

重要

ドメインネームとして入力可能な文字の最大は、127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP（Internet Printing Protocol）を使用して印刷するには

Windows Me環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

1 IPPクライアントソフトウエアのインストール

IPPクライアントソフトウエアのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ Windows MeのCD-ROMをセットする。

❷ ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

❸「Q:¥add-ons¥ipp¥wpnpins.exe」と入力し、［OK］をクリックする。

「Q」は、CD-ROMを挿入したドライブ名です。

重要

［¥add-ons¥ipp］フォルダーにある［ipp.txt］を必ずお読みください。

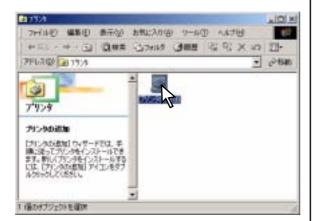
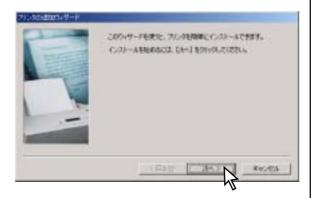
2 プリンタードライバーのインストール

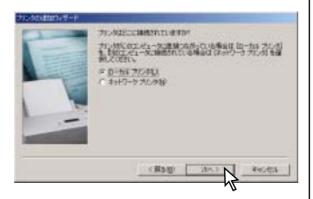
プリンターをインストールします。次の手順に従ってください。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❷ ［終了］をクリックする。

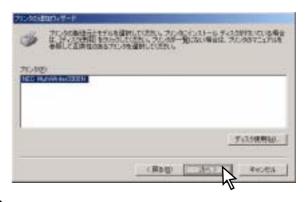
❸ ［プリンタ］フォルダーを開く。

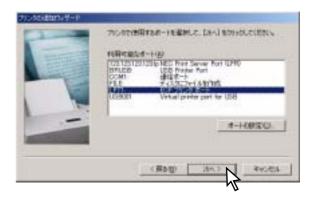
❹［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❺［次へ］をクリックする。

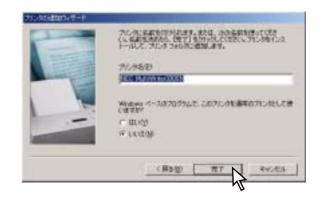
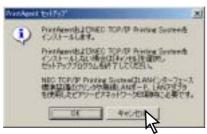
❻［ローカルプリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。

❼［ディスク使用］をクリックする。

❽［製造元ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［製造元ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK2」と入力します。

❾使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。

❿［LPT1:］を選び、［次へ］をクリックする。

次の「3 印刷先の変更」でIPPポートを作成するので、ここでは「LPT1:」を選びます。

⓫プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ ［キャンセル］をクリックする。

3 印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ ［MultiWriter3300N のプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

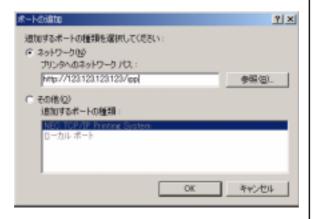
❷ ［詳細］タブをクリックする。

❸ ［ポートの追加］をクリックする。

❹ ［プリンタへのネットワーク パス］ボックスにプリンターのアドレスを入力する。

重要

入力可能な形式は「http://」に限られます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合
http://123.123.123.123/ipp

❺ ［OK］をクリックする。

この後、テストページを印刷する場合は、［MultiWriter3300Nのプロパティ］ダイアログボックスの［全般］シートで［印字テスト］をクリックしてください。テストページが印刷されます。

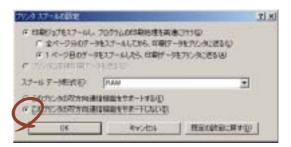
以上で設定は完了です。

次に双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ ［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［詳細］タブをクリックする。

❸ ［スプールの設定］をクリックする。

❹ ［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］を選択する。

❺ ［OK］をクリックする。

これで、双方向通信が無効になりました。

Windows 98、Windows 95 日本語版

Windows 98、Windows 95からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 98、Windows 95から印刷するためには以下の2つの方法があります。

- NEC TCP/IP Printing System（PrintAgent）...添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- NEC Internet Printing System（IPP）................プリンターに添付のCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（94ページ）、または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing Systemを使用して印刷するには

NEC TCP/IP Printing System（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ）を参照してください。以下の手順はWindows 98 日本語版で説明しています。Windows 95 日本語版の場合も同じ手順です。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［MultiWriter3300N のプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［詳細］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［その他］、［追加するポートの種類］で［NEC TCP/IP Printing System］を選び、［OK］をクリックする。**

❺［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❻［OK］をクリックする。

［MultiWriter3300Nのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

✔チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の最大は、127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System（IPP）を使用して印刷するには

Windows 98、Windows 95の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。IPPの機能は、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用します。

重要

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシーサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシーサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは［プリンタ］フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。

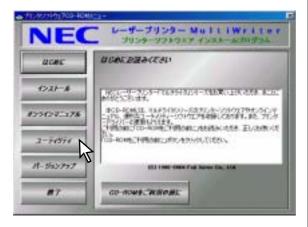
1　NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ **［ユーティリティ］をクリックする。**

❸ **「NEC Internet Printing System for Windows 98/95］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。**

重要

［¥NECIPS¥WIN98］フォルダーにある［Readme.txt］を必ずお読みください。

❹ **［Setup.exe］アイコンをダブルクリックする。**

❺ **［次へ］をクリックする。**

❻ [登録ポートのプリンタURI]ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。

ここで［登録］を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp)」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

✔チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❼ ［登録］をクリックする。

［登録ポート名のリスト］ボックスにポートが登録されます。

❽ ［次へ］をクリックする。

❾ ［開始］をクリックする。

❿ ［OK］をクリックする。

✔チェック

再起動の要求があった場合はコンピューターの再起動を行ってください。

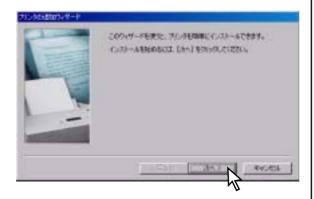
2 プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーをインストールします。次の手順に従ってください。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❷ ［終了］をクリックする。

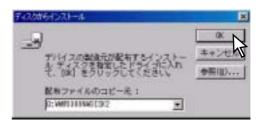
❸［プリンタ］フォルダーを開く。

❹［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❺［次へ］をクリックする。

❻［ローカルプリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。

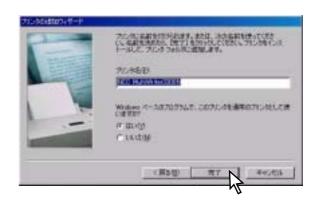
❼［ディスク使用］をクリックする。

❽［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK2」と入力します。

❾使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。

❿使用するポートを選び、［次へ］をクリックする。

⓫プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬［キャンセル］をクリックする。

この後、テストページを印刷する場合は、［MultiWriter3300Nのプロパティ］ダイアログボックスの［全般］シートで［印字テスト］をクリックしてください。テストページが印刷されます。

以上で設定は完了です。

3　印刷先の変更

NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

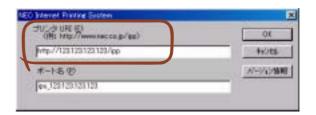
❶［MultiWriter3300N のプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷［詳細］タブをクリックする。

❸［ポートの追加］をクリックする。

❹［その他］、［追加するポートの種類］で［NEC Internet Printing System］を選択し、［OK］をクリックする。

❺［プリンタURI］ボックスにプリンターのURIを入力する。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❻［OK］をクリックする。

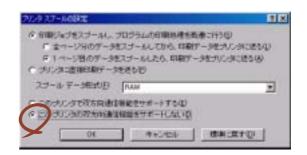
［MultiWriter3300Nのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

次に双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❸［スプールの設定］をクリックする。

❹［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］を選択する。

❺［OK］をクリックする。

これで、双方向通信が無効になりました。

Windows 2000 日本語版

Windows 2000からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 2000から印刷するためには、以下の4つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）..........添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP（Internet Printing Protocol）...........Windows 2000に標準で実装されているソフトウエアを使用して印刷します。
- UNIX用印刷サービス（LPR）....................Windows 2000に標準で収録されているUNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port（LPR）..................Windows 2000 に標準で実装されているStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」(94ページ) または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ） を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［利用可能なポートの種類］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。**

❺ ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❻ ［OK］をクリックする。

❼ ［閉じる］をクリックする。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP（Internet Printing Protocol）を使用して印刷するには

Windows 2000の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

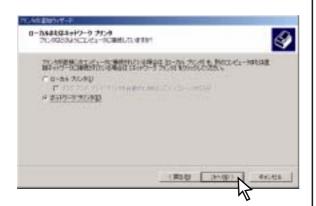
❶ プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

❷ ［終了］をクリックする。

❸ ［プリンタ］フォルダーの［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❹ ［次へ］をクリックする。

❺ ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックする。

❻ ［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択して、［URL］ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。

重要

入力可能な形式は「http://」に限られます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合
http://123.123.123.123/ipp

❼ ［次へ］をクリックする。

該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示された場合は、［OK］をクリックしてください。

❽ ［OK］をクリックする。

❾ ［ディスク使用］をクリックする。

❿ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK4」と入力します。

⓫ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

⓬ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓭ ［完了］をクリックする。

✔チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行します。

［いいえ］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

以上で設定は完了です。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ ［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。UNIX用印刷サービス（LPR）を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

まず、使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

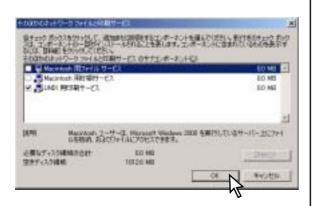
UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows 2000のヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ **コントロールパネルの［ネットワークとダイアルアップ接続］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［詳細設定］メニューの［オプション ネットワーク コンポーネント］をクリックする。**

❸ **［そのほかのネットワーク　ファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックする。**

❹ **［UNIX用印刷サービス］をチェックして、［OK］をクリックする。**

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

❷ **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］をクリックする。**

❸ **［ローカル プリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して［次へ］をクリックする。**

❹ **［新しいポートの作成］をクリックし、［LPR Port］を選択する。**

［LPR Port］が表示されない場合は、［UNIX用印刷サービス］をインストールしてください。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、［OK］をクリックする。

❼ ［ディスク使用］をクリックする。

❽ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK4」と入力します。

❾ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

❿ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓫ ［完了］をクリックする。

チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行します。

［いいえ］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ ［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷するには

Windows 2000の環境でLPRを使用して印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

- 従量課金回線でご使用の場合、［SNMPステータスを有効にする］チェックを外してください。チェックを外さないと異常に課金される場合があります。
- Standard TCP/IP Port（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

❶ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

❷ **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。**

❸ **［ローカルプリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックする。**

❹ **［新しいポートの作成］、［Standard TCP/IP Port］を選び、［次へ］をクリックする。**

［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

❺ **［次へ］をクリックする。**

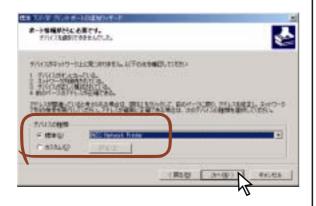
❻ **［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。**

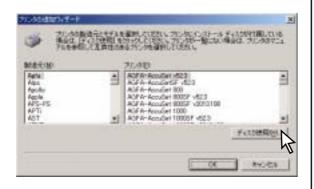
チェック

DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順❽へ進んでください。
ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順❼へ進んでください。

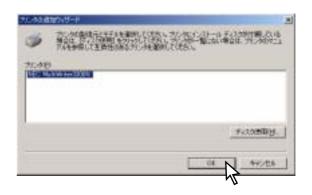
❼ ［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選び、［次へ］をクリックする。

この画面が表示されなかった場合は、次の手順に進んでください。

❽ 内容を確認し、［完了］をクリックする。

画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了してください。次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

❾ ［ディスク使用］をクリックする。

❿ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

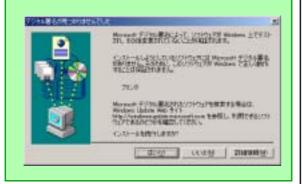
［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK4」と入力します。

⓫ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

⓬ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓭［完了］をクリックする。

✔チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。

［はい］をクリックし、インストールを続行します。

［いいえ］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

LPRバイトカウント機能

LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

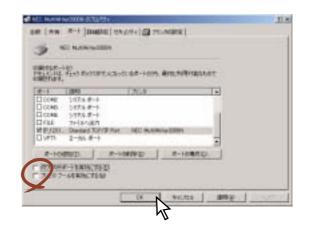
この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

❶［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷［ポート］タブをクリックする。

❸［ポートの構成］をクリックする。

❹［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして、［OK］をクリックする。

❺［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

Windows NT 4.0 日本語版

Windows NT 4.0 からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows NT 4.0から印刷するためには、以下の3つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）................ 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- NEC Internet Printing System（IPP）.......... プリンターに添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。
- Microsoft TCP/IP印刷（LPR)...................... Windows NT 4.0に標準で実装されているTCP/IP印刷サービスのLPRプロトコルを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」(94ページ) またはLANアダプターの取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（54ページ） を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［利用可能なプリンタポート］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。**

❺ ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❻ ［OK］をクリックする。

❼ ［閉じる］をクリックする。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System（IPP）を使用して印刷するには

Windows NT 4.0 日本語版の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。NEC Internet Printing Systemを使用します。

重要

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシーサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシーサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは［プリンタ］フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。

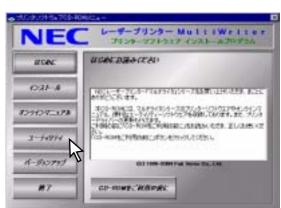
1 NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ ［ユーティリティ］をクリックする。

❸ ［NEC Internet Printing for Windows NT4.0］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。

重要

［¥NECIPS¥WINT40］フォルダーにある［Readme.txt］を必ずお読みください。

❹ ［Setup.exe］アイコンをダブルクリックする。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［登録ポートのプリンタURI］ボックスに登録するプリンターのアドレスを入力する。

ここで［登録］を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp)」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❼ ［登録］をクリックする。

❽［次へ］をクリックする。

❾［開始］をクリックする。

❿［OK］をクリックする。

2 プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーをインストールします。次の手順に従ってください。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❷［終了］をクリックする。

❸［プリンタ］フォルダーを開く。

❹［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❺［このコンピュータ］を選択して、［次へ］をクリックする。

❻ 使用するポートを選び、［次へ］をクリックする。

❼［ディスク使用］をクリックする。

❽［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK3」と入力します。

❾ **使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。**

❿ **［次へ］をクリックする。**

⓫ **必要に応じて共有設定をして、［次へ］をクリックする。**

⓬ **［完了］をクリックして、終了する。**

以上で設定は完了です。

3 印刷先の変更

NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

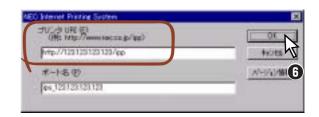
❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［利用可能なプリンタポート］で［NEC Internet Printing System］を選択し、［新しいポート］をクリックする。**

❺ **［プリンタ URI］ボックスにプリンターのIPアドレスを含むURIを入力する。**

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❻ **［OK］をクリックする。**

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用して印刷するには

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うための方法を説明します。

重要

- Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うためには、プリンターに印刷データを送るWindows NT 4.0にLPR（OS添付のMicrosoft TCP/IP印刷サービス）をインストールする必要があります。
- LPRで印刷する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

使用するコンピューターにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている場合は「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NT 4.0のヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ **コントロールパネルの［ネットワーク］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［サービス］を選択し、［追加］をクリックする。**

❸ **［ネットワークサービス］の一覧から［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックする。**

❹ **画面に表示される指示に従ってインストールを完了する。**

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

❷ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❸ ［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックする。

❹ ［ポートの追加］をクリックする。

❺ ［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックする。

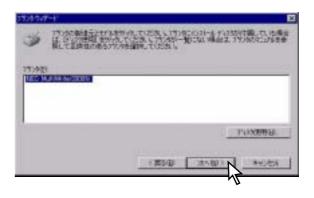
［LPR Port］が表示されない場合は、［Microsoft TCP/IP 印刷］サービスをインストールしてください。

❻ ［lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❼ ［ディスク使用］をクリックする。

❽ ［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW3300N¥DISK3」と入力します。

❾ 使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。

❿ ［次へ］をクリックする。

⓫ 必要に応じて共有設定をして、［次へ］をクリックする。

⓬［完了］をクリックして、終了する。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷［ポート］タブをクリックする。

❸［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

ターミナルサービス環境

Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0で動作しているターミナルサービス環境でMultiWriterを利用する場合は、ターミナルサービス用プリンタードライバーをインストールします。

対応するOSは、以下のとおりです。

- Microsoft Windows Server 2003 ターミナルサービス（日本語版）
- Microsoft Windows 2000 Server ターミナルサービス（日本語版）
- Microsoft Windows NT Server 4.0 Terminal Server Edition（日本語版）

チェック

- PrintAgentは、ターミナルサービス環境には対応していません。
- ターミナルサービス用プリンタードライバーは、PrintAgentに対応していません。

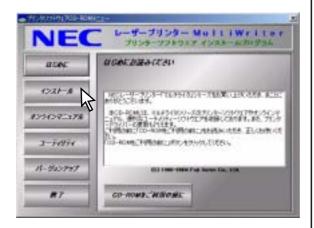
ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール

プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってターミナルサービス用のプリンタードライバーをインストールします。
プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

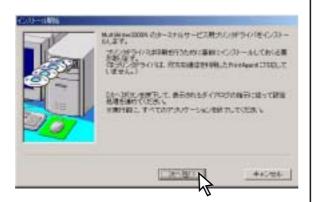
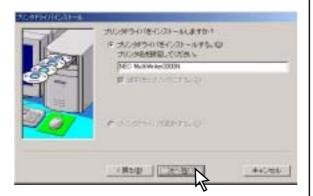
ここではWindows 2000 Server ターミナルサービス 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエアのインストール手順を説明します。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷［インストール］をクリックする。

❸ 右側のボックスから［MultiWriter3300N（ターミナルサービス用プリンタドライバ）］を選んで［インストール開始］をクリックする。

Windows NT 4.0は［MultiWriter3300N（Terminal Server Edition用プリンタドライバ）］を選択します。

❹ ［次へ］をクリックする。

❺ ［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。

❻ プリンターの接続先を選び、［次へ］をクリックする。

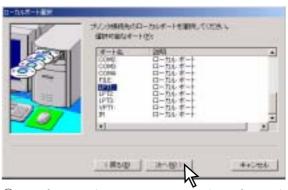
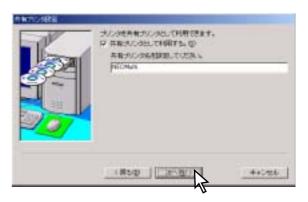
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。

- ［ローカルポート］は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。

チェック

ネットワークポート接続する場合は、一度ローカルポートに接続してインストールを行い、「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」（147ページ）を参照して変更してください。

<［ローカルポート］を選んだ場合>

① 希望するポートを選び［次へ］をクリックする。

② 共有プリンターとして設定する場合は［共有プリンタとして利用する］をチェックして［次へ］をクリックする。

<［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合>

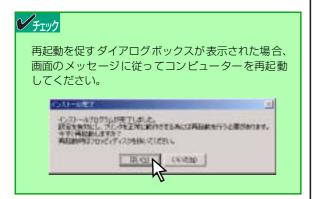
プリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。

❼ 設定した内容を確認し、［完了］をクリックする。

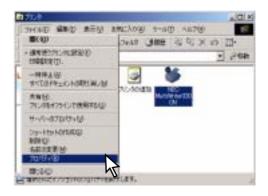
❽［OK］をクリックする。

❾ インストールが終了したら［OK］をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合、画面のメッセージに従ってコンピューターを再起動してください。

❿ プリンタードライバーが正常にインストールされていることを確認する。

［プリンタ］フォルダー内に、［NEC MultiWriter3300N］アイコンが登録されている。

⓫ オプション機器の設定を行う。

［プリンタ］フォルダー内の［NEC MultiWriter3300N］アイコンをクリックし、ファイルメニューから［NEC MultiWriter3300N］プロパティを開く。

［プリンタの設定］シートで、プリンターの構成を設定する。

UNIX環境の設定

UNIX環境で設定および印刷する方法について説明します。

IPアドレスの設定

UNIXマシンからIPアドレスを設定する方法には、主に「arp」コマンドと「ping」コマンドを使って設定する方法とTelnetの2つがあります。
Telnetを使ったIPアドレスの設定方法については「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「Telnet」の「IPアドレス」（139ページ）を参照してください。

ここでは、「ping」コマンドを使った設定方法について説明します。あらかじめ、ホストマシン側のARPアドレス変換テーブルにプリンターのARPエントリーを作っておくことにより、IPアドレスを変更できます。

以下の手順に従ってください。

チェック

- ここで示す方法でIPアドレスを設定すると、LANインターフェースを初期化しないと同じ方法では設定できません（「ネットワーク設定の初期化」（211ページ）参照）。
- LANインターフェースの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。クリアする前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください（「コンフィグレーションページの印刷」（212ページ）参照）。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

❶ **エディターを使用して、ホストコンピューターの「/etc/hosts」ファイルにプリンターのIPアドレスとホスト名を追加する。**

```
ddd.ddd.ddd.ddd <ホスト名>
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はプリンターの変更したいIPアドレスです。<ホスト名>はプリンター名を入力してください。

重要

設定されるプリンターのIPアドレスは設定するために使うホストと同一のネットワークアドレスでなくてはなりません。
プリンターのIPアドレスがホストと異なるネットワークアドレスの場合は、ホストのサブネットマスクを一時的に変更して、同一ネットワークにあるかのように設定し直す必要があります。

次にUNIXの/etc/hostsファイルの表示例を示します。

```
:      :            :
192.9.200.20        pr3300n   #MultiWriter3300N
:      :            :
:      :            :
```

「192.9.200.20」はプリンターのIPアドレスです。
「pr3300n」はプリンターのホスト名です。
「#MultiWriter3300N」はコメント文です。

❷ **ホストコンピューターのアドレス変換テーブルにプリンターのエントリーを追加する。**

```
arp -s <ホスト名><Ethernetアドレス>
```

<ホスト名>は手順❶で指定したプリンターのホスト名です。<Ethernetアドレス>には、コンフィグレーションページのMAC Addressの値を入力してください。

＜実行例＞

```
arp -s pr3300n 00:30:13:0F:00:00
```

arpコマンドの詳細については、各システムのコマンドマニュアルを参照してください。

❸ **pingコマンドを実行する。**

新しいIPアドレスに変更されます。

＜実行例＞

```
ping pr3300n
```

❹ **コンフィグレーションページを印刷してIPアドレスが変更されたことを確認する。**

手順については、「コンフィグレーションページの印刷」（212ページ）を参照してください。

以上で設定は完了です。

ホストコンピューター側のセットアップ

「lprコマンド」か「ftpコマンド」のどちらを使用する場合も、プリンターのIPアドレスとホスト名のhostsファイルに登録する必要があります。

hostsファイルにIPアドレスを登録すると、ftpコマンドを使用できるようになります。lprコマンドを使用する場合は、IPアドレスの登録の他に次に示す設定を行う必要があります。

lprコマンドを使用する場合

lprコマンドを使用する場合、通常ホストコンピューター側のprintcapファイルでリモートプリンターとなるプリンターを定義する必要があります。また、プリンターが持つフィルターを使う場合は、その定義も同時に行います。フィルターは以下のフィルター名の中からprintcapファイル内でコマンドオプションのrpで定義してください。

フィルター名	機　能	
lpb	フィルターなし	バイナリーファイルの転送に使います。
lpa	LF→CR+LF	改行コードLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。
lpbf	lpb+FF	ファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
lpaf	lpa+FF	LFをCR+LF（0B0A）に変換しファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
euc	EUC→JIS	EUCコードをプリンターJISコードに変換します。
EUC	EUC→JIS LF→CR+LF +FF	EUCコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード（0A）変換と FFコード（0C）付加を行います。
sjis	Shift-JIS→JIS	Shift-JISコードをプリンターJISコードに変換します。
SJIS	Shift-JIS→JIS LF→CR+LF +FF	Shift-JISコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード（0A）変換と FFコード（0C）付加を行います。

その他未登録のフィルター名はlpbとみなされます。

（BSD系UNIXのprintcapファイルの設定例）

```
pt0|no convert:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:¥
  :sd=/usr/spool/lpd0:
pt1|ascii file:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpa:¥
  :sd=/usr/spool/lpd1:
pt2|binary with FF:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpbf:¥
  :sd=/usr/spool/lpd2:
pt3|ascii with FF:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpaf:¥
  :sd=/usr/spool/lpd3:
```

printcapの詳細についてはホストコンピューターの取扱説明書を参照してください。

印刷方法

ホストコンピューターからプリンターへのファイルの転送には、以下の2つの方法があります。

- ftpコマンドによる転送
- lprコマンドによる転送

ftpコマンドによる転送

ftp（file transfer protocol）コマンドとは、通常UNIX上でコンピューター間のデータ転送に使用されるプロトコルで、TCP/IPの上位層に位置します。

プリンターは、このftpコマンドプロトコルで、クライアント側から転送されたファイルを受け取ることができるサーバー機能をサポートしています。

印刷ファイルは、ftpコマンドを使いプリンターに転送することで印刷されます。サポートしているコマンドは次の3つです。

コマンド名	機　　能
binary	転送されたファイルはそのままプリンターへ送られます。
ascii	プリンターでLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。デフォルトはこのモードです。
put （send）	ファイルの転送に使用します。宛先ファイルとして「FEED」あるいは「feed」と入力すると、ファイルの最後にフォームフィードを付加します。

ファイルの転送は、次の例のようにクライアント側でftpコマンドプロトコルのコマンドを実行することにより行われます。

(ftpコマンドによるファイル転送例)

```
olive%ftp pr3300n （[Enter] キーを押してftpコマンドを起動します。）
Connected to pr3300n
220 NEC Network Interface Version 02.02 FTP Service Ready
Name(pr3300n:) （[Enter] キーを押します。）
230 NEC Printer Log-In Complete.
ftp>binary （[Enter] キーを押してファイルの形式を指定します。）
200 Type set to BINARY.
ftp>put data.plt （[Enter] キーを押してdata.pltファイルを転送します。）
200 PORT command successful
250 Requested file Action okay,completed
13083 bytes sent in 0 seconds(12.78 kbytes/s)
ftp>quit （ftpコマンドを終了します。）
221 Services closing control connection
olive%
```

チェック

転送方法は、ワークステーションまたはパーソナルコンピューター用ソフトウエアによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

lprコマンドによる転送

BSD系UNIXで標準的なリモートプリント機能（lprコマンド）を使ってプリンターにデータを出力することができます。

また、あらかじめprintcapファイルでプリンターにフィルターを登録しておくと、そのプリンターを指定するだけでプリンターに登録されたフィルターを使用してデータの出力を行うことができます。
フィルターを指定しない場合は、ホストコンピューターから受信したデータを無変換のままプリンターに出力するので、あらかじめホスト側で出力するデータの形式をプリンターに合わせておく必要があります。

プリンター名は、ホストコンピューターの/etc/printcapファイルにプリンターを登録するときに指定します。printcapの設定については、「lprコマンドを使用する場合」を参照してください。また、printcapの詳細については、ホストコンピューターのコマンド説明書を参照してください。

ホストコンピューターからは、次のようなコマンドを入力し、「Enter」キーを押してファイルを転送します。

＜表示例＞

```
lpr -Ppt0 <ファイル名>
```

チェック

ファイルの転送方法は、ソフトウエアまたはコンピューターによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

より便利なネットワーク機能

MultiWriter 3300Nには､ネットワーク上にあるプリンターの情報を取得することやネットワークからの利用者を制限することができる便利なネットワーク機能があります。
ここでは、それぞれの機能の設定方法や利用方法について説明しています。

DHCP

DHCPを使用してIPアドレスを設定する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバーが必要です。DHCPを使用すると、DHCPサーバー（Windows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server、またはUNIX Server）からIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。これによりDHCPサーバーにIPアドレスの登録を行うだけで個々のLANインターフェースに対するIPアドレスの設定が不要となります。

重要

- 工場出荷時の設定では、［DHCPは使用しない］に設定されています。次に説明する方法で設定を変更してから使用してください。
- LAN インターフェースおよび無線LAN ボードに割り当てる IPアドレスは固定です。毎回、IPアドレスが変わると印刷データの送信先が不明となり、プリンターに印刷データが送信されなくなります。これを避けるために必ずDHCPサーバーでIPアドレスの予約をしてください（「DHCPサーバーの設定」（197ページ）参照）。すでにIPアドレスが設定されている環境では、WWWブラウザーまたはTelnetを使用してDHCPをオンにすることができます。

DHCPの設定

DHCP設定には、主に以下の3つの方法があります。それぞれについては次ページで説明します。

- EASY設定ユーティリティ
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
- プリンターの操作パネル

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用して設定します。

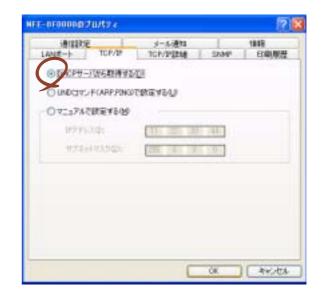
プリンターのMACアドレスを選択し、［プロパティ］をクリックすると表示される［TCP/IP］シート上で［IPアドレスを自動的に取得］を選択してください。

<LANボードの場合の表示例>

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用して設定します。

プリンターアイコンを選択して［プロパティ］ダイアログボックスを開き、［TCP/IP］シート上で、［DHCPサーバから取得する］を選択してください。詳しくは、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」（97ページ）をご覧ください。

<LANボードの場合の表示例>

プリンターの操作パネル

プリンターの操作パネルからDHCPの設定を切り替えることができます。MultiWriter 3300Nに標準実装されているLANインターフェース、オプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）のDHCP設定を変更する方法について説明します。

❶ **プリンターの電源スイッチをONにする。**

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

❷ **［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

印刷可

❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❹ **［メニュー］スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”を表示します。

テストメニュー　→

❺ **ディスプレイに“Ｉ／Ｆセッテイメニュー”と表示されるまで［▼］スイッチを数回押す。**

Ｉ／Ｆセッテイメニュー　→

❻ **［▶］スイッチを１回押す。**

Ｉ／Ｆセッテイメニュー
←インタフェース1　セッテイ　→

❼ **［▼］スイッチを押す。**

ディスプレイ下段に“←インタフェース2　セッテイ　→”と表示されます。

Ｉ／Ｆセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ　→

❽ **［▶］スイッチを１回、［▼］スイッチを数回押す。**

ディスプレイ上段に“DHCP”と表示されます。

❾ **［設定変更］スイッチを押す。**

“ON”に設定されます。

❿ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になります。印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

DHCPサーバーの設定

DHCP機能を使用するためには、DHCPサーバーとしてWindows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server 4.0、またはUNIX Serverが必要です。Windows Server 2003、Windows 2000 ServerとWindows NT Server 4.0によるDHCPサーバーの設定について説明します。

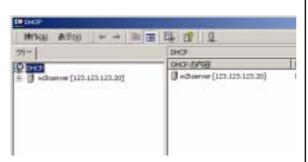
チェック

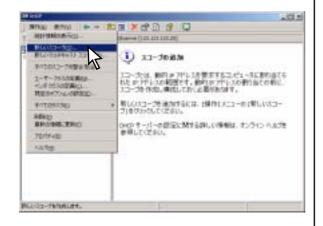
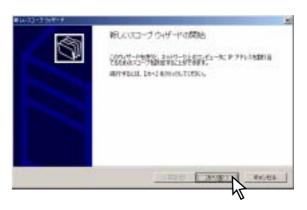
- Windows 2000 Professional、Windows NT WorkstationはDHCPサーバー機能をサポートしていません。
- UNIXサーバーについては、OSのマニュアルを参照してください。

Windows Server 2003、Windows 2000の場合

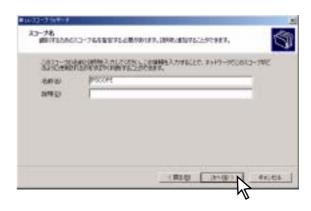
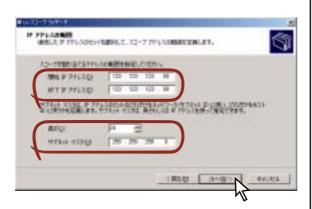
ここでは、WIndows 2000の場合を例にとって説明します。Windows Server 2003においても同じ手順で設定できます。
DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows 2000 Serverに「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。「DHCPサーバー」のインストールについては、Windows 2000 Serverのヘルプを参照してください。

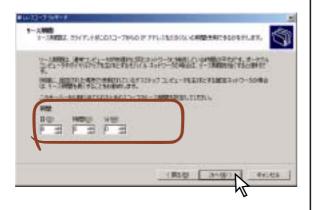
❶ **DHCPを起動する。**

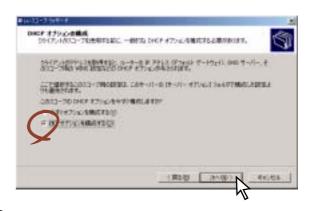
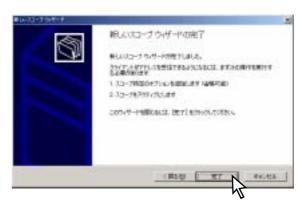
［スタート］メニューから［プログラム］－［管理ツール］の順でポイントし、［DHCP］をクリックします。

❷ **DHCPサーバー（ここでは「w2kserver」）を選択し、［操作］メニューから［新しいスコープ］をクリックする。**

新しいスコープウィザードが起動します。

❸ **［次へ］をクリックする。**

❹ **任意のスコープ名を［名前］ボックスに入力し、［次へ］をクリックする。**

ここでは、例として「IPSCOPE」と入力します。

❺ DHCP サーバーが割り当てる IP アドレスの範囲とサブネットマスクを入力し、[次へ] をクリックする。

❻ 手順5で入力したIPアドレスの範囲で、割り当てに使用したくないIPアドレスがあれば [除外するアドレスの範囲] ボックスに入力し、[次へ] をクリックする。

❼ LAN インターフェースに割り当てられた IP アドレスが使用できる期間を設定し、[次へ] をクリックする。

❽ [後でオプションを構成する] を選択し、[次へ] をクリックする。

ここで、オプションの設定を行う場合は、[今すぐオプションを構成する] を選択し、ウィザードの指示に従ってください。

❾ [完了] をクリックして、ウィザードを終了する。

❿ [スコープ]（ここでは「スコープ [123.123.123.0] IPSCOPE」）上で右クリックし、[アクティブ化] をクリックする。

手順❾までの手順で作成したスコープ「IPSCOPE」をアクティブにするために必要な手順です。

⓫ **手順❾までの手順で作成した［スコープ］（ここでは「スコープ［123.123.123.0］IPSCOPE」）上の［予約］を選択し、［操作］メニューから［新しい予約］をクリックする。**

LANインターフェースに常時、同じIPアドレスが割り当てられるようにするために必要な手順です。

✔チェック

DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANインターフェースには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この［予約の追加］では、LANインターフェースの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANインターフェースに割り当てることができるようになります。

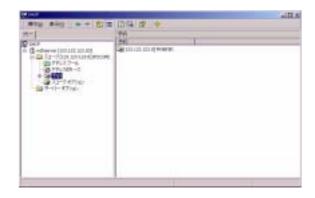
⓬ **LANインターフェースに割り当てたいIPアドレスを入力し、［予約名］ボックスに任意の名前を入力する。**

ここでは、例として「PRINTER」と入力します。

⓭ **［サポートされている種類］で［DHCP のみ］を選択する。**

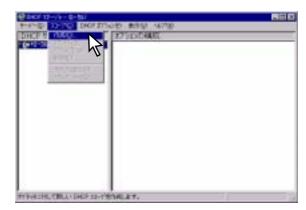
⓮ **［追加］をクリックする。**

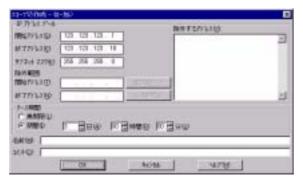
⓯ **［閉じる］をクリックする。**

以上で設定は完了です。設定後は、以下のような画面が表示されます。

Windows NT Server 4.0の場合

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows NT Server 4.0に「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。DHCPサーバーのインストールについては、Windows NT Server 4.0のヘルプを参照してください。

❶ **［ネットワーク管理］グループのDHCPマネージャを起動する。**

❷ **メニューバーの［スコープ］メニューから［作成］をクリックし、スコープを作成する。**

❸ **［スコープの作成］ダイアログボックスで以下の設定を入力する。**

- IPアドレスプールの開始アドレス（必須）
- IPアドレスプールの終了アドレス（必須）
- サブネットマスク（必須）
- 除外範囲の開始アドレス（必要時）
- 除外範囲の終了アドレス（必要時）
- ソース期間の設定（必要時）

❹ **［OK］をクリックし、［スコープの作成］ダイアログボックスを閉じる。**

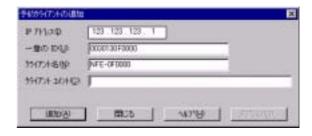
❺ **［DHCP マネージャ］ダイアログボックスのメニューバーの［スコープ］メニューから［予約の追加］を選択する。**

［予約クライアントの追加］ダイアログボックスが開きます。

> **チェック**
>
> DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANインターフェースには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この［予約の追加］では、LANインターフェースの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANインターフェースに割り当てることができるようになります。

❻ **以下の情報を入力する。**

- IPアドレス：LANインターフェースのIPアドレス（必須）
- 一意のID：LANインターフェースのMACアドレス（必須）
- クライアント名：任意の名前（必須）
- クライアントコメント：任意のコメント（必要時）

> **チェック**
>
> IPアドレスはスコープ作成時に設定したIPアドレスプールの範囲内で設定してください。

❼ **［追加］をクリックし、［予約クライアントの追加］ダイアログボックスを閉じる。**

以上で設定は完了です。

DHCPの動作について

LANインターフェースおよび無線LANボードのDHCP設定を有効にした場合の動作について説明します。
DHCP機能を使用するためには、ネットワーク上にDHCPサーバーが必要です。LANインターフェースおよび無線LANボードに電源が供給されると、DHCPサーバーを自動的に検索します。ネットワーク上に複数のDHCPサーバーが存在する場合は、最初に応答を受け取ったDHCPサーバーと通信し、IPアドレスのリース（貸し出し）を受けます。LANインターフェースおよび無線LANボード用にIPアドレスの予約を行ったDHCPサーバーのみのネットワーク環境で使用してください。

チェック

- IPアドレスの予約を行っていないDHCPサーバーからIPアドレスがリースされるとLANインターフェースおよび無線LANボードは誤って登録されたIPアドレスで動作します。一度受信したIPアドレスを解放するには以下のどちらかを行ってください。
  - DHCP設定を1度無効にする。
  - LANインターフェースおよび無線LANボードの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（211ページ）参照）。
- DHCPはルーターを越えたネットワーク上のDHCPサーバーと通信することができます。ルーターを使用している場合は、ルーターのリレーエージェントの設定を確認してください。

DHCP機能を有効にし、起動時にDHCPサーバーが検索されなかった場合*、LANインターフェースは1分周期でDHCPサーバーの検索を継続します。

チェック

一度DHCP機能を有効にしたLANインターフェースおよび無線LANボードの設定を無効にする場合は、以下のどちらかを行ってください。

- LANインターフェースおよび無線LANボードの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（211ページ）参照）。
- 操作パネルでDHCPを無効（196ページ参照）にして、IPアドレスを再設定する。

* DHCPサーバーからIPアドレスを設定された後、DHCPサーバーのないネットワーク環境に接続を切り替えた場合を含む。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）を使用することで汎用のSNMPマネージャソフトウエアからプリンターの情報を取得することができます。

Get Request、Set Requestによる管理

通信に必要なコミュニティ名を4つまで登録できます。コミュニティ名の変更方法は、以下の3つです。

チェック

工場出荷時のコミュニティ名には「public」もしくは「fxSystemMgr」が登録されています。必要に応じて設定変更を行ってください。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
  設定の詳細については、本章の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「[SNMP] シート」（115ページ）を参照してください。
- WWWブラウザー
  設定の詳細については、「WWWブラウザー」の「SNMP設定画面」（134ページ）を参照してください。
- Telnet
  設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」（141ページ）を参照してください。

サポートしているMIBは、MIB-II（RFC1213）、ホストリソースMIB（RFC1514）、およびプリンターMIB（RFC1759）です。

SNMP MIB-II（RFC1213）オブジェクト一覧

[system] グループ	[ip] グループ	[icmp] グループ
sysDescr	ipForwarding	icmpInMsgs
sysObjectID	ipDefaultTTL	icmpInErrors
sysUpTime	ipInReceives	icmpInDestUnreachs
sysContact	ipInHdrErrors	icmpInTimeExcds
sysName	ipForwDatagrams	icmpInParmProbs
sysLocation	ipInDiscards	icmpInSrcQuenchs
sysServices	ipInDelivers	icmpInRedirects
	ipOutRequests	icmpInEchos
	ipOutDiscards	icmpInEchoReps
	ipReasmTimeout	icmpInTimestamps
	ipReasmReqds	icmpInTimestampReps

（次ページへ続く）

[interface] グループ

ifNumber
ifIndex
ifDescr
ifType
ifMtu
ifSpeed
ifPhysAddress
ifAdminStatus
ifOperStatus
ifLastChange
ifInOctets
ifInUcastPkts
ifInNUcastPkts
ifInDiscards
ifInErrors
ifInUnknownProtos
ifOutOctets
ifOutUcastPkts
ifOutNUcastPkts
ifOutDiscards
ifOutErrors
ifOutQLen
ifSpecific

ipReasmOKs
ipFragOKs
ipFragFails
ipFragCreates
ipAdEntAddr
ipAdEntIfIndex
ipAdEntNetMask
ipAdEntBcastAddr
ipRouteDest
ipRouteIfIndex
ipRouteMetric1
ipRouteMetric2
ipRouteMetric3
ipRouteMetric4
ipRouteNextHop
ipRouteMask
ipRouteMetric5

icmpInAddrMasks
icmpInAddrMaskReps
icmpOutMsgs
icmpOutDestUnreachs
icmpOutTimeExcds
icmpOutParmProbs
icmpOutSrcQuenchs
icmpOutRedirects
icmpOutEchos
icmpOutEchoReps
icmpOutTimestamps
icmpOutTimestampReps
icmpOutAddrMasks
icmpOutAddrMaskReps

[tcp] グループ

tcpRtoAlgorithm
tcpRtoMin
tcpRtoMax
tcpMaxConn
tcpCurrEstab
tcpInSegs
tcpOutSegs
tcpRetransSegs
tcpConnState
tcpConnLocalAddress
tcpConnLocalPort
tcpConnRemAddress
tcpConnRemPort
udpOutDatagrams
tcpInErrs

[udp] グループ

udpInDatagrams
udpNoPorts
udpInErrors
udpOutDatagrams
udpLocalAddress
udpLocalPort

[snmp] グループ

snmpInPkts
snmpOutPkts
snmpInBadVersions
snmpInBadCommunityNames
snmpInBadCommunityUses
snmpInASNParseErrs
snmpInTotalReqVars
snmpInTotalSetVars
snmpInGetRequests
snmpInGetNexts
snmpInSetRequests
snmpInGetResponses
snmpInTraps
snmpOutTooBigs
snmpOutNoSuchNames
snmpOutBadValues
snmpOutGenErrs
snmpOutGetRequests
snmpOutGetNexts
snmpOutSetRequests
snmpOutGetResponses
snmpOutTraps
snmpEnableAuthenTraps

SNMPホストリソースMIB（RFC1514）オブジェクト一覧

[Device] グループ

hrDeviceIndex
hrDeviceType
hrDeviceDescr
hrDeviceStatus
hrPrinterStatus
hrPrinterDetectedErrorState

プリンター MIB（RFC1759）オブジェクト一覧

[General Printer] グループ

prtGeneralConfigChanges
prtGeneralCurrentLocalization
prtGeneralReset
prtInputDefaultIndex
prtOutputDefaultIndex
prtMarkerDefaultIndex
prtMediaPathDefaultIndex
prtConsoleLocalization
prtConsoleNumberOfDisplayLines
prtConsoleNumberOfDisplayChars
prtConsoleDisable
prtDeviceRefIndex
prtCoverDescription
prtCoverStatus
prtLocalizationLanguage
prtLocalizationCountry
prtLocalizationCharacterSet

[Input]グループ

prtInputType
prtInputDimUnit
prtInputMediaDimFeedDirDeclared
prtInputMediaDimXFeedDirDeclared
prtInputMediaDimFeedDirChosen
prtInputMediaDimXFeedDirChosen
prtInputCapacityUnit
prtInputMaxCapacity
prtInputCurrentLevel
prtInputStatus
prtInputMediaName

[Extended Input]グループ

prtInputName
prtInputVendorName
prtInputModel
prtInputVersion
prtInputSerialNumber
prtInputDescription
prtInputSecurity

[Output] グループ

prtOutputType
prtOutputCapacityUnit
prtOutputMaxCapacity
prtOutputRemainingCapacity
prtOutputStatus

[Extended Output]グループ

prtOutputName
prtOutputVendorName
prtOutputModel
prtOutputVersion
prtOutputSerialNumber
prtOutputDescription
prtOutputSecurity

[Output Dimensions]グループ

prtOutputDimUnit
prtOutputMaxDimFeedDir
prtOutputMaxDimXFeedDir
prtOutputMinDimFeedDir
prtOutputMinDimXFeedDir

[Output Features]グループ

prtOutputStackingOrder
prtOutputPageDeliveryOrientation
prtOutputBursting
prtOutputDecollating
prtOutputPageCollated
prtOutputOffsetStacking

[Marker]グループ

prtMarkerMarkTech
prtMarkerCounterUnit
prtMarkerLifeCount
prtMarkerPowerOnCount
prtMarkerProcessColorants
prtMarkerSpotColorants
prtMarkerAddressabilityUnit
prtMarkerAddressabilityFeedDir
prtMarkerAddressabilityXFeedDir
prtMarkerNorthMargin

（次ページへ続く）

prtMarkerSouthMargin
prtMarkerWestMargin
prtMarkerEastMargin
prtMarkerStatus

[Marker Supplies]グループ

prtMarkerSuppliesMarkerIndex
prtMarkerSuppliesColorantIndex
prtMarkerSuppliesClass
prtMarkerSuppliesType
prtMarkerSuppliesDescription
prtMarkerSuppliesSupplyUnit
prtMarkerSuppliesMaxCapacity
prtMarkerSuppliesLevel

[Marker Colorant]グループ

prtMarkerColorantMarkerIndex
prtMarkerColorantRole
prtMarkerColorantValue
prtMarkerColorantTonality

[Media Path]グループ

prtMediaPathMaxSpeedPrintUnit
prtMediaPathMediaSizeUnit
prtMediaPathMaxSpeed
prtMediaPathMaxMediaFeedDir
prtMediaPathMaxMediaXFeedDir
prtMediaPathMinMediaFeedDir
prtMediaPathMinMediaXFeedDir
prtMediaPathType
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription.3
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus.3

[Channel]グループ

prtChannelType
prtChannelProtocolVersion
prtChannelCurrentJobCntlLangIndex
prtChannelDefaultPageDescLangIndex
prtChannelState
prtChannelIfIndex
prtChannelStatus

[Interpreter]グループ

prtInterpreterLangFamily
prtInterpreterLangLevel
prtInterpreterLangVersion
prtInterpreterDescription
prtInterpreterVersion
prtInterpreterDefaultOrientation
prtInterpreterFeedAddressability
prtInterpreterXFeedAddressability
prtInterpreterDefaultCharSetIn
prtInterpreterDefaultCharSetOut
prtInterpreterTwoWay

[Console]グループ

prtConsoleDisplayBufferText
prtConsoleOnTime
prtConsoleOffTime
prtConsoleColor
prtConsoleDescription

[Alerts]グループ

prtAlertSeverityLevel
prtAlertTrainingLevel
prtAlertGroup
prtAlertGroupIndex
prtAlertLocation
prtAlertCode
prtAlertDescription

Trapによる管理

プリンターのエラーまたは状態変化が発生した場合に指定されたホストコンピューターにTrapを発信することができます。最大4台のホストコンピューターにTrapを送信することができます。

Trapの設定

Trapによる管理を行うためには以下の設定が必要です。

- Trap使用の要否設定
- 送信先ホストコンピューターのIPアドレス
- Trap通信のコミュニティ名
- ゲートウェイアドレスの設定

チェック

- ゲートウェイアドレスの設定について
  - 4つのホストコンピューターのIPアドレス設定の中で、LANインターフェースのネットワークアドレスと異なるものが含まれている場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
  - 同じネットワークアドレスのホストコンピューターに Trap送信する場合は、ゲートウェイアドレスの設定は不要ですので、「0.0.0.0」（工場出荷設定）のままでご使用ください。
- SNMP MIB IIの［SNMP］グループで「snmpEnableAuthenTraps」の設定が［Disabled（2)］になっている場合は、すべてのTrap設定が無効となります。Trapをご使用の場合は、［Enabled（1)］に設定してください。なお、工場出荷時は［Enabled（1)］に設定されています。
- 「SnmpEnableAuthenTraps」の設定に関わらず、LANインターフェースに登録されたIPアドレス等の情報は保持されます。

Trapの設定方法は、以下の3つです。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
  設定の詳細については、「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「［SNMP］シート」（115ページ）を参照してください。
- WWWブラウザー
  設定の詳細については、「WWWブラウザー」の「SNMP設定画面」（134ページ）を参照してください。
- Telnet
  設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」（141ページ）を参照してください。

Trapの送信

プリンターのエラーまたは状態変化が発生すると登録されたすべてのホストコンピューターにTrapが送信されます。Trapはプリンターのエラーが取り除かれるまで10分おきに送信されます。Trap-PDUで通知される情報は次のとおりです。

- プリンター Cold Start発生情報
- プリンター Warm Start発生情報
- プリンターエラー発生情報

  Variable-bindings
  - hrPrinter Detected Error State
  - prtAlert Index
  - prtAlert Severity Level
  - prtAlert Group
  - prtAlert Group Index
  - prtAlert Location
  - prtAlert Code

アクセス制限

アクセス制限とは、例えばサーバ(課金サーバなど)を特定した印刷実行ニーズに対応するために、ある特定のコンピュータまたはネットワークからの印刷を許可または拒否する機能です。あらかじめ設定されたアクセス許可／拒否設定、IPアドレス、ネットマスクにより指定される送受信パケットはフィルタリングが実行され、印刷が行えるコンピューターを制限できます。

チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

概要

アクセス制限による送受信パケットのフィルタリングはプリンター内で以下のように実行されます。

準備動作として、設定されているアクセス制限設定値のIPアドレスとネットマスクの論理積(AND)を行い、比較アドレスを作成する。

設定IPアドレス	192.168.100.0
設定ネットマスク	255.255.255.192
論理積結果	192.168.100.0（比較アドレス）

↓

ネットワーク通信が行われると、送受信パケットからIPアドレスを抽出する

↓

抽出したIPアドレスとネットマスクの論理積(AND)を行い対象アドレスを作成する。

抽出IPアドレス	192.168.100.7
設定ネットマスク	255.255.255.192
論理積結果	192.168.100.0（対象アドレス）

↓

比較アドレスと対象アドレスを比較し、上記の例では比較アドレスと対象アドレスが一致したため、アクセス制限の処理の対象となる。不一致の場合は対象外となり次優先順位のアクセス制限設定による比較の対象となる。

アクセス制限の設定

アクセス制限設定には、以下の3つの方法があります。

- WWWブラウザー
  汎用のWWWブラウザーを使用して設定します。
  WWWブラウザーからLANインターフェースのページを起動し、[LANの管理者設定画面]－[TCP/IP]から「TCP/IP 設定画面」を開き、アクセス制限に関する各項目を設定してください。詳しくは、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「WWWブラウザー」（125ページ）をご覧ください。
- Telnet
  Telnetでプリンターに接続(ログイン)して設定します。
  メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押して「Access Limitation Setting」を表示して、アクセス制限に関する各項目を設定してください。詳しくは、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「Telnet」（138ページ）をご覧ください。

- プリンターの操作パネル
  プリンターの操作パネルからアクセス制限のON/OFFを切り替えることができます。
  アクセス制限を「ON」→「OFF」とすることでアクセス制限は無効となります。再度、「OFF」→「ON」とした時に、前回「ON」時に設定された条件でアクセス制限が有効となります。
  プリンターの操作パネルからの設定は、一時的なアクセス制限の解除やユーザーの設定ミスによって生じたネットワーク不通状態からの復旧のために使用し、詳細な設定は「WWWブラウザー」(125ページ)、「Telnet」(138ページ) から行ってください。

アクセス制限の解除

❶ **プリンターの電源スイッチをONにする。**

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったことを確認します。

❷ **[印刷可] スイッチを押す。**

[印刷可] ランプが消灯します。

印刷可

❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は [シフト] スイッチを押しながら [排出] スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❹ **[メニュー] スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに “テストメニュー” を表示します。

テストメニュー　→

❺ **ディスプレイに “I／Fセッテイメニュー” と表示されるまで [▼] スイッチを数回押す。**

I／Fセッテイメニュー　→

❻ **[▶] スイッチを1回押す。**

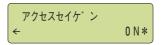
I／Fセッテイメニュー
←インタフェース1　セッテイ　→

❼ **[▼] スイッチを1回押す。**

ディスプレイ下段に “←インタフェース2　セッテイ　→” と表示されます。

I／Fセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ　→

❽ **[▶] スイッチを1開、[▼] スイッチを数回押す。**

ディスプレイ上段に “アクセスセイゼン” と表示されます。

❾ **[設定変更] スイッチを押す。**

“OFF” に設定されます。

アクセスセイゲ゛ン
←　OFF*

❿ **[メニュー終了] スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これでアクセス制限の解除終了です。プリンターはセレクト状態になります。印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

印刷可

アクセス制限使用例

使用例①　特定クライアントをアクセス制限の対象とする場合

192.168.1.10 からの印刷のみ許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.10	255.255.255.255	192.168.1.10 許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.1.50 からの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.50	255.255.255.255	192.168.1.50 拒否
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例②　特定ネットをアクセス制限の対象とする場合

192.168.1 ネットからの印刷のみ許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.0	192.168.1　ネット許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.2 ネットからの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2　ネット拒否
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例③　応用例

192.168 ネットのみ許可したい
ただし192.168.2 ネットは拒否したい
しかし192.168.2.10 は許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.2.10	255.255.255.255	192.168.2.10　許可
アクセス制限2	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2　ネット拒否
アクセス制限3	有効	アクセス許可	192.168.0.0	255.255.0.0	192.168　ネット許可
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例④　応用例

192.168.1.64 ～192.168.1.127 まで許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.0	255.255.255.192	192.168.1.0～63　拒否
アクセス制限2	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.128	192.168.1.0～127　許可
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

ネットワーク設定の初期化

MultiWriter 3300Nに標準実装されているLANインターフェースおよびオプションの無線LANボード（PR-WLX-13）のIPアドレスなどのネットワーク設定情報を初期化する方法について説明します。

チェック

MultiWriter 3300Nに標準実装されているLANインターフェースおよびオプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）の初期化は、プリンターの操作パネルから行います。以下に示すLANアダプターの初期化の手順については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- LANアダプタ（型番 PR-NP-02T2/型番 PR-NP-03TR2）
- マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

❶ ［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

印刷可

❷ ［メニュー］スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”を表示します。

テストメニュー　→

❸ ディスプレイに“セッテイショキカメニュー”と表示されるまで［▲］スイッチを数回押す。

セッテイショキカメニュー　→

❹ ［▶］スイッチを1回押す。

セッテイショキカメニュー
←メニューショキカ　ジッコウ→

❺ ［▼］スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段には“←LANショキカ　ジッコウ→”と表示されます。

セッテイショキカメニュー
←LANショキカ　ジッコウ→

❻ ［▶］スイッチを1回押す。

ネットワークの設定が初期値に戻ります。

コンフィグレーションページの印刷

コンフィグレーションページとは、LANインターフェースのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなどのネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷です。ネットワークケーブルを接続したとき、ネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページ印刷を行い、設定内容の確認をしてください。以下にコンフィグレーションページの印刷方法について説明します。

チェック

MultiWriter 3300Nに標準実装されているLANインターフェースおよびオプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）のコンフィグレーションページの印刷は、プリンターの操作パネルから行います。以下に示すLANアダプターのコンフィグレーションページ印刷の手順については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- LANアダプタ（型番 PR-NP-02T2/型番 PR-NP-03TR2）
- マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

❶ **プリンターの電源スイッチをONにする。**

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

チェック

コンフィグレーションページを印刷する前に、用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は、5章の「ホッパー、MPに用紙をセットする」（307ページ）を参照してセットしてください。

❷ **［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❸ **［メニュー］スイッチを押す。**

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❹ **［▶］スイッチを１回、［▲］スイッチを2回押す。**

ディスプレイ下段には“←LANステータス　ジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー
←LANステータス　ジッコウ→

❺ **［▶］スイッチを押す。**

データランプが点灯し、プリンターは［インタフェース2］に装備されたLANインターフェースの設定情報を印刷します。

インサツチュウ

❻ **コンフィグレーションページを参照して標準LANインターフェース、無線LANボードの設定内容を確認する。**

次ページ以降の印刷例を参考にしてください。印刷例は工場出荷時における印刷例です。

LANインターフェース　コンフィグレーションページの印刷例

```
          NEC Network Interface Configuration Page

            <Network Information>

              F/W Version            :    02.08 00000.0000000000
*1            ID Number              :    NFE-0F0000
              Printer Name           :    NFE-0F0000
*1            MAC Address            :    00:30:13:0F:00:00
              H/W Description        :    NEC NetworkPrinter700089
              10Base/100Base         :    "Auto (10Base)"
              Half/Full Duplex       :    "Auto (Full Duplex)"
              Printing Log           :    "Off"

            <Self-Diagnosis>

              Link Test              :    "OK"
              Network Status         :    "OK"

            <TCP/IP>

*2            IP Address             :    11. 22. 33. 44
*2            Subnet Mask            :    255.  0.  0.  0
              Gateway Address        :    0.  0.  0.  0
              Auto IP Address        :    "On"
              Max. Number of Session :    64
              Session Timeout [sec]  :    120
              Keep Alive             :    "On"
              FTP Timeout [min]      :    10
              DHCP                   :    "Off"
              e-Mail Service         :    "Off"
              Current Active Session :    0
*3            1st Access Limitation  :     0. 0. 0. 0
              "Accept"               :     0. 0. 0. 0
*3            2nd Access Limitation  :     0. 0. 0. 0
              "Accept"               :     0. 0. 0. 0
*3            3rd Access Limitation  :     0. 0. 0. 0
              "Accept"               :     0. 0. 0. 0
*3            4th Access Limitation  :     0. 0. 0. 0
              "Accept"               :     0. 0. 0. 0
*3            5th Access Limitation  :     0. 0. 0. 0
              "Accept"               :     0. 0. 0. 0
```

*1　ID NumberおよびMAC AddressはLANインターフェース個々の情報を示します。
*2　IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。
*3　アクセス制限を設定した場合のみ表示されます。

ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

項　目	説　明
F/W Version	LANインターフェースのファームウエアバージョンです。
ID Number	LANインターフェース固有のIDです。
Printer Name	ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
MAC Address	プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
H/W Description	プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
10Base/100Base	「Auto」では10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。
Half/Full Duplex	「Auto」では通信方式を自動判別し、全二重（Full Duplex）、半二重（Half Duplex）のどちらかに決定します。
Printing Log	印刷ログの設定状況です。
Link Test	Link状態を表します。
NetWork Status	ハードウエアテストの結果を表します。
IP Address	IPアドレスを表します。
SubnetMask	サブネットマスクを表します。
Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表します。
Auto IP Address	UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
Max. Number of Session	TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。
Session Timeout [sec]	TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
Keep Alive	通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
FTP Timeout [min]	FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
DHCP	DHCPを用いてアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
e-Mail Service	トナー残少時のメール通知設定を表します。
Current Active Session	現在のTCP接続数を表します。
1st～5th Access Limitation	アクセス制限機能が有効の場合、アクセス制限1～5のそれぞれの設定値を表します。 有効（Valid）と設定した各アクセス制限の、IPアドレス（上段）、ネットマスク（下段）、アクセス許可（Accept）／拒否（Reject）が表示されます。

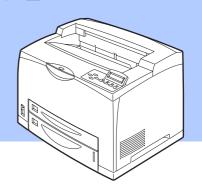
無線LANボードを取り付けた場合のコンフィグレーションページの印刷例

```
        Network Interface Configuration Page [Wireless]

         <Network Information>
           F/W Version              :    02.08 00000.0000000000
＊1        ID Number                :    NWL-000000
           Printer Name             :    NWL-000000
＊1        MAC Address              :    00:02:2D:00:00:00
           H/W Description          :    NEC NetworkPrinter700089
           Network Type             :    "Peer to peer"
           Network Name             :    NECPRWRGRP
           Link Quality             :    No Connection
           Access Point Name        :    ?
           Channel                  :    01
           Encryption               :    "Off"
           Medium Reservation       :    "Off"
           Interference Robustness:      "Off"
           Distance Between APs     :    "Large"
           Printing Log             :    "Off"

         <Self-Diagnosis>
           Link Test                :    "No connection"
           Network Status           :    "OK"

         <TCP/IP>
＊2        IP Address               :     11. 22. 33. 44
＊2        Subnet Mask              :    255.  0.  0.  0
           Gateway Address          :      0.  0.  0.  0
           Auto IP Address          :    "On"
           Max. Number of Session :      64
           Session Timeout [sec]  :      120
           Keep Alive               :    "On"
           FTP Timeout [min]        :    10
           DHCP                     :    "Off"
           e-Mail Service           :    "Off"
           Current Active Session :      0
＊3        1st Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
           "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
＊3        2nd Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
           "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
＊3        3rd Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
           "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
＊3        4th Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
           "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
＊3        5th Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
           "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
```

＊1　ID NumberおよびMAC AddressはLANボード個々の情報を示します。
＊2　IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。
＊3　アクセス制限を設定した場合のみ表示されます。

> ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

項　目	説　明
F/W Version	無線LANボードのファームウエアバージョンです。
ID Number	固有IDです。
Printer Name	ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
MAC Address	プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
H/W Description	プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
Network Type	無線LANプリンターの接続している無線LAN環境の接続形態です。
Network Name	認証機能に使用されるESS-IDとして設定されているネットワーク名です。半角英数文字が使用可能です。
Link Quality	無線通信対象との通信品質です。「Good」と表示される場所への無線プリンターの設置をお勧めします。
Access Point Name	無線通信対象のアクセスポイント名です。一部のアクセスポイントは対応しておらず、その場合はブランクとなります。
Channel	無線通信対象と使用している無線チャンネルバンドです。
Encryption	データ保護（暗号化）の設定状況です。
Medium Reservation	RTS/CTS 媒体予約の設定状況です。
Interference Robustness	干渉に対する強化の設定状況です。
Distance Between APs	アクセスポイント間の距離の設定状況です。
Printing Log	印刷ログの設定状況です。
Link Test	Link状態を表します。
Network Status	ハードウエアテストの結果を表します。
IP Address	IPアドレスを表します。
Subnet Mask	サブネットマスクを表します。
Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表します。
Auto IP Address	UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
Max. Number of Session	TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。
Session Timeout [sec]	TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
Keep Alive	通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
FTP Timeout [min]	FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
DHCP	DHCPを用いてIPアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
e-Mail Service	トナー残量少時のメール通信設定を表します。
Current Active Session	現在のTCP接続数を表します。
1st～5th Access Limitation	アクセス制限機能が有効の場合、アクセス制限1～5のそれぞれの設定値を表します。 有効（Valid）と設定した各アクセス制限の、IPアドレス（上段）、ネットマスク（下段）、アクセス許可（Accept）／拒否（Reject）が表示されます。

4章
より進んだ使い方

この章では、MultiWriter 3300Nの便利な機能の紹介とその使い方について説明します。
MultiWriter 3300Nがもつ様々な機能を組み合わせて使うことにより、MOPYINGをより快適に使用することができ、印刷コストの削減も図れます。この章をよくお読みになり、MultiWriter 3300Nを使いこなしてください。

Windows Server 2003をお使いのお客様へ

本書にWindows Server 2003の記述がない場合は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

機能の紹介

ここでは、本プリンターのもつ便利な機能の概要と設定方法について説明しています。詳細については、本書およびヘルプをご覧ください。

太枠線で囲んで記載している機能は、ネットワーク環境で使用するときに便利な機能です。本プリンターを一元管理することができます。設定方法については、本書、またはヘルプをご覧ください。

スタンプ機能を使用する
.... 249ページ

ヘッダー・フッターを印刷する
.... 252ページ
○○//××//AAA
○○//××//AAA

ページ単位で給紙する..
.... 255ページ
表紙はこのホッパーから
本文はこのホッパーから
裏表紙はこのホッパーから

OHPに合い紙を入れる
.... 257ページ
OHP

操作パネルにユーザー名を表示させる
.... 258ページ
ジョブインサツ
NEC

リプリントする....... 259ページ
便利な機能　PrintAgent リプリント2
アプリケーションを
立ち上げないで
一度印刷した文書を
再印刷

文書を結合する....... 265ページ
便利な機能　PrintAgent リプリント2
一度印刷した別々の文書を
自由に・・・
組み合わせたり
結合したり

「PrintAgent」ツールバー
.... 268ページ
再印刷
ボタン操作ひとつで・・・
PrintAgentの機能を呼び出す

プリンターの状態や印刷状況を見る
.... 269ページ
便利な機能　プリンタステータスウィンドウ
プリンターの状態を
印刷できます。
パソコンに表示する

プリンターを自動切り替えする
.... 273ページ
プリンターAを
使いました。
自動的に
A
B
C
空いてるプリンターに

ON!
パソコンから電源を入れる .. 282ページ
便利な機能
リモート電源
パソコンで
電源を入れる
ON

印刷履歴状況を出力する ... 285ページ
便利な機能
PrintAgentによる印刷ログ出力
プリンタ利用情報通知機能を利用した印刷ログ集計
プリントサーバー
2月は
Aさんが100枚
Bさんが300枚
出力しています。

保守情報をメール通知する
.... 296ページ
便利な機能
NEC e-mailメンテナンス
保守情報を
トナー切れです
メールで通知

Web
PA
ブラウザでプリンターの状況を見る
.... 299ページ
便利な機能
Web PrintAgent
ブラウザを使って
ネットワーク
プリンターの状態を見る

VERSION UP
プリンター
ドライバー
プリンタードライバーをバージョンアップする 300ページ
便利な機能
MultiWriterドライバ配信機能
CD-ROMから
サーバーから
最新の
プリンター
ドライバーに
更新

両面印刷

両面印刷は両面印刷ユニット（オプション）を取り付けているときに可能です。（両面印刷可能な用紙に関しては、付録の「用紙の規格」の「両面印刷時」（434ページ）をご覧ください。）

両面印刷の設定はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターで利用できます。ただし、メモリー、解像度、用紙の条件によっては印刷できない場合があります。

重要

指定以外の用紙を使わないでください。また、両面印刷をする際は両面とも印刷されていない用紙をお使いください。指定以外の用紙や、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンターの故障の原因となります。

❶ **両面印刷を有効に設定する。**

<Windows XPの場合>

① ［印刷設定］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［両面印刷］ボタンを選択します。
② ［両面印刷］で［長辺綴じ］または［短辺綴じ］のいずれかを選びます。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

- ［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開き、［両面印刷］で［長辺綴じ］または［短辺綴じ］のいずれかを選びます。

<Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

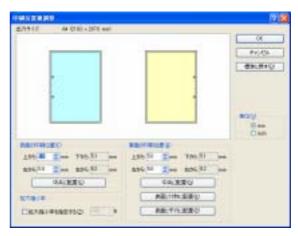
① Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［両面印刷］ボタンを選択します。
② ［両面印刷］で［長辺綴じ］または［短辺綴じ］のいずれかを選びます。

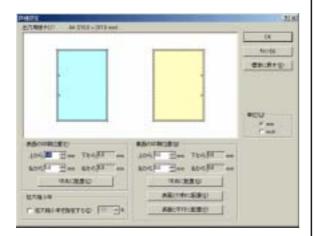
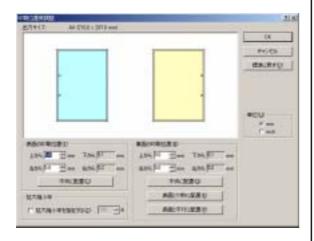
❷ **印刷開始ページを設定する。**

❸ **必要に応じて、綴じしろの位置、印刷位置を設定する。**

<Windows XPの場合>

［その他］シートの［拡張機能］ツリーメニューの［印刷位置微調整］ダイアログボックスを開きます。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［レイアウト］シートの［詳細設定］ダイアログボックスを開きます。

<Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

［その他］シートの［拡張機能］ツリーメニューの［印刷位置微調整］ダイアログボックスを開きます。

チェック

印刷位置の調整については、本章の「印刷位置の調整」(248ページ) を参照してください。

❹ ［OK］をクリックする。

ダイアログボックスを閉じます。

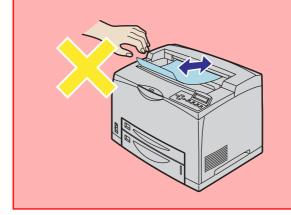
❺ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲を指定して［OK］をクリックする。

両面印刷を始めます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

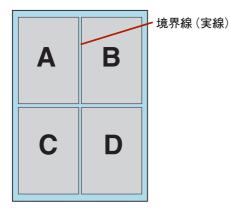
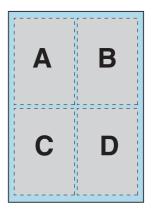
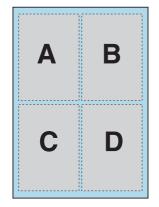
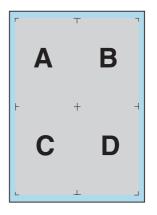
重要

両面印刷中のプリンターの動作について

両面印刷中は、片面印刷を終了した用紙が、いったんスタッカー上に現れますが、再びプリンター内部に吸い込まれていきます。これは用紙を反転させるための動作です。片面印刷終了後にスタッカー上に現れた用紙を引き抜いたり、さわったりしないでください。印刷範囲がずれたり、正しく印刷できなくなるばかりでなく、紙づまりやプリンターの故障の原因となることがあります。

複数ページ印刷

複数ページ印刷では、連続した複数ページの印刷データを1枚の用紙に縮小配置して印刷することができます。さらに境界線を次のとおり設定することができます。

他の印刷機能とも組み合わせることができるのでドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

境界線（実線）の場合

境界線（破線）の場合

境界線（点線）の場合

境界線（カットマーク）の場合

境界線のイメージ（ページ数“4ページ→1ページ”、配置Zに設定した場合）

設定方法

以下に設定方法を説明します。

❶ ［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開き、［複数ページ印刷］を選択する。

Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］の［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［複数ページレイアウト］を選択します。

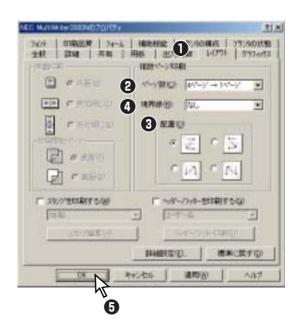
❷ ［ページ数］から縮小配置するページ数を選択する。

❸ ［配置］から配置方法を選択する。

❹ 必要に応じて、［境界線］を選択する。

❺ ［OK］をクリックする。

＜Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合＞

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合＞

仕分け印刷

MultiWriter 3300Nでは印刷時の仕分け機能として、丁合い機能、ジョブセパレート機能、オフセット排紙機能、丁合い印刷を高速にする電子ソート機能があります。複数部数を印刷する場合に、これらの機能を組み合わせて使うことによって簡単に仕分け印刷することができます。ここではそれぞれの機能と、丁合い機能、ジョブセパレート機能、オフセット排紙機能、電子ソート機能を組み合わせた場合の便利な使い方について説明します。

重要

これらの機能を使用するにはOSスプールの設定が双方向通信機能をサポートする設定になっていることが必要です。双方向通信を有効に設定していない場合、または双方向通信ができない場合は、部単位ごとの仕分け印刷ができない場合があります。詳しくは、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（408ページ）をご覧ください。

丁合い機能

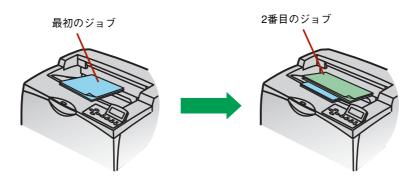
丁合い機能とは、部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ・・・・)に印刷する機能のことです。

丁合い機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（408ページ）をご覧ください。

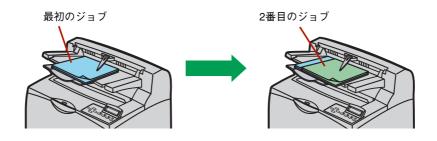
また、双方向通信が無効な環境の場合には、メモリーを増設して電子ソート機能を有効にすることにより利用できます。(電子ソート機能については「電子ソート機能」（227ページ）をご覧ください。)

ジョブセパレート機能

A4サイズの用紙をお使いの場合、印刷ジョブ（ひとつの文書）ごとに縦置きと横置きで交互に印刷させて*、排出される用紙をスタッカー上で仕分ける機能です。ホッパー、MP、手差し、あるいは増設ホッパーのいずれか2か所以上にA4用紙が縦方向と横方向にセットされている必要があります。ネットワークで共有プリンターとしてご利用の場合などは、他の人のドキュメントと区別されるので自分のドキュメントを簡単に見つけることができ、便利です。

MultiWriter 3300Nのプリンタードライバーは標準でジョブセパレート機能が有効になっています。

*　A4用紙の縦置きと横置きを交互に連続して印刷させた場合、同一方向にセットされた用紙を連続して印刷させた場合よりも印刷速度は低下します。

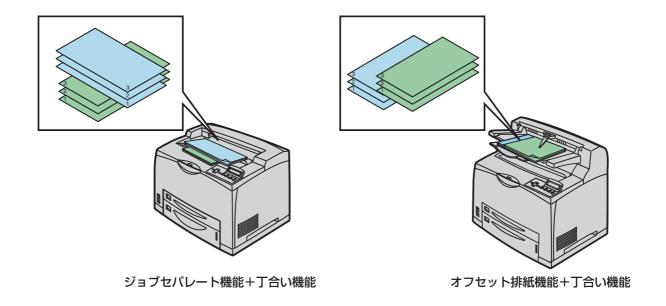
オフセット排紙機能

オフセット排紙機能とはオプションのオフセットトレイユニットを取り付けている場合に使える機能で、印刷ジョブ（ひとつの文書）ごとに左右にずらして排出されます。ネットワークで共有プリンターとしてご利用の場合などは、他の人のドキュメントと区別されるので自分のドキュメントを簡単に見つけることができ、便利です。

ジョブセパレートやオフセット排紙機能を使った仕分け印刷

ジョブセパレート機能、オフセット排紙機能は丁合い機能と組み合わせて使用することができます。

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使用すると、部単位ごとに印刷するとともに、用紙を縦置き、横置きと交互にスタッカー上に仕分けて排出します。

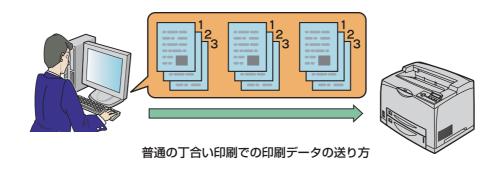
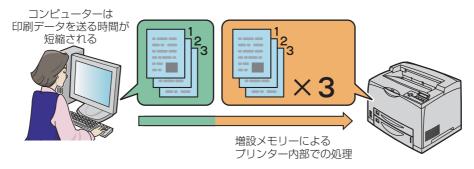
オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせて使用すると、部単位ごとに印刷するとともに、用紙を左右にずらしてオフセットトレイ上に仕分けて排出します。

ジョブセパレート機能＋丁合い機能　　オフセット排紙機能＋丁合い機能

電子ソート機能

電子ソート機能とは、複数部数を印刷する場合にコンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンターで印刷データ処理を行う機能*のことです。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できます。（電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表については付録の「電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表」（509ページ）を参照してください。）

これにより、コンピューターはプリンターに印刷データを送る時間を短縮することができ、コンピューターの印刷処理を早期に解放できます。また2部目以降はプリンター内で印刷データを高速に処理されて印刷でき、複数部数印刷時の高速化が可能です。また、丁合い機能、ジョブセパレート機能、オフセット排紙機能と組み合わせてお使いになると複数の文書を高速に印刷することができるので、さらに便利です。

* 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷、ジョブセパレートの設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。（双方向通信有効時）

普通の丁合い印刷での印刷データの送り方

電子ソート機能を使った丁合い機能での印刷データの送り方

設定方法

以下の4つの機能の設定方法について説明します。

それぞれの機能を組み合わせて仕分け印刷を行う場合、各機能の設定をよくお読みになり、組み合わせたい機能をそれぞれ設定した後に印刷を行ってください。

ジョブセパレート機能

ジョブセパレート機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0が動作しているコンピューターで利用できます。

チェック

- ジョブセパレート機能は、同じ種類の用紙（A4 サイズ）を縦置き、横置きに 2か所以上セットしたときに機能します。A4サイズ以外の用紙では機能しません。
- メニューモードの用紙種別が同じに設定されていないとジョブセパレート機能は動作しません。用紙種別が同じに設定されていることを確認してください。
- ネットワーク環境で複数のクライアントが 1 台のプリンターを共有して使用している場合にジョブセパレート機能を実現するためには、すべてのクライアントにおいて、［ジョブセパレート機能を使用する］および［給紙方法］の項目が［自動］に設定されている必要があります。
- プリンターと双方向通信が無効な場合、ジョブセパレートを使った仕分け印刷ができない場合があります。9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（408ページ） を参照して、双方向通信を有効にしてください。

❶ **ホッパー、MP、手差しあるいは増設ホッパーのいずれか2か所以上にA4用紙を縦置き、横置きにそれぞれセットする。**

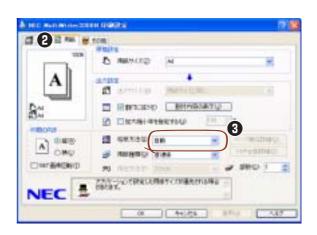
チェック

- 縦置き、横置きにセットする用紙の種類が同じことを確認してください。
- 手差しに A4 用紙をセットする場合は用紙のセット方向（縦置き、横置き）を用紙サイズ設定ダイヤルで確認してください。

❷ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❸ **給紙方法が［自動］になっていることを確認する。**

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

- Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。
- Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。

チェック

手差しでジョブセパレート機能を行う場合は、［その他］シートの［用紙サイズエラー］を［検出する］に設定されている必要があります。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

- ［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。

チェック

手差しでジョブセパレート機能を行う場合は、[出力制御] シートの [用紙サイズエラーを検出する] がチェックされている必要があります。

❹ **ジョブセパレート機能を有効にする。**

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

① Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［ジョブセパレート］ボタンを選択します。
② ［ジョブセパレート］の［ジョブセパレート機能を使用する］をチェックします。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、ジョブセパレート機能の［ジョブセパレート機能を使用する］ボタンをクリックします。

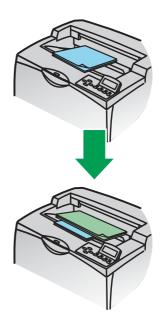
❺ **［OK］をクリックしてダイアログボックスを閉じる。**

❻ **［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲を指定して［OK］をクリックする。**

印刷が始まり、給紙設定されている（プリンターのディスプレイに表示されている）給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

❼ **次の文書の印刷範囲を指定して印刷する。**

前に印刷された用紙の置き方と別の向きにセットされている給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。

オフセット排紙機能

オフセット排紙機能を使用するには、オプションのオフセットトレイユニットを取り付けてください。また、排出方法で［オフセットトレー］が選択され、オフセットトレイに排出できる出力用紙サイズが選択されている場合に使用できます。

- オフセットトレイユニットが装着されていない場合は、この機能は表示されません。
- オフセット排紙機能は、操作パネルから有効／無効の設定を行えます。プリンタードライバーの［排出方法］で［オフセットトレー］を選択してもオフセット排紙機能が働かない場合は、操作パネルでオフセット排紙機能を有効にしてください。（設定の変更方法は「7章　メニューモード」（331ページ）を参照してください。）

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **排出方法で［オフセットトレー］を選択する。**

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

- Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。
- Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

- ［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。

❸ **オフセット排紙機能を有効にする。**

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

① Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［オフセット排紙］ボタンを選択します。

② ［オフセット排紙］の［オフセット排紙機能を使用する］をチェックします。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、オフセット排紙機能の［オフセット排紙機能を使用する］ボタンをクリックします。

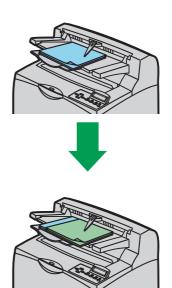
❹ **［OK］をクリックして、ダイアログボックスを閉じる。**

❺［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲を指定して［OK］をクリックする。

印刷が始まり、給紙設定されている（プリンターのディスプレイに表示されている）給紙部から給紙され、オフセットトレイに排出されます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

❻ 次の文書の印刷範囲を指定して印刷する。

前に排出された用紙が右または左にスライドし、オフセットトレイ上の用紙は左右にずれた位置に排出されます。

丁合い機能

丁合い機能とは、部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ‥‥）に印刷する機能のことです。

丁合い機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（408ページ）をご覧ください。

チェック

丁合い機能の設定はプロパティダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合い*、部数の指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションで丁合い、部数の指定をしないでください。

またアプリケーションによってはアプリケーションで設定した部数が優先される場合があります。その場合はアプリケーションで設定を行ってください。

* アプリケーションによっては、「部単位で印刷」という表示になっている場合があります。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、丁合い機能を有効にする。**

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

① Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［丁合い］ボタンを選択します。
② ［丁合い］の［丁合い機能を使用する］をチェックします。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、［丁合い機能を使用する］ボタンをクリックします。

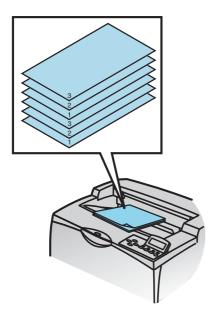
［丁合い機能と連動する］ボタンについて

［ジョブセパレート機能］で［丁合い機能と連動する］をチェックしておくと［丁合い機能を使用する］ボタンと［ジョブセパレート機能を使用する］ボタンが連動してON/OFFできるようになります。

❷ ［OK］をクリックしてダイアログボックスを閉じる。

❸ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲を指定して［OK］をクリックする。

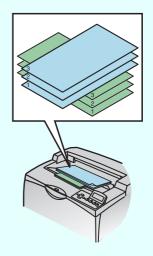
部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ・・・・）に仕分けされながらスタッカー上に排出されます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせた使い方

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使うと、部単位ごとに用紙が縦置き、横置きに仕分けされながらスタッカー上に排出されます。

ジョブセパレート機能と丁合い機能は標準で有効になっています。

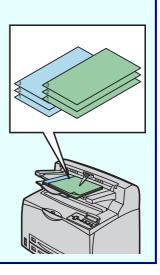
ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使う場合、丁合い機能の設定と228ページの「ジョブセパレート機能」手順❶～❺の設定をしてから印刷を行ってください。

アプリケーションの印刷機能で「丁合い」もしくは「部単位で印刷」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションの丁合い機能は使用せずにプリンターのプロパティで丁合い機能を有効にしてください。

オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせた使い方

オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせて使うと、部単位ごとに用紙が左右に仕分けされながらスタッカー上に排出されます。

丁合い機能は標準で有効になっています。

オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせて使う場合、丁合い機能の設定と230ページの「オフセット排紙機能」手順❶～❹の設定をしてから印刷を行ってください。

アプリケーションの印刷機能で「丁合い」もしくは「部単位で印刷」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションの丁合い機能は使用せずにプリンターのプロパティで丁合い機能を有効にしてください。

電子ソート機能

電子ソート機能とは、複数部数の印刷を行う場合、コンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンター内部で印刷処理を行う機能*のことです。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できます。（増設メモリーの取り付けは1章の「増設メモリーの取り付け」（43ページ） を参照してください。）

* 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷、ジョブセパレートの設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。

MultiWriter 3300Nを双方向通信が無効な環境でお使いの場合には、プリンター本体に装備したメモリー容量をプリンタードライバーで設定する必要があります。次の手順に従って、メモリー容量を設定してください。ただし、双方向通信が有効な環境ではPrintAgentの機能により自動的に設定されます。

電子ソート機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターで利用できます。

また、増設メモリーによる印刷保証枚数については、付録の「電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表」（509ページ）を参照してください。

チェック

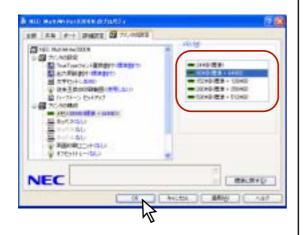
電子ソート機能を有効にするためには、プリンターに64MB以上のメモリーを増設してください。

プリンタードライバーでの増設メモリーの設定方法

双方向通信が無効な環境の場合、以下のダイアログボックスの［プリンタの構成］シートを開き、［メモリ］を増設したメモリーの構成に合わせます。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

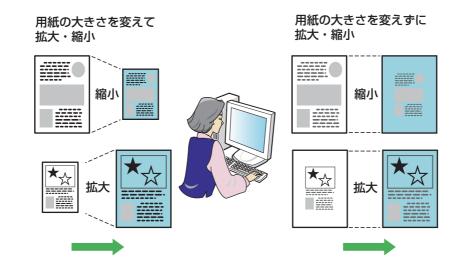
- Windows XP、Windows 2000は［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの設定］シート
- Windows NT 4.0は［プロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの設定］シート

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの構成］シート

拡大・縮小印刷

用紙の大きさを変えて拡大・縮小する方法と、用紙の大きさを変えないで拡大・縮小するという方法があります。

用紙の大きさを変えて拡大・縮小

- 出力用紙サイズを指定する 236ページ
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

  アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。印刷データは出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。

- 拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する 239ページ
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

  アプリケーションの用紙サイズを拡大・縮小印刷対応用紙サイズ（「A4×2→A4」など）に指定します。この設定はプリンターの機能を利用して印刷を行います。

用紙の大きさを変えないで拡大・縮小

- 拡大・縮小率を指定する 238ページ
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。
  任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大・縮小を行います。拡大・縮小率は10%～400%の範囲で設定可能です。

  次ページの「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

設定方法

出力用紙サイズを指定する

❶ ［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95は［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

❷ ［用紙サイズ］ボックスからアプリケーションで設定した用紙サイズを選択する。

ユーザ定義を選択した場合の設定は「定形外用紙サイズの用紙に印刷」（244ページ）を参照してください。

❸ ［出力用紙サイズ］に任意の出力用紙サイズを設定する。

出力用紙サイズの設定方法には次の2通りがあります。

- サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付ける場合→❸-(a)
- すでに設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定する場合→❸-(b)

❸-(a)

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

［出力設定］の［割付に従う］のチェックを外し、［出力サイズ］ボックスから任意の出力用紙サイズを選択する。手順❻に進んでください。

［用紙サイズ］と［出力サイズ］に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小率が表示されます。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［出力用紙サイズ］で［指定する］を選び、［出力用紙サイズ］ボックスから任意の出力用紙サイズを選択します。手順❻に進んでください。

❸-(b)［割付に従う］をチェックする。

現在［用紙サイズ］で選択されている用紙サイズに割り付けてあるサイズが、出力用紙サイズとして自動的に設定されます。

割り付けの設定を変更したい場合は手順❹に進んでください。変更しない場合は手順❻に進んでください。

❹ **出力用紙の割付設定をするダイアログボックスを開く。**

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスを開きます。［プリンタの設定］シートの［出力用紙割付］で［ユーザ割付］を選び、［割付設定］をクリックします。

［用紙］シートの［割付内容の表示］をクリックすると、組み合わせの表示のみ行います。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［用紙］シートの［出力用紙の設定］をクリックします。

❺ **設定したい出力用紙サイズを選択し、［OK］または［閉じる］をクリックする。**

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0

Windows Me、Windows 98、Windows 95

❻ **［用紙］シートの［OK］をクリックする。**

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［プリンタの設定］シートの［OK］をクリックし、［用紙］シートの［OK］をクリックします。

チェック

- 以下の用紙サイズを指定した場合は［出力用紙サイズ］が固定となり、［出力用紙サイズ］で指定する拡大・縮小印刷機能は使用できません。

  A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

拡大・縮小率を指定する

この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。

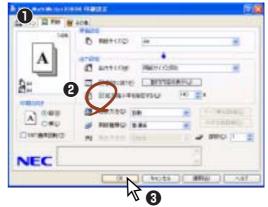
- ［レイアウト］*1シートで複数ページ印刷を設定している
- ［フォーム］*2シートでフォーム印刷を設定している
- ［用紙］シートで以下の用紙サイズを設定している
  A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

*1　Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［メイン］シートの［複数ページレイアウト］シートになります。
*2　Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［その他］シートになります。

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

❷ **［拡大縮小率を指定する］をチェックし、右のボックスで拡大・縮小率を設定する。**

❸ **［OK］をクリックする。**

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0

Windows Me、Windows 98、Windows 95

拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する

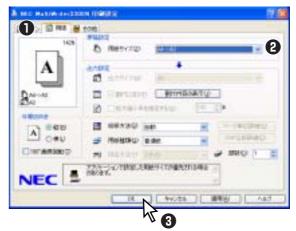
プリンターの拡大・縮小モードを設定します。設定は印刷時のみ有効になります。

❶ ［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

- Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。
- Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

❷ ［用紙サイズ］ボックスから用紙サイズ（下記の拡大・縮小率）を選ぶ。

A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

❸ ［OK］をクリックする。

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0

Windows Me、Windows 98、Windows 95

MOPYING設定ウィンドウ

本プリンターのプリンタードライバーには、より快適にMOPYINGを実現するために、MOPYING設定ウィンドウがあります。複数ページ印刷や両面印刷（オプション）などの設定を簡単に行うことができます。

MOPYING設定ウィンドウは、一部のアプリケーションのみ対応しております。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「MW3300N¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

設定方法

MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する場合は以下の手順を行ってください。

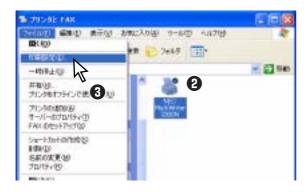
Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする

MOPYING設定ウィンドウを表示するため、設定を有効にします。

❶ **［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP以外の場合は、［プリンタ］フォルダー）を開く。**

❷ **［NEC MultiWriter 3300N］アイコンをクリックする。**

❸ **［ファイル］メニューの［印刷設定］*をクリックする。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

* Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は［プロパティ］、Windows NT 4.0の場合は［ドキュメントの既定値］をクリックします。

❹ **MOPYING設定を有効にする。**

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

［その他］シートをクリックします。

［拡張機能］の下の［MOPYING設定ウィンドウ］を選び［表示する］を選択し、［OK］をクリックします。

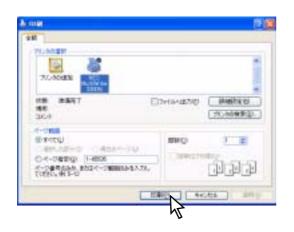
<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［補助機能］シートを開きます。［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックし、［OK］をクリックします。

Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

❶ アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。

❷ ［印刷］ダイアログボックスの［印刷］をクリックする。

MOPYING設定ウィンドウが表示されます。

❸ 複数ページレイアウト印刷などの設定をし、［印刷開始］をクリックする。

印刷が開始されます。

設定を解除する

MOPYING設定ウィンドウの表示を無効にする手順を説明します。

❶ 前ページの手順❶〜❸を行い、プロパティダイアログボックスを開く。

❷ MOPYING設定を解除する。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

［その他］シートをクリックします。

［拡張機能］で［MOPYING設定ウィンドウ］を選び、［表示しない］を選択し、［OK］をクリックします。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［補助機能］シートを開きます。［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］のチェックを外し、［OK］をクリックします。

チェック

この手順以外でもMOPYING設定ウィンドウが表示されているときに、［今後、このウィンドウを表示しない］をチェックすることにより、MOPYING設定を無効にすることができます。

「かんたん設定」の使い方

「かんたん設定」はWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでご利用になれます。［印刷設定］ダイアログボックスおよび［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス内の設定内容をまとめて登録できる機能で、アイコンをクリックすれば登録した設定内容で簡単に印刷することができます。

ここでは、「かんたん設定」の登録と削除方法について説明します。

なお、「かんたん設定」には、あらかじめ6つの印刷方法が設定された［プリンターで登録済みの設定］アイコンがあります。それぞれのアイコンに設定されている内容は以下の表のとおりです。

- 各アイコンをクリックすると、以下の表のとおりに各機能が設定されます。
- 各機能のいずれかの設定が変更された場合には、アイコンに ⚠ マークが表示されます。

項目		［プリンターで登録済みの設定］アイコン					
		標準	2in1	両面* 長辺綴じ	両面* 短辺綴じ	マル秘	ユーザー名
解像度		600dpi	600dpi	600dpi	600dpi	600dpi	600dpi
複数ページレイアウト		1ページ→1ページ	2ページ→1ページ	1ページ→1ページ	1ページ→1ページ	1ページ→1ページ	1ページ→1ページ
	配置	Z型	左→右型	Z型	Z型	Z型	Z型
	境界線	なし	なし	なし	なし	なし	なし
両面印刷*		片面	片面	長辺綴じ	短編綴じ	片面	片面
	印刷開始ページ	表面	表面	表面	表面	表面	表面
スタンプを印刷する		しない	しない	しない	しない	する	しない
	スタンプ名	マル秘	マル秘	マル秘	マル秘	マル秘	マル秘
ヘッダー / フッターを印刷する		しない	しない	しない	しない	しない	する
	印刷項目	ユーザー名	ユーザー名	ユーザー名	ユーザー名	ユーザー名	ユーザー名
	位置	右上	右上	右上	右上	右上	右上
SET 機能		使用する	使用する	使用する	使用する	使用する	使用する
トナー節約		使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない
ブラシパターン		拡大	拡大	拡大	拡大	拡大	拡大

* オプションの両面印刷ユニットが取り付けられている場合にのみ表示されます。

設定方法

ユーザー設定の登録

❶ **任意のプロパティシートで登録したい設定内容に変更する。**

設定内容を確認したい場合は［設定一覧］をクリックして、［設定一覧］ダイアログボックスを表示させます。

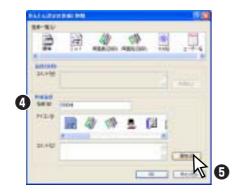
❷ **［メイン］シートを開く。**

❸ **［登録と削除］をクリックする。**

［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックスが表示されます。

❹ **名前を入力し、任意のアイコンを選択する。**

名前は必ず入力してください。名前の入力文字は全角/半角に関係なく、15文字までです。
登録する設定の簡単な説明を全角/半角に関係なく、127文字まで［コメント］ボックスに入力することができます。

❺ **［追加］をクリックする。**

❻ **設定内容が表示されるので、確認して［OK］をクリックする。**

［印刷設定］ダイアログボックスを開いた後に変更された内容は、赤で表示されています。

❼ **［登録一覧］リストビューに登録したアイコンが追加されたことを確認し、［OK］をクリックする。**

アイコンの表示順は、アイコンを直接ドラッグすることで変更できます。

各シートの右クリックメニューからも［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス［設定一覧］ダイアログボックスを開くことができます。

ユーザー設定の削除

❶ **［メイン］シートを開く。**

❷ **［登録と削除］をクリックする。**

［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックスが表示されます。

❸ **削除したいアイコンを選択し、［削除］をクリックする。**

チェック

［プリンターで登録済みの設定］アイコンは削除できません。

❹ **［OK］をクリックする。**

❺ **［登録一覧］リストビューから登録していたアイコンが削除されたことを確認し、［OK］をクリックする。**

各シートの右クリックメニューからも［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス［設定一覧］ダイアログボックスを開くことができます。

定形外用紙サイズの用紙に印刷

設定方法

定形外用紙（ユーザー定義）の用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。
Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする
Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定する
Step 3　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズで印刷する

重要

定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。（用紙については付録の「用紙の規格」（434ページ）をご覧ください。）

給紙方法	用紙サイズ
ホッパー	幅77～297mm、高さ148～431mm
MPカセット	幅77～304mm、高さ100～508mm
手差し	

Step 1　定形外用紙をセットする

チェック

定形外用紙をセットする際の注意は、5章の「用紙をセットする時の注意」（315ページ）を参照してください。

<ホッパー、MPにセットする場合>

❶ **ホッパー、MPカセットに用紙をセットする。**

手順は、5章の「ホッパー、MP に用紙をセットする」（307ページ）を参照してください。

操作パネル上の［給紙先］スイッチで給紙先を「ホッパ」または「MP」に選択した場合に、操作パネルに表示されている用紙サイズは無効となり、プリンタードライバーのプロパティで設定した用紙サイズで定形外用紙の印刷を行います。

<手差しにセットする場合>

❶ **手差しに用紙をセットする。**

手順は、5章の「手差しに用紙をセットする」（311ページ）を参照してください。

❷ **手差しトレイユニットの用紙サイズ設定ダイヤルを「その他」に設定する。**

操作パネル上の［給紙先］スイッチで給紙先を「手差し」に選択した場合に、操作パネルに表示されている用紙サイズは無効となり、プリンタードライバーのプロパティで設定した用紙サイズで定形外用紙の印刷を行います。

Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定する

定形外用紙の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

チェック

新しい用紙サイズを作成する場合の幅、高さはプリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（幅77～304mm、高さ100～508mm）を設定してください。プリンターにセットできる用紙以外の大きさを設定した場合は、その用紙は使用できません。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合、設定できる用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）は一種類のみです。

<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ ［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、［プリンタ］フォルダー）を開く。

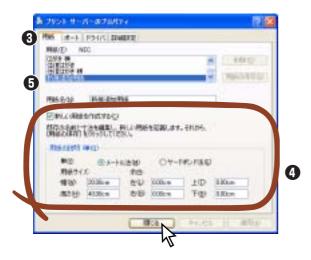
❷ ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックする。

❸ ［用紙］シートを開く。

❹ ［新しい用紙を作成する］をチェックして、任意の用紙名、用紙サイズを入力し、［用紙の保存］をクリックする。

チェック

プリンターにセットできる用紙サイズ（幅77～304mm、高さ100～508mm）を設定してください。

❺ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して［閉じる］または［OK］をクリックする。

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000

Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合＞

❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

❷ 使用するプリンターのアイコンをクリックする。

❸ ［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。

［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

❹ ［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから［ユーザ定義］を選ぶ。

❺ 用紙の［幅］と［長さ］を入力し、［OK］をクリックする。

チェック

プリンターにセットできる用紙サイズ（幅 77 ～ 304mm、高さ 100～508mm）を設定してください。

❻ ［OK］をクリックし、［プロパティ］ダイアログボックスを閉じる。

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

Step 3　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズで印刷する

Step2で設定した用紙サイズで印刷する手順を説明します。なお、アプリケーションによっては手順が異なる場合があります。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP、Windows Server 2003以外は［プリンタ］フォルダー）から開く方法があります。アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP、Windows Server 2003以外は、［プリンタ］フォルダー）から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ **アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。**

アプリケーションによっては、この手順後に［印刷］ダイアログボックスの［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。

❷ **［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから、Step2で追加した用紙サイズを選択する。**

チェック

坪量90～157g/m²、157～216g/m²の用紙の場合は、［用紙種類］ボックスでそれぞれ［厚紙1］、［厚紙2］を指定してください。

❸ **［給紙方法］と［用紙種類］を指定する。**

❹ **印刷部数を指定して、［OK］（または［印刷］）をクリックする。**

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ **アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［プロパティ］をクリックする。**

❸ **［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから、［ユーザ定義］を選択する。**

チェック

坪量90～157g/m²、157～216g/m²の用紙の場合は、［用紙種類］ボックスでそれぞれ［厚紙1］、［厚紙2］を指定してください。

❹ **［ユーザー定義サイズ］ダイアログボックスで［幅］と［長さ］を確認し、［OK］をクリックする。**

❺ **［給紙方法］と［用紙種類］を指定する。**

❻ **印刷部数を指定して、［OK］をクリックする。**

ホッパー、MPカセットから給紙する場合について

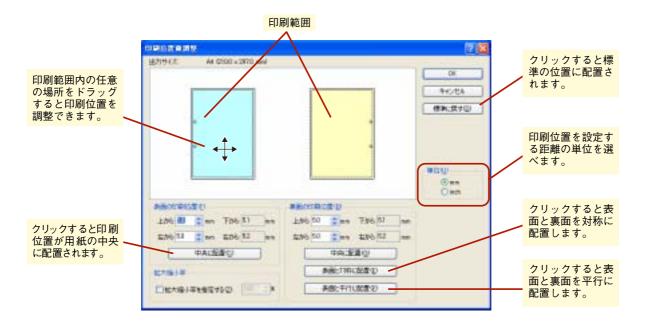
ホッパー、MPカセットから定形外用紙の印刷を行う場合、プリンターの電源を入れた後、初めて定形外用紙をセットし、印刷を行うと「テイケイガイ　ホキュウ」のアラームが表示されます。このとき、カセットの用紙が定形外用紙であることを確認して、［印刷可］スイッチを押してください。印刷が再開されます。
また、次回異なる用紙サイズの定形外用紙の印刷を行った場合、もしくはプリンターの電源を再投入した後、定形外用紙の印刷を行った場合は、カセットの用紙確認のため、プリンターは「テイケイガイ　ホキュウ」のアラームを表示します。［印刷可］スイッチを押して、印刷を再開してください。
［ヨウシメニュー］の［テイシカクニン］で「シナイ」に設定されている場合は、「テイケイガイ　ホキュウ」のアラーム表示は行いません。
ホッパー、MPカセットの用紙サイズが定形外サイズに設定されているときは、［用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定すると、プリンター本体で自動的に用紙サイズを検知するようになります。

印刷位置の調整

OSごとに以下のダイアログボックスで印刷位置を細かく調整します。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0：
  ［その他］シートの［拡張機能］ツリービューの［印刷位置微調整］ダイアログボックス
- Windows Me、Windows 98、Windows 95：［レイアウト］シートの［詳細設定］ダイアログボックス

以下は両面印刷するときのダイアログボックスの例です。片面印刷する場合には片面のみ設定するダイアログボックスが表示されます。

印刷位置は用紙上端と左端からの距離で設定します。下端、右端からの距離はそれに合わせて自動的に変化します（ボックスに入力はできません）。また、このダイアログボックスには入力された数値に応じて変化する印刷範囲のイメージが表示されます。さらにこの印刷範囲のイメージを直接マウスで変化させて「感覚的」に位置調整することも可能です。

［印刷位置微調整］ダイアログボックス（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0）
［詳細設定］ダイアログボックス（Windows Me、Windows 98、Windows 95）

スタンプ機能

スタンプ機能は、ドキュメントの作成をサポートする機能として「コピー禁止」や「社外秘」などを同時に印刷する機能です。スタンプ機能を利用することにより、次のような文書管理が可能になります。

- 機密情報文書などの重要な書類を印刷する場合、アプリケーションデータを加工することなく、「取扱注意」や「マル秘」などの情報を加えて資料を印刷することで機密文書を区別できます。

- 「DRAFT」や「回覧」などの情報を加えて資料を印刷することで、文書の取り扱いレベルを設定することができます。

- 会社の社印やシンボルマークなどをあらかじめスキャナーで読み取ってビットマップファイルにしておき、資料を印刷する際にアプリケーションデータを加工することなく、これらのビットマップを付加して印刷することができます。

設定方法

設定は次の手順で行ってください。

Step 1　スタンプ機能を有効にする
Step 2　スタンプ名を選択する
Step 3　必要に応じて、スタンプの編集や追加をする

Step 1　スタンプ機能を有効にする

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ **Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［スタンプ］ボタンを選択する。**

❸ **［スタンプ］の［スタンプを印刷する］をチェックする。**

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開く。**

❷ **［スタンプを印刷する］をチェックする。**

スタンプは、標準で「マル秘」、「外秘」、「CONFIDENTIAL」、「取扱注意」、「複写禁止」、「持出禁止」、「重要」、「DRAFT」、「回覧」、「至急」を登録しています。

Step 2　スタンプ名を選択する

［スタンプ名］ボックスから任意のスタンプ名を選択します。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

Step 3　必要に応じて、スタンプの編集や追加をする

［スタンプ編集］をクリックして、［スタンプ編集］ダイアログボックスを開きます。

Step 4　文字またはビットマップをスタンプとして登録する

スタンプに文字を印刷させる場合

❶ **［スタンプの種類］で［文字］をチェックする。**

❷ **［スタンプ文字列］ボックスにスタンプとして印刷したい文字列を入力する。**

❸ **［登録名］ボックスに登録名を入力したあと、［登録］をクリックする。**

スタンプが登録されます。

スタンプにビットマップを印刷させる場合

❶ **［スタンプの種類］で［ビットマップ］をチェックする。**

❸ **［参照］ボタンおよび［ファイル名］ボックスでスタンプとして印刷したいビットマップファイルを設定する。**

❸ **［登録名］ボックスに登録名を入力したあと、［登録］ボタンをクリックする。**

スタンプが登録されます。

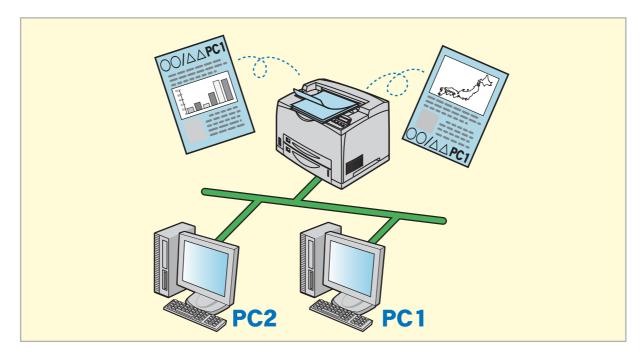
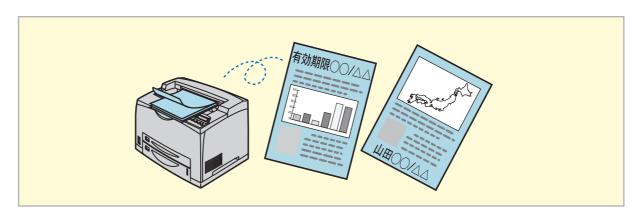
❹ **［OK］をクリックし、［スタンプ編集］ダイアログボックスを閉じる。**

チェック

- アプリケーションの印刷プロパティから、スタンプを新規登録することができます。登録した情報は、アプリケーションを終了しても保持されます。
- 両面印刷、複数ページレイアウト時でもスタンプは設定可能です。ただし、その場合は論理ページごとにスタンプが印刷されます。

ヘッダー・フッター

ヘッダー／フッター機能は、あらかじめ日付や作成者などを設定して、文章と同時に印刷する機能で、文章の区別、仕分けなど簡単に識別できる便利な機能です。ヘッダー／フッター機能を利用することにより、次のような文書管理をすることができます。

- ヘッダー／フッター機能がないアプリケーションから印刷を行う場合にも、「ユーザー名」や「コンピューター名」をヘッダー／フッター位置に印刷することができ、共有のネットワークプリンタなどにおいて「だれが」、「どこから」印刷したものかを容易に判別できて、印刷元を明らかにすることができます。

- 「文字列（例：有効期限*** など）」、「日付」を設定して印刷することで印刷ドキュメントの管理・有効性を高めることができます。

設定方法

設定は次の手順で行ってください。

Step 1　ヘッダー・フッター機能を有効にする
Step 2　位置と印刷項目を選択する
Step 3　ヘッダー・フッターに任意の文字列を入力する

Step 1 ヘッダー・フッター機能を有効にする

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ **Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開く。**

❷ **左側の［機能選択］バーから［ヘッダー／フッター］ボタンを選択する。**

❸ **［ヘッダー／フッター］の［ヘッダー／フッターを印刷する］をチェックする。**

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開く。**

❷ **［ヘッダー／フッターを印刷する］をチェックする。**

Step 2 位置と印刷項目を選択する

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ **［位置］からヘッダー／フッターを印刷する位置を選択する。**

❷ **［印刷項目］からヘッダー／フッターに印刷する項目を選択する。**

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ **［レイアウト］シートの［ヘッダー／フッター印刷］ボタンを選択する。**

［ヘッダー／フッター印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

❷ **［位置］からヘッダー／フッターを印刷する位置を選択する。**

❸ **［印刷項目］からヘッダー／フッターに印刷する項目を選択する。**

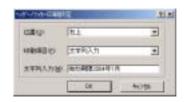
ヘッダー／フッターとして印刷できる項目は、「ユーザー名」、「コンピューター名」、「ユーザー名／コンピューター名」、「日付」、「時刻」、「日付／時刻」、「ドキュメント名」、「ページ番号」もしくは任意の文字列です。任意の文字列を印刷する場合は、次ページのStep 3の手順に進んでください。

Step 3　ヘッダー・フッターに任意の文字列を入力する

❶ ［印刷項目］ボックスから［文字列入力］選択し、［文字列入力］ボックスに印刷する文字列を入力する。

- 入力できる文字列は、全角文字で最大32文字、半角文字で最大64文字までです。
- アプリケーションの印刷プロパティから［ヘッダー／フッター］を設定した場合、アプリケーションが開いている間は設定が保持されます。
- 文字サイズは、MS Pゴシック10.5pt固定になります。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

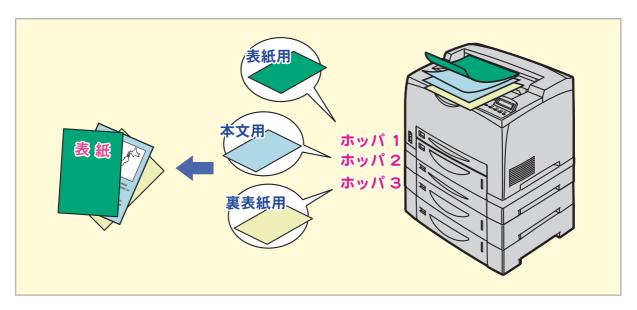
<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❷ ［OK］をクリックする。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、［ヘッダー／フッター印刷設定］ダイアログの［OK］をクリックし、［レイアウト］シートの［OK］をクリックします。

両面印刷、複数ページレイアウト時でもヘッダー／フッターは設定可能です。ただし、その場合は論理ページ毎にヘッダー／フッターが印刷されます。

ページ単位の給紙方法

いろいろな用紙の組み合わせに便利な給紙方法を設定する機能です。ページ単位の給紙方法指定機能を利用することにより、次のような文書管理が可能になります。

- マニュアル／テキスト／しおり などの作成で表紙・本編・裏紙をそれぞれ別の「用紙」で印刷したい時に使用します。

- 月末処理などで「大量印刷」を行う場合に、ジョブ単位の区切りを分かりやすくする場合に使用します。

設定方法

設定は次の手順で行ってください。

Step 1　給紙方法をページ単位で指定する
Step 2　詳細な設定をする

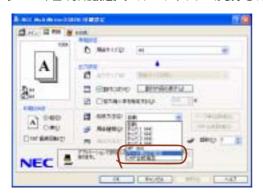
Step 1　給紙方法をページ単位で指定する

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ **Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **［給紙方法］ボックスの［ページ単位で指定］を選択する。**

［ページ単位の詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **［給紙方法］ボックスの［ページ単位で指定］を選択する。**

［ページ単位の詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

Step 2　詳細な設定をする

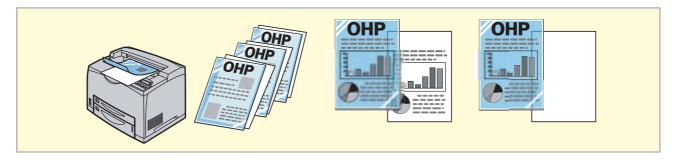
❶ **［ページ単位の詳細設定］ダイアログボックスで、ページ単位の詳細な給紙方法を設定し、［OK］をクリックする。**

- 1ページ目の前もしくは最終ページの後に差紙（白紙ページ）を挿入する場合
［1ページ目の前に差紙をする］もしくは［最終ページの後に差紙をする］をチェックしてください。合わせて給紙先を選択してください。
- 1ページ目の給紙先を指定する場合
［1ページ目の給紙方法］を指定してください。
- 2ページ目の給紙先を指定する場合
［2ページ目の給紙方法］を指定してください。
- 2ページ目以降のページの給紙先を指定する場合
［その他のページの給紙方法］を指定してください。

✔チェック

設定後、このダイアログを表示させせない場合は［以降、このダイアログをポップアップさせない］をチェックしてください。再びこのダイアログを開き設定を行う場合は、［用紙］シートの［ページ単位詳細］ボタンをクリックしてください。

OHPに合い紙を入れる

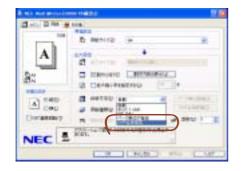
OHPフィルムに印刷を行う場合、各ページに「合い紙」を挿入したい場合に使用します。合い紙は、白紙もしくは同じ文章の印刷が選択できます。

設定方法

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

❷ ［給紙方法］ボックスの［OHP合紙指定］を選択する。

［OHP合紙の詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ ［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

❷ ［給紙方法］ボックスの［OHP合紙指定］を選択する。

［OHP合紙の詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

❸ ［OHP合紙の詳細設定］ダイアログボックスで、OHPと合い紙の給紙先を設定する。

✔チェック

- 給紙方法を［OHP合紙指定］にすると、両面印刷はできません。両面印刷が設定されていた場合は、警告メッセージを表示して［片面］印刷となります。
- 設定後、このダイアログを表示させない場合は［以降、このダイアログをポップアップさせない］をチェックしてください。再びこのダイアログを開き設定を行う場合は、［用紙］シートの［OHP合紙詳細］ボタンをクリックしてください。

白紙の合い紙を挿入する場合は、［合紙にプリントしない(白紙挿入)］をチェックします。

挿入する合い紙にOHPと同じ文章を印刷して出力する場合は、［合紙にプリントする］をチェックします。

❹ ［OK］をクリックする。

ユーザー名を表示する

プリンターがデータを受信中、処理中、印刷中に操作パネルのディスプレイ（下段）にユーザー名または任意の文字を表示する機能です。Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用になれます。

インサツチュウ
ﾔﾏﾀﾞ

設定方法

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［その他］シートを開く。

❷［操作パネル表示］で「ユーザ名」または「指定文字列」を選択する。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶［プロパティ］ダイアログボックスの［補助機能］シートを開く。

❷［操作パネル表示］で「ユーザ名」または「指定文字列」を選択する。

［操作パネル表示］について

- ［なし］
  ディスプレイには何も表示されません。
- ［ユーザ名］
  ネットワーク上にログインしたときのユーザー名がディスプレイに表示されます。［ユーザ名］を選ぶと［表示文字列］テキストボックスでユーザー名が確認できます。
- ［指定文字列］
  ［表示文字列］テキストボックスに入力された文字列（半角で16文字まで）が表示されます。入力できる文字は次の英数カナ文字です。

ｽﾍﾟｰｽ	0	?	N	]	l	{	ｭ	ｼ	ﾋ	ﾛ
!	1	@	O	^	m	|	ｮ	ｽ	ﾌ	ﾜ
#	2	A	P	_	n	}	ｯ	ｾ	ﾍ	ﾝ
$	3	B	Q	`	o	｡	ｰ	ｿ	ﾎ	ﾞ
%	4	C	R	a	p	｢	ｱ	ﾀ	ﾏ	ﾟ
&	5	D	S	b	q	｣	ｲ	ﾁ	ﾐ	
'	6	E	T	c	r	､	ｳ	ﾂ	ﾑ	
(	7	F	U	d	s	･	ｴ	ﾃ	ﾒ	
)	8	G	V	e	t	ｦ	ｵ	ﾄ	ﾓ	
*	9	H	W	f	u	ｧ	ｶ	ﾅ	ﾔ	
+	:	I	X	g	v	ｨ	ｷ	ﾆ	ﾕ	
,	;	J	Y	h	w	ｩ	ｸ	ﾇ	ﾗ	
-	<	K	Z	i	x	ｪ	ｹ	ﾈ	ﾘ	
.	=	L	[	j	y	ｫ	ｺ	ﾉ	ﾙ	
/	>	M	¥	k	z	ｬ	ｻ	ﾊ	ﾚ	

❸［OK］をクリックする。

リプリント機能

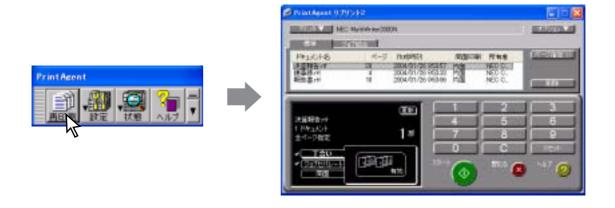
リプリント（再印刷）は、一度印刷したデータをアプリケーションから再び印刷を実行することなく、再印刷する機能です。MultiWriter 3300Nではコピー機感覚で操作できる「PrintAgent リプリント2」を提供しています。

PrintAgent リプリント2

この機能をご利用になるには、あらかじめPrintAgent リプリント2がインストールされている必要があります。(PrintAgentのインストール方法については「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（49ページ）をご覧ください)。「PrintAgent」ツールバーを使えば、PrintAgent リプリント2を簡単に呼び出し、再印刷することができます。

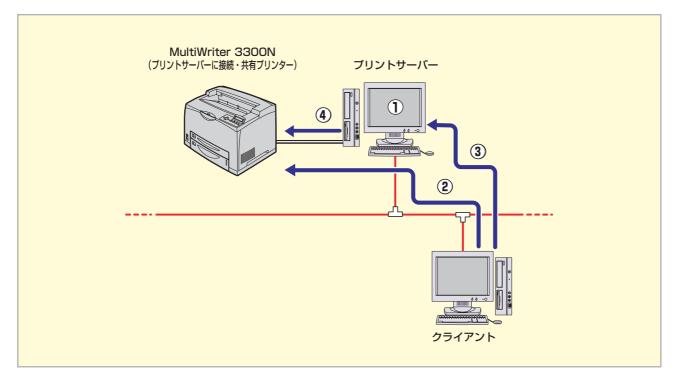
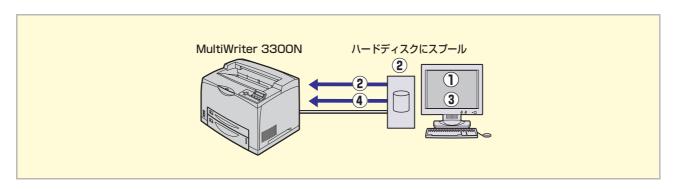
PrintAgent リプリント2では以下の便利な機能を備えています。

- 標準モード：　再印刷する文書に対して丁合い機能、ジョブセパレート機能を選択して仕分け印刷や、両面印刷（オプション）をすることができます。
- ジョブ結合モード：一度印刷された複数の文書を結合し、一文書として再印刷することができます。（ジョブ結合の概要については次ページ以降の解説をご覧ください。）

PrintAgent リプリント2を起動するには、以下のとおり「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックします。

PrintAgentおよびPrintAgent リプリント2がインストールされている必要があります。PrintAgent リプリント2はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用できますが、そのためにはPrintAgentをインストールする際に「PrintAgent リプリント2」オプションをチェックしておく必要があります。

設定方法

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0が動作しているコンピューターで利用できます。リプリント機能を使うには次のステップが必要です。

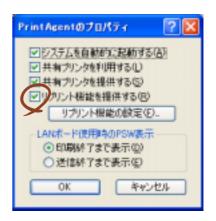
Step 1　リプリント機能を設定する（リプリント機能の提供）
Step 2　印刷する（リプリント用ファイルのスプール）
Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ（スプールファイルの選択）
Step 4　リプリントする（スプールファイルの出力）

クライアントサーバーの場合

ローカル接続の場合

Step 1　リプリント機能を設定する

ローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバーの「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニューからPrintAgentのプロパティを開くか、あるいはPrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、［リプリント機能を提供する］をチェックする。

重要

この設定が行えるのは、以下のユーザーのみです。

- プリントサーバーがWindows XPの場合、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である。
- プリントサーバーがWindows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administratorsの権限がある。

［リプリント機能を提供する］

リプリントを行う場合には、本項目をチェックしておきます。チェックすると、一度印刷したデータをコンピューター上でプライベートスプールします。プライベートスプールするときの設定を行うには［リプリント機能の設定］ボタンをクリックします。プライベートスプールとは、リプリントを行うためにPrintAgentがドキュメントを保有することです。プリントサーバーのハードディスクに印刷ドキュメントが保存されます。

［リプリント機能の設定］ボタン

このボタンをクリックすると、下図に示すダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでリプリント機能に関する詳細な設定を行います。

*1　ここで設定した値のうちのいずれかを超えると、すでにスプールしているドキュメントの中から最も古いファイルの順に消去されます。

*2　空き容量が不足した場合など、このボタンからスプール先のフォルダーを変更できます。ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

Step 2　印刷する

❶ **リプリント機能を利用するプリンターのプロパティダイアログボックスを開き、［リプリント機能を使用する］をチェックする。**

リプリント機能は標準で有効になっています。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

［印刷設定］ダイアログボックス（Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックス）の［メイン］シートの［機能選択］バーで［リプリント］ボタンを選択する。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

プリンターのプロパティの［出力制御］シート

❷ **アプリケーションでドキュメントを印刷する。**

チェック

［MOPYING設定ウィンドウを表示する］が有効になっている場合は、MOPYING設定ウィンドウで「リプリント機能を使用する」を有効にすることができます。

Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ

❶ **「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックする。**

❷ **［標準］シートを開く。**

❸ **［PrintAgent リプリント2］でリプリントしたいドキュメントを選ぶ。**

チェック

標準ではリプリントできるドキュメント数は「10」に設定されています。変更するときは261ページを参照してください。

Step 4　リプリントする

再印刷するドキュメントの印刷部数、丁合い、ジョブセパレート、両面印刷を設定して印刷する。

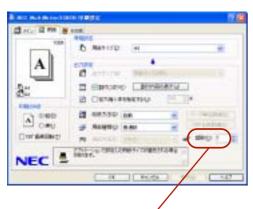
部数は、999部まで設定できます。

次ページの「リプリント機能を使用するときの注意事項」を参考にして設定してください。

リプリント機能を使用するときの注意事項

リプリント機能を利用するにあたっては、以下の内容を参考にしてください。

- **リプリントされるページは、最初に印刷したときのプロパティダイアログボックスの設定をそのまま使って印刷されます。**
  たとえば給紙方法や排出方法、縮小・拡大率の設定、印刷位置の調整などはそのままの設定で印刷されます。

部数、丁合い、ジョブセパレートの設定は初期化されますので、再設定が必要です。

＜Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合＞

リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

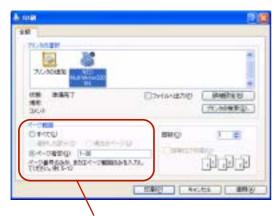
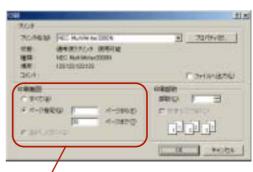
＜Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合＞

リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

- **リプリント機能で印刷できるページはアプリケーションで実際に印刷したページのみです。**
  たとえば10ページある文書の中から下の［印刷］ダイアログボックスのように2～3ページを印刷した場合、1ページと4～10ページをリプリントすることはできません。

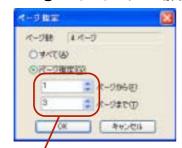
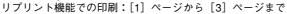
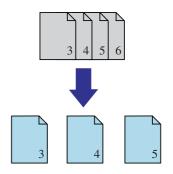
＜Windows XP、Windows 2000の場合＞

リプリントに有効なページは2～3ページです。

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0の場合＞

リプリントに有効なページは2～3ページです。

- **リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。**
  たとえばアプリケーションで文書の3〜6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。

PrintAgent リプリント2の場合

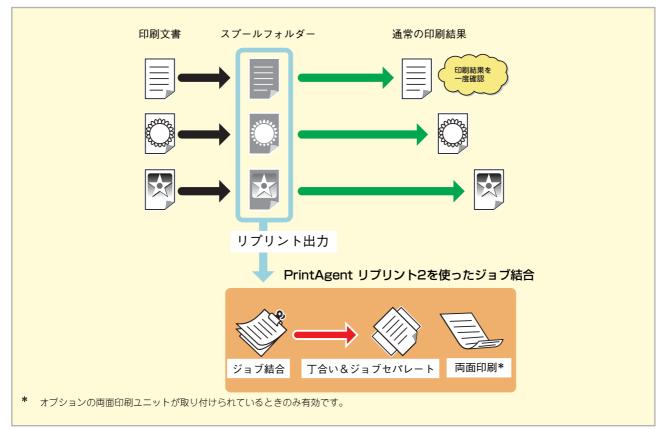
リプリント機能での印刷：[1］ページから［3］ページまで

1ページ目　2ページ目　3ページ目

- **サーバー／クライアント環境での印刷ファイルはプリントサーバーにスプールされます。**
  スプールされたファイルは［リプリント機能の設定］ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。

スプールファイルの有効期限

文書を結合する

PrintAgent リプリント2を使い、一度印刷した複数の異なる文書を結合する（ジョブ結合）ことができます。

PrintAgent リプリント2を使ったジョブ結合

ジョブ結合

PrintAgentリプリント2で実現する機能です。一度印刷した複数の文書を選択した順番で自由に組み合わせ、ひとつのジョブとして再印刷することができます。さらにジョブ結合した文書に対しても丁合い出力やジョブセパレート出力による仕分け印刷*1ができます。コピー作業のように原稿を並べ替える必要はありません。すべてパソコンのデスクトップ上で原稿を並び替えることができ、しかもオリジナルでの出力（MOPYING）が可能です。

設定は［PrintAgent リプリント2］の［ジョブ結合］シートで行います。

*1　オフセット排紙機能による仕分け印刷は設定できません。
*2　印刷データがA4サイズでジョブセパレート機能が有効な場合、選択できます。
*3　両面印刷ユニット（オプション）が取り付けられていて、両面印刷が有効な場合、選択できます。

設定方法

ジョブ結合設定の最初の手順は、PrintAgent リプリント2でリプリントする場合と同じです。

❶ **PrintAgentでリプリント機能の設定をする。**

PrintAgentリプリント2を使用するために、PrintAgentのプロパティでリプリント機能の設定をします。（詳細は261ページ）

❷ **アプリケーションから印刷する。**

リプリント機能を使用する設定でアプリケーションからドキュメントを印刷します。（詳細は262ページ）

❸ **「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックする。**

PrintAgent リプリント2が起動します。

❹ **［ジョブ結合］シートを開く。**

❺ **ジョブ結合したいドキュメントを選択する。**

チェックした順に印刷順が指定されます。印刷順を変えたい場合は［前へ］ボタンまたは［後へ］ボタンをクリックして変更してください。

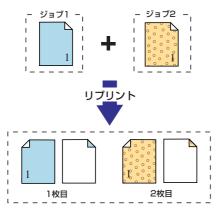
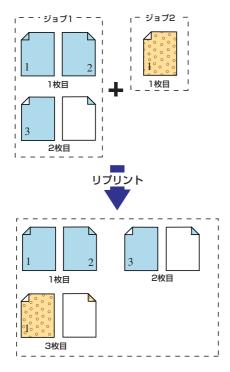
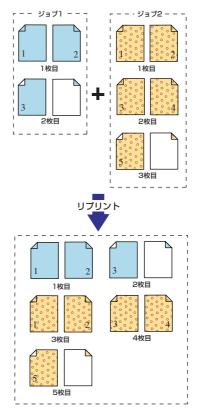
❻ **必要に応じて丁合い、ジョブセパレート機能、両面印刷機能を選択して、印刷仕上がりを設定する。**

❼ **再印刷するドキュメントの印刷部数を設定し［スタート］ボタンをクリックする。**

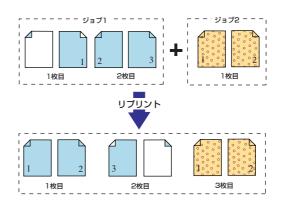
ジョブ結合における両面印刷の注意事項

PrintAgent リプリント2のジョブ結合で両面印刷*を利用するにあたっては、以下の内容を参考にしてください。

*　両面印刷をするためには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

- プリンタードライバーで片面に印刷設定されたドキュメントジョブを結合し、両面印刷設定をして印刷したときは、次のように印刷されます。

ジョブ1が1ページ（片面）、
ジョブ2が1ページ（片面）の場合

ジョブ1が3ページ（両面）、
ジョブ2が1ページ（片面）の場合

ジョブ1が3ページ（両面）、
ジョブ2が5ページ（両面）の場合

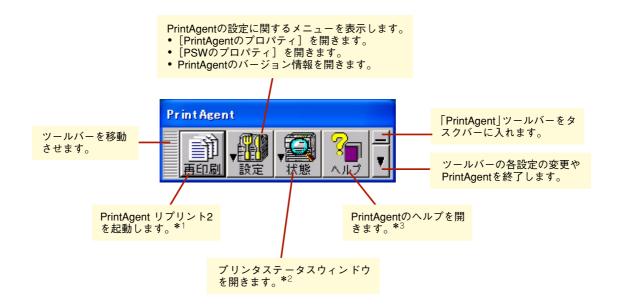
- プリンタードライバーで裏面から印刷した両面のドキュメントジョブを結合し、両面設定をして印刷した場合は、次のように印刷されます。

  開始ページを裏面からにして両面印刷したい場合は、「変更しない」を選択してください。

「PrintAgent」ツールバー

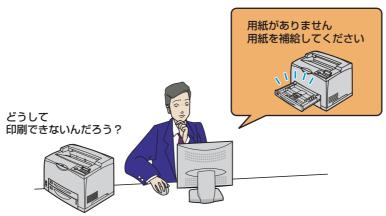
「PrintAgent」ツールバーでは、ボタン操作ひとつで簡単にPrintAgentの機能を呼び出すことができます。このツールバーはPrintAgentオプションの「ツールバー」をインストールすると、お使いになれます。

「PrintAgent」ツールバーを表示させるには、次のような方法があります。

- タスクバーのPrintAgentアイコンを左または右クリックし、［ツールバーを表示］をクリックする。
- タスクバーのPrintAgentアイコンをダブルクリックする。
  前回ツールバーを表示した状態でPrintAgentを終了した場合、「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの起動と同時に表示されます。

「PrintAgent」ツールバーの詳しい説明は、「PrintAgent」ツールバーのヘルプをご覧ください。

*1　PrintAgent リプリント2がインストールされていない場合、［再印刷］ボタンはご利用になれません。
*2　PrintAgent対応プリンタでない場合、［状態］ボタンはご利用になれません。
*3　ヘルプがインストールされていない場合、ヘルプボタンとツールバー設定ボタンメニューの［ヘルプ］ボタンはご利用になれません。

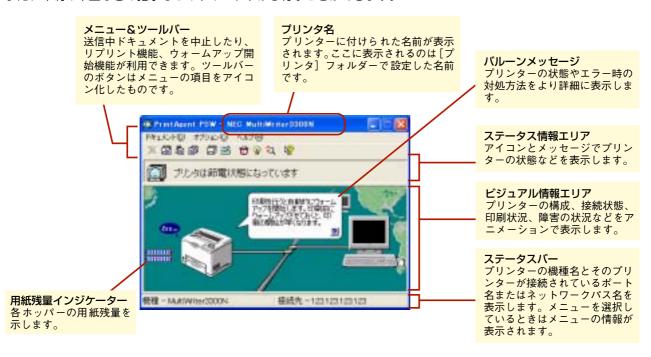
PrintAgentおよびツールバーがインストールされている必要があります。「PrintAgent」ツールバーはWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用できますが、そのためにはPrintAgentをインストールする際に「PrintAgent」ツールバーオプションをチェックしておく必要があります。

プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声*によるメッセージで通知します。

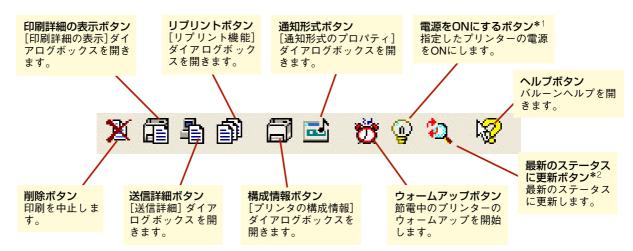
* 音声は標準ではインストールされません。

通常プリンターが印刷を開始したり、印刷中にエラーが発生したりするとプリンタステータスウィンドウが自動的に起動します。設定により画面上にアイコンや下のようなウィンドウを表示することができます。手動で起動する方法は次の3種類です。

- 「PrintAgent」ツールバーから起動する
- スタートメニューから起動する
- タスクバーのアイコンから起動する

また、印刷の中止などの指示もこのウィンドウから行うことができます。

PrintAgentがインストールされている必要があります。PrintAgentはWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用できます。プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。

ツールバー

プリンタステータスウィンドウには、次のような機能があります。それぞれの機能はツールバーのボタンをクリックして設定、または実行できます。
また常に情報取得をするか、ウィンドウ表示するかどうかなどを選択できます。

*1　プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプター（型番PR-NP-03TR2）に接続されている状態で、電源制御の設定が有効な場合に表示されます。

*2　初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには［最新のステータスに更新］ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得できるようにするには、次ページの「通知形式を変更する」をご覧ください。

送信中のドキュメントの印刷を中止する

「送信中ドキュメント情報」に表示されているドキュメントの印刷を中止する機能です。［削除］ボタンをクリックすると印刷を中止することができます。

送信の完了したドキュメントを削除したい場合は、プリンターの［キャンセル］スイッチを押してください。詳しくは、「6章　操作パネル」（319ページ）を参照してください。

プリンターの構成情報を見る

プリンターの構成情報（給紙構成、メモリー）を確認するダイアログボックスです。

このダイアログボックスを表示させるには［構成情報］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［プリンタの構成情報］を選択します。ただし、常に最新の情報を取得する設定になっていないと、このダイアログボックスの構成情報と実際の構成情報が一致しない場合があります。

最新の情報に更新するにはツールバーの［最新のステータスに更新］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［最新のステータスに更新］を選択してください。

常に最新の情報を取得したい場合は［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスで［常にステータスを取得］をチェックしてください。［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスの開き方については次ページの「通知形式を変更する」を参照してください。

チェック

プリンターとコンピューターで双方向通信機能を無効に設定しているときは、各OSごとに以下のダイアログボックスの「プリンタの構成」の内容が表示されます。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000：[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス
- Windows Me、Windows 98、Windows 95：[プロパティ]ダイアログボックス
- Windows NT 4.0：[プロパティ]ダイアログボックス

通知形式を変更する

プリンタステータスウィンドウの表示内容を選択します。必要とする項目だけを表示させることで、ウィンドウをコンパクトにすることができます。また、プリンタステータスウィンドウのアニメーションを行うかどうか、常にステータスを取得するかどうかなどの設定ができます。

このダイアログボックスを表示させるためには、[通知形式]ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[通知形式]を選択します。

チェック

[常にステータスを取得]について

- [常にステータスを取得]をチェックすると印刷中以外でもプリンターの状態を常に監視します。
- ネットワーク共有プリンターの場合は、サーバーで設定してください。
  Windows XPの場合、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]であるユーザーのみが設定を変更できます。
  Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administrators権限のユーザーのみが設定を変更できます。
- プリンタ自動切替機能をご利用の場合、グループを構成するプリンターではプリンターの状態を常に監視しているため設定の変更はできません。

ウォームアップを行う

[ウォームアップ開始]ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[ウォームアップ開始]を選択すると節電状態のプリンタのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。
なお、節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間はプリンターの操作パネルによるメニューモードで設定できます。

プリンターの電源をONにする

［電源をONにする］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［電源をONにする］を選択すると指定したプリンターの電源をONにすることができます。リモート電源制御機能を有効にするためには、「リモート電源制御」（282ページ）をご覧ください。

チェック

プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプター（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

最新のステータスに更新する

初期設定では、印刷していない時はプリンターの状態を定期的に監視していません。最新のステータスを取得するには［最新のステータスに更新］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［最新のステータスに更新］を選択してください。

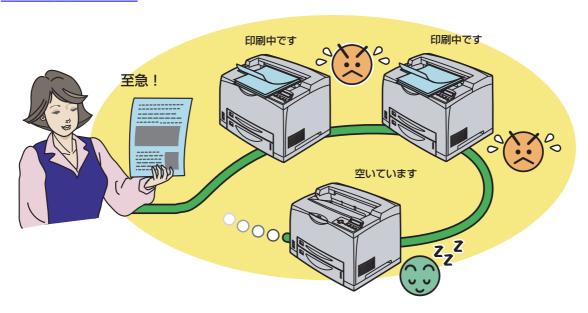
リプリント機能を使う

このダイアログボックスは［リプリント］ボタンをクリックするか、［ドキュメント］メニューの［リプリント機能］を選択すると表示されます。

リプリント機能を利用すると一度印刷したデータであればアプリケーションから再び印刷を実行することなく、プリンタステータスウィンドウのダイアログボックスから直接再印刷（リプリント）できるようになります。

リプリント機能についてはPrintAgent リプリント2をご利用になると、より多くの機能がご利用できます。PrintAgent リプリント2をお使いになることをお勧めします。PrintAgent リプリント2の使用方法については、「リプリント機能」（259ページ）をご覧ください。

プリンターの自動切替

複数のプリンターをグループ化することにより、自動的に空いているプリンターへ出力する機能です。ネットワーク共有プリンターとして設定することにより、ネットワーク内のクライアントも利用することができます。設定方法については、「設定方法」（275ページ）をご覧ください。

なお、グループプリンタとして設定可能なプリンターはMultiWriterシリーズのプリンターです。下記の「グループプリンタとして設定可能なプリンター」を参照してください。
グループプリンタの構成に使用するプリンタードライバーによって、グループ化できるプリンターの機種は異なります。お使いのプリンターの種類によってグループプリンタの構成に使用するプリンタードライバーを以下の表に従って選択してください。

グループプリンタとして設定可能なプリンター（1/2）

使用するプリンタードライバー	グループ設定可能なプリンターの機種
NEC MultiWriter 3300N	MultiWriter 3300N
NEC MultiWriter 2860N	MultiWriter 2860N MultiWriter 2360N、2360
NEC MultiWriter 2360/2360N	MultiWriter 2360N、2360
NEC MultiWriter 2130	MultiWriter 2130
NEC MultiWriter 2850/2850N	MultiWriter 2860N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850
NEC MultiWriter 3650N	MultiWriter 3650N
NEC MultiWriter 2350/2350N NEC MultiWriter 2300N	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2300N
NEC MultiWriter 2800N NEC MultiWriter 2800 NEC MultiWriter 2150	MultiWriter 2860N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2800N、2800 MultiWriter 2300N MultiWriter 2150
NEC MultiWriter 2300	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2300N、2300

グループプリンタとして設定可能なプリンター（2/2）

使用するプリンタードライバー	グループ設定可能なプリンターの機種
NEC MultiWriter 2100	MultiWriter 2860N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2150 MultiWriter 2300、2100
NEC MultiWriter 210S	MultiWriter 2130 MultiWriter 210S
NEC MultiWriter 2650M	MultiWriter 2860N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2150 MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H
NEC MultiWriter 2250H	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2300N、2300 MultiWriter 2250H
NEC MultiWriter 2650 NEC MultiWriter 2650E NEC MultiWriter 2250 NEC MultiWriter 2050	MultiWriter 2860N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350、2150 MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H MultiWriter 2650、2650E MultiWriter 2250、2050

使用条件

- プリンター管理者が複数のMultiWriterをグループプリンタとして登録することが必要です。
- Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。
- プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。
- グループプリンタに設定するには、管理者向けインストールで「プリンタ自動切替」オプションを選択してインストールする必要があります。
- MultiWriter　3300Nやグループ可能なMultiWriterをプリントサーバーコンピューター上で複数台接続しているネットワーク環境でのみ利用できます。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95をお使いの場合、プリントサーバーコンピューター上でグループプリンタとして登録できるプリンターは2台までです。

設定方法

プリントサーバーで管理する複数台のMultiWriter 3300Nをグループプリンターとしてグループ化することで、印刷ジョブを自動的に切替えて印刷する「プリンタ自動切替」機能を利用することができます。また、グループプリンターを共有化することで、ネットワーク上のクライアントコンピューターからも利用することができます。グループプリンターとして設定可能なプリンターは「グループプリンタとして設定可能なプリンター」（273ページ）を参照してください。（プリントサーバーのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合、グループ化できるプリンターは2台までです。）

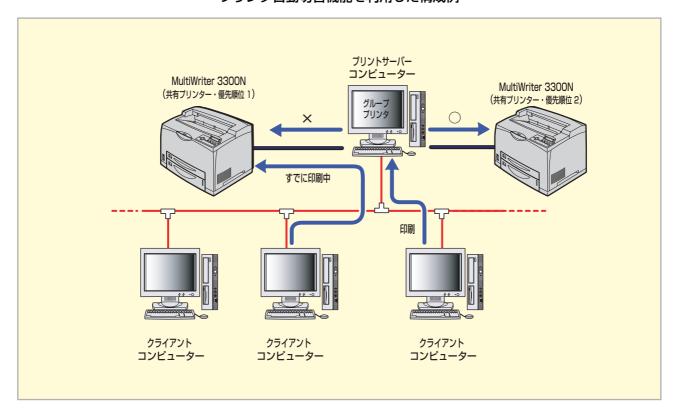
プリンターの切替は、プリンターの状態（印刷中など）、用紙サイズ、両面印刷機能の有無、優先順位（プリンター管理者が設定します）の要素から決定し、印刷を行います。以下の図はプリンタ自動切替機能を利用した構成例を表したものです。
また、設定は次の手順で行ってください。

Step 1　グループプリンタの設定
Step 2　グループプリンタを共有プリンタにする
Step 3　共有されたグループプリンタに接続する
Step 4　グループプリンタへ出力する

重要

Step2、Step3を行う場合、プリントサーバーに以下のことが必要です。

- ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ以下のネットワークコンポーネントをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。
  - Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合：「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
  - Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合：「Microsoft ネットワーク共有サービス」
  - Windows NT 4.0の場合：「サーバー」
- ネットワーク環境で LAN プリンターとしてお使いになるためには、あらかじめコンピューターのネットワーク設定にTCP/IPプロトコルをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。

プリンタ自動切替機能を利用した構成例

Step 1　グループプリンタの設定

ここでは、グループプリンタの作成・編集方法を説明します。グループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについては、「グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ」(281ページ) をご覧ください。
グループプリンタを作成するには、次の手順が必要です。

1 グループプリンタを作成する前に確認する
2 場所を設定する
3 グループプリンタを作成する
4 グループプリンタを編集する

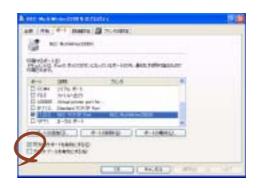
1　グループプリンタを作成する前に確認する

グループプリンタを作成する前に、以下の点を確認してください。

グループを構成できるプリンターについて

グループを構成できるプリンターは次の条件をすべて満たしているプリンターです。

- 「グループプリンタとして設定可能なプリンター」(273ページ) を参照してグループ化できるプリンターであることを確認してください。
- 双方向通信していること

【Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合】
［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。

【Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合】
プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］シートで［プリンタスプールの設定］ダイアログボックスを表示させ、以下の項目がチェックされていることを確認します。

Windows Meの場合：
［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］

Windows 98、Windows 95の場合：
［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］

【Windows NT 4.0】
［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。

- 双方向通信が可能なポートに接続していること
  それぞれの接続形態において双方向通信が可能な以下のポートを使っていることを確認してください。

接続先がプリントサーバーの共有プリンターの場合はグループを構成できません。

OS	プリンターケーブル接続	LAN プリンター接続	USB接続
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000	LPTx	NEC Network Port	USBxxx:
Windows Me、Windows 98、Windows 95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	USBxxx*
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	－

* Windows 95は対応していません。

[設置場所の表示について]

グループプリンタの印刷が終了すると利用者には、印刷の終了を通知するダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスに［設置場所］が設定されていると、どこのどのプリンターで印刷されているのかが利用者に表示されるので設定しておくと便利です。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、[PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を使って［利用可能なプリンタ］に［設置場所］を設定することができます。設定方法については、次ページをご覧ください。Windows XPの場合は、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］のユーザーであるとき、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、Administratorsの権限で［設置場所］を設定することができます。詳しくは、それぞれのOSのヘルプをご覧ください。

2　場所を設定する

プリンターの設置場所を設定しておくと、PrintAgentの機能を使ってプリンターの状況を確認するときや印刷終了通知を受け取ったときにプリンターの場所が参照できて便利です。Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合、以下の手順でプリンターの場所を設定します。

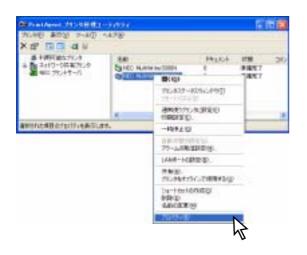
❶ **［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

❸ **ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。**

❹ **リストビューから対象のプリンターを右クリックし［プロパティ］を選ぶ。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は［場所の設定］を選択し、［場所の設定］ダイアログボックスを表示させます。

❺ **場所を設定し、［OK］をクリックする。**

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［プロパティ］ダイアログボックスで、場所の設定をすることができます。詳しくはそれぞれのOSのヘルプをご覧ください。

3　グループプリンタを作成する

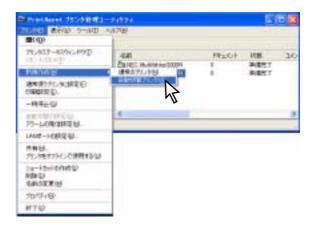
以下の手順でグループプリンタを作成します。

❶ **［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

❸ **ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。**

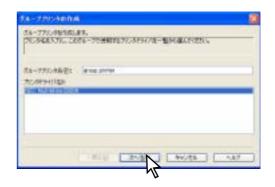
❹ **［自動切替プリンタの作成］ウィザードを起動する。**

［プリンタ］メニューの［新規作成］をポイントし、［自動切替プリンタ］をクリックします。

チェック

グループプリンタを設定するためには、あらかじめ管理者インストールで、自動切替オプションがインストールされている必要があります。（プリンター管理者用インストールについては「プリンター管理者用インストール」（80ページ）を参照してください。）

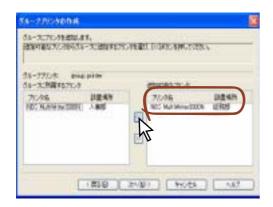
❺ **［グループプリンタ名］を入力し、基本となる［プリンタドライバ］を選択し、［次へ］をクリックする。**

チェック

基本となるプリンタードライバーによって、選択できる構成プリンターが異なります。詳細な組み合わせは「グループプリンタとして設定可能なプリンター」（273ページ）を参照してください。

❻ **グループを構成するプリンターを選び、［次へ］をクリックする。**

［追加可能なプリンタ］ボックスから希望のプリンターを選び［<<］をクリックします。

チェック

Windows Me、Windows 98、Windows 95をプリントサーバーのOSとして使用する場合、追加できるプリンターは2台までです。

❼ **印刷の優先順位を設定し、［完了］をクリックする。**

希望のプリンター名を選び、［優先順位］の［▲］か［▼］をクリックして順位を変更します。

また、ここでグループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの［印刷ドキュメント一覧］で表示できる最大ドキュメント数も設定できます。（設定可能範囲は1～100）

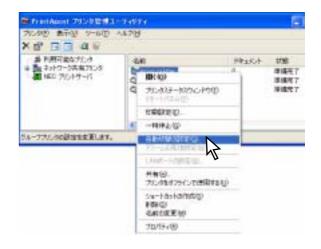
4 グループプリンタを編集する

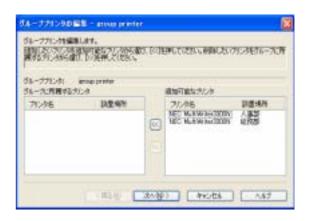
以下の手順でグループプリンタを編集します。

❶ **［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

❸ **ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。**

❹ **リストビューから希望のグループプリンタを右クリックし、［自動切替の設定］をクリックする。**

❺ **必要に応じてプリンターを追加・削除する。**

［次へ］をクリックすると、［グループプリンタの編集］ダイアログボックスが表示されます。

❻ **必要に応じて印刷の優先順位を変更する。**

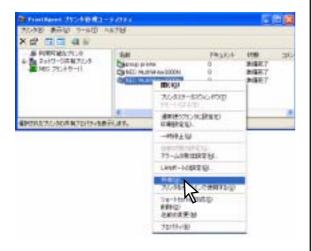
グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの［印刷ドキュメント一覧］で表示できる最大ドキュメント数も変更できます。（設定可能範囲は1～100）

Step 2　グループプリンタを共有プリンタにする

❶ ［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。

❹ ［プリンタ］メニューの［共有］をクリックする。

共有設定については、各OSのヘルプをご覧ください。

Step 3　共有されたグループプリンタに接続する

❶ クライアントコンピューター上の接続先で［ネットワークコンピュータ］を選択し、プリンターソフトウエアをインストールする。

プリンターソフトウエアのインストールについては、「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（49ページ）を参照してください。

Step 4　グループプリンタへ出力する

ここでは、グループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについて説明します。

印刷方法

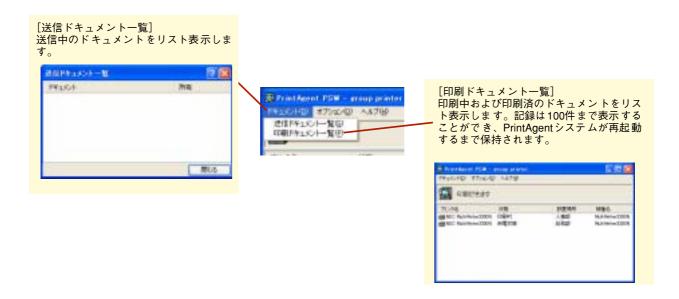
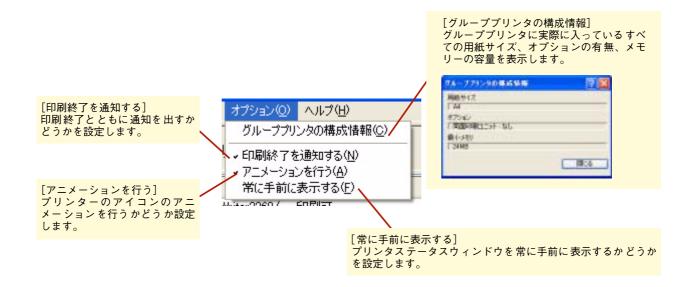
❶ 共有プリンタを接続先としてインストールしたプリンターを指定して、アプリケーションから印刷する。

❷ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して［OK］をクリックする。

印刷が終了すると、このような「印刷終了通知」が表示されます。

グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ

グループプリンタ使用時に表示されるプリンタステータスウィンドウは､通常のプリンター用のプリンタステータスウィンドウを簡略したものが表示されます。このプリンタステータスウィンドウは複数台のプリンターステータスを扱うので、印刷ジョブの削除などプリンター個別の処理は［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］か［プリンター一覧］で行ってください。

- ［ドキュメント］

- ［オプション］

リモート電源制御

ネットワーク上にあるLANプリンターの電源をプリンタステータスウィンドウからONすることができます。この機能を利用するためには次の手順が必要です。Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用になれます。

✔チェック

プリンターがリモート電源制御対応LANアダプター（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

1 電源制御の設定をする

OSごとに次の手順で設定します。

✔チェック

LANアダプターの設定が正しく行われていることを確認してください。（設定方法はLANアダプターの取扱説明書またはLANアダプターに添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。）

＜Windows XPの場合＞

❶ ［プリンタと FAX］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

✔チェック

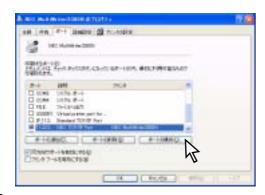
アカウントの種類が［コンピュータの管理者］のユーザーが設定してください。

❷ ［ポート］シートの［印刷するポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ LANアダプターの［MACアドレス］を入力し、［OK］をクリックする。

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合＞

❶ ［プリンタ］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

❷ ［詳細］シートの［印刷先のポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの設定］を選択し、［NEC TCP/IP Printing System］ダイアログボックスを開く。

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ LANアダプターの［MACアドレス］を入力し、［OK］をクリックする。

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

＜Windows 2000の場合＞

❶ ［プリンタ］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

チェック

Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

❷ ［ポート］シートの［印刷するポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ LANアダプターの［MACアドレス］を入力し、［OK］をクリックする。

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

＜Windows NT 4.0の場合＞

❶ ［プリンタ］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

❷ ［ポート］シートの［印刷するポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ LANアダプターの［MACアドレス］を入力し［OK］をクリックする。

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

2 プリンターの電源をONにする

プリンタステータスウィンドウの［リモート電源ON］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［電源をONにする］を選択します。

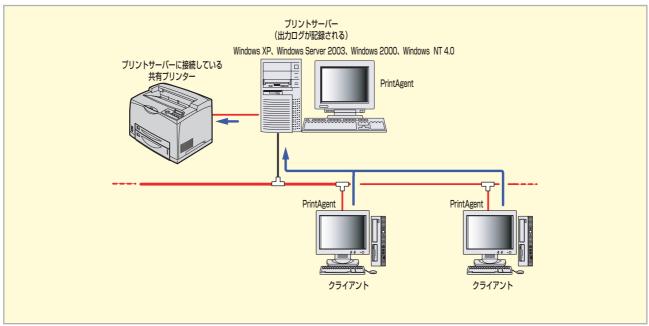
チェック

プリンタステータスウィンドウからプリンターの電源をOFFにすることはできません。プリンターの電源をOFFにするには、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを利用すると行えます。

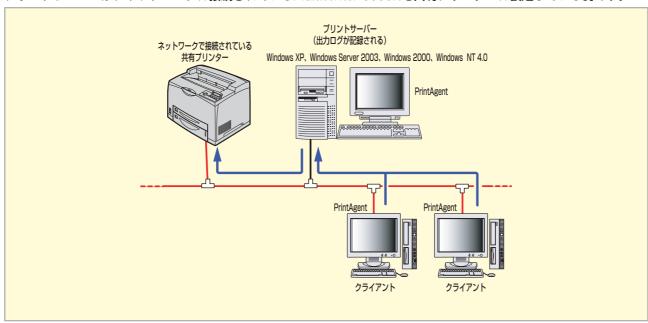
PrintAgentによる印刷ログの出力

PrintAgentがインストールされたプリントサーバーで管理されているプリンターが、どのくらい印刷したかを確認できるように、印刷履歴を残すことができる機能です。本機能はPrintAgentの機能で、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000とWindows NT 4.0に対応しています。
この機能を利用するにはPrintAgentがインストールされたプリントサーバーとMultiWriter 3300Nが以下のいずれかの形態で接続されている必要があります。

ローカル接続

プリントサーバーが、直接接続されているMultiWriter 3300Nを共有プリンターに設定している例です。

ローカル接続されたプリンターの共有

ネットワーク接続

プリントサーバーが、ネットワークに接続されているMultiWriter 3300Nを共有プリンターに設定している例です。

ネットワークに直接接続されたプリンターの共有

設定方法

チェック

この設定が行えるのは以下の場合のみです。

- プリントサーバーがWindows XPの場合、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である。
- プリントサーバーがWindows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administratorsの権限がある。

<Bib新GM> 印刷ログ出力機能を設定する
<Bib新GM> 印刷ログファイルを出力する

1 印刷ログ出力機能を設定する

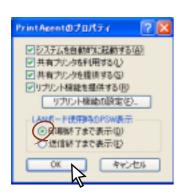
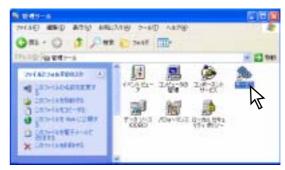
❶ **PrintAgentのプロパティを開く。**

「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニュー、または［スタート］メニューから［プログラム］を選び、［MultiWriter 3300N］の［PrintAgentシステムメニュー］から開きます。

❷ **［LANボード使用時のPSW表示］を［印刷終了まで表示］を選び、［OK］をクリックする。**

LANボード接続されているプリンターを共有している場合のみ、［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスで設定してください。

この後の手順❸以降はOSごとに説明します。

＜Windows XPの場合＞

❸ **［コントロールパネル］の［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをダブルクリックする。**

❹ **［管理ツール］アイコンをダブルクリックする。**

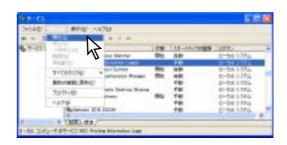
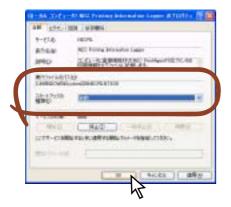
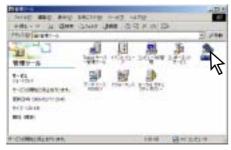
❺ **［サービス］アイコンをダブルクリックする。**

❻ **リストビューから［NEC Printing Information Logger］を選び、［操作］メニューの［開始］をクリックする。**

❼ OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① ［操作］メニューから［プロパティ］を開く。

② ［全般］シートの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。

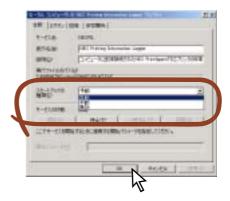
<Windows 2000の場合>

❸ ［コントロールパネル］の［管理ツール］アイコンをダブルクリックする。

❹ ［サービス］アイコンをダブルクリックする。

❺ リストビューから［NEC Printing Information Logger］を選び、［操作］メニューの［開始］をクリックする。

❻ OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① ［操作］メニューから［プロパティ］を開く。

② ［全般］シートの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。

<Windows NT 4.0の場合>

❸ ［コントロールパネル］の［サービス］アイコンをダブルクリックする。

❹ リストボックスから［NEC Printing Information Logger］を選んで、［開始］をクリックする。

❺ OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① ［スタートアップ］をクリックする。

② ［サービス］ダイアログボックスの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。

2 印刷ログファイルを出力する

印刷ログ出力機能を有効にする設定をして、サービスが起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というフォルダーが作成されます。

また、印刷が行われると、そのフォルダー内に「NEC MultiWriter 3300N.log」というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。

PrintAgentをインストールした時、インストール先フォルダーをデフォルトのWindowsインストールドライブにインストールし印刷を行ったとき、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。なお、ログファイルのファイルネームはプリンタフォルダーに登録した名前になります。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥NEC MultiWriter 3300N.log

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

“プリンタ名”，“ドキュメント名”，“ドキュメント所有者名”，印刷開始日，印刷開始時刻，印刷終了日，印刷終了時刻,印刷枚数,

（例）　ログファイルの内容

"NEC MultiWriter 3300N", "アドレス一覧 - メモ帳", "前之園", 2004/01/26, 13:28:46,2004/01/26, 13:28:58, 2,
"NEC MultiWriter 3300N", "「PrintAgent」ツールバーとは？", "井口", 2004/01/26, 13:29:11, 2004/01/26, 13:29:15, 1,
"NEC MultiWriter 3300N", "W2Kprlog", "竹本", 2004/01/26, 13:30:09, 2004/01/26, 13:30:18, 1,
"NEC MultiWriter 3300N", "会議資料", "川村", 2004/01/26, 13:30:38, 2004/01/26, 13:30:54, 4,

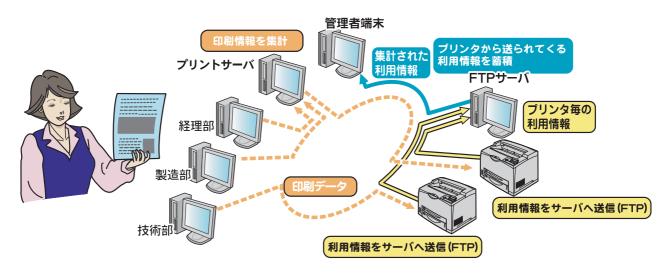
チェック

ログファイルについて

- ログファイルはCSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MB を超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は".log"から".000", ".001"...のようになります。
- OSによっては、日付、時間の記録形式が上記の例とは異なる場合があります。

プリンタ利用情報通知機能を利用した印刷ログ集計

プリンタ利用情報通知機能とは

プリンターを使用したユーザーの印刷枚数・使用用紙サイズなどの情報をプリンターが蓄積し、一定の条件が揃うとFTPサーバーへ送信する機能です。FTPサーバーに蓄積される利用情報を集計することにより、管理者が各部門や個人の印刷量を管理するのに役立てられます。

FTPサーバーに通知された各プリンターからの利用情報を集計し、条件に合わせて印刷ログとして集計するには、「NEC印刷ログユーティリティ」が必要です。

「NEC 印刷ログユーティリティ」とは

「NEC 印刷ログユーティリティ」とは、以下の2つで構成されいる利用情報を集計するツールで、本プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。

- 合成サービス
- 集計サービス

合成サービス

プリンタ利用情報通知機能に対応した各プリンターからFTPサーバーに送信された利用情報をひとつのログファイル(以下マスターログと言います。)に合成するサービスです。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作します。

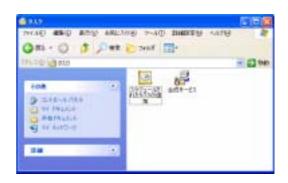
集計サービス

Microsoft Excelのマクロで作成されたユーティリティーです。合成サービスが作成したマスターログを利用者ごとに分類して一覧表示したり、用紙サイズ毎に印刷枚数の集計が可能です。これらの表示/集計結果はMicrosoft Excelのブック形式で保存することができ、グラフ作成などの編集にも利用可能です。

「NEC 印刷ログユーティリティ」を使用すると

合成サービス

合成サービスをインストールすると、以下のようになります。

- タスクスケジュ ラーに「合成サービス」のタスクが追加され、一定時間ごとにマスターログが生成/更新されます。

- FTPサーバーにはプリンターログを保存するための仮想ディレクトリー“/PrinterLog”が作成されます。

集計サービス

部署別に集計、利用者別に集計、プリンター別に集計することができます。

部署別の例

利用者別の例

プリンタ別の例

設定方法

以下の手順で利用情報を集計するFTPサーバーとプリンターの設定を行います。

チェック

詳細な設定方法は、本プリンター添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「NEC 印刷ログユーティリティー合成サービス」（ファイル名：m_readme.txt）と「NEC 印刷ログユーティリティー集計サービス」（ファイル名：edreadme.txt）を参照してください。

<Bib新GM>　集計するサーバーの設定（合成サービスのインストールと設定）
<Bib新GM>　プリンターの設定

■ 集計するサーバーの設定（合成サービスのインストールと設定）

❶ **Windows XP、Windows 2000、もしくはWindows NT 4.0でFTPサーバーを起動する。**

詳しくは、OSのマニュアルをご覧ください。

❷ **NEC 印刷ログユーティリティー合成サービスをインストールする。**

プリンターソフトウエアCD-ROMからNEC 印刷ログユーティリティー合成サービスをインストールします。インストールを行うと、FTPサーバーに”/PrinterLog”仮想ディレクトリーが自動的に作成されます。

タスクスケジュラーには「合成サービス」のタスクが追加され、一定時間ごとにマスタログを生成/更新します。

❸ **［プリンタ名テーブル］シートを開いて、プリンターを登録する。**

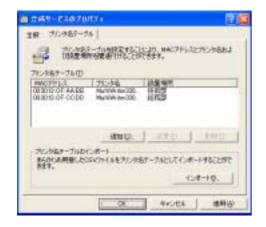
＜Windows XPの場合＞

［スタート］－［すべてのプログラム］－［NEC印刷ログユーティリティ］－［合成サービスのプロパティ］を開くと以下の設定が可能です。

＜Windows 2000、Windows NT 4.0の場合＞

［スタート］－［プログラム］－［NEC印刷ログユーティリティ］－［合成サービスのプロパティ］を開くと以下の設定が可能です。

［プリンタ名テーブル］シート

プリンタ名テーブルの追加/変更/削除およびインポート

［プリンタ名テーブル］

プリンターに装着されているLANインターフェースのMACアドレスとプリンタ名、設置場所を関連付けるテーブルです。この情報を設定しておくと、マスタログにプリンタ名、設置場所の情報が追加されます。

チェック

プリンタ名には、同じ名前は使用できません。

［プリンタ名テーブルのインポート］

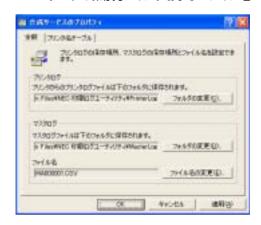
あらかじめ用意したCSVファイルをプリンタ名テーブルとしてインポートできます。

データ順序：MACアドレス、プリンタ名、設置場所（設置場所は省略可能）

例）
00:30:13:0F:AA:BB,MultiWriter3300N,技術部
00:30:13:0F:CC:DD,MultiWriter3300N,総務部

［全般］シート

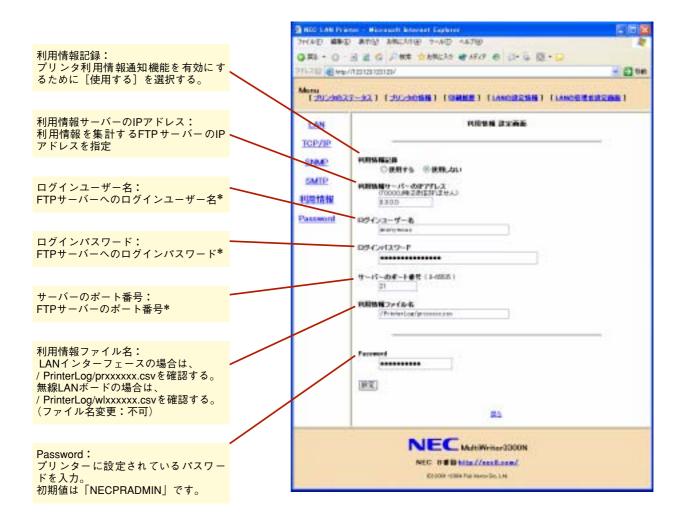
必要に応じて、以下のフォルダーおよびファイル名を設定します。通常は標準設定でご利用ください。

- プリンターから通知された利用情報を保存する保存先フォルダー
- マスタログの保存先フォルダおよびファイル名

2 プリンターの設定

❶ **プリンター（LANインターフェース）の設定をする。**

プリンタのIPアドレス等の設定を行います。

❷ **利用情報機能の設定をする。**

WWWブラウザーのアドレスに、❶で設定したIPアドレスを指定し、「LANの管理者設定画面」を呼び出して、「利用情報」の設定を行います。

印刷を行うと利用情報がプリンターのメモリーに記録され、一定の条件が揃うとプリンターがFTPサーバーに利用情報を送信します。

* 各設定値については、サーバー管理者におたずねください。

利用情報の集計方法

❶ NEC 印刷ログユーティリティー集計サービスのインストールをする。

プリンターソフトウエアCD-ROMからNEC 印刷ログユーティリティー集計サービスをインストールします。

❷ 集計サービスを起動する。

［スタート］－［プログラム］－［NEC 印刷ログユーティリティ］－［集計サービス］を開きます。

❸ ユーザー情報テーブルの設定をする。

集計サービスの［実行メニュー］－［環境設定］－［ユーザー情報設定］を選択し、ユーザー名、IPアドレス、利用者名、社員番号、所属部門で分類し集計を行います。

❹ マスターログの指定をする。

集計サービスの［実行メニュー］－［環境設定］－［マスタログ指定］を選択し、合成サービスで設定したマスターログを指定します。

❺ 利用情報の集計する。

- 利用情報の一覧表示
  - ー集計サービスの［実行メニュー］－［ログ一覧］を選択します。
  - ー［取り込み］をクリックすると利用情報を一覧表示します。
  - ー必要に応じて［保存］をクリックして別名で保存します。
- 利用情報の集計
  - ー集計サービスの［実行メニュー］－［集計］を選択します。
  - ー［集計］ダイアログボックスで、集計期間を設定し、集計区分を選択します。
    集計区分：所属部門別・利用者別・プリンタ別・所属部門/プリンタ別・利用者/プリンタ別
  - ー［開始］をクリックすると、設定した条件で収集を行います。
  - ー必要に応じて、［保存］をクリックして別名で保存します。

必要な環境

FTPサーバー

次のコマンドをサポートしたFTPサーバー（Microsoft社製FTPサーバーを推奨）

```
USER/PASS/QUIT/PORT/TYPE/APPEND
```

対応プリンター

- MultiWriter 3300NまたはMultiWriter 3300N+無線LANボード（型番：PR-WLX-13）
- MultiWriter 2860NまたはMultiWriter 2860N+無線LANボード（型番：PR-WLX-13）
- MultiWriter 2360NまたはMultiWriter 2360N+無線LANボード（型番：PR-WLX-13）
- MultiWriter 2360+LANボード（TCP/IP）（型番：PR-NP-04T）または無線LANボード（型番：PR-WLX-13）
- MultiWriter 3650NまたはMultiWriter 3650N+無線LANボード（型番：PR-WL-12）
- MultiWriter 2850NまたはMultiWriter 2850N+無線LANボード（型番：PR-WL-12）
- MultiWriter 2850+LANボード（TCP/IP）（型番：PR-NP-04T）または無線LANボード（型番：PR-WL-12）
- MultiWriter 2350NまたはMultiWriter 2350N+無線LANボード（型番：PR-WL-12）
- MultiWriter 2350+LANボード（TCP/IP）（型番：PR-NP-04T）または無線LANボード（型番：PR-WL-12）
- MultiWriter 2150+LANボード（TCP/IP）（型番：PR-NP-04T）または無線LANボード（型番：PR-WL-12）
- MultiWriter 2800N
- MultiWriter 2800+LANボード（TCP/IP）（型番：PR-L2800-NP）
- MultiWriter 2300N

集計ツール

プリンタ利用情報通知機能の集計ツールとして、以下の「NEC 印刷ログユーティリティ」を添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録しています。

	NEC 印刷ログユーティリティー合成サービス	NEC 印刷ログユーティリティー集計サービス
動作可能OS	• Windows XP Professional 日本語版 • Windows Server 2003 日本語版 • WIndows 2000 Professional/Server 日本語版 • Windows NT Workstation/Server 4.0 日本語版	• WIndows XP 日本語版 • Windows Me 日本語版 • WIndows 98 日本語版 • Windows 95 日本語版 • Windows Server 2003 日本語版 • Windows 2000 日本語版 • Windows NT 4.0 日本語版
必要なソフトウエア	Microsoft社製FTPサーバー、 タスクスケジュラーサービス	Microsoft Excel 97 以降のWindows版 Excel

その他

LANインターフェースのプリンターの利用情報通知機能を設定するには、Internet Explorer 3.0以降またはNetscape Navigator 3.0以降と動作するコンピューターが必要です。

補足情報

利用情報詳細

記憶順	情報名称	説　明	備　考
1	プリンタ名	印刷出力したプリンターの名称	製品内に定義されている名称
2	――――――	未使用	
3	ユーザ名	印刷データを送信したユーザー名	NEC製プリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。最大8バイト。
4	印刷開始日	印刷データを生成した日	NEC製プリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。
5	印刷開始時刻	印刷データを生成した時刻	NEC製プリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。
6	印刷終了日	印刷出力が終了した日	未設定（合成サービスを使用している場合は合成サービスが付加）
7	印刷終了時刻	印刷出力が終了した時刻	未設定（合成サービスを使用している場合は合成サービスが付加）
8	印刷枚数*	印刷出力した用紙の枚数	
9	ポート識別情報	印刷データを受信したポートの識別情報	Network/Parallel/USB/Other
10	IPアドレス	印刷データを送信した装置のIPアドレス	プリントサーバー経由の場合はサーバーのアドレスとなる。
11	A3サイズの印刷枚数	印刷出力したA3サイズの用紙の枚数	
12	A4サイズの印刷枚数	印刷出力したA4サイズの用紙の枚数	
13	A5サイズの印刷枚数	印刷出力したA5サイズの用紙の枚数	
14	B4サイズの印刷枚数	印刷出力したB4サイズの用紙の枚数	
15	B5サイズの印刷枚数	印刷出力したB5サイズの用紙の枚数	
16	レターサイズの印刷枚数	印刷出力したレターサイズの用紙の枚数	
17	その他のサイズの印刷枚数	印刷出力したその他のサイズの用紙の枚数	
18	総印刷枚数*	印刷出力した面数	

* 両面印刷で2ページ分のデータを1枚の紙に印刷した場合、印刷枚数=1、総印字枚数=2とカウントします。
用紙サイズ設定では［A4×2→A4］を選択して印刷した場合は、印刷枚数=1、総印字枚数=1とカウントします。
複数ページ印刷で［2ページ→1ページ］を選択して印刷した場合は、印刷枚数=1、総印字枚数=1とカウントします。

利用情報例

チェック

- 利用情報記録ファイルはCSV 形式です。
- FTP サーバーにすでにファイルが存在する場合は、そのファイルに追加します。ファイルが存在しない場合は、ファイルを作成します。

TCP/IPを使用したネットワーク印刷

¨ NEC MultiWriter 3300N ¨ ,, “AAA” ,2004/1/26,19:52:01,,,21, ¨ Network ¨ ,,192.168.0.131,21,0,0,0,0,0,0,2,,,,,,,,[CR] [LF]

TCP/IPを使用しないネットワーク印刷

¨ NEC MultiWriter 3300N ¨ ,, “BBB” ,2004/1/26,20:00:12,,,10, ¨ Network ¨ ,,0,10,0,0,0,0,0,0,10,,,,,,,,,[CR] [LF]

パラレルインターフェースによる印刷

¨ NEC MultiWriter 3300N ¨ ,, “CCC” ,2004/1/26,10:00:00,,,1 , ¨ Parallel ¨ ,,0,0,1,0,0,0,0,0.1,,,,,,,,[CR] [LF]

USBによる印刷

¨ NEC MultiWriter 3300N ¨ ,, “DDD” ,2004/1/26,05:00:00,,,1 , ¨ USB ¨ ,,0,0,1,0,0,0,0,0.1,,,,,,,,[CR] [LF]

ステータス印刷/サンプル印刷によるポートを使用しない印刷

¨ NEC MultiWriter 3300N ¨ ,, “,,,,,,,,2, ¨ Other ¨ ,,2,0,0,0,0,0,0,2.2,,,,,,,,[CR] [LF]

プリンターがFTPサーバーへ利用情報を送信するタイミング

- 一定時間経過時
  10分間（固定）経過したとき

- 利用情報格納エリアニアフル
  FTP サーバーへ利用情報を送信する間に生成される利用情報を格納するエリアを除いて、保存エリアがニアフルになったとき

- オペレータパネルリセット時
  ユーザーが操作パネルでリセット操作をしたとき

チェック

- FTPサーバーへの送信に失敗した場合は、ログ情報を印刷します。
- 利用情報がない場合は送信されません。

保守情報のメール通知

保守情報のメール通知機能は、設定されたプリンターのトナーが少なくなったときや、定期保守が必要になった時に自動的に電子メールを送信して管理者にプリンターの状態を通知する機能です。

メール通知の設定は、ご利用のコンピューターで［利用可能なプリンタ］としてインストールされたプリンターのみに対し設定できます。ネットワーク共有プリンターとグループプリンタには設定できません。

To：xxxx@yyy.zzzz
From：日電太郎<yyyy@zzz.xxxx>
Reply-To：日電太郎<yyyy@zzz.xxxx>
Cc：zzzz@xxxx.yyyy
Subject：［PA Report］保守情報の自動通知

NEC MultiWriter PrintAgent メール通知
通知概要： EPカートリッジ交換
プリンタ名： NEC MultiWriter 3300N
通知アラーム： 76 トナーナシ
通知アラーム検出： 2004/01/26　00:00

入り口近くの柱の脇にあるプリンターです。
EPカートリッジを交換してください。
****
NEC ☆※部
日電太郎
東京都〇×区△1丁目2番3号
□■ビル 1F
03-XXXX-XXXX
****

保守情報の通知例

設定方法

❶ ［PrintAent プリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。

❹ ［ツール］メニューの［メール通知の設定］をクリックする。

［メール通知の設定］ダイアログボックスが表示されます。

❺ **メール送信情報と、ユーザー情報を入力する。**

チェック

メール送信元情報の項目は必須です。管理者名、メールアドレス、メールサーバー名のすべてが入力されていないと設定が終了できません。

このダイアログボックスの設定は、メール通知設定の共通設定です。このダイアログボックスで各種設定を行っておくと、複数のプリンターのメール通知設定のときに複写でき、便利です。

［メール送信情報］シート

［ユーザ情報］シート

❻ **リストビューから希望のプリンターを右クリックし、メニューの［アラームの発信設定］をクリックする。**

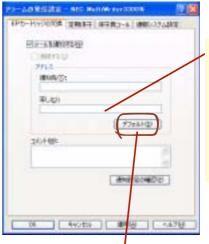
［アラームの発信設定］ダイアログボックスが表示されます。

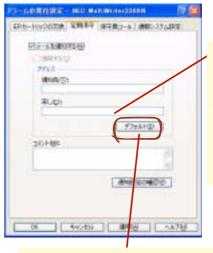
❼ **必要に応じて EP カートリッジの交換と定期保守の設定の通知先情報を入力する。**

［通知設定の確認］をクリックして送信されるメールのイメージを確認してください。

チェック

- 保守員コール、通報システム設定シートの設定は、お客様はご利用頂けません。設定は行わないでください。
- 通知先のメールアドレスが入力されていないと設定が終了できません。
- 「定期保守通知」は定期保守が必要な時期になると、その都度発信されます。

このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しが送信される設定になっていますので、改めてここの［写し］に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

［デフォルト］をクリックすると［メール通知の設定］ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

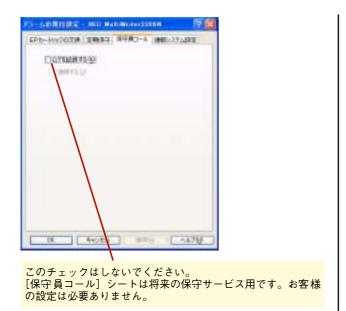
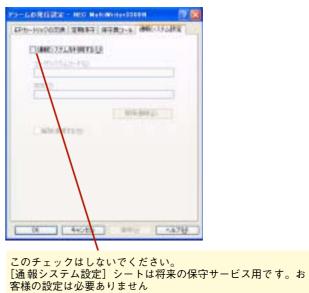
［EPカートリッジの交換］シート

このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しが送信される設定になっていますので、改めてここの［写し］に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

［デフォルト］をクリックすると［メール通知の設定］ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

［定期保守］シート

このチェックはしないでください。
［保守員コール］シートは将来の保守サービス用です。お客様の設定は必要ありません。

［保守員コール］シート

このチェックはしないでください。
［通報システム設定］シートは将来の保守サービス用です。お客様の設定は必要ありません

［通報システム設定］シート

メール通知ログファイルの出力

PrintAgentでは、保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）で通知したメールの履歴をログ情報としてプリントサーバーの［PrintAgent］フォルダーに出力し、記録させることができます。

メール通知が行われると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というサブフォルダーが作成され、そのサブフォルダー内に「PAMail.log」というログファイルが作成されます。
また、PrintAgentをインストールした時のインストール先ディレクトリーを変更せずに（Cドライブ）にインストールした場合、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥PAMail.log

メールを通知するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時：通知先：写し：プリンター名：通知概要

エラーが検出されメール通知が行われなかった場合には次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時　：通知先：写し：プリンター名：通知概要：エラー情報

Web PrintAgent

Web PrintAgentとは、ネットワーク上のクライアントコンピューターの汎用ブラウザーを利用して、プリントサーバーが管理しているプリンターの状態や設定を参照することができる機能です。

次の手順でWeb PrintAgentの準備をします。

❶ **プリントサーバーのコンピューターに Web サーバーをインストールする。**

Webサーバーはマイクロソフト社のホームページからダウンロードするかOSに添付のものを使用してください。

❷ **クライアントのコンピューターにブラウザーソフトウエアをインストールする。**

❸ **プリントサーバーのコンピューターに、Web PrintAgentをインストールする。**

プリンターソフトウエアを管理者向けとしてインストールします。（詳しくは2章の「プリンター管理者用インストール」（80ページ）を参照してください。）

お使いのブラウザーで次の場所を指定して開くと、以下のトップページ画面が表示されます。詳細なWeb PrintAgentの使い方についてはWeb PrintAgentの「ヘルプ」を参照してください。

```
http://xxx.xxx.xxx.xxx/webpa/
```

下線部はWebサーバーをインストールしたコンピューターのIPアドレスか、IPアドレスと対応させたコンピューター名です。

上記の画面はMicrosoft Internet Explorer 6.0 日本語版で表示したときの例です。お使いのブラウザーの種類、バージョンによって画面の表示が多少異なります。また、画面のデザインはソフトウエアの改版によって変更されることがあります。

プリンタードライバーのバージョンアップ

MultiWriterには、プリンターソフトウエアCD-ROMからとネットワーク上のサーバークライアント環境で自動的にクライアントへプリンタードライバーの自動配信を行う機能があります。これにより、プリンタードライバーを更新する手間を大幅に軽減します。

プリンターソフトウエアCD-ROMからの更新

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバー（OSに収録されているプリンタードライバーも含む）について、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンタードライバーのバージョンが新しい場合に、自動的にバージョンアップ（更新）することができます。

動作環境

以下のOSで使用できます。

- Microsoft Windows XP 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版
- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows 95 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版
- Microsoft Windows NT 4.0 日本語版

設定方法

ご使用の前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

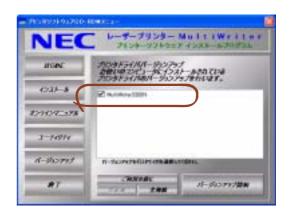
❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❷ **画面左側の［バージョンアップ］をクリックする。**

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバーの内、バージョンアップの対象となる製品名が表示されます。

❸ **製品名のチェックボックスをクリックし、バージョンアップを行う製品を選択する。**

または［全追加］や［全削除］をクリックすることで、対象製品をすべて選択したり、解除することができます。

❹ **［バージョンアップ開始］をクリックし、プリンタードライバーをバージョンアップする。**

確認メッセージが表示されます。［OK］をクリックするとバージョンアップが開始されます。

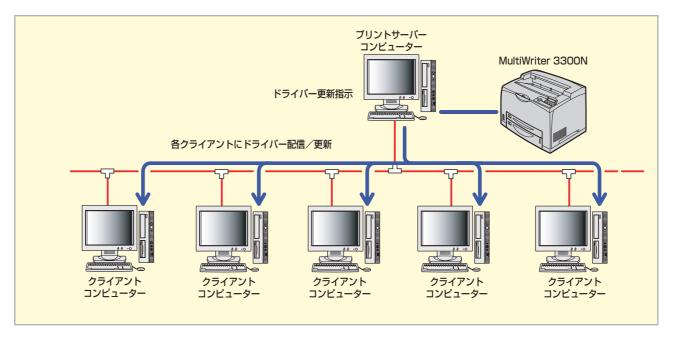
バージョンアップが終了すると、終了メッセージが表示されます。

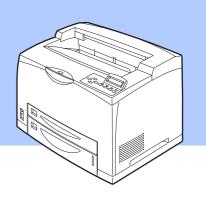
> ✔チェック
>
> OSの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージが表示されます。表示された場合は、再起動を行ってください。再起動しない場合は、正しくプリンタードライバーの更新が行えない場合があります。

使用上の注意事項

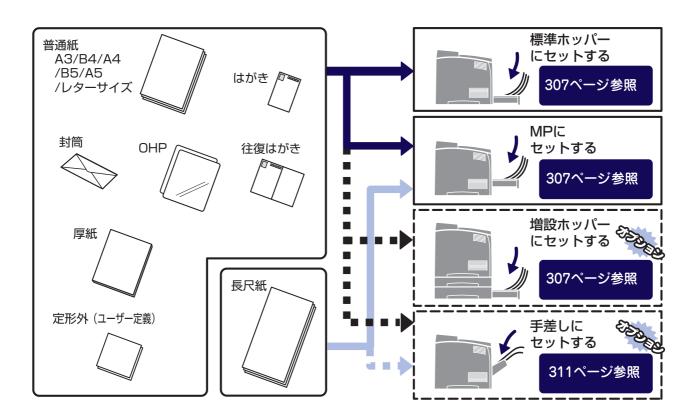
- バージョンアップを行えるのはプリンタードライバーのみです。PrintAgentのバージョンアップは行えません。
- OSに添付されているプリンタードライバーをインストールされている場合も自動バージョンアップの対象となります。この場合は、CD-ROMに格納されているプリンタードライバーに置き換わります。
- Windows XP、Windows Server 2003にインストールしようとしている時に、他のユーザーがそのコンピューターにログオンしている場合は、インストールできません。すべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPでご使用になる場合には、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］の権限を持ったユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0 でご使用になる場合には、Administratorsの権限を持ったユーザー名でログオンしてください。Administrators権限を持たないユーザー名でログオンした場合にはバージョンアップを行えません。

MultiWriter ドライバ配信機能

ネットワーク上のサーバークライアント環境で自動的にクライアントコンピューターへプリンタードライバーを配信し、更新する機能です。

詳しくは、プリンターソフトウエアCD-ROMの¥MWDUPフォルダーのReadme.txtおよび¥MWDUP¥MANUALフォルダーのオンラインマニュアル（HTML形式）を参照してください。

5章
用紙のセット

この章では、このプリンターで使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

このプリンターは豊富な給紙機構（ホッパー、MP＊1、および手差し＊2）をもつプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

このプリンターでは大量給紙するのに便利なリレー給紙機能がご利用できます。標準ホッパー、MP、手差し、増設ホッパーに用紙をセットし印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じ用紙サイズがセットされている給紙先に切り替える機能です。設定手順については1章の「リレー給紙の設定」（28ページ）をご覧ください。

＊1　MP とは「マルチパーパス」のことで、いろいろな種類の用紙をセットすることができる給紙機構を指します。
＊2　手差しはオプションです。

用紙について

ここではこのプリンターで使用できる用紙、用紙のセット方向、用紙サイズの自動検知について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

使用できる用紙は給紙口および排紙口によって異なります。以下にそれぞれ「セットできる用紙」、「排紙できる用紙」の種類、サイズ、および枚数を示します。用紙の規格、印刷範囲については「付録　技術情報」（431 ページ）を参照してください。

給紙口	セットできる用紙			両面印刷
	種類	サイズ	枚数	
標準ホッパーおよび増設ホッパ（550）（オプション）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター、定形外用紙（幅77～297×長さ148～431mm）	550*2	○*3
	厚紙1*4		59.4mm *5	
	厚紙2*6			○*3, *7
	ラベル紙	A4、レター	250	×
	はがき	はがき、往復はがき	230	×
	OHPフィルム	A4	100	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	60	×
MP	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター、定形外用紙（幅77～304×長さ100～508mm）、長尺紙（幅297×長さ900mm）	200*2	○*3
	厚紙1*4		17.5mm *5	
	厚紙2*6			○*3, *7
	ラベル紙	A4、レター	75	×
	はがき	はがき、往復はがき	60	×
	OHPフィルム	A4	100	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	10	×
手差し（オプション）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター、定形外用紙（幅77～304×長さ100～508mm）、長尺紙（幅297×長さ900mm）	100*2	○*3
	厚紙1*8		16mm*5	
	ラベル紙	A4、レター	75	×
	はがき	はがき、往復はがき	50	×
	OHPフィルム	A4	75	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	10	×
増設ホッパ（250）（オプション）	普通紙*1（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター、定形外用紙（幅77～297×長さ148～431mm）	250*2	○*3
	厚紙1*4		27.6mm *5	
	厚紙2*6			○*3, *7
	ラベル紙	A4、レター	180	×
	はがき	はがき、往復はがき	100	×
	OHPフィルム	A4	100	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	20	×

＊1　坪量 60 ～90g/m^2 の用紙です。

＊2　坪量 64g/m^2 の用紙を開封直後に使用した場合です。

＊3　定形外用紙（幅 99mm 以下、長さ 139mm 以下あるいは 432mm 以上）および長尺紙は両面印刷できません。

＊4　坪量 90 ～ 157g/m^2 の用紙です。

＊5　厚紙のセットできる高さを示します。セットできる枚数は、用紙の厚さによって異なります。

＊6　坪量 157 ～ 216g/m^2 の用紙です。

＊7　坪量 191 ～ 216g/m^2 の厚紙は両面印刷できません。

＊8　坪量 90 ～ 135g/m^2 の用紙です。

排紙口	排紙できる用紙			両面印刷
	種類	サイズ	枚数	
標準スタッカー[*1]	普通紙[*2]（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター、 定形外用紙（幅77～304×長さ100～508mm） 長尺紙（幅297×長さ900mm）	500[*3]	○[*4]
	厚紙1[*5]		－	
	厚紙2[*6]		－	○[*4、*7]
	ラベル紙	A4、レター	－	×
	はがき	はがき、往復はがき	－	×
	OHPフィルム	A4	－	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	－	×
フェイスアップトレイ[*8]（オプション）	普通紙[*2]（乾式PPC用紙）	A4、B5、A5、レター、 定形外用紙（幅77～304×長さ100～297mm）	70[*3]	×
	厚紙1[*5]		－	×
	厚紙2[*6]		－	×
	はがき	はがき、往復はがき	－	×
	OHPフィルム	A4	－	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	－	×
オフセットトレイ（オプション）	普通紙[*2]（乾式PPC用紙）	A4、B5、A5、レター、 定形外用紙（幅77～304×長さ127～297mm）	500[*3]	○[*4]
	厚紙1[*9]		－	
	ラベル紙	A4、レター	－	×
	はがき	はがき、往復はがき	－	×
	OHPフィルム	A4	－	×
	封筒	洋形4号（内カマス、のりなし）	－	×

＊1　セットできる用紙はすべて標準スタッカーへ排紙できます。

＊2　坪量 60 ～90g/m^2 の用紙です。

＊3　坪量 64g/m^2 の用紙を使用した場合です。

＊4　定形外用紙（幅 99mm 以下、長さ 139mm 以下あるいは 432mm 以上）および長尺紙は両面印刷できません。

＊5　坪量 90 ～ 157g/m^2 の用紙です。

＊6　坪量 157 ～ 216g/m^2 の用紙です。

＊7　坪量 191 ～ 216g/m^2 の厚紙は両面印刷できません。

＊8　両面印刷機能とフェイスアップトレイへの排紙機能は同時に使用することができません。

＊9　坪量 90 ～ 135g/m^2 の用紙です。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に次の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、封筒、厚紙、定形外用紙、長尺紙をセットする際の注意事項については本章の「用紙をセットする時の注意」（315ページ）に記載していますので、併せてお読みください。

- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
  - 無塵紙
  - 裏写り防止用の白粉（ミクロパウダー）が塗布された用紙
  - 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
  - カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
  - ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
  - ミシン目のある用紙、穴あき用紙
  - 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
  - シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
  - ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - のりが付いている封筒
  - 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
  - 次のような状態のラベル紙
台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
  - すでに一度印刷した用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙も含む）

- 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
- はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
- 用紙は次のことに注意して正しく保管してください。
  - 余った用紙は包装してあった紙で包み直してください。
  - キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
  - 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように平らな場所に水平にして保管してください。

用紙のセット方向

ホッパー、MP、手差し（オプション）に定形用紙をセットする際の用紙の方向は以下の通りです。

用紙の セット方向	セットできる用紙サイズ	ホッパー、MP	手差し
横置き	B5、A5、A4、レター、 往復はがき		
縦置き	A3､B4､A4､はがき､封筒		

用紙サイズの自動検知

ホッパーおよびMPは下記の用紙サイズをプリンター本体で自動的に検知して印刷します。

自動検知する用紙サイズ：A3、A4、A5、B4、B5、レター

上記以外の用紙サイズをセットしたときは、用紙カセットの用紙サイズを操作パネルの［用紙選択］スイッチで設定する必要があります。詳細は6章の「スイッチ」(322ページ) を参照してください。

チェック

ホッパー、MPカセットの用紙サイズが定型外サイズに設定されているときは、［用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定すると、プリンタ本体で自動的に用紙サイズを検知するようになります。

ホッパー、MPに用紙をセットする

ホッパーおよびMPから印刷するには、用紙カセットあるいはMPカセットに用紙をセットします。標準カセットの場合、用紙は坪量64.0g/m^{2}の普通紙なら550枚までセットできます。ホッパーおよびMP には普通紙をはじめ、ラベル紙や厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHP フィルム、定形外用紙をセットすることができます。さらに、MP には長尺紙もセットできます。

チェック

厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」－「ヨウシシュベツ」のホッパまたはMPヨウシシュベツでそれぞれ「アツガミ 1」、「アツガミ2」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は7章の「メニューツリー」（337ページ）を参照してください。

ホッパーおよびMPは、セットする用紙のサイズに合わせてカセットを4段階に延長することができます。

項目	伸縮部のマーク	カセットの形状	使用できる用紙	
			ホッパー	MP
延長なし	－		A4横、A5、B5、レター、はがき、往復はがき、定形外用紙（幅77～297mm×長さ148～220mm）	A4横、A5、B5、レター、はがき、往復はがき、定形外用紙（幅77～304mm×長さ100～220mm）
1段延長	A4タテ		A4縦、封筒、定形外用紙（幅77～297mm×長さ218～302mm）	A4縦、封筒、定形外用紙（幅77～304mm×長さ180～302mm）
2段延長	B4		B4、定形外用紙（幅77～297mm×長さ285～369mm）	B4、定形外用紙（幅77～304mm×長さ247～369mm）
3段延長	A3		A3、定形外用紙（幅77～297mm×長さ352～431mm）	A3、定形外用紙（幅77～304mm×長さ315～508mm）、長尺紙（幅297×900mm）

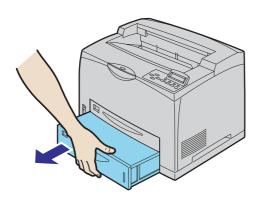
重要

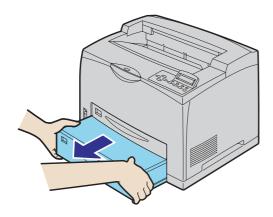
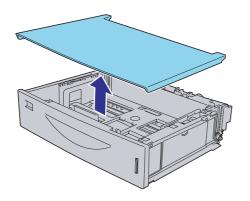
カセットを延長し、上記以外の定形用紙をセットした場合、正常に用紙サイズの検出ができなくなります。必ずセットする用紙サイズに合わせた位置にカセットを延長してください。

ここでは、標準的な定形用紙をセットする手順を説明します。ラベル紙、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルムをセットする場合も基本的にセットする手順は同じです。定形外用紙、長尺紙をセットする場合の手順は「定形外用紙、長尺紙をセットする」（313ページ）をご覧ください。

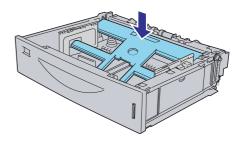
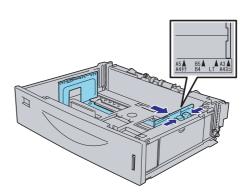
重要

- ホッパーまたはMPにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）をホッパーまたはMPにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 用紙カセットにはがき、往復はがき、封筒をセットした時は、用紙カセットの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「6章　操作パネル」（319ページ）を参照して、［用紙選択］スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど操作パネルで設定を行ってください。

❶ 用紙カセットを手前に引き出す。

❷ 用紙カセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。

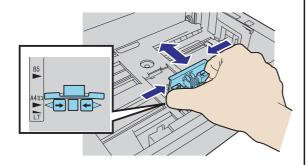
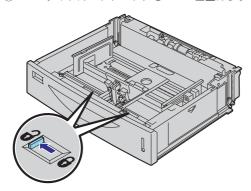
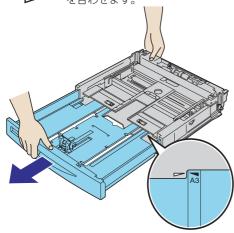
❸ 用紙カセットカバーを取り外す。

❹ リフトプレートが上がっている場合は、押し下げる。

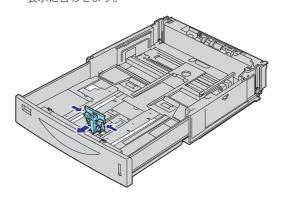
チェック

- リフトプレートが完全に下がっていないと、用紙カセットをプリンターに取り付けることはできません。
- カセットを取り扱う際は、給紙ロールに触らないでください。給紙ロールが汚れると、給紙できなくなることがあります。

❺ サイドガイドロックレバーを指でつまみ、サイドガイドを用紙サイズに合わせる。

❻ エンドガイドをセットする用紙サイズに合わせる。

<B5、A5、A4横、レターの場合>

エンドガイドロックレバーをつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。

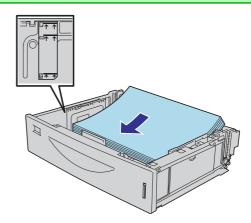
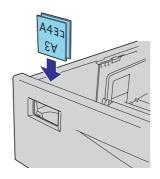
<A4縦、B4、A3の場合>

① スライドカセットロックを"🔓"位置にします。

② 左手の親指をカセットの内側にかけて持ち、右手で用紙カセットの伸縮部を引き出します。セットする用紙サイズの"◀"マークと固定部分のマーク"▷"を合わせます。

③ スライドカセットロックを"🔒"位置にします。

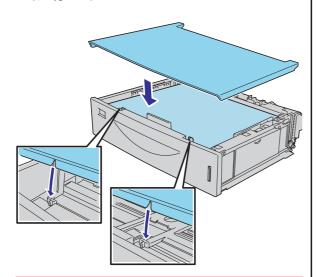
④ エンドガイドロックレバーをつまみながらエンドガイドをスライドさせ、"A4タテ"、"B4"または"A3"表示に合わせます。

はがき、往復はがき、封筒の場合は、用紙をセットしながらサイドガイドとエンドガイドを合わせてください。

❼ 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

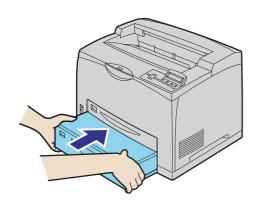
チェック

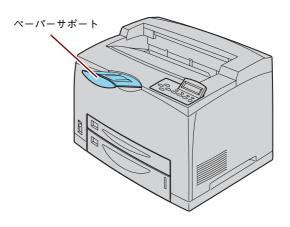
- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、最大積載表示（↑↑）を超えないようにしてセットしてください
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください

❽ セットした用紙サイズに合わせて用紙サイズラベルを差し替える。

❾ 用紙カセットカバーを用紙カセットの手前に合わせて取り付ける。

重要

用紙長432mm以上の用紙をMPにセットする場合は、カバーを取り付けないでください。

❿ 用紙カセットを両手でゆっくり取り付ける。

重要

用紙をセットし終えた用紙カセットは、重くなっています。取り付ける際は用紙カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

⓫ ペーパーサポートを引き出す。

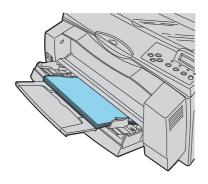
A3、B4サイズの場合、ペーパーサポートを引き出します。

上記以外の場合は、そのままお使いください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように平らな場所に水平にして保管してください。

手差しに用紙をセットする

オプションの手差しトレイには普通紙をはじめ、ラベル紙、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙、長尺紙をセットすることができます。手差しトレイユニットの取り付けについては、1章の「手差しトレイユニット」(33ページ) をご覧ください。

チェック

厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」-「ヨウシシュベツ」-「テサシ　ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ1」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は7章の「メニューツリー」(337ページ) を参照してください。

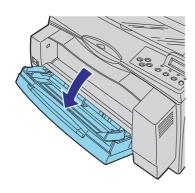
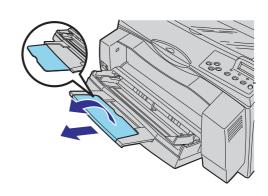
注意

- 手差しトレイに用紙以外の物や、手を載せないでください。手差しトレイが破損する原因となるおそれがあります。
- 手差しトレイから印刷しないときは、必ず手差しトレイを閉じてご使用ください。ほこりや異物が入りやすくなり、プリンターの破損や故障の原因となるおそれがあります。

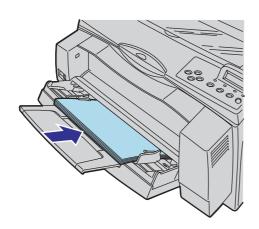
重要

- 手差しにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）を手差しにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 手差しにA5、往復はがき、封筒をセットした時は、手差しの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「6章　操作パネル」(319ページ) を参照して、［用紙選択］スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にも、そのつど操作パネルで設定を行ってください。

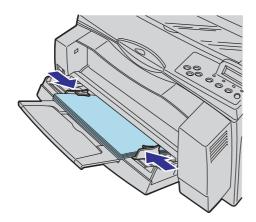
❶ **手差しトレイを開く。**

中央のくぼみをつまみながら、ゆっくり手前に引きます。

❷ **長い用紙をセットする場合は、中央の延長トレイを引き出す。トレイの長さが足りないときには、さらに拡張延長トレイを開き出す。**

❸ 印刷する面を上にして、用紙を手差し用紙ガイドに沿って突き当たるまで挿入する。

A3、B4、はがき、封筒は縦置きで、B5、A5、レター、往復はがきは横置きでセットしてください。

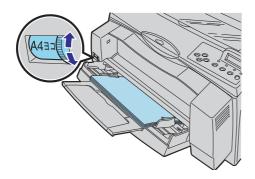
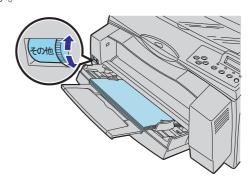
A4サイズは縦置き、横置きどちらでもセットできますす。

チェック

最大収容枚数を超える用紙をセットしないでください。

❹ セットした用紙に手差し用紙ガイドを合わせる。

❺ 用紙サイズを設定する。

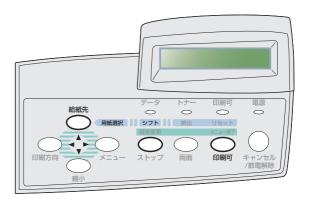
<A3、A4縦／横、B4、B5、レター、はがきをセットした場合>

用紙サイズ設定ダイヤルの表示をセットした用紙のサイズに合わせてください。

<A5、往復はがき、封筒、定形外用紙、長尺紙をセットした場合>

用紙サイズ設定ダイヤルの表示を「その他」に設定してください。

さらに、A5、往復はがき、封筒をセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定します。

操作パネルの［印刷可］スイッチを押してから、［給紙先］スイッチを押して「テサシ」を選択した後、［シフト］スイッチを押しながら、［用紙選択］スイッチを押して、用紙サイズを設定します。（操作パネルの詳細は「6章　操作パネル」(319ページ) 参照。）

チェック

用紙サイズ設定ダイヤルをあらかじめ「その他」に設定していないと、［用紙選択］スイッチによる用紙サイズ設定はできません。

- ［シフト］スイッチを押しながら［用紙選択］スイッチを1回押すごとに用紙サイズは以下のように変わります。
  「A4タテ→A4ヨコ→A5→B4→B5→LT→ハガキ→ハガキ2→フウトウ→A3」
- Windows環境で定形外用紙および長尺紙に印刷する場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する必要はありません。

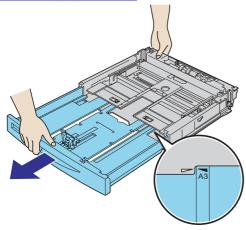
定形外用紙、長尺紙をセットする

定形外用紙（ユーザー定義）および長尺紙への印刷は、Windows環境でのみ行うことができます。定形外用紙への印刷については、4章の「定形外用紙サイズの用紙に印刷」（244ページ）を参照してください。

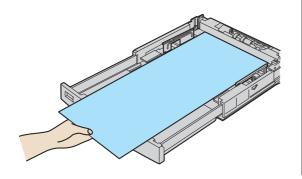
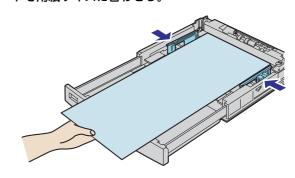
ここでは、長さが431mmを超える定形外用紙や長尺紙をMPあるいは手差しトレイ（オプション）にセットする場合について説明します。長さが431mm以下の用紙をセットする場合は、定形用紙と同じです。「ホッパー、MPに用紙をセットする」（307ページ）または「手差しに用紙をセットする」（311ページ）を参照してください。

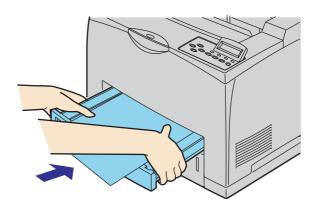
定形外用紙、長尺紙をMPにセットする

1. **MPカセットを手前に引き出す。**
2. **MPカセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**
3. **MPカセットカバーを取り外す。**
4. **MPカセットを最大に延長する。**

   延長部は、最大限（A3）まで引き出してください。カセットを延長する手順の詳細は、本章の「ホッパー、MPに用紙をセットする」（307ページ）を参照してください。

5. **印刷する面を上にして用紙をセットする。**

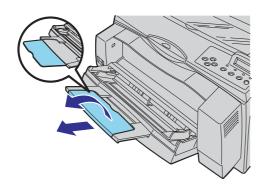
   このとき、用紙がMPカセットからずれ落ちないように後端を手で支えます。

> ✔チェック
>
> 用紙は1枚ずつセットしてください。

6. **サイドガイドロックレバーを指でつまみ、サイドガイドを用紙サイズに合わせる。**

7. **用紙がずれないように用紙を手で押さえながら、MPカセットをプリンターの奥に突き当たるまでしっかり押し込む。**

> ✔チェック
>
> MPカセットカバーは取り付けないでください。

8. **ペーパーサポートを引き出す。**

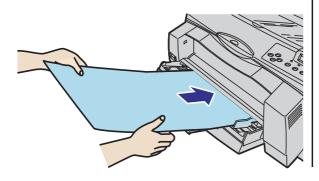
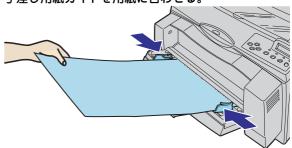
> 重要
>
> 印刷するときは、用紙が垂れ下がらないように手で支えてください。

定形外用紙、長尺紙を手差しにセットする

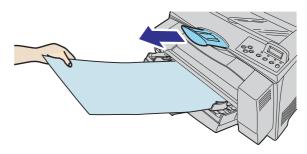
❶ 手差しトレイの中央にある延長トレイを引き出し、さらに拡張延長トレイを開き出す。

❷ 印刷する面を上に向けて、用紙の後端を手で支えて用紙を手差しトレイにセットする。

チェック

- 用紙が垂れ下がるときは手で支えてください。
- 用紙は1枚ずつセットしてください。

❸ 手差し用紙ガイドを用紙に合わせる。

❹ 用紙サイズ設定ダイヤルを「その他」にセットする。

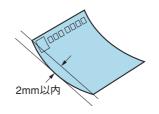
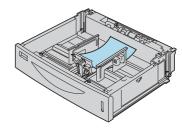
❺ ペーパーサポートを引き出す。

紙づまりを防ぐために、排出された用紙は1枚ずつ受け取ってください。

用紙をセットする時の注意

はがき、往復はがき

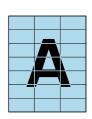
重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるように反りを直してください。反りがある用紙をセットする場合は、反りの方向を直して（反っている凸面を下にして）セットしてください。

- 印刷所で印刷を施された官製はがき（年賀状など）には裏写り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。
- はがきをまとめてセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。

- 印刷したはがきは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。

OHPフィルム、ラベル紙

- OHPフィルム、ラベル紙は十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、手差しに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

- ラベル紙に印刷するときはフェイスアップトレイ（オプション）に排出しないでください。ラベルがはがれてしまいます。

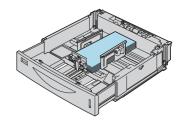
封筒

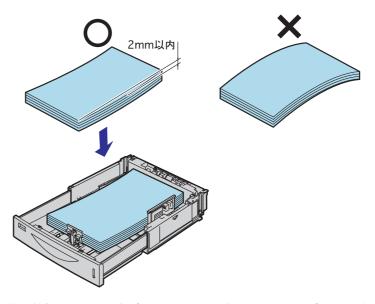
重要

フラップ（封筒の折り返し部分）面には印刷しないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

- 封筒は、洋形４号、内カマス、のりなしをご使用ください。ただし、封筒の材質により、ご使用になれない場合があります。
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ（封筒の折り返し部分）をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、用紙サイズエラーになることがあります。

- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。

- 封筒をセットする場合は、印刷する面を上にして縦方向にセットしてください。

厚紙

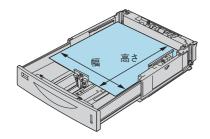
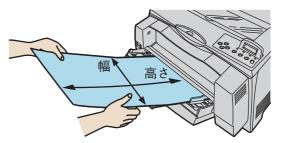
- 厚紙に反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるように反りを直してからセットしてください。厚紙をセットするときは、反っている凸面を下にしてセットしてください。

- 厚紙の種類や厚さによっては、反りがなくても正常に給紙できない場合があります。その際は、反りの幅が2mm以内になるように反りを付けてからセットしてください。

定形外用紙、長尺紙

重要

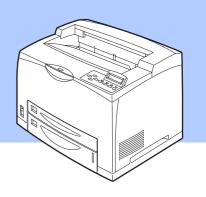
形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- 定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。
- 定形外用紙の用紙サイズについて

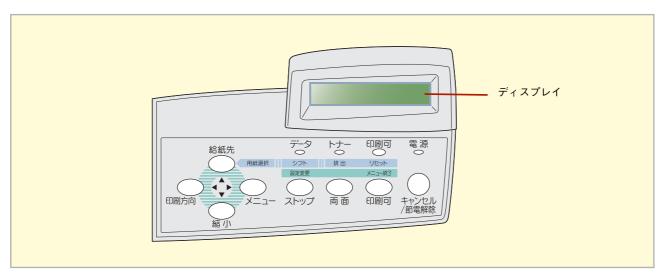
  Windows環境で定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定するとき、幅と高さは図の向きになるように設定してください。

用紙カセットに定形外用紙をセット

手差しに定形外用紙をセット

- 用紙サイズの自動検知について

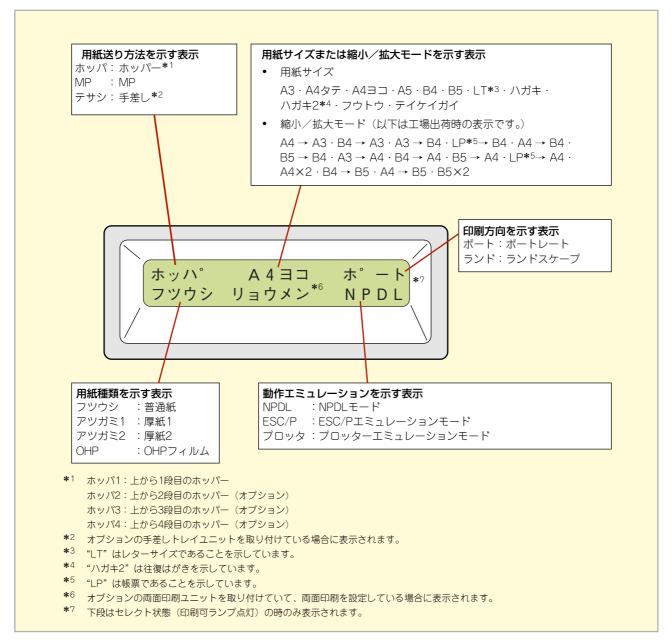
  ホッパー、MPカセットの用紙サイズが定形外サイズに設定されているときは、［用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定すると、プリンタ本体で自動的に用紙サイズを検知するようになります。

6章
操作パネル

この章では、操作パネルにあるスイッチやランプについて説明しています。

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。ここでは主にNPDL（Level 2）で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

ESC/Pエミュレーション、およびプロッターエミュレーションモード時では、一部機能が異なります。詳しくは334～336ページの表をご覧ください。

操作パネル

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。

ディスプレイの表示

その他の表示内容については9章の「アラーム表示が出ているときは」（390ページ）、7章の「メニューツリー」（337～349ページ）または、付録の「ディスプレイ表示一覧」（501ページ）をご覧ください。

チェック

MultiWriter 3300Nでは、待機時の消費電力を抑えるために節電モードを備えています。節電モード1のときはディスプレイには何も表示されません。節電モードの解除方法については、「節電時のスイッチ機能」（329ページ）を参照してください。

ランプ

印刷可ランプ（緑／赤）

点灯（緑）　プリンターがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）になっています。

点滅（赤）　点滅を繰り返し、30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。

カセットに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンターにエラーが発生している状態を示します。詳細については9章の「アラーム表示が出ているときは」（390ページ）をご覧ください。

消灯

- プリンターがディセレクト状態（印刷データを受信できない状態）になっています。（ただし、I/F設定がECPモード中は印刷データを受信します。）
- 節電モード1になっています。

電源ランプ（緑）

点灯　プリンターの電源がONになっています。

消灯　プリンターの電源がOFFになっています。

データランプ（橙）*

点灯

- プリンター内に印刷データが残っています。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

点滅　プリンターが印刷データを受信中です。

消灯

- プリンター内にデータが残っていません。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

*　I/F設定がECPモード中にディセレクト状態でデータ受信しているときはデータランプは点滅/点灯しません。

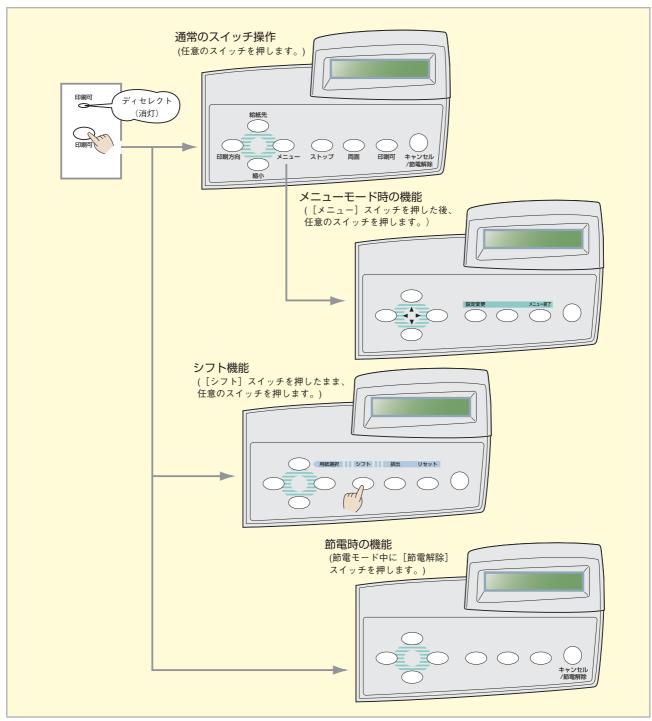
トナーランプ（赤）

点灯　EPカートリッジのトナーの残量が少ないまたはEPカートリッジの寿命です。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）をご覧ください。

消灯

- EPカートリッジのトナーが十分にあります。
- 節電モード1になっています。

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能をもっています。

スイッチのモード

通常のスイッチ機能	：	[印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷可ランプが消灯している状態）になって初めて機能します（[ストップ]スイッチを除く)。
メニューモード時のスイッチ機能	：	[メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。
シフト時のスイッチ機能	：	[シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。
節電時のスイッチ機能	：	節電モード時に働く機能です。

チェック

- 印刷可ランプが赤に点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については9章の「アラーム表示が出ているときは」（390ページ）をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。
- 操作パネルにおいて、誤った操作を行った場合は、ブザーが鳴ります。

通常のスイッチ機能

[印刷可] スイッチ

このスイッチはプリンターが初期化中でないときおよびテスト印刷中でないときに機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態（セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯）と受信できない状態（ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯）に交互に切り替わります。

[両面] スイッチ

このスイッチはオプションの両面印刷ユニットを取り付けている場合で、印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

両面印刷モードにする（両面印刷モードを解除する）。

このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。次の場合、ディスプレイに「リョウメン」と表示されていても、印刷は片面で行われます。

- 用紙サイズがはがき、往復はがき、封筒の場合
- 用紙種別で「OHP」を指定した場合
- 幅99mm以下、長さ139mm以下、または432mm以上の定形外用紙および長尺紙に印刷した場合

[ストップ] スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。
印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

アラーム音を止める。

アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。

[キャンセル] スイッチ

このスイッチはデータランプが点灯または点滅しているときに機能します。

印刷中のデータをキャンセルする。

印刷中にこのスイッチを2秒以上押し続けると、ディスプレイに「キャンセルチュウ」と表示し、印刷中および受信中のデータを中止します。ただし、印刷途中のページは印刷されます。

チェック

- 印刷ジョブ単位でデータを消去します。
- ディスプレイの下段にユーザー名などが表示されている場合､表示されているジョブがキャンセルの対象になります。このスイッチを押している間にディスプレイの表示が他のユーザー名などに切り替わった場合は、ただちにスイッチから手を離してください。次のジョブがキャンセルされてしまうことがあります。

[メニュー] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

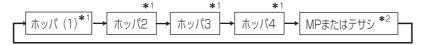
メニューモードに入る。

このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

[給紙先] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先を選択する

このスイッチを押すたびに給紙するホッパー /MPまたは手差し（オプション）を次のように切り替えます。（選択された給紙先がディスプレイに表示されます。）

このとき、用紙サイズの表示は次のようになります。

- 給紙先をホッパー／MPに設定した場合
  ［用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定されていると、ホッパーまたはMPにセットされている用紙サイズが表示されます。「ジドウ」以外に設定されていると［用紙選択］スイッチで選択した用紙サイズが表示されます。
- 給紙先を手差し（オプション）に設定した場合
  用紙サイズ設定ダイヤルが「その他」に設定されていると［用紙選択］スイッチで選択した用紙サイズが表示されます。

＊1　増設ホッパー装着時のみ表示されます。

＊2　オプションの手差しトレイユニット装着時のみ表示されます。

[印刷方向] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

[縮小] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

チェック

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド（FS f c1 c2 c3）によってA3、B4、または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル」をご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

縮小／拡大モードの設定をする。
このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → (繰り返し)

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4 [*1] → A3→A4 → A4×2 [*2] → B5→A4 → A4 → (繰り返し)

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4 [*1] → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → (繰り返し)

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2 [*3] → B5 → (繰り返し)

> プロッターエミュレーションモードで使用する場合は縮小／拡大モードの設定が異なります。
> 詳しくは「7章　メニューモード」(331 ページ) をご覧ください。

＊1　LPは帳票サイズ（136桁×66行）を意味します。
＊2　A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。
＊3　B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

メニューモード時のスイッチ機能

[メニュー終了] スイッチ

メニューモードを終了させる。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

[設定変更] スイッチ

設定変更したい項目（レベル3）を選択する。
メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。

なお、メニューモードのレベルについては、7章の「メニューツリー」（337～349ページ）を参考にしてください。

[▶] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[→]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル（レベル2またはレベル3）の項目を選択することができます。

[▲] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↑]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

[◀] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[←]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル（レベル1またはレベル2）の項目を選択することができます。

[▼] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↓]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については7章の「メニューツリー」（337～349ページ）をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能

シフト時のスイッチを機能させるためには、［シフト］スイッチを押したまま、任意のスイッチを押します。

[シフト] スイッチ

このスイッチが押されている間、［給紙先］スイッチ、［両面］スイッチ、および［印刷可］スイッチの3つは、それぞれのスイッチの右または上に表記された機能「用紙選択」、「排出」、「リセット」が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

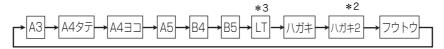
[用紙選択] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

選択している給紙先の用紙サイズを変更する

ホッパーまたはMP給紙を選択中は、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

このスイッチで選択した用紙サイズは［用紙メニュー］の［用紙サイズ設定］に反映されます。

手差し給紙を選択中は、用紙サイズ設定ダイヤルで「その他」を設定している場合、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

＊1　「ジドウ」に設定すると、プリンタ本体で自動的に用紙サイズを検知するようになります。

＊2　「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

＊3　「LT」は「レター」を意味します。

[排出] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している（ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている）ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

［シフト］スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。ただし、インタフェース設定がECPモードでディセレクト中に受信したデータは排出されません。

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

[リセット] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを２回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態（電源スイッチON直後の状態）になります。リセット後、ブザーが２回鳴ります。

チェック

リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態（電源ON直後の状態）に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は付録の「NPDLの初期状態」（454ページ）をご覧ください。

節電時のスイッチ機能

[節電解除] スイッチ

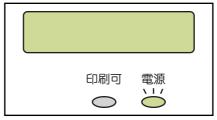
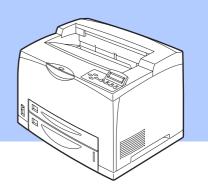
このスイッチは、節電モード中に機能します。

プリンターの節電状態を解除する

プリンターが節電モード中（節電モード0、節電モード1）に、このスイッチを押すと節電状態が解除されます。節電モードについては、7章の「運用メニュー」（355ページ）を参照してください。

節電モード0

節電モード1

7章
メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

操作パネルでの設定方法

メニューモードの設定変更のしかた

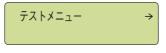
❶ **［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯します。

❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❸ **［メニュー］スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示します。

❹ **メニューモードの設定を変更する。**

メニューモードの内容は「メニューモード設定項目一覧」（334ページ）および「メニューツリー」（337〜349ページ）を参照してください。

メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

［◀］、［▼］、［▶］、［▲］スイッチ：

このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。

［設定変更］スイッチ：

押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

❺ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常の表示に戻ります。

ホッパ　　A4ヨコ　ポ゜ート
フツウシ　　　　NPDL

メモリースイッチの設定変更のしかた

ここでは、節電モードを使用しない場合のメモリースイッチの設定変更を例にして説明します。対象となるメモリースイッチは「6-7」です。

❶ **プリンターの電源をONにする。**

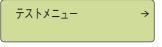
❷ **［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯します。

❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❹ **［メニュー］スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示します。

❺ **［▲］スイッチを1回押す。**

ディスプレイに“メモリスイッチメニュー　→”と表示します。

```
メモリスイッチメニュー    →
```

❻ **［▶］スイッチを1回押す。**

MSW1が表示されます。

```
           12345678
←MSW1      00000000*
```

❼ **［▲］スイッチ、または［▼］スイッチを押して、MSW6を表示させる。**

```
           12345678
←MSW6      00000000*
```

❽ **［▶］スイッチを6回押して、カーソルをMSW6-7に移動する。**

```
           12345678
←MSW6      00000000*
```

❾ **［設定変更］スイッチを1回押して、MSW6-7を“1”に変更する。**

```
           12345678
←MSW6      00000010*
```

❿ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常の表示に戻ります。

```
ホッパ゜     A4ヨコ  ホ゜ート
フツウシ          NPDL
```

メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定の一部はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

メニューモード設定項目一覧

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション	プロッターエミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、プリンターの状態が印刷されます。	×	○	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○	○
	LANステータス印刷	LANインターフェース（オプションのLANボードを含む）のコンフィグレーションページ（LANステータス）を印刷します。	×	○	○
	通信ログ印刷	LANインターフェース（オプションのLANボードを含む）の通信ログを印刷します。	×	○	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。	×	○	○
	トナー節約機能	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	印字濃度	印字濃度を5段階の中から設定できます。	×	○	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパー、MPまたは手差し（オプション）設定を選択します。	×	○	○
	用紙種別	ホッパー、MP、または手差し（オプション）で使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	定形外用紙*1	手差し（オプション）で定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	用紙サイズ設定	ホッパーおよびMPの用紙サイズを設定します。	×	○	○
	停止確認	定形外用紙に印刷するとき、指定している用紙と異ったサイズの用紙がセットされているときに、アラームを表示して印刷を中止するか、そのまま印刷するかを選択します。	×	×	×
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	ジョブセパレート機能	ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	排出先設定*2	排出先を選択します。	×	○	○
	リレー排紙設定*2	リレー排紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	オフセット排紙機能*2	オフセット排紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○

*1　オプションの手差しトレイユニットを取り付けている場合のみ表示されます。

*2　オプションのオフセットトレイユニットを取り付けている場合のみ表示されます。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ (MSW)	ESC/P エミュレーション	プロッターエミュレーション
印字位置設定メニュー	ホッパ微調整	ホッパー、MP、手差し、両面印刷時の表面・裏面の印刷位置を調整します。	×	○	○
	ホッパ1微調整*[1]		×	○	○
	ホッパ2微調整*[1]		×	○	○
	ホッパ3微調整*[1]		×	○	○
	ホッパ4微調整*[1]		×	○	○
	MP微調整		×	○	○
	手差し微調整*[2]		×	○	○
	表面微調整*[3]		×	○	○
	裏面微調整*[3]		×	○	○
両面印刷メニュー*[3]	初期設定	電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。	×	○	○
	綴じしろ	綴じしろを付加する位置を設定します。	×	○	○
	余白	綴じしろを付加する量を設定します。	×	○	○
	クリップ	印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか、自動改行/改ページするかを設定します。	×	○	○
	奇数ページ	奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法を設定します。	×	○	○
運用メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○	○
	節電時間設定*[4]	節電するまでの時間を設定します。	×	○	○
	自動排出*[5]	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	×	○	○
	メモリー設定*[6]	プリンターメモリーの使用方法を選択します。	×	○	○
	総印字枚数*[7]	プリンターの総印字枚数を表示します。	×	○	○
	解像度設定	解像度の設定をします。	○	○	○
	プロッタ縮小	プロッターモードのみ使用可能な縮小機能を設定します。	×	×	○
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○	×
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	×	○	×
	ANK	1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。	×	○	×
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	×	○*[8]	×
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	×	1983固定	×
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○	×

*[1]　増設ホッパー装着時のメニューです。
*[2]　オプションの手差しトレイユニットを取り付けている場合のみ表示されます。
*[3]　オプションの両面印刷ユニットを取り付けている場合のみ表示されます。
*[4]　節電機能有効時のみ表示されます。
*[5]　コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間（最大30秒）以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。
*[6]　64MB以上のメモリーを増設した時の初期設定は異なります。
*[7]　表示のみで、設定変更はできません。
*[8]　「ミンチョウ」「ゴシック」はESC/Pコマンドの「FS k（漢字の書体選択）」によって切り替えることができます。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション	プロッターエミュレーション
動作メニュー	動作エミュレーション	［インタフェース1］、［インタフェース2］、［USB］で個別にプリンターの動作エミュレーションを設定します。	×	○	○
	動作自動切り替え	エミュレーションの自動切り替えを設定します。	×	○	○
NPDL設定メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	○	×
	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	×	×
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○*1	×
プロッター設定メニュー	ペンの太さの選択、原点位置の選択、SPコマンドによる排出などの選択をします。		×	×	○
I/F設定メニュー	インタフェース1*2	動作双方向の設定（ニブルモード、ECPモード、なし）とLANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。	×	○	○
	インタフェース2	LANインターフェースのIPアドレス、サブネットマスクなど*3を設定します。	×	○	○
設定初期化メニュー	メニュー初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	×	○	○
	LAN初期化	LAN設定を初期設定に戻します。	×	○	○
	全初期化	メニュー項目とLAN設定を初期設定に戻します。	×	○	○
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	×	○	○
	記憶	メニューモード内の各種機能設定と、［用紙選択］スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	×	○	○
メモリースイッチメニュー	メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。(MSW1～10)		○	368～369ページ参照	

*1　ESC/Pエミュレーションでは常に136桁モードになります。

*2　I/F設定を変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。
また、I/F設定メニューの動作双方向が「ECPモード」に設定されているときにIPアドレスとサブネットマスクが有効になります。
対応するLANアダプターは型番 PR-NP-02T2、型番 PR-NP-03TR2です。

*3　設定項目は、標準のLANインターフェースとオプションの無線LANボードとで異なります。詳しくは、「メニューツリー」(337～349ページ) を参照してください。

メニューツリー

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。（グレー部分は出荷時の設定値です。）
「注」で示す補足的な説明は349ページにあります。

A
B
C
D
E
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ﾌﾂｳｼ*
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ｱﾂｶﾞﾐ1*
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ｱﾂｶﾞﾐ2*
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← OHP*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ﾌﾂｳｼ*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ｱﾂｶﾞﾐ1*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ｱﾂｶﾞﾐ2*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← OHP*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ﾌﾂｳｼ*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ｱﾂｶﾞﾐ1*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ｱﾂｶﾞﾐ2*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← OHP*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ﾌﾂｳｼ*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ｱﾂｶﾞﾐ1*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ｱﾂｶﾞﾐ2*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← OHP*
注1
MP ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ﾌﾂｳｼ*
MP ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ｱﾂｶﾞﾐ1*
MP ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ｱﾂｶﾞﾐ2*
MP ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← OHP*
注2
ﾃｻｼ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ﾌﾂｳｼ*
ﾃｻｼ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← ｱﾂｶﾞﾐ1*
ﾃｻｼ ﾖｳｼｼｭﾍﾞﾂ
← OHP*
注3
注3
ﾖｳｼﾒﾆｭｰ
←ﾃｲｹｲｶﾞ ｲﾖｳｼ →
ﾃｻｼ ﾃｲｹｲｶﾞ ｲ
← OFF*
ﾃｻｼ ﾃｲｹｲｶﾞ ｲ
← ON *
ﾖｳｼﾒﾆｭｰ
←ﾖｳｼｻｲｽﾞ ｾｯﾃｲ →
ﾎｯﾊﾟ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ｼﾞﾄﾞｳ*
ﾎｯﾊﾟ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ*
ﾎｯﾊﾟ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ2*
ﾎｯﾊﾟ ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾌｳﾄｳ*
注1
F
G
H
I
J

F
G
H
I
J
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ｼﾞﾄﾞｳ*
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ*
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ2*
ﾎｯﾊﾟ 1 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾌｳﾄｳ*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ｼﾞﾄﾞｳ*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ2*
ﾎｯﾊﾟ 2 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾌｳﾄｳ*
注1
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ｼﾞﾄﾞｳ*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ2*
ﾎｯﾊﾟ 3 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾌｳﾄｳ*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ｼﾞﾄﾞｳ*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ2*
ﾎｯﾊﾟ 4 ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾌｳﾄｳ*
MP ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ｼﾞﾄﾞｳ*
MP ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ*
MP ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾊｶﾞｷ2*
MP ﾖｳｼｻｲｽﾞ
← ﾌｳﾄｳ*
注2
ﾖｳｼﾒﾆｭｰ
←ﾃｲｼｶｸﾆﾝ →
ﾃｲｼｶｸﾆﾝ
← ｽﾙ*
ﾃｲｼｶｸﾆﾝ
← ｼﾅｲ*
ﾖｳｼﾒﾆｭｰ
←ﾘﾚｰｷｭｳｼ ｾｯﾃｲ →
ﾘﾚｰｷｭｳｼ ｾｯﾃｲ
←ﾎｯﾊﾟ ﾘﾚｰ OFF*
ﾘﾚｰｷｭｳｼ ｾｯﾃｲ
←ﾎｯﾊﾟ ﾘﾚｰ ON *
ﾘﾚｰｷｭｳｼ ｾｯﾃｲ
←ﾎｯﾊﾟ 1 ﾘﾚｰ OFF*
ﾘﾚｰｷｭｳｼ ｾｯﾃｲ
←ﾎｯﾊﾟ 1 ﾘﾚｰ ON *
ﾘﾚｰｷｭｳｼ ｾｯﾃｲ
←ﾎｯﾊﾟ 2 ﾘﾚｰ OFF*
ﾘﾚｰｷｭｳｼ ｾｯﾃｲ
←ﾎｯﾊﾟ 2 ﾘﾚｰ ON *
注4
ﾘﾚｰｷｭｳｼ ｾｯﾃｲ
←ﾎｯﾊﾟ 3 ﾘﾚｰ OFF*
ﾘﾚｰｷｭｳｼ ｾｯﾃｲ
←ﾎｯﾊﾟ 3 ﾘﾚｰ ON *
ﾘﾚｰｷｭｳｼ ｾｯﾃｲ
←ﾎｯﾊﾟ 4 ﾘﾚｰ OFF*
ﾘﾚｰｷｭｳｼ ｾｯﾃｲ
←ﾎｯﾊﾟ 4 ﾘﾚｰ ON *
K
L
M
N
O

K
L
M
N
O
リレーキュウシ　セッテイ
←MP　リレー　OFF＊
リレーキュウシ　セッテイ
←MP　リレー　ON ＊
注2
リレーキュウシ　セッテイ
←テサシ　リレー　OFF＊
リレーキュウシ　セッテイ
←テサシ　リレー　ON ＊
注3
ヨウシメニュー
←ジョブセパレートキノウ→
ジョブセパレートキノウ
←　ムコウ＊
ジョブセパレートキノウ
←　ユウコウ＊
注5
ヨウシメニュー
←ハイシュツサキ　セッテイ　→
ハイシュツサキ　セッテイ
←　スタッカ＊
ハイシュツサキ　セッテイ
←　オフセットトレー＊
注5
ヨウシメニュー
←リレーハイシ　セッテイ　→
リレーハイシ　セッテイ
←　OFF＊
リレーハイシ　セッテイ
←　ON＊
注5
ヨウシメニュー
←オフセットハイシキノウ　→
オフセットハイシキノウ
←　ムコウ＊
オフセットハイシキノウ
←　ユウコウ＊
注6
インジイチセッテイメニュー→
インジイチセッテイメニュー
←ホッパ　ヒチョウセイ→
ホッパ　ヒチョウセイ
←TM　+3.9ミリ＊
ホッパ　ヒチョウセイ
←TM　0ミリ＊
ホッパ　ヒチョウセイ
←TM　−3.9ミリ＊
ホッパ　ヒチョウセイ
←LM　+3.9ミリ＊
ホッパ　ヒチョウセイ
←LM　0ミリ＊
ホッパ　ヒチョウセイ
←LM　−3.9ミリ＊
注7
インジイチセッテイメニュー
←ホッパ1　ヒチョウセイ→
ホッパ1　ヒチョウセイ
←TM　+3.9ミリ＊
ホッパ1　ヒチョウセイ
←TM　0ミリ＊
ホッパ1　ヒチョウセイ
←TM　−3.9ミリ＊
ホッパ1　ヒチョウセイ
←LM　+3.9ミリ＊
ホッパ1　ヒチョウセイ
←LM　0ミリ＊
ホッパ1　ヒチョウセイ
←LM　−3.9ミリ＊
P
Q
R
S

P
Q
R
S
注7
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ→
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　+3.9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　−3.9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　+3.9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 2　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　−3.9ﾐﾘ*
注8
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ→
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　+3.9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　−3.9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　+3.9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 3　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　−3.9ﾐﾘ*
注9
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ→
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　+3.9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　−3.9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　+3.9ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
ﾎｯﾊﾟ 4　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　−3.9ﾐﾘ*
注2
ｲﾝｼﾞ ｲﾁｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←MP　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ→
MP　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　+3.9ﾐﾘ*
MP　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　0ﾐﾘ*
MP　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←TM　−3.9ﾐﾘ*
MP　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　+3.9ﾐﾘ*
MP　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　0ﾐﾘ*
MP　ﾋﾞﾁｮｳｾｲ
←LM　−3.9ﾐﾘ*
T
U
V
W

T
U
V
W
注3
インジ゛イチセッテイメニュー
←テサシ　ビ゛チョウセイ→
テサシ　ビ゛チョウセイ
←TM　＋3．9ミリ＊
←TM　0ミリ＊
←TM　－3．9ミリ＊
←LM　＋3．9ミリ＊
←LM　0ミリ＊
←LM　－3．9ミリ＊
注10
インジ゛イチセッテイメニュー
←オモテメン　ビ゛チョウセイ→
オモテメン　ビ゛チョウセイ
注10
インジ゛イチセッテイメニュー
←ウラメン　ビ゛チョウセイ→
ウラメン　ビ゛チョウセイ
注10
リョウメンインサツメニュー　→
リョウメンインサツメニュー
←ショキセッテイ　OFF＊
←ショキセッテイ　ON　＊
←トジ゛シロ　ロング゛1＊
←トジ゛シロ　ショート1＊
←トジ゛シロ　ロング゛2＊
←トジ゛シロ　ショート2＊
←ヨハク　0ミリ＊
←ヨハク　20ミリ＊
X
Y
Z

X
Y
Z
リョウメンインサツメニュー
←クリップ゜　OFF＊
リョウメンインサツメニュー
←クリップ゜　ON ＊
リョウメンインサツメニュー
←キスウペ゜ージ゛　カタメン＊
リョウメンインサツメニュー
←キスウペ゜ージ゛　リョウメン＊
注11
ウンヨウメニュー →
ウンヨウメニュー
←セツデ゛ンキノウ →
セツデ゛ンキノウ
← ムコウ＊
セツデ゛ンキノウ
← ユウコウ＊
注12
ウンヨウメニュー
←セツデ゛ンジ゛カン セッテイ→
セツデ゛ンジ゛カン セッテイ
← 5フン＊
セツデ゛ンジ゛カン セッテイ
← 10フン＊
セツデ゛ンジ゛カン セッテイ
← 30フン＊
セツデ゛ンジ゛カン セッテイ
← 60フン＊
セツデ゛ンジ゛カン セッテイ
← 90フン＊
ウンヨウメニュー
←ジ゛ド゛ウ ハイシュツ →
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← ムコウ＊
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← 5ビ゛ョウ＊
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← 15ビ゛ョウ＊
ジ゛ド゛ウ ハイシュツ
← 30ビ゛ョウ＊
ウンヨウメニュー
←メモリ セッテイ →
メモリワリアテ
← ヒョウジ゛ュン＊
メモリワリアテ
← デ゛ンシソートユウセン＊
注13
ウンヨウメニュー
←ソウインジ゛ マイスウ →
ソウインジ゛ マイスウ
← 000000＊
ウンヨウメニュー
←カイゾ゛ウド゛ セッテイ →
カイゾ゛ウド゛
← 400DPI＊
カイゾ゛ウド゛
← 600DPI＊
注14
ウンヨウメニュー
←プ゛ロッタ シュクショウ →
プ゛ロッタシュクショウキノウ
← ムコウ＊
プ゛ロッタシュクショウキノウ
← ユウコウ＊
フォントメニュー →
フォントメニュー
←1バ゛イトケイ ゼ゛ロ 0＊
フォントメニュー
←1バ゛イトケイ ゼ゛ロ Ø＊
注15
フォントメニュー
←2バ゛イトケイ ゼ゛ロ 0＊
フォントメニュー
←2バ゛イトケイ ゼ゛ロ Ø＊
フォントメニュー
←ANK ヒョウジ゛ュン＊
フォントメニュー
←ANK イタリック＊
フォントメニュー
←ANK クーリエ＊
フォントメニュー
←ANK ゴ゛シック＊
a
b
c

a
b
c
d
e
フォントメニュー
←カンジ　ミンチョウ*
フォントメニュー
←カンジ　ゴシック*
フォントメニュー
←モジセット JIS1978*
フォントメニュー
←モジセット JIS1983*
フォントメニュー
←モジセット JIS1990*
フォントメニュー
←クニベツ　ニッポン*
フォントメニュー
←クニベツ　アメリカ*
フォントメニュー
←クニベツ　イギリス*
フォントメニュー
←クニベツ　ドイツ*
フォントメニュー
←クニベツ　スウェーデン*
注16
ドウサメニュー →
ドウサメニュー
←ドウサ エミュレーション →
ドウサ エミュレーション
←インタフェース1　NPDL*
ドウサ エミュレーション
←インタフェース1　ESC/P*
ドウサ エミュレーション
←インタフェース1　プロッタ*
ドウサ エミュレーション
←インタフェース2　NPDL*
ドウサ エミュレーション
←インタフェース2　ESC/P*
ドウサ エミュレーション
←インタフェース2　プロッタ*
ドウサ エミュレーション
←USB　NPDL*
ドウサ エミュレーション
←USB　ESC/P*
ドウサ エミュレーション
←USB　プロッタ*
ドウサメニュー
←ドウサジドウ キリカエ→
ドウサジドウ キリカエ
←インタフェース1　OFF*
ドウサジドウ キリカエ
←インタフェース1　ON *
ドウサジドウ キリカエ
←インタフェース2　OFF*
ドウサジドウ キリカエ
←インタフェース2　ON *
ドウサジドウ キリカエ
←USB　OFF*
ドウサジドウ キリカエ
←USB　ON *
ドウサジドウ キリカエ
←タイムアウト　5ビョウ*
ドウサジドウ キリカエ
←タイムアウト　15ビョウ*
ドウサジドウ キリカエ
←タイムアウト　30ビョウ*
注17

d
e
NPDLセッテイメニュー →
NPDLセッテイメニュー
←A4ポートレート ケタスウ→
A4ポートレート ケタスウ
← 78ケタ*
A4ポートレート ケタスウ
← 80ケタ*
注18
NPDLセッテイメニュー
←エミュレーション →
エミュレーション
← 201 エミュレーション*
エミュレーション
←ページプリンタモード*
注19
注20
NPDLセッテイメニュー
←136ケタモード セッテイ→
136ケタモード セッテイ
← ムコウ*
136ケタモード セッテイ
← ユウコウ*
注21
136ケタモード セッテイ
←ヨウシイチ ヒダリ*
136ケタモード セッテイ
←ヨウシイチ チュウオウ*
注22
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ 0*
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ ヒダリ 1*
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ ヒダリ15*
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ 0*
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ ミギ 1*
136ケタモード セッテイ
←ビチョウセイ ミギ 15*
注23
プロッタセッテイメニュー →
プロッタセッテイメニュー
←ペンハバ セッテイ →
ペンハバ セッテイ
←ペン1 0.1ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン1 0.2ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン1 0.3ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン1 0.5ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン1 0.7ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン1 1.0ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン1 1.5ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン1 2.0ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン8 0.1ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン8 0.2ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン8 0.3ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン8 0.5ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン8 0.7ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン8 1.0ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン8 1.5ミリ*
ペンハバ セッテイ
←ペン8 2.0ミリ*
f
g
h
i

f
g
h
i
ﾌﾟﾛｯﾀｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ｹﾞﾝﾃﾝｲﾁ ｾｯﾃｲ →
ｹﾞﾝﾃﾝｲﾁ ｾｯﾃｲ
← ﾋﾀﾞﾘｼﾀ*
ｹﾞﾝﾃﾝｲﾁ ｾｯﾃｲ
← ﾁｭｳｵｳ*
ﾌﾟﾛｯﾀｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾆﾝｲｽｹｰﾙ ｾｯﾃｲ →
ﾆﾝｲｽｹｰﾙ ｾｯﾃｲ
← 10%*
ﾆﾝｲｽｹｰﾙ ｾｯﾃｲ
← 100%*
ﾆﾝｲｽｹｰﾙ ｾｯﾃｲ
← 200%*
ﾌﾟﾛｯﾀｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ｶｲﾃﾝｶｸﾄﾞ ｾｯﾃｲ →
ｶｲﾃﾝｶｸﾄﾞ ｾｯﾃｲ
← 0*
ｶｲﾃﾝｶｸﾄﾞ ｾｯﾃｲ
← 90*
ｶｲﾃﾝｶｸﾄﾞ ｾｯﾃｲ
← 180*
ｶｲﾃﾝｶｸﾄﾞ ｾｯﾃｲ
← 270*
ﾌﾟﾛｯﾀｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ｾﾝﾀﾝｹｲｼﾞｮｳｾｯﾃｲ→
ｾﾝﾀﾝｹｲｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
← ﾅｼ*
ｾﾝﾀﾝｹｲｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
← ｼｶｸ*
ｾﾝﾀﾝｹｲｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
← ｻﾝｶｸ*
ｾﾝﾀﾝｹｲｼﾞｮｳｾｯﾃｲ
← ﾏﾙ*
ﾌﾟﾛｯﾀｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ｾﾂｿﾞｸｹｲｼﾞｮｳ →
ｾﾂｿﾞｸｹｲｼﾞｮｳ
← ﾅｼ*
ｾﾂｿﾞｸｹｲｼﾞｮｳ
← ﾏｲﾀ*
ｾﾂｿﾞｸｹｲｼﾞｮｳ
← ﾏｲﾀﾍﾞﾍﾞﾙ*
ｾﾂｿﾞｸｹｲｼﾞｮｳ
← ｻﾝｶｸ*
ｾﾂｿﾞｸｹｲｼﾞｮｳ
← ﾏﾙ*
ｾﾂｿﾞｸｹｲｼﾞｮｳ
← ﾍﾞﾍﾞﾙ*
ﾌﾟﾛｯﾀｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾏｲﾀﾘﾐｯﾄ ｾｯﾃｲ →
ﾏｲﾀﾘﾐｯﾄ ｾｯﾃｲ
← ﾅｼ*
ﾏｲﾀﾘﾐｯﾄ ｾｯﾃｲ
← 1.0ﾊﾞｲ*
ﾏｲﾀﾘﾐｯﾄ ｾｯﾃｲ
← 1.5ﾊﾞｲ*
ﾏｲﾀﾘﾐｯﾄ ｾｯﾃｲ
← 5.0ﾊﾞｲ*
ﾌﾟﾛｯﾀｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←SPｺﾏﾝﾄﾞ ﾊｲｼｭﾂ →
SPｺﾏﾝﾄﾞ ﾊｲｼｭﾂ
← OFF*
SPｺﾏﾝﾄﾞ ﾊｲｼｭﾂ
← ON *
ﾌﾟﾛｯﾀｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ﾐﾗｰ ｾｯﾃｲ →
ﾐﾗｰ ｾｯﾃｲ
← OFF*
ﾐﾗｰ ｾｯﾃｲ
← ON *
ﾌﾟﾛｯﾀｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ｵｰﾊﾞﾚｲ ｾｯﾃｲ →
ｵｰﾊﾞﾚｲ ｾｯﾃｲ
← OFF*
ｵｰﾊﾞﾚｲ ｾｯﾃｲ
← ON *
j
k
l
m

j
k
l
m
プロッタセッテイメニュー
←NRコマンドドウサ →
NRコマンドドウサ
← オンライン*
NRコマンドドウサ
← オフライン*
プロッタセッテイメニュー
←カルーゼルバンゴウ →
カルーゼルバンゴウ
← 1*
カルーゼルバンゴウ
← 2*
カルーゼルバンゴウ
← 3*
カルーゼルバンゴウ
← 4*
カルーゼルバンゴウ
← 5*
プロッタセッテイメニュー
←カクチョウモード →
カクチョウモード
← ムコウ*
カクチョウモード
← ユウコウ*
I/Fセッテイメニュー →
I/Fセッテイメニュー
←インタフェース1 セッテイ →
ソウホウコウ セッテイ
←インタフェース1 ニブル*
ソウホウコウ セッテイ
←インタフェース1 ECP*
ソウホウコウ セッテイ
←インタフェース1 ナシ*
IPアドレス I/F1
000.000.000.000*
サブネットマスク I/F1
000.000.000.000*
注24
I/Fセッテイメニュー
←インタフェース2 セッテイ →
IPアドレス I/F2
011.022.033.044*
サブネットマスク I/F2
255.000.000.000*
ゲートウェイアドレス
000.000.000.000*
注25
DHCP
← OFF*
DHCP
← ON *
イーサネットセッテイ
← ジドウ*
イーサネットセッテイ
← 100BASE フル *
イーサネットセッテイ
← 100BASE ハーフ*
イーサネットセッテイ
← 10BASE フル *
イーサネットセッテイ
← 10BASE ハーフ*
注26
ネットワークメイ
←NECPRWRGRP█ *
ネットワークタイプ
← アクセスポイント*
ネットワークタイプ
← レジデンシャルG/W*
ネットワークタイプ
←ピアツーピアグループ *
注27
アクセスセイゲン
← OFF*
アクセスセイゲン
← ON *
n
o

n
o
ｾｯﾃｲｼｮｷｶﾒﾆｭｰ →
ｾｯﾃｲｼｮｷｶﾒﾆｭｰ
←ﾒﾆｭｰｼｮｷｶ ｼﾞｯｺｳ→
初期化実行
ｾｯﾃｲｼｮｷｶﾒﾆｭｰ
←LANｼｮｷｶ ｼﾞｯｺｳ→
LAN初期化実行
ｾｯﾃｲｼｮｷｶﾒﾆｭｰ
←ｾﾞﾝｼｮｷｶ ｼﾞｯｺｳ→
全初期化実行
ｾｯﾃｲｼｮｷｶﾒﾆｭｰ
←ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｯｺｳ→
呼び出し実行
ｾｯﾃｲｼｮｷｶﾒﾆｭｰ
←ｷｵｸ ｼﾞｯｺｳ→
記憶実行
ﾒﾓﾘｽｲｯﾁﾒﾆｭｰ →
12345678
←MSW1 00000000*
12345678
←MSW2 00000000*
12345678
←MSW3 00000000*
12345678
←MSW4 00000000*
12345678
←MSW5 00000000*
12345678
←MSW6 00000000*
12345678
←MSW7 00000000*
12345678
←MSW8 00000000*
12345678
←MSW9 00000000*
12345678
←MSW10 00000000*

注1　装着されているホッパーのみ表示されます。ホッパーを増設していない場合は“ホッパ1”が“ホッパ”と表示されます。
注2　オプションの手差しトレイユニットを装着しているときは表示されません。
注3　オプションの手差しトレイユニットを装着しているときのみ表示されます。
注4　“ホッパ　リレー”はホッパーを増設していないとき表示されます。ホッパー1〜4はオプションの増設ホッパーを装着している場合に表示されます。
注5　オプションのオフセットトレイユニットを装着しているときのみ表示されます。
注6　ホッパーを増設していないときのみ表示されます。
注7　オプションの増設ホッパーを1台以上装着しているときのみ表示されます。
注8　オプションの増設ホッパーを2台以上装着しているときのみ表示されます。
注9　オプションの増設ホッパーを3台装着しているときのみ表示されます。
注10　オプションの両面印刷ユニットを装着しているときのみ表示されます。
注11　MSW6-7と同期します。
注12　「運用メニュー」の「節電機能」が有効のときのみ表示されます。
注13　メモリーを増設している場合、工場設定値が「電子ソート優先」に変わります。
注14　MSW4-1と同期します。
注15　MSW2-1と同期します。
注16　MSW1-1〜MSW1-3と同期します。
注17　動作自動切り替えで、いずれかのインターフェースの設定がONのときのみ表示されます。
注18　MSW2-7と同期します。
注19　MSW2-2と同期します。
注20　201エミュレーションモード時のみ表示されます。
注21　MSW3-7と同期します。
注22　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。
注23　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1〜MSW3-5と同期します。
注24　オプションのLANアダプターが装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。
注25　DHCPがONの時は、DHCPサーバーから取得したIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが表示されます。この値は、参照のみであり、設定の変更はできません。DHCPサーバーから値が取得できない場合は、工場設定値が表示されます。（DHCP=OFFの設定値はクリアされます。）
注26　標準のLANインターフェースが有効時に表示されます。
注27　オプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）を取り付けている場合のみ表示されます。

メニューの詳細

テストメニュー

次のテスト印刷を実行します。

- ステータス印刷
- 連続印刷
- 16進ダンプ印刷
- LANステータス印刷
- 通信ログ印刷

連続印刷（テスト印刷）は自動的に印刷を終了しません。［ストップ］スイッチを押した後、［シフト］スイッチを押しながら［リセット］スイッチを2回押してください。
プリント結果については付録の「テスト印刷のプリント結果」（504ページ）をご覧ください。

印刷設定メニュー

1.　コピー枚数

コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。
プリンターをリセットしたり、電源スイッチをOFFにしたりすると、設定はクリアされ“01”になります。アプリケーションによっては、ソフトウエアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウエアで設定したコピー枚数が優先します。

2.　トナー節約

トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。
トナー節約機能はプリンタードライバーから設定することもできます。Windowsからプリンタードライバーを使用して印刷する場合には、ドライバー上での設定が優先されます。

チェック

トナー節約機能を使用するため、「トナーセツヤク　ON」に設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCRフォントやバーコード印刷を行った場合には正常に読み取れない場合があります。本機能は試し印刷する場合などにご使用ください。

3.　印字濃度

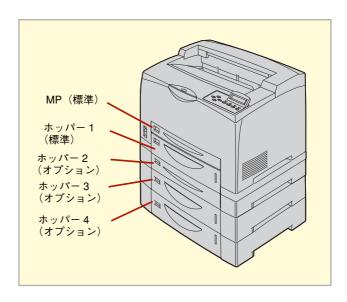
印字濃度を「淡い」、「やや淡い」、「普通」、「やや濃い」、「濃い」の5段階の中から設定できます。

用紙メニュー

1. ホッパー初期設定

電源投入時およびリセット時に指定されるホッパー、MP*1または手差しを選択します。
ホッパー 2〜4は増設ホッパー（オプション）が取り付けられている時のみ表示されます。

- ホッパー 1
- ホッパー 2
- ホッパー 3
- ホッパー 4
- MPまたは手差し*2

*1　MPとは「マルチパーパス」のことでいろいろなサイズの用紙をセットすることのできる給紙機構を指します。
*2　オプションの手差しトレイユニットが取り付けられているときのみ表示されます。また、手差しトレイユニットが取り付けられている場合は、MPは表示されません。

2. 用紙種別

ホッパー、MPまたは手差しで使用する用紙の種別を「普通紙」、「厚紙1」、「厚紙2」*3、「OHP」の4種類から設定します。ここで指定した種別はすべての用紙サイズで有効です。

*3　手差しは「厚紙2」の設定はできません。

3. 定形外用紙

手差しでの定形外用紙の使用を有効または無効にします。
この設定は、オプションの手差しトレイユニットが取り付けられている場合のみ表示されます。

4. 用紙サイズ設定

ホッパー、MPでの用紙を設定します。

- 自動 .... ホッパーにセットされた用紙サイズを自動的に検出します。
- はがき、往復はがき、封筒 .... 自動検出できない用紙サイズを設定します。

チェック

「用紙サイズ設定」で設定した用紙サイズは［用紙選択］スイッチでも変更できます。詳しくは、「6章　操作パネル」（319ページ）を参照してください。

5. 停止確認

定形外用紙で印刷するとき、指定された用紙サイズがプリンターで記憶しているサイズと異なる場合にアラームを表示して印刷を停止するか、そのまま印刷するかを設定します。

6. リレー給紙設定

リレー給紙機能を使用するか、しないかを選択します。
指定している給紙先に用紙がなくなった場合に、他のホッパーかMPおよび手差しに同じサイズ、同じ用紙種別で同じセット方向（「A4タテ」など）の用紙があれば、自動的に給紙先を切り替えて印刷を行う機能です。
リレー給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 指定しているホッパーやMPおよび手差しがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- 2つ以上のホッパーやMPおよび手差しがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- リレー給紙機能を使用するホッパーやMPおよび手差しの内、2つ以上に同じサイズ、同じ用紙種別で同じセット方向の用紙をセットしている。

チェック

Windows環境で印刷する場合は、1章の「リレー給紙の設定」（28ページ）を参照してください。

7. ジョブセパレート機能

ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。ジョブセパレート機能の詳細については4章の「仕分け印刷」（225ページ）をご覧ください。

8. 排出先設定

排出先を設定します。この設定は、オプションのオフセットトレイユニットが取り付けられている場合のみ表示されます。

排出先がフェイスアップトレイ排紙レバーでフェイスアップトレイに設定されている状態で、フェイスアップトレイに排出できない用紙が設定されている場合や両面印刷した場合は、ここで選択した排出先に排出されます。
また、オフセットトレイユニットへ排出できない用紙が設定された場合は、標準スタッカーに排出します。

9. リレー排紙設定

「排出先設定」で最初に設定した排出先が規定の用紙枚数を超えた場合、継続してもう一方の排出先に排出する機能です。この設定は、オプションのオフセットトレイユニットが取り付けられている場合のみ表示されます。

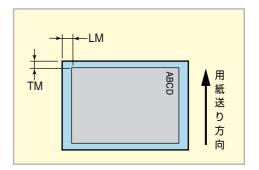
チェック

オフセットトレイに排紙できない用紙サイズの用紙は、標準スタッカーに排出されます。また、排出先がオフセットトレイに切り替わった後に排出できない用紙サイズの用紙へ印刷を行った場合、以降の排出先は標準スタッカーに切り替わります。

10. オフセット排紙機能

オフセット排紙機能を使用するか、しないかを選択します。オフセット排紙機能の詳細については4章の「仕分け印刷」（225ページ）をご覧ください。この設定は、オプションのオフセットトレイユニットが取り付けられている場合のみ表示されます。

印字位置設定メニュー

ホッパー、MP、手差し、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整します。
メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン（TM）とレフトマージン（LM）を測定して調整します。
調整できる範囲は、「−3.9ミリ」〜「＋3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。
［設定変更］スイッチを押すと、0.3ミリずつ減り、「−3.9ミリ」を越えると「＋3.9ミリ」になります。

チェック

この設定は、プリンターやオプションの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。
またこの機能は、用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。

両面印刷メニュー

このメニューはオプションの両面印刷ユニットを取り付けている場合に表示されます。

1. 初期設定

電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。

2. 綴じ代（とじしろ）

印刷したものを綴じるための余白の位置を設定します。

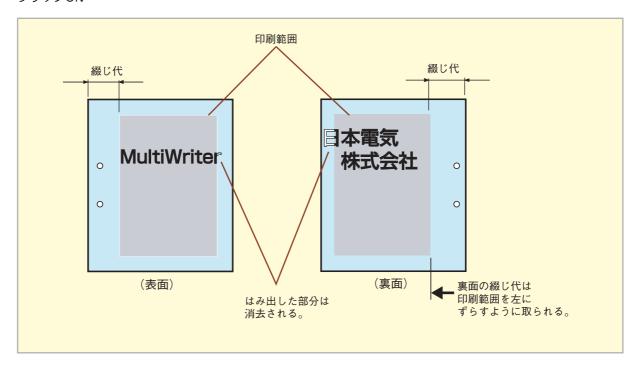
綴じ代	印刷方向	
	ポートレート	ランドスケープ
ロング1	左綴じ	上綴じ
ショート1	上綴じ	右綴じ
ロング2	右綴じ	下綴じ
ショート2	下綴じ	左綴じ

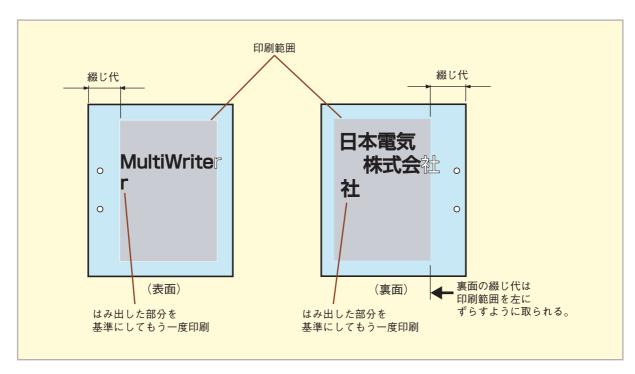
3. 余白

綴じ代の量を設定します。設定範囲は0〜20ミリで、1ミリ単位で設定できます。

4. クリップ

余白（とじしろ）を多く取りすぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りの行を印刷するかを選択します。本機能は両面印刷時のみ有効です。「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることになります。（アプリケーションによってははみ出したデータを消去するものもあります）。

「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

- クリップON

- クリップOFF

5.　奇数ページ

両面印刷時の奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法について設定します。
「カタメン」(工場出荷時)は、片面分の最終ページを片面印刷時と同じく、両面印刷を行うための給紙動作をせず、印刷を行います。両面の印刷動作を行わず、より高速に印刷を行います。

「リョウメン」に設定すると、最終ページは片面のみのデータですが、両面印刷時と同じく両面印刷を行うための給紙動作を行います。これにより、両面印刷された用紙の奇数ページと最終ページ(奇数ページ原稿)の印刷する用紙を同じ印刷面で印刷を行い、排出します。

チェック

「リョウメン」設定時に、「82　メモリオーバー」もしくは「83　インサツフカ」のアラームが発生した場合は、「カタメン」設定時(工場出荷時)の動作になります。

運用メニュー

1.　節電機能

節電機能を有効にするか無効にするかを選択します。
節電機能には次の2つの状態があります。

節電モード0：　消費電力を20W以下にします。
節電モード1：　節電モード0から5分間印刷が行われなかったとき、消費電力を5W以下にしてディスプレイの表示を消します(電源ランプのみ点灯)。

節電状態が解除されるのは以下の場合です。

- 操作パネルの［節電解除］スイッチを押したとき。詳細については「6 章　操作パネル」(319 ページ) を参照してください。
- プリンタステータスウィンドウの［ウォームアップ］ボタンを押したとき。詳細については 4 章の「プリンタステータスウィンドウ」(269ページ) を参照してください。
- 印刷データを受信したとき。

2.　節電時間設定

節電機能に入るまでの時間を選択します。

チェック

- プリンターの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に本プリンターの消費電力を20W以下にする機能です。
- 節電機能を使用しているときは、プリンターは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。

3.　自動排出

自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。
データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウエアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。

4.　メモリー設定

プリンターが持つメモリーの使用方法を選択します。

- 標準
  通常の用途で最も性能が発揮できるように、それぞれのバッファーにメモリーを最適に割り当てます。通常はこのままの設定でお使いください。

- 電子ソート優先
  64MB以上のメモリーを増設した場合に設定できます。電子ソートのために使用されるメモリーに優先してメモリーを割り当てます。電源投入時に64MB以上のメモリー増設が認識された場合、メモリー設定は自動的に電子ソート優先に変更されます。

増設メモリーと電子ソート機能の最低保証枚数の関係は以下のとおりです。

増設メモリーと電子ソート機能使用時の最低保証枚数

用紙サイズ	印刷解像度	増設メモリー容量		
		+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	400dpi	13枚	31枚	67枚
	600dpi	3枚	11枚	28枚
B4片面	400dpi	18枚	42枚	90枚
	600dpi	5枚	15枚	37枚
A4片面*	400dpi	27枚	63枚	135枚
		13枚	31枚	67枚
	600dpi	7枚	23枚	56枚
		3枚	11枚	28枚

* 上段はプリンタードライバー等でジョブセパレート：OFFとして印刷した場合
下段はプリンタードライバー等でジョブセパレート：ON（プリンタードライバーの初期設定）として印刷した場合

5. 総印字枚数

プリンターの総印字枚数を表示します。本メニューは変更できません。また、設定初期化メニューの初期化実行では、初期化されません。

枚数のカウント方法について

- 片面印刷では、1枚印刷するごとに「1」とカウントします。
- 両面印刷の場合、片面印刷の2倍をカウントします。また、片面のみの印刷であっても両面の印刷動作を行う場合は、両面印刷として片面印刷の2倍をカウントします

6. 解像度設定

プリンターの解像度を切り替えます。この設定はメモリーの容量に関係なく変更できます。また、使用する用紙サイズによっては印刷が保証できない場合があります。

メモリースイッチ4-1でも選択できます。
メモリーと解像度設定、および用紙サイズの関係は付録の「増設メモリー対応表」(508ページ)を参照してください。

7. プロッター縮小

プロッターエミュレーションモードでのみ有効な機能です。
プロッター縮小機能を有効にすることにより、A0やB0などのA3より大きな用紙サイズからA3以下への縮小印刷が可能になります。NPDLモードあるいはESC/PエミュレーションモードではA0やB0からの縮小印刷は行えません。

- プロッター縮小機能無効の場合（工場出荷時）

出力する用紙	拡大縮小率
A3	A4→A3／B4→A3
A4	A3→A4／A4X2→A4／B4→A4／B5→A4／LP→A4
B4	A3→B4／A4→B4／B5→B4／LP→B4
B5	A4→B5／B4→B5／B5X2→B5

- プロッター縮小機能有効の場合

出力する用紙	拡大縮小率
A3	A0→A3／A1→A3／A2→A3／A4→A3／B0→A3／B1→A3／B2→A3／B3→A3／B4→A3
A4	A0→A4／A1→A4／A2→A4／A3→A4／A4X2→A4／B0→A4／B1→A4／B2→A4／B3→A4／B4→A4／B5→A4／LP→A4
B4	A0→B4／A1→B4／A2→B4／A3→B4／A4→B4／B0→B4／B1→B4／B2→B4／B3→B4／B5→B4／LP→B4
B5	A4→B5／B4→B5／B5X2→B5

フォントメニュー

フォントに関する設定は、プリンターが持っている文字に対してのみ有効です。詳細については付録の「文字の種類」（435ページ）をご覧ください。

1. 1バイト系ゼロ

1バイトコード系の数字ゼロの字体（0またはØ）を選択します。
メモリースイッチ2-1でも選択できます。

2. 2バイト系ゼロ

2バイトコード系の数字ゼロの字体（0またはØ）を選択します。

3. ANK

ANK文字（アルファベット、数字、カタカナ）のフォントを選択します。

- 標準
- イタリック
- クーリエ
- ゴシック

4. 漢字

標準フォント（2バイト系文字）の書体を明朝体／ゴシック体から選択します。

5. 文字セット

2バイト系の文字セットを選択します。

- JIS1978
- JIS1983
- JIS1990

6.　国別

各国文字セットを選択します。
メモリースイッチ1-1～1-3でも選択できます。

- 日本
- アメリカ
- イギリス
- ドイツ
- スウェーデン

動作メニュー

1.　動作エミュレーション

［インタフェース1］、［インタフェース2］、および［USB］のインターフェースポートで個別にプリンターの動作モードを設定します。

- NPDLモード
- ESC/Pエミュレーションモード
- プロッターエミュレーションモード

MS-DOSなどのアプリケーションで、NPDLや201PLエミュレーションでの印刷ができない場合には、動作モードをESC/Pエミュレーションに切り替えて印刷を行ってください。

2.　動作自動切り替え

この機能をONにすると、送られてくる印刷データから動作モードを判断し、自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。また、自動切り替えがうまく行えなかった場合は、「ドウサ　エミュレーション」で設定されたエミュレーションで印刷を行います。
この設定は各ポート（［インタフェース1］、［インタフェース2］、［USB］）単位で行えます。

また、どれか１つのポートでもONにすると、各ポートを切り替えるタイムアウト時間が設定できるようになります。これは、１つのポートでデータを受信している時は、他のポートは使用不能状態になっており、データの受信が終了して一定時間、何も送られてこないと他のポートも使用可能な状態にします。このデータ受信終了から他のポートを使用可能にするまでの時間をタイムアウト時間として、30秒、15秒、5秒のいずれかから選択することができます。
工場出荷時は30秒に設定されています。

タイムアウトをあまり短い時間に設定していると、コンピューターからのデータ送信が設定した時間以上停止した場合ポートが切り替わってしまい、思ったような印刷結果が得られないことがあります。

NPDL設定メニュー

1.　A4ポートレート桁数

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。
メモリースイッチ2-7でも選択できます。

2.　エミュレーション

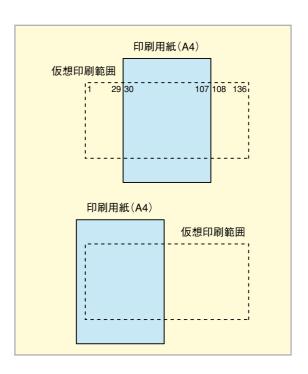
ページプリンターモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。
メモリースイッチ2-2でも選択できます。

3.　136桁モード設定

- 136桁モード
  136桁モードの有効・無効を選択します。
  メモリースイッチ3-7でも選択できます。

- 用紙位置
  136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリースイッチ3-6でも選択できます。

  - 用紙位置中央合わせでは、A4サイズの用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。
  - 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。

- 微調整
  136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。
  メモリースイッチ3-1～3-5の組み合わせで選択することもできます。

プロッター設定メニュー

1. ペン幅設定

プロッターモードで使用するペン1～8の線幅を設定することができます。
各ペンに設定できる値は0.1mm、0.2mm、0.3mm、0.5mm、0.7mm、1.0mm、1.5mm、2.0mmの範囲です。

2. 原点位置設定

プロッターモードでの原点位置を設定します。用紙左下あるいは中央のどちらかを選択することができます。

3. 任意スケールの設定

任意倍率によるスケール比で、選択された用紙サイズに縮小または拡大することができます。10%～200%の範囲で10%単位で指定することができます。

4. 回転角度の設定

回転角度を設定します。回転角度は0度、90度、180度、270度の中から指定します。

5. 線端の形状の設定

線端の形状をなし（絶ち切り型）、四角型、三角型、丸型の中から指定します。

6. 線接続形状の設定*

線接続の形状をなし、マイター（尖頭型）、マイターベベル（尖頭切り落とし型）、三角、丸、ベベル（切り落とし型）の中から指定します。

* 線接続形状の初期設定がマイターであるため、直線の接続角度が狭い場合、先端が飛び出して印刷される場合があります。この場合には、線接続形状をマイターから丸に指定を変更することで回避できます。

7. マイターリミットの設定

線接続がマイター（尖頭型）およびマイターベベル（尖頭切り落とし型）の時、マイター長のしきい値として線幅の倍数で指定します。なし、1.0倍～5.0倍の範囲を線幅倍数0.5倍単位で選択することができます。

8. SPコマンドの排出設定

プロッターモード時、コマンドの「SP Ø;」、「SP;」で印刷データを排出するかどうかを選択します。

9. ミラー設定

現在の座標系をミラー座標に変換します。

10. オーバーレイ設定

受信データの処理終了後の排紙方法について設定します。ONの時、操作パネルの［排出］スイッチだけで排出し、排紙命令コマンドの受信では排出しません。OFFの時、排紙命令コマンドの受信により排出します。

11. NRコマンド動作の選択

NR命令を受信したときのレディ状態を設定します。オンラインの時はセレクト状態、オフラインではディセレクト状態となります。

12. カルーゼル番号の選択

カルーゼルとはペンホルダーを表し、ペンの種類（ファイバーチップペン、インクペン等）により番号が決められています。

13. 拡張機能モードの選択

HP 7550Aが持つ拡張機能（エンハンスモード）について設定します。「ムコウ」の場合は座標単位がプロッターユニットで処理され、「ユウコウ」の場合はユーザーユニットで処理されます。

インターフェース設定メニュー

1.　インターフェース1

- インターフェース通信モード
  パラレルインターフェースポートの通信モードを設定します。本メニューでの通信モード名とパソコン側で一般的に呼ばれているモード名は以下のように対応しています。コンピューターの設定と異なる場合、正しく印刷できない場合があります。

通信モード名	コンピューター側での呼び方	
	PC98-NX（パラレルモード）	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 対応機）
ECP	ECP	Extended Capabilities Port (ECP) Mode
ニブル	双方向	Standard and Bidirectional Mode
なし（コンパチブル）	出力のみ	

チェック

通信モードを変更した場合には、電源を入れ直してください。設定は、電源再投入後に有効となります。

- IPアドレス、サブネットマスク
  LANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクの設定ができます。
  設定手順については、ユーザーズマニュアルの1章「10　ネットワークに接続する」をご覧ください。

チェック

本設定項目は、［インタフェース1］の場合、インターフェース通信モードが「ECP」に設定されていてLANアダプターが取り付けられている時に有効となります。

2.　インターフェース2

- IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス
  標準LANインターフェースまたは無線LANボードのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定ができます。
  設定手順については、ユーザーズマニュアルの1章「10　ネットワークに接続する」をご覧ください。

- DHCP

チェック

DHCPがONに設定されているときは、DHCPサーバーから取得したIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが表示されます。この値は、参照のみであり、設定の変更はできません。また、DHCPサーバーから値が取得できない場合は、工場設定値が表示されます。（DHCPがOFFの設定値はクリアされます。）

- イーサーネットセッテイ
  標準LANインターフェースが有効である場合に表示され、通信速度とデュプレックスモードの設定を行います。
  工場設定値は「ジドウ」であり、通信速度及び、デュプレックスモードの制御は自動となります。

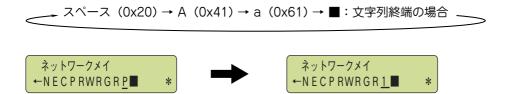
- ネットワーク名

無線LANボード（型番 PR-WLX-13）装着時のみ表示／設定ができます。

【文字について】

文字の入力は、最大32文字まで入力することができ、有効な文字コードは、“；”（0x3B）を除く“スペース”（0x20）～“チルダ”（0x7E）です。有効な文字の詳細は、「ネットワーク名として使用できる英数記号」（364ページ）を参照してください。
文字列の最後に■（黒四角）を表示していますが、これは文字ではなく終端記号です。ネットワーク名が可変長であるために、操作パネル上で文字列の終端を明示するために■としています（本来は見えない記号です）。

【文字を変更する】

［▶］スイッチを押すことにより、カーソルが右方向に動きます。
現在表示しているカーソルの位置の文字に対し、［設定変更］スイッチを押すたびに文字が変わります（通常のメニュー変更ルールと同じです）。
ただし、［設定変更］スイッチを1秒以上押し続けると以下のように文字が変わります（内輪で最も近いコードにスキップします）。

【文字を挿入する】

現在表示しているカーソルの位置の文字を■以外の文字に変更すると、1文字挿入となります。

【文字を削除する】

現在表示しているカーソルの位置の文字が最終文字の時に■に変更すると、文字が削除されて、カーソルが1文字戻ります。

【文字の表示】

表示は操作パネルの下段に1～14文字目まで表示されます（カレント位置はカーソル付加）。

```
ネットワークメイ
←abcdefghijklmn＊
```

右から2文字目の位置でさらに［▶］スイッチを押すと、11～24文字目の再表示を行います。（10文字分右シフト）。

```
ネットワークメイ       15
←klmnopqrstuvwx＊
```

再度右から2文字目の位置で［▶］スイッチを押すと、21～32文字目の再表示を行います。現在のカーソルの位置は上段右端に表示を行います

```
ネットワークメイ       25
←uvwxyz123456■ ＊
```

現在のカーソルの位置が、最終文字の時にさらに［▶］スイッチを押すと、現在のカーソルの位置が1文字目に戻ります（IPアドレス等の移動ルールと同じです）。

```
ネットワークメイ
←abcdefghijklmn＊
```

「ネットワーク名として使用できる英数記号」を次ページの表に示します。セミコロン（0x3B）については、ターミネートコードであるため使用不可になります。

ネットワーク名として使用できる英数記号

ASCII コード	文字	備考	ASCII コード	文字	備考	ASCII コード	文字	備考
0x20		スペース	0x40	@	アットマーク	0x60	`	バックコーテーション
0x21	!	イクスクラメーション	0x41	A		0x61	a	
0x22	"	ダブルコーテーション	0x42	B		0x62	b	
0x23	#	シャープ	0x43	C		0x63	c	
0x24	$	ダラー	0x44	D		0x64	d	
0x25	%	パーセント	0x45	E		0x65	e	
0x26	&	アンパサンド	0x46	F		0x66	f	
0x27	'	アポストロフィ	0x47	G		0x67	g	
0x28	(	左カッコ	0x48	H		0x68	h	
0x29	)	右カッコ	0x49	I		0x69	i	
0x2A	*	アスタリスク	0x4A	J		0x6A	j	
0x2B	+	プラス	0x4B	K		0x6B	k	
0x2C	,	カンマ	0x4C	L		0x6C	l	
0x2D	-	ハイフン	0x4D	M		0x6D	m	
0x2E	.	ピリオド	0x4E	N		0x6E	n	
0x2F	/	スラッシュ	0x4F	O		0x6F	o	
0x30	0		0x50	P		0x70	p	
0x31	1		0x51	Q		0x71	q	
0x32	2		0x52	R		0x72	r	
0x33	3		0x53	S		0x73	s	
0x34	4		0x54	T		0x74	t	
0x35	5		0x55	U		0x75	u	
0x36	6		0x56	V		0x76	v	
0x37	7		0x57	W		0x77	w	
0x38	8		0x58	X		0x78	x	
0x39	9		0x59	Y		0x79	y	
0x3A	:	コロン	0x5A	Z		0x7A	z	
			0x5B	[	左角カッコ	0x7B	{	左中カッコ
0x3C	<	左山カッコ	0x5C	¥	エン	0x7C	¦	縦線
0x3D	=	イコール	0x5D	]	右角カッコ	0x7D	}	右中カッコ
0x3E	>	右山カッコ	0x5E	^	カレット	0x7E	˜	チルダ
0x3F	?	クエスチョン	0x5F	_	アンダースコア			

- ネットワークタイプ
  無線LANボード装着時のみ表示／設定ができます。

- アクセス制限
  ある特定のコンピューター、またはネットワークからの印刷要求を許可あるいは拒否する設定をします。
  設定について3章の「アクセス制限」(207ページ)を参照してください。

設定初期化メニュー

この機能を利用するとメニューモード内の設定（コピー枚数を除く）および操作パネルで設定したMP、手差しの用紙サイズをまとめて記憶させ、必要なときに呼び出すことができます。下記項目は実行後、ただちにメニューモードを終了します。

- メニュー初期化実行
- LAN初期化実行
- 全初期化実行
- 呼び出し実行
- 記憶実行

設定初期化を実行すると、プリンターは初期設定に戻ります。設定呼び出しを実行すると、プリンター内部の不揮発メモリーで記憶されている内容を呼び出します（初期設定に戻すこともできます）。

設定記憶を実行すると、メニューモード内の各種機能設定をまとめて記憶します。一度記憶された内容は次に設定記憶を実行するまで変化しません。

チェック

- ［インタフェース1］の場合
  「インターフェース設定メニュー」で設定されたIPアドレス、サブネットマスクはLANアダプターへ記憶されます。「LAN初期化実行」、「全初期化実行」を行っても設定された内容は初期化されません。
- ［インタフェース2］の場合
  「インターフェース設定メニュー」で設定されたIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなどは「メニュー初期化実行」を行っても設定された内容は初期化されません。標準のLANインターフェースおよびLANボードの設定を初期化する場合は、「LAN初期化実行」または「全初期化実行」を行ってください。

設定を記憶できるメニューモードの項目と初期設定は次のとおりです。

メニューモードの項目と初期設定（1/2）

設定記憶 / 呼び出し可能な項目	初期設定
印刷設定メニュー	
コピー枚数	1
トナー節約	無効
印字濃度	普通
用紙メニュー	
ホッパーの初期設定	ホッパー 1
用紙種別（ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4、MP、手差し）	普通紙
定形外用紙設定（手差し）	OFF
用紙サイズ設定（ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4、MP）	自動
停止確認	する
リレー給紙設定（ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4、MP、手差し）	無効
ジョブセパレート機能	無効
排出先設定	スタッカー
リレー排紙設定	OFF
オフセット排紙機能	無効
印字位置設定メニュー	
ホッパー微調整（ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4、MP、手差し）	0（TM、LM）
両面印刷時のページの微調整	0（TM、LM）
両面印刷メニュー	
両面印刷の初期設定	無効
綴じ代	ロング1
余白	0mm
クリップ	ON
奇数ページ	片面
運用メニュー	
節電機能	有効
節電までの時間	10分
自動排出	無効
メモリー割り当て設定	標準
解像度設定	600dpi（23.6ドット/mm）
プロッター縮小	無効
フォントメニュー	
1バイト系ゼロの書体	0
2バイト系ゼロの書体	0
ANKフォントの切り替え	標準
漢字フォントの切り替え	明朝
文字セットの切り替え	JIS1978
国別文字の切り替え	日本

メニューモードの項目と初期設定（2/2）

設定記憶 / 呼び出し可能な項目	初期設定
動作メニュー	
［インタフェース1］の動作エミュレーション	NPDL
［インタフェース2］の動作エミュレーション	NPDL
［USB］の動作エミュレーション	NPDL
［インタフェース1］の動作自動切り替え	OFF
［インタフェース2］の動作自動切り替え	OFF
［USB］の動作自動切り替え	OFF
タイムアウト	30秒
NPDL 設定メニュー	
A4ポートレート桁数	78桁
エミュレーション	201エミュレーションモード
136桁モード設定	136桁モード：無効 用紙位置　　：左 微調整　　　：0
プロッター設定メニュー	
ペン幅（ペン1～ペン8）	0.1mm
原点位置	左下
任意倍率	100%
回転角度	0度
線端形状	なし（断ち切り型）
線接続形状	マイター
マイターリミット	なし
SPコマンド排出	OFF
ミラー	OFF
オーバーレイ	OFF
NRコマンド動作	オンライン
カルーゼル番号	1
拡張機能	無効
インターフェース設定メニュー	
［インタフェース1］双方向設定	ニブル
メモリースイッチメニュー	
368～369ページの一覧表を参照してください。	

メモリースイッチの内容

メモリースイッチ設定項目一覧

メニューモードの中で、比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。メモリースイッチは1（ON）か0（OFF）を選択することによって、以下の表に示されている項目を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります（未使用のスイッチもあります）。

メモリースイッチで設定できる機能の中には、メニューモードで設定できるものもあります。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。以下の表中の太文字は、工場出荷時の設定を示しています。詳細については、「メモリースイッチの詳細」をご覧ください。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○：有効　　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/Pモードでの動作	プロッターモードでの動作
1-1 1-2 1-3	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。 **すべて0（日本語）**		○	×
1-4	（未使用）			—	—
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○	×
1-6	自動復帰改行の切り替え	**復帰改行**	復帰のみ	×	×
1-7	印刷指令の切り替え	**CRのみ**	CR＋その他	×	×
1-8	CR機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行	○	×
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え	**0**	Ø	○	×
2-2	エミュレーションモードの切り替え	**201PL　エミュレーション**	ページプリンター（NPDL）	×	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	**ネイティブモード**	コピーモード	×	×
2-4～2-5	（未使用）			—	—
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット	×	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	**78桁**	80桁	○	×
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	**4/5倍**	2/3倍	○	×
3-1 3-2 3-3 3-4	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定（136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位） **すべて0（0インチ）**		○	×
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	**左**	右	○	×
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	**左端合わせ**	中央合わせ	○	×
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	**無効**	有効	×*1	×
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○	○

*1　ESC/Pエミュレーションでは常に136桁モードになります。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容（続き）

○：有効　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/P モードでの動作	プロッターモードでの動作
4-1	物理解像度の設定	**600dpi**	400dpi	○	○
4-2	（未使用）			－	－
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	**初期化する**	初期化しない	×	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	**出力する**	出力しない	×	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	**反時計回り**	時計回り	○	○
4-6～4-8	（未使用）			－	－
5-1	同期コードの無効／有効の切り替え＊1	**無効**	有効	○	○
5-2～5-8	（未使用）			－	－
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○	○
6-2	メモリーオーバー時の動作指定	**停止する**	解像度を下げて印刷	○	○
6-3～6-6	（未使用）			－	－
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○	○
6-8	（未使用）			－	－
7-1	データストローブ信号のデータラッチタイミング［インタフェース1］	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○	○
7-2～7-6	（未使用）			－	－
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	**表示する**	表示しない	×	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	**自動縮小する**	自動縮小しない	×	×
8-1、8-2	ビジィアクノリッジ（BUSY－$\overline{\mathrm{ACK}}$）のタイミング［インタフェース1］	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY－ACKのタイミングを切り替えます。 **タイミングA**（8-1：0、8-2：0）		○	○
8-3、8-4	アクノリッジ（$\overline{\mathrm{ACK}}$）の幅［インタフェース1］	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、$\overline{\mathrm{ACK}}$の幅を切り替えます。 **1μs**（8-3：0、8-4：0）		○	○
8-5～8-8	（未使用）			－	－
9-1～9-6	（未使用）			－	－
9-7	印刷向き180度回転	**無効**	有効	○	○
9-8	（未使用）			－	－
10-1～10-8	（未使用）			－	－

＊1　本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

メモリースイッチの詳細

1-1～1-3　各国文字の切り替え

3つのメモリースイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
＜日本＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
アメリカ	0	1	0
イギリス	1	1	0
ドイツ	0	0	1
スウェーデン	1	0	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。
表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については付録の「国別相違点」（438ページ）をご覧ください。

1-5　DC1、DC3の有効／無効の切り替え

DC1およびDC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

1-6　自動復帰改行の切り替え

バッファーフル印刷を行うとき、「復帰のみ」か、「復帰改行」かを切り替えます。

1-7　印刷指令の切り替え

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

1-8　CR機能の切り替え

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

2-1　1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え

1バイト（8ビット）コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。

2-2　エミュレーションモードの切り替え

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンター（NPDL）にするかを切り替えます。

2-3　グラフィックモードの切り替え

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

2-6　7ビット／8ビットデータの切り替え

インターフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。
ページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）時は8ビット有効に固定されます。

2-7　A4ポートレート印刷桁数の切り替え

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

2-8　B4→A4縮小の縮小率の切り替え

操作パネルの［縮小］スイッチまたは制御コード（FS f）を使って「B4→A4縮小モード」を指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

3-1～3-4　印刷開始位置の調整

印刷開始位置の調整を行います。
エミュレーションモードがページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）の時には、レフトマージン量の設定になります。
レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第一印刷位置までの距離です。
レフトマージン量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。
エミュレーションモードが201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）の時には、用紙位置の調整量の設定になります。
印刷位置がずれた場合の、用紙位置調整に使用します。
用紙位置調整量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。
調整方向はメモリースイッチ3-5で切り替えます。

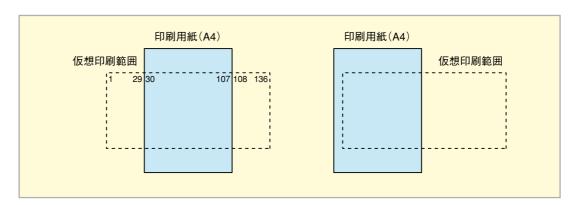
レフトマージン量／用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
<0インチ>	<0>	<0>	<0>	<0>
1/10インチ	1	0	0	0
2/10インチ	0	1	0	0
3/10インチ	1	1	0	0
4/10インチ	0	0	1	0
5/10インチ	1	0	1	0
6/10インチ	0	1	1	0
7/10インチ	1	1	1	0
8/10インチ	0	0	0	1
9/10インチ	1	0	0	1
1インチ	0	1	0	1
11/10インチ	1	1	0	1
12/10インチ	0	0	1	1
13/10インチ	1	0	1	1
14/10インチ	0	1	1	1
15/10インチ	1	1	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

3-5　用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）時に有効です。

3-6　用紙位置の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で、136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）時に有効です。

3-7　136桁モードの有効／無効の切り替え

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

3-8　ブザー機能の有効／無効の切り替え

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。

4-1　物理解像度の設定

プリンターの解像度を600dpiにするか、400dpiにするかを切り替えます。

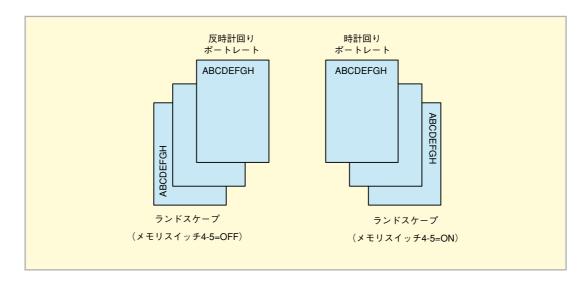
4-3　ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1で初期化をしない（メモリースイッチ4-3=1）ときは、ESC c8と同じ機能になります。

4-4　FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない（メモリースイッチ4-4=1）ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5　ランドスケープ方向の切り替え

ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときのスタッカー上での積み重なり方を切り替えます。

5-1　同期コードの無効／有効の切り替え

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。

重要

本メモリースイッチを変更した場合は、プリンターの電源の再投入を行ってください。

6-1　SETを使用する／しないの切り替え

SETを使用するか、しないかを切り替えます。

6-2　メモリーオーバー時の動作指定

メモリーオーバーが起きた場合の動作を指定します。

0（OFF）にすると、メモリーオーバーが起きたときアラームを表示して印刷を停止します。[印刷可] スイッチを押せば解像度を落として印刷を再開することができます。
1（ON）にすると、アラームを表示せずに解像度を落として印刷が継続されます。

6-7　節電機能を使用する／しないの切り替え

節電機能を使用するか、しないかを切り替えます。

7-1　データストローブ信号のデータラッチタイミング

[インタフェース1] パラレルインターフェースのデータストローブ信号のデータラッチタイミングを前縁か後縁にするかを切り替えます。

7-7　FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

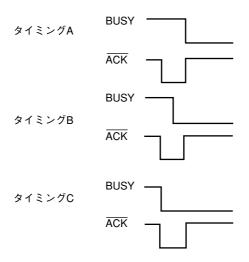
7-8　FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-1、8-2　ビジィアクノリッジ（BUSY−ACK）のタイミング

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、［インタフェース1］のパラレルインターフェースのBUSY−ACKのタイミングを切り替えます。

ACK のタイミング	8-1	8-2
＜タイミングA＞	＜0＞	＜0＞
タイミングB	1	0
タイミングC	0	1
タイミングA	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

8-3、8-4　アクノリッジ（ACK）の幅の切り替え

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、［インタフェース1］のパラレルインターフェースのACKの幅を切り替えます。

ACK の幅	8-3	8-4
4μs	1	0
＜1μs＞	＜0＞	＜0＞
2μs	0	1
10μs	1	1

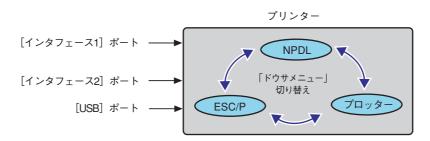
＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

ACKの幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、ACKの幅を長くして使用してください。

9-7　印刷向き180度回転

印刷イメージを180度回転させて印刷するかしないかを切り替えます。
本スイッチが1（ON）の場合、メモリースイッチ4-5の設定は無効になります。

動作エミュレーションの切り替え

NPDLモード、ESC/Pエミュレーションモード、プロッターエミュレーションモードの切り替えは、メニューモードの「動作メニュー」で行います（メニューモードの設定変更方法は332ページを参照してください）。メニューモードの「動作メニュー」では［インタフェース1］、［インタフェース2］、「USB」の各インターフェースに対して動作モードを設定できます。
インターフェースの動作は、工場出荷時「NPDL」モードに設定されています。

メニューモードの設定項目については334ページ、メモリースイッチの設定項目については368ページをご覧ください。

動作エミュレーションは電源をOFFにしても保持されます。また、設定記憶に記憶することもできます。

上記3つのインターフェースのいずれか1つが動作している間は、その他のインターフェースは受信不可能になります。複数のインターフェースからデータが送られてきた場合は、最初に受信したインターフェースが選択され、その他のインターフェースは印刷待ち状態になります。そして最初に選択されたインターフェースからの印刷が終了してから標準では約30秒後に印刷待ち状態になっていたインターフェースの印刷を開始します。

ESC/Pエミュレーションモード

プリンターの動作エミュレーションをメニューモードを使用してESC/Pエミュレーションに切り替えることができます。

ESC/Pエミュレーションで使用する場合、次の手順で設定を行ってください。

チェック

- 「ドウサジドウキリカエ」は、コンピューターからプリンターに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、「ドウサエミュレーション」で設定し直してください。
- MultiWriter 3300NのESC/Pエミュレーションは、拡張グラフィックス文字には対応していません。

❶ **メニューモードに入る。**

［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させせます。

❷ **操作パネルの［▼］スイッチ、［▶］スイッチを押して、“ドウサエミュレーション”を“ESC/P”に設定する。**

詳しくは、「メニューツリー」の337～349ページを参照してください。

❸ **［メニュー終了］スイッチを押す。**

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。

```
ﾎｯﾊﾟ     A4ﾖｺ ﾎﾟｰﾄ
ﾌﾂｳｼ         ESC/P
```

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。

```
ﾎｯﾊﾟ     A4ﾖｺ ﾗﾝﾄﾞ
ﾌﾂｳｼ         ESC/P
```

❹ **設定が終わったら、アプリケーションで次の表に示す優先順位でプリンターを指定する。**

セイコーエプソン社の24ピン漢字シリアルプリンターのほとんどが以下の分類に含まれます。

優先順位	プリンター名称
1	ESC/P 24-J84
2	ESC/P 24-J84準拠の各プリンター
3	ESC/P 24-J83
4	ESC/P 24-J83準拠の各プリンター

その他メニューモードの設定がESC/Pエミュレーションで可能かどうかを334～336ページにまとめてあります。参照してください。

プロッターエミュレーションモード

プリンターの動作エミュレーションをメニューモードを使用してプロッターエミュレーション（HP社7550Aに準拠）に切り替えることができます。

プロッターエミュレーションで使用する場合、次の手順で設定を行ってください。

チェック

「ドウサジドウキリカエ」は、コンピューターからプリンターに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、「ドウサエミュレーション」で設定し直してください。

❶ **メニューモードに入る。**

［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ **操作パネルの［▼］スイッチ、［▶］スイッチを押して、“ドウサエミュレーション”を“プロッタ”に設定する。**

詳しくは、「メニューツリー」の337～349ページを参照してください。

❸ **［メニュー終了］スイッチを押す。**

プロッターエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。

```
ﾎｯﾊﾟ        A4ﾖｺ ﾗﾝﾄﾞ
ﾌﾂｳｼ            ﾌﾟﾛｯﾀ
```

モード切り替え時は「ランド」が選択されます。

プロッターエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。

```
ﾎｯﾊﾟ        A4ﾖｺ ﾎﾟｰﾄ
ﾌﾂｳｼ            ﾌﾟﾛｯﾀ
```

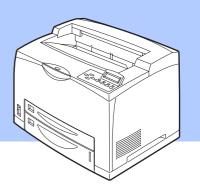
❹ **設定が終わったら、アプリケーションでHP社プロッター7550Aに対応したプリンターを指定する。**

その他メニューモードの設定がプロッターエミュレーションで可能かどうかを334～336ページにまとめてあります。参照してください。

プロッターエミュレーションで利用の場合の注意事項

プロッターエミュレーションモードをお使いになる際は以下の点にご注意ください。

- プロッターモードにおいて、RS232C インターフェースを制御して印刷を行うアプリケーションでは正常な印刷が行えない場合があります。
- 動作エミュレーションをプロッターエミュレーションモードに設定した場合、印刷方向の初期状態は、ランドスケープに設定されます。
- メニューモードのNPDL設定メニューについて
  A4ポートレート桁数78桁／80桁の設定は、NPDLモードでは有効（印刷に影響を与える）ですが、プロッターエミュレーションモードでは無効（印刷に影響を与えない）になります。ただし、プロッターエミュレーションモードでも桁数の切り替えは可能であり、プロッターエミュレーションモードで動作時に78桁から80桁に切り替えた場合は、NPDLモードに動作モードが切り替わったときから80桁が有効になります。
- プロッターエミュレーションモードでの縮小印刷について
  プロッターエミュレーションモードでは、A3よりも大きな用紙サイズからの縮小が可能です。この機能をご使用の場合には、メニューモードの「運用メニュー」－「プロッター縮小」で設定を変更してください。

8章 日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、本プリンターを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

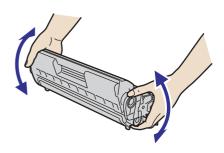
EPカートリッジの交換

ディスプレイが“76　トナーナシ　EPコウカン”または“89　EPジュミョウ　EPコウカン”と表示し、トナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。ディスプレイが“89　EPジュミョウ　EPコウカン”と表示した場合、EPカートリッジを速やかに交換してください。

交換する前に

ディスプレイが“76　トナーナシ　ＥＰコウカン”と表示した場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってください。取り出し方については「EPカートリッジの交換手順」（381ページ）を参照してください。

もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、まだしばらく、そのEPカートリッジを使用することができます。

それでもトナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換します。

重要

- EPカートリッジの取っ手を持たないよう、図のように両端部をやさしく持ってゆっくり振ってください。EPカートリッジを激しく振ると、落下やOPCドラムにキズがつくおそれがあります。
- 新しいEPカートリッジに交換する場合は、トナーシールを抜かずに振ってください。

トナーランプが点灯していなくても、印刷が薄くなったり、部分的に印刷が抜けたりする場合はEPカートリッジを取り出してゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

EPカートリッジの回収と購入

回収について

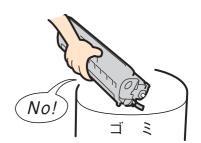
使用済みのNEC製EPカートリッジは、地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

また、下記のフリーダイヤルまでご連絡いただきますと、宅配業者が無料でお客様のところへ回収に伺います。

- EPカートリッジ回収フリーダイヤル

  TEL：0120-306924　FAX：0120-308049

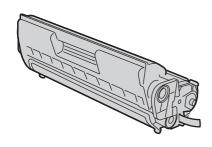
- EPカートリッジ回収に関するホームページ
  URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/ep_recycle.html

購入について

新しいEPカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設などでお求めになれます。

重要

このプリンターは、純正のEPカートリッジを使用時に印刷品質やプリンター性能が最も安定するように設計されています。純正品と異なる仕様のEPカートリッジを使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、EPカートリッジは純正品のご使用をお勧めいたします。
お買い求めの際には次の「EPカートリッジの種類」をよくご覧になり、ご使用のプリンターに対応したEPカートリッジをお選びください。

EPカートリッジの種類

MultiWriter 3300Nでご使用になれるEPカートリッジは以下のとおりです。また、ご購入時に添付されているEPカートリッジは、PR-L3300-11（相当品）です。

EPカートリッジ（型番：PR-L3300-11）

印刷可能枚数は約6,000枚です。

EPカートリッジ（型番：PR-L3300-12）

印刷可能枚数は約15,000枚です。

チェック

- 各EPカートリッジの１個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の片面連続印刷を行ったときの値です。（「EPカートリッジの寿命」（382ページ）参照）
- 印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は異なります。

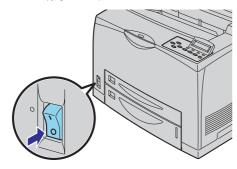
EPカートリッジの交換手順

- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。
- EPカートリッジを絶対に火の中に投げ入れないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

注意

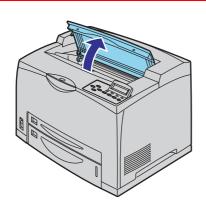
電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺およびプリンター内部の金属部は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

❶ **電源スイッチをOFFにする。**

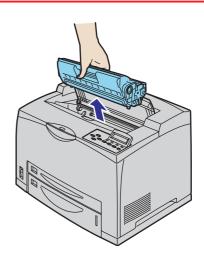
電源ランプが消灯します。

❷ **排出された用紙がある場合は取り除き、トップカバーを開ける。**

オフセットトレイユニット（オプション）を取り付けている場合は、オフセットトレイを折りたたんでから、トップカバーを開けます。

重要

プリンター内部の部品には､手を触れないでください｡

❸ **EPカートリッジの取っ手を持ち､ゆっくりと引き上げる。**

重要

トナーで床などを汚したり、手や衣服を汚さないように気をつけてください｡取り出したEPカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

NEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し､再利用可能部品は再利用しております｡EPカートリッジの回収については本章の「回収について」（380ページ）をご覧ください。

❹ **ユーザーズマニュアル1章の「5　EPカートリッジを取り付ける」に従って新しいEPカートリッジを取り付ける。**

❺ **電源スイッチをONにする。**

❻ **テスト印刷を実行する。**

ユーザーズマニュアル1章の「8 テスト印刷をする」に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

EPカートリッジの寿命

MultiWriter 3300Nに添付されているEPカートリッジ（PR-L3300-11相当品）の寿命は、A4用紙で画像面積比率（1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率）約5%の片面連続印刷を行ったとき、約6,000枚（PR-L3300-11使用時も同等）になります。また、PR-L3300-12使用時は15,000枚になります。

以下は、画像面積比率約5%を目安とした文書例です。

EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EPカートリッジ」には寿命６０００枚（A4、画像面積比5%）のものがあります。

ここで画像面積比５%の意味及びEPカートリッジの寿命について説明します。

従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何枚」という単位で表現されています。

この様に、表現が「文字数」から「枚数」に変化した理由は、

① ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。

② ①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。

の２つが考えられます。

EPカートリッジの寿命を決定するものの１つに、そのEPカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばEPカートリッジの寿命となります。(これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです)。

従って「枚数」で寿命と考えるときは、１ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

１ページ中の印刷領域（印刷用紙の上下左右端から各々 5mmの部分を除く領域）に黒い部分がどの位の割合であるか表したものが画像面積比です。１ページの中に印刷が全くない状態が０%、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が１００%です。

この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が５%より高い場合、６０００枚印刷する前にEPカートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約５%相当の目安となります。

画像面積比5%の印刷例

チェック

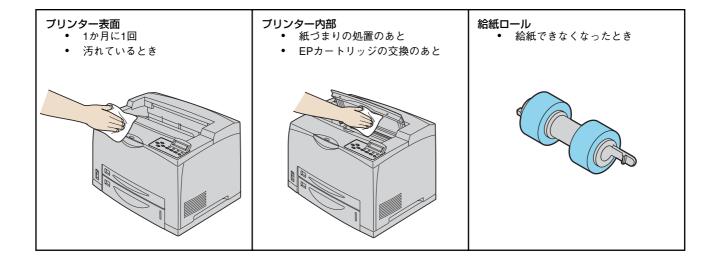
- EPカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境（OS、アプリケーション、使用フォントなど）により変化します。

清　掃

MultiWriter 3300Nを正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをお勧めします。

清掃箇所と清掃時期

清掃する箇所と清掃時期について示します。

プリンター表面	プリンター内部	給紙ロール
• 1か月に1回 • 汚れているとき	• 紙づまりの処置のあと • EPカートリッジの交換のあと	• 給紙できなくなったとき

清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットを別売しています。

クリーニングキット（型番 PC-PR601-14）

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

プリンターの清掃手順

プリンターの清掃手順について説明します。

- 清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺およびプリンター内部の金属部は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

プリンターの表面の清掃

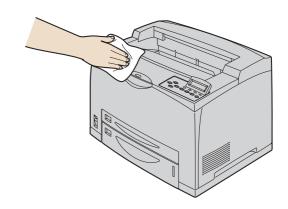
約1か月に1回、プリンターの表面を清掃してください。

❶ **外観の汚れは柔らかい清潔な布で拭き取る。**

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。

重要

- アルコール、シンナーなどはプリンターの表面を傷めますので、使用しないでください。
- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

❷ **乾いた布で拭く。**

プリンターの内部の清掃

紙づまりの処置やEPカートリッジの交換のあとは、内部の点検と清掃を行ってください。

⚠注意

「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着ユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

なお、ヒーター部やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。このようなときは、ただちに電源スイッチを切り、お買い上げの販売店あるいはお近くのサービス窓口にご連絡ください。

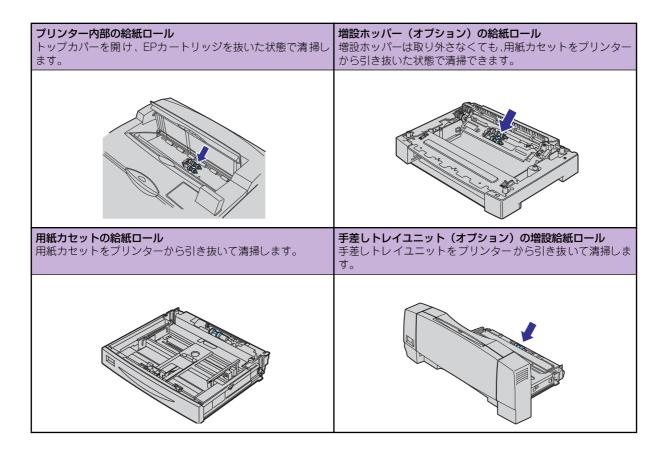
❶ **プリンターの電源をOFFにし、プリンター背面の電源コネクターとコンセントから電源コードを抜く。**

❷ **紙片が残っている場合は、取り除く。**

❸ **ホコリや汚れがある場合は、乾いた清潔な布などで拭き取る。**

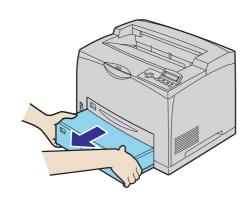
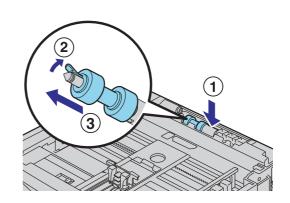
❹ **プリンター背面の電源コネクターに電源コードのプラグを差し込み、もう一方のプラグをコンセントにも差し込む。**

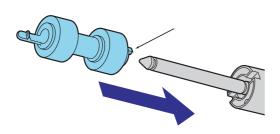
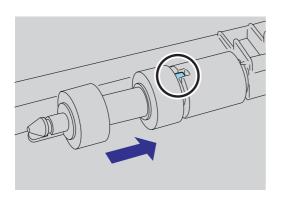
給紙ロールの清掃

絵入りのはがきを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ロールに付着し、給紙できなくなることがあります。給紙できなくなった場合は、以下の手順に従って給紙ロールを固く絞った柔らかい布で丁寧にふいてください。給紙ロールは、プリンター内部に2か所（合計4個）、ホッパーに1か所、用紙カセットに1か所、手差しトレイユニットに1か所あります。ここでは、用紙カセットにセットされている給紙ロールの清掃方法を説明します。他の給紙ロールも、ここで説明している手順に従って清掃してください。

プリンター内部の給紙ロール トップカバーを開け、EPカートリッジを抜いた状態で清掃します。	**増設ホッパー（オプション）の給紙ロール** 増設ホッパーは取り外さなくても､用紙カセットをプリンターから引き抜いた状態で清掃できます。
用紙カセットの給紙ロール 用紙カセットをプリンターから引き抜いて清掃します。	**手差しトレイユニット（オプション）の増設給紙ロール** 手差しトレイユニットをプリンターから引き抜いて清掃します。

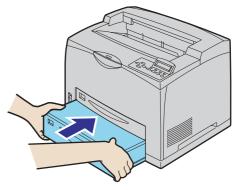
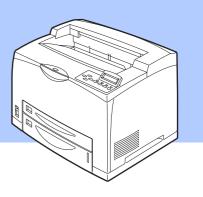
❶ **プリンターの電源をOFFにし、プリンター背面の電源コネクターとコンセントから電源コードを抜く。**

❷ **用紙カセットをプリンターから引き抜く。**

❸ **給紙ロールホルダー（白色）を下に押しながら（①)、給紙ロールのツメを広げて外し（②）、給紙ロールを用紙カセットの軸からゆっくり取り外す（③)。**

❹ 水でぬらし固く絞った柔らかい布で、ゴム製の部分を丁寧にふく。

❺ 給紙ロールの短いツメを軸側にして、用紙カセットの軸にゆっくりと差し込む。

このとき給紙ロールの溝を軸の溝に合わせるようにして、給紙ロールをしっかり奥まで差し込み、短いツメが軸の溝に合うようにします。

❻ 用紙カセットをプリンターの奥に突き当たるまでしっかり押し込む。

❼ プリンター背面の電源コネクターに電源コードのプラグを差し込み、もう一方のプラグをコンセントにも差し込む。

9章
困ったときには

この章では、困ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処理方法を説明します。

- ディスプレイに何も表示されないときは
- アラーム表示が出ているときは
- 思うように印刷できないときは
- プリンタステータスウィンドウがおかしいときは
- ジョブセパレート機能が動作しないときは
- 紙づまりのときは
- 印刷できないときは
- 印刷に異常が見られるときは
- PrintAgentシステムが起動しないときは
- リプリント機能が動作しないときは
- ネットワークで思うように印刷できないときは

また、PrintAgentを正しく動作させるための注意事項やプリンター本体を運搬するときの方法、プリンター、消耗品の廃棄方法についても記載しています。

その他プリンターソフトウエアを利用する際の補足情報がプリンターソフトウエアの「はじめにお読みください」(Readme.txt)に記載されています。これらはプリンターソフトウエアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

修理に出す前に

修理に出す前に以下の手順を行ってください。

1. **電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。**
2. **定期的な清掃を行っていたか、またEPカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認する。**
3. **本章を参照し、該当する症状があれば、記載されている処理を行う。**

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

また、プリンターをお持ち込みいただくときは、「プリンターを運搬するときは」(421ページ)や梱包箱に表示されている手順を参照して、プリンターを梱包してください。

重要

海外でのご使用について
このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合、NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本プリンターを輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償などの問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ディスプレイに何も表示されないときは

電源ランプが点灯していて、他のランプおよびディスプレイが消えている状態であれば、プリンターは節電状態（節電モード1）になっています。［節電解除］スイッチを押すか、印刷データを送信することで節電状態は解除されます。節電モードについては、7章の「運用メニュー」(355ページ)を参照してください。

印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** →　電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** →　プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** →　配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** →　［印刷可］スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない（データランプ消灯）。** →　ユーザーズマニュアルの「1 章　プリンターの設置」を参照して、プリンターケーブル、USBケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 **改ページまたは排出コードがない（データランプ点灯）。** →　［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなったか、または指定されたサイズの用紙がない（印刷可ランプ（赤）点滅）。** →　「5章　用紙のセット」(303ページ)を参照して、用紙を補給してください。 **印刷可ランプ（赤）が点灯している。** →　本章の「アラーム表示が出ているときは」(390ページ)をご覧ください。 **データ送信中（データランプ（橙）点滅）** →　このプリンターはページ単位で処理するため、1 ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 もう少しお待ちください。 **MultiWriter 3300Nが「通常使うプリンタ」として選択されていない。** →　MultiWriter 3300Nを「通常使うプリンタ」として選択してください。

症状	原因と処理方法
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない（続き）	**コンピューターのメモリーが不足している。** →　コンピューターのメモリーを増やしてください。
ホッパーおよびMPにセットした用紙サイズを認識しない	**用紙カセットにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。** →　はがき、往復はがき、封筒をセットした場合は、［用紙選択］スイッチで用紙サイズを設定してください。上記以外の用紙をセットした場合は、［用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定してください。（6章の「[用紙選択]スイッチ」（327ページ）参照） **用紙のセットのしかたが悪い。** →　5章の「ホッパー、MPに用紙をセットする」（307ページ）を参照して、用紙をセットし直してください。
手差しから印刷ができない、または給紙方法を手差しとし、印刷したのに「テサシ　XX　セット」が表示される	**給紙方法が自動、ホッパーのいずれかになっている。** →　プリンタードライバーの給紙方法を手差しに設定し直してください。 **手差しにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。** →　A3、A4、B4、B5、レター、はがきをセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルでセットした用紙サイズに設定してください。A5サイズ、往復はがき、封筒、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「その他」に設定して、［用紙選択］スイッチで用紙サイズを設定してください。（5章の「手差しに用紙をセットする」（311ページ）参照） **用紙のセットのしかたが悪い。** →　5章の「手差しに用紙をセットする」（311ページ）を参照して用紙をセットし直してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、赤色のランプが点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回ずつ鳴ります。

メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ﾎｯﾊﾟ 1　A4ﾖｺ　ﾎｷｭｳ ﾌﾂｳｼ ホッパーが増設されているときは、この位置にホッパー番号（1、2、3または4）が表示されます。 MP　A4ﾖｺ　ﾎｷｭｳ ﾌﾂｳｼ ﾃｻｼ　A4ﾖｺ　ｾｯﾄ ﾌﾂｳｼ	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** →　標準カセット、MPカセット、または手差しのいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。 →　ホッパーまたはMPの場合は、［用紙選択］スイッチで設定されている用紙サイズによっては［印刷可］スイッチを押さないと、アラームを解除できない場合があります。
ﾎｯﾊﾟ 1　A4ﾖｺ　ﾎｷｭｳ ﾌﾂｳｼ　ｶｸﾆﾝ MP　A4ﾖｺ　ﾎｷｭｳ ﾌﾂｳｼ　ｶｸﾆﾝ ﾃｻｼ　A4ﾖｺ　ｾｯﾄ ﾌﾂｳｼ　ｶｸﾆﾝ 指定した用紙種類が表示されます。	**セットされた用紙の種類の確認。** →　セットした用紙が表示されている用紙種類であることを確認して、［印刷可］スイッチを押してください。
ﾖｳｼｶｾｯﾄ　ﾅｼ ﾎｯﾊﾟ 増設ホッパーが選択されているときは、ホッパー番号（1、2、3または4）またはMPが左端に表示されます。	**用紙カセットが抜かれている。** →　用紙をセットし、表示された場所の用紙カセットをゆっくり戻してください。
ﾎｯﾊﾟ 1ﾃｲｹｲｶﾞｲﾎｷｭｳ ﾌﾂｳｼ ホッパーが増設されているときは、この位置にホッパー番号（1、2、3または4）が左端に表示されます。 MP　ﾃｲｹｲｶﾞｲ　ﾎｷｭｳ ﾌﾂｳｼ	**用紙がない。** →　標準カセットまたはMPカセットのいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。 **セットされた用紙の確認。** →　セットした用紙が定形外用紙であることを確認して、［印刷可］スイッチを押してください。
ﾃｻｼ　ﾃｲｹｲｶﾞｲ　ｾｯﾄ ﾌﾂｳｼ	**用紙がない。** →　用紙を手差しにセットしてください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ホッパ1　テイケイガ゛イホキュウ ヨウシサイズ゛ヲヘンコウシマス MP　　テイケイガ゛イホキュウ ヨウシサイズ゛ヲヘンコウシマス	**セットされた用紙の確認。** →　セットした用紙が指定した定形外用紙であることを確認して、［印刷可］スイッチを押してください。
72　カバ゛ーオープ゛ン ホンタイ 72　カバ゛ーオープ゛ン リョウメン 72　カバ゛ーオープ゛ン オフセットトレー	**トップカバー、リアカバー、両面印刷ユニットカバー、オフセットトレイユニットリアカバーが開いている。** →　トップカバー、リアカバー、両面印刷ユニットカバー、オフセットトレイユニットリアカバーをきちんと閉じてください。
73　EPカートリッジ゛ナシ	**EPカートリッジが取り付けられていない。** →　EP カートリッジを取り付け直してください。EP カートリッジを取り付けた後、トップカバーをきちんと閉じてください。
74　カミツ゛マリ ホンタイ 紙づまりが発生した場所が表示されます。	**紙づまりが発生している。** →　本章の「紙づまりのときは」（414ページ）を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
75　ヨウシサイズエラー	**指定サイズと異なる用紙がセットされている。** →　指定サイズの用紙を給紙先にセットして、［印刷可］スイッチを押してください。 →　ホッパーまたはMPの場合、操作パネルの設定がセットされている用紙サイズと合っているか確認してください。 →　手差しの場合、用紙サイズ設定ダイヤルと操作パネルの設定がセットされている用紙サイズと合っているか確認してください。
76　トナーナシ 　　　　EPコウカン	**EPカートリッジの交換時期を示している。** →　8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）に従って、EPカートリッジを交換後、トップカバーをきちんと閉じてください。 EPカートリッジを交換しなくても、［印刷可］スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“76　トナーナシ”アラームは解除できません。
77　テイキホシュ テイチャクキ 定期交換が必要な製品が表示されます。	**定期保守（定着ユニットなどの交換）の必要な時期を示している。** →　販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、［印刷可］スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77　テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
79　ハイシレバ゛ーキリカエ スタッカ 切り換える排出口が表示されます。	**フェイスアップトレイ排紙レバーが切り換えられている。** →　フェイスアップトレイ排紙レバーを切り換えてください。
81　スタックフル スタッカ スタックフルが発生した場所が表示されます。	**スタッカーまたはオフセットトレイに規定以上の用紙が排出されている。** →　スタッカーとオフセットトレイはそれぞれ500枚までスタックできます。それぞれの排出口に排出されている用紙を取り除いてください。
82　メモリオーバ゛ー メモリヲソ゛ウセツシテクダ゛サイ	**印刷データを蓄えるメモリーが不足している（メモリースイッチ6-2　OFFの場合のみ表示する）。** →　［印刷可］スイッチを押してください。そのページのみ解像度を下げて印刷を行うか、“83　インサツフカ”のアラーム表示をします。 メモリーを増設してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
83　インサツフカ メモリヲゾウセツシテクダサイ	**メモリーオーバーで解像度を落として印刷しようとしたが、それでもメモリーが不足している。** →　［印刷可］スイッチを押してください。解像度を落として印刷を行おうとしたページのデータを廃棄します。 メモリーを増設してください。
84　フォーム　オーバーXXX	**フォーム登録に必要なメモリーが不足している。** →　［印刷可］スイッチを押してください。アラームの対象となった番号（×××）のフォームデータが読み捨てられます。メモリーを増設してください。
85　セツゾクエラー インターフェース2	**［インタフェース2］に不正なオプションが接続されている。** →　オプションボードの型番を確認してください、対応するオプションボードは、「1章　オプション」（15ページ）を参照してください。 **オプションの無線LANボードに無線LANカードが正しく挿入されていない。** →　一度プリンターの電源をOFFにして、無線LANカードを無線LANボードのPCカードスロットの奥までゆっくりと押し込んでください。（1章の「無線LANボードの取り付け」（38ページ）を参照。） 取り付けられたら、テスト印刷を行ってください。（ユーザーズマニュアル1章の「8　テスト印刷をする」を参照。）テスト印刷結果のLANボードの項目に「無線LAN」、I/F設定の項目に「インタフェース2」と記載されていることを確認してください。
85　セツゾクエラー カミオクリユニット	**手差しトレイ下部の紙送りユニットが正しくセットされていない。** →　紙送りユニットをいったん引き出し、再度奥につきあたるまで正しくセットしてください。
88　EPタイプチガイ EPコウカン	**EPカートリッジのタイプが違う。** →　正しいタイプのEP カートリッジを取り付けてください。8章の「EP カートリッジの交換」（379ページ）に従ってEPカートリッジを取り付け後、トップカバーをきちんと閉じてください。
89　EPジュミョウ EPコウカン	**EPカートリッジの寿命を示している。** →　8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）に従ってEPカートリッジを交換後、トップカバーをきちんと閉じてください。
5X　コール5X	**オプションユニットの障害が発生している。** →　電源をOFFにして、オプションユニットを再度取り付け直した後、電源をONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、オプションユニットの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。
XX　コールXXX	**障害が発生している。** →　電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 →　ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンターフォルダーやプリントマネージャの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混じることにより、アラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのプリンタステータスウィンドウのジョブキャンセル機能を使って印刷を中止してください。
上記以外の表示	**障害が発生している。** →　電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき	**用紙が規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」(434ページ) を参照して、確認してください。 →　封筒にしわがつく場合は、プリンターのリアカバーを開け、定着ユニットの左右にあるレバーを押し上げてください。 封筒の印刷が終了したら、レバーを元の位置に戻してください。 **サイドガイドが用紙の幅に合っていない。** →　「5章　用紙のセット」(303ページ) を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「5章　用紙のセット」(303ページ) を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **給紙先の「用紙種類」の設定が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** →　プロパティ ダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。 **設定濃度が濃すぎる。** →　メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。
用紙が汚れているとき	**プリンターの内部が汚れている。** →　8章の「清　掃」(383ページ) を参照して、よく清掃してください。
印刷が薄い、かすれるとき	**トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。8章の「EPカートリッジの交換」(379ページ) を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **トナー節約機能を使用している。** →　メニューモード、プリンタードライバーでトナー節約機能を解除してください。 **設定濃度が淡すぎる。** →　メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** →　ユーザーズマニュアル1章の「5　EPカートリッジを取り付ける」を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「5章　用紙のセット」(303ページ) を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **給紙先の「用紙種類」が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** →　プロパティ ダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。

症　状	原因と処理方法
印刷が薄い、かすれるとき（続き）	**定着ユニットの左右にあるレバーが上がっている。** →　プリンターのリアカバーを開け、定着ユニットの左右にあるレバーを押し下げてください。
何も印刷されない	**トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** →　ユーザーズマニュアル1章の「5　EPカートリッジを取り付ける」を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **一度に複数枚の用紙が搬送されている。** →　用紙をよくさばいてからセットし直してください。 **用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「5章　用紙のセット」（303ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
真っ黒に印刷されたとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
文字のグレー印刷ができない	**プリンタードライバーの設定が正しくない。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000：プリンタードライバーの［印刷設定］ダイアログボックスを開き、［その他］シートの［文字の表現］で［標準（グレースケール）］が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。 Windows Me、Windows 98、Windows 95：プリンタードライバーの［プロパティ］ダイアログボックスを開き、［フォント］シートの［文字を白黒で印刷する］がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。 Windows NT 4.0：プリンタードライバーの［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスを開き、［その他］シートの［文字の表現］で［標準（グレースケール）］が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。
印刷に縦線や横線が入るとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。

症　状	原因と処理方法
印刷用紙の裏が汚れるとき	**用紙の搬送路に汚れが付着している可能性がある。** →　数枚テスト印刷をしてください。
等間隔に汚れがつくとき あいうえおかきくけこ アイウエオカキクケコ ABCDEFGHIJ abcdefghij さしすせそたちつてと サシスケソタチツテト KLMNOPQRST klmnopqrst	**用紙の搬送部に汚れが付着している。** →　数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
黒く塗りつぶした部分に白点がつくとき A B C	**用紙が規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（434ページ）を参照して、確認してください。
指でこするとかすれるとき あいうえおかきくけこ アイウエオカキクケコ ABCDEFGHIJ abcdefghij さしすせそたちつてと サシスケソタチツテト KLMNOPQRST klmnopqrst	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「5章　用紙のセット」（303ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（434ページ）を参照して、確認してください。
部分的に白く抜けるとき	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「5章　用紙のセット」（303ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（434ページ）を参照して、確認してください。 **プリンター内部が結露している可能性がある（冬期など）。** →　電源をONにしたまま30分〜1時間放置してから印刷してください。 **EPカートリッジに問題がある可能性がある。** →　8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
縦線の形状で白く抜けるとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。 **トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。8章の「EPカートリッジの交換」（379ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	**プリンター切り替え器などを介して印刷している。** →　切り替え器などを介さずにプリンターを接続してください。 →　LANインターフェース接続に変更してください。

症　状	原因と処理方法
改行量（行の間隔）が2倍になる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 1行が2行にわたる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 各行の文字が重なって印刷されてしまう 5 6 1 2 3 4 E F A B C D e f a b c d 用紙の途中から印刷が始まってしまう 1 2 3 A B C a b c	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。** →　ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 →　他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンタ」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 →　メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないときは、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

ここで説明する項目を参照して原因の確認と処理を行ってください。

症 状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** → プリンタードライバーによっては接続先のポート（LPT1、COM1 など）に対し常に通信しようとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 **プリンターのメモリースイッチ5-1がONで、I/F設定が「ECP」になっている。** → お使いのプリンターをWindowsから印刷する場合は、メモリースイッチ5-1をONのまま、メニューモードのI/F設定メニューの「ソウホウコウセッテイ」を「ニブル」に設定してください。プリンターのI/F設定を変更した場合は、プリンターの電源の再投入が必要です。 **お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定が異なる。** → お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターの I/F 設定の動作モードを同じ設定にしてください。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 **PrintAgentが正しく動作していない。** → 本章の「PrintAgentシステムが起動しないときは」（400ページ） を参照してください。 **プリンターと双方向通信ができない。** → 本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（408ページ） を参照してください。
斜線の太さが均一でない（線の角度によって、線の太さが違っている） 写真などの絵やグラデーションがおかしい	**SETの設定が「ON」になっている。** → プリンタードライバーのプロパティまたはメニューモードでSETの設定を「OFF」にしてください。SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。 **トナー節約機能がONになっている。** → プリンタードライバーのプロパティまたはメニューモードでトナー節約機能を「OFF」にしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** → アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** → メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 **使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** → 付録の「用紙の規格」（434ページ） を参照して、規格に合っているか確認してください。 本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 **以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性がない。** → プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6WなどのNPDLまたはNPDL（Level2）対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。 従来互換の印刷範囲に設定するには、プリンタードライバーの以下に示すシートで設定を変更してください。 Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0： ［プロパティ］－［プリンタの設定］シート－［従来互換の印刷範囲］ Windows Me、Windows 98、Windows 95： ［プロパティ］－［印刷品質］シート－［従来互換の印刷範囲を使用する］

症　状	原因と処理方法
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがありません。** →　［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押してください。 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 →　プリンターの動作エミュレーションがプロッターエミュレーションの場合は、コンピューターから用紙送りコマンド「PG」を送り、用紙を排出してください。また、メニューモードの「プロッタセッテイメニュー」の「SPコマンドハイシュツ」を“SPコマンドハイシュツ　ON”に設定すれば、コマンド「SPØ;」または「SP;」で用紙を排出することができます。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。 **コンピューターからのデータ送信が途切れている。** →　プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ホッパー､MPに定型サイズの用紙をセットしているのに、違うホッパーから印刷したり、操作パネルのディスプレイに違うホッパーへの“ホキュウ”メッセージが表示される。	**ホッパー、MPが定形外サイズ設定になっている。** →　ホッパー、MPカセットの用紙サイズが定形外サイズに設定されているときは、［用紙選択］スイッチで「ジドウ」に設定するとプリンター本体で自動的に用紙サイズを検知するようになります。6章の「スイッチ」（322ページ）を参照して、設定を変更してください。 →　プリンタードライバのプロパティの［用紙］シートの、［用紙サイズ］で対象となるホッパーまたはMPにセットした定型サイズ用紙（例えば、A4）を選択し、［給紙方法］で対象となる給紙先のホッパーまたはMP（例えば、ホッパ1）を選択して印刷する。 この時、操作パネルのディスプレイには“ホッパ1　A4ホキュウ”と表示されますが、ホッパーにセットしている用紙がA4サイズであることを確認して［印刷可］スイッチを押してください。印刷が再開されます。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** →　メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。 **綴じしろが合っていない。** →　印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。詳細は7章の「両面印刷メニュー」（353ページ）を参照してください。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** →　メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** →　プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** →　ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行（A4サイズの用紙の場合）に設定してください。

症　状	原因と処理方法
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** → 「2章　プリンターソフトウエアのインストール」(49ページ) を参照して確認してください。途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** → 「7章　メニューモード」(331ページ) を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** → プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切り替え器を使用している。** → プリンターバッファーや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** → シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードで136桁モードを有効にしてください。
両面印刷が正しく機能しない	**メニューモードが合っていない。** → メニューモードの両面印刷に関する設定を確認してください。 **セットされている用紙サイズが合っていない。** → 両面印刷可能な用紙は決められています。5章の「使用できる用紙」(304ページ) を参照してください。 **メモリーが足りない。** → A3、B4 サイズの用紙に両面印刷を行う場合、メモリーの増設が必要です。1 章の「増設メモリー」(43ページ) をご覧になり、メモリーを増設してください。 **メモリースイッチ5-1がONになっている。** → メモリースイッチ 5-1 を「OFF」にしてください。特定の環境下で同期コードを有効にし、アプリケーションがページごとに同期を取っている場合には、正しく機能しないことがあります。
丁合い印刷ができない または多部数印刷ができない	**プリンターと双方向通信ができない。** → 本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(408ページ) を参照してください。 → 双方向通信が行えない環境の場合は、電子ソート機能を有効にする必要があります。電子ソート機能を有効にするためにはプリンターにメモリーを増設し、プリンタードライバーの設定を変更する必要があります。詳しくは、4章の「電子ソート機能」(227ページ) をご覧ください。 → アプリケーションの丁合い印刷、または部数印刷を設定してください。
印刷速度が遅い	**プリンターバッファーなどを取り付けている。** → コンピューター本体とプリンターを市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどで接続している場合には、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(408ページ) を参照して、双方向通信機能を無効にしてください。 **プリンターと双方向通信ができない。** → 本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(408ページ) を参照してください。 **Microsoft Windowsのターミナルサービス環境で印刷している。** → 本章の「その他の注意事項」(409ページ) を参照してください。
B4、B5サイズで印刷できない	**プリンタードライバーの用紙サイズ設定が異なっている。** → Windows XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0をご使用の場合は、「用紙サイズ」で「B4(JIS)」もしくは「B5(JIS)」を選択してください。

プリンターをリセットする方法について

プリンターをリセットするには以下の手順で行います。

［シフト］スイッチを押した状態で［リセット］スイッチを2回押す。

ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失され、プリンターは初期状態になります。

リセット後、ブザーが2回鳴ります。プリンターがリセットされました。

PrintAgentシステムが起動しないときは

PrintAgentシステムが動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

症　状	原因と処理方法
画面上にPrintAgentのシステムアイコンが表示されていない	**［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスで［システムを自動的に起動する］をチェックしていない。** →　チェックしてください。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は次回ログオン時から、Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は次回起動時から自動的に表示されます。 **PrintAgentを終了している。** →　［スタート］－［プログラム］－［MultiWriter3300N］－［PrintAgentシステム起動］を実行してください。
PrintAgentが機能しない	**PrintAgentシステムファイルが削除された。インストール、またはアンインストールの失敗などによりPrintAgentが正しくインストールされていない。** →　Windowsを再起動して、PrintAgentをアンインストールします。再び、Windowsを再起動して、プリンターソフトウエアを再インストールしてください。 **マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を使用している。** →　マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）は、PrintAgentには対応していません。
双方向機能が有効になっていない	**Windowsのポートが正しく設定されていない。** →　双方向通信が可能なポートに接続していることを確認してください。 上記のポート以外を設定して印刷を行う場合には、プリンターのプロパティで双方向通信を無効（サポートしない）に設定してください。 →　プリンターのプロパティで双方向通信を有効（サポートする）に設定してください。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（408ページ）を参照してください。

プリンタステータスウィンドウがおかしいときは

プリンタステータスウィンドウでプリンター状態を表示しなかったり、表示内容がおかしいときは、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが［スタート］メニューに登録されていない	**カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。** →　システムの管理者にご相談ください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウが選択できない	**プリンタフォルダーに「NEC MultiWriter3300N」のプリンターが登録されていない。** →　PrintAgentおよび、プリンタードライバーをインストールしてください。 **プリンタードライバーが変更されている。** →　プリンタードライバーを変更すると、誤動作の原因となります。プリンタードライバーを削除し、再度プリンタードライバーをインストールしてください。
プリンタステータスウィンドウが起動しない	**プリンターのアクセス権がない。** →　権限を確認してください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。 **コンピューターのメモリー不足。** →　必要のないアプリケーションを終了してください。 **プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティーが使用されている。** →　コンピューターで使用されているユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。 **ドメインに参加していない。** →　ドメインに参加していないWindows XPのコンピューターをプリントサーバーとして、クライアントから印刷を行った場合、ドキュメントの所有者が［Guest］となり、プリンタステータスウィンドウがポップアップしない場合があります。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
プリンタステータスウィンドウの表示内容が不正である、アニメーションが行われない	**印刷データを直接プリンターに送信している。** →　印刷データ（ジョブ）をスプールするように設定してください。 **［通知形式のプロパティ］の設定が変更されている。** →　設定内容を確認してください。
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない	**最新のステータスを取得していない。** →　プリンタステータスウィンドウの［最新のステータスに更新］ボタンをクリックしてください。 **14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。** →　このインターフェースではプリンターの情報を取得することができず、プリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）をお使いになることをお勧めします。 **プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** →　Windows XP、Windows 2000、Windows Server 2003、Windows NT 4.0　：［プリンタのプロパティ］の［ポート］－［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。 Windows Me：［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 Windows 98、Windows 95：［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 **プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でプリンタープールを使用している。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0上のすべてのプリンターのプロパティの［ポート］－［プリンタプールを有効にする］のチェックを外してください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない（続き）	**お使いのコンピュータープリンターポート（パラレルポート）の設定とプリンターのI/F設定が異なっている。** →　双方の動作設定を合わせてください。本章の「PrintAgentの制限事項」（410ページ）を参照してください。
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	**音声がインストールされていない。** →　標準インストールでは音声はインストールされません。アプリケーションの追加と削除で音声を選択してインストールしてください。（2章の「PrintAgentの追加・削除」（78ページ）参照） **音声を通知しない設定になっている。** →　［通知形式のプロパティ］の設定を確認してください。 **［PSWのプロパティ］の［自分のドキュメントを印刷していないときの設定］が「自動起動する」になっていない。** →　自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。 **ボリューム、Windowsのサウンド設定が変更されている。** →　設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの削除ができない	**印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。** →　すでにプリンターへ送信済みのドキュメントに対しては、削除できません。 **プリンターのアクセス権がない。** →　ネットワーク管理者に権限を確認してください。 **印刷先がネットワーク共有プリンターである。** →　ネットワーク共有プリンターのサーバーのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、クライアントでプリンターをインストール（作成）した直後は削除できません。いったんクライアント側のOSを「ログオフ」→「ログオン」してください。
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない、または自動起動してしまう	**［PSWのプロパティ］の設定が変更されている。** →　設定を確認してください。詳細はPrintAgentのヘルプを参照してください。 **LANボードまたはLANアダプターを装備したLANプリンターに直接接続して使用している。** →　LANプリンターをサーバーを介さずに使用している場合は［PSWのプロパティ］で［自分のドキュメントを印刷していないとき］の起動条件として［印刷中にアイコンで自動起動する］を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただし、この場合でもエラー発生時には自動起動を行います。
プリンターの構成情報の表示内容が実際の構成と異なっている	**プリンターが双方向通信できないインターフェースで接続されている。もしくはプリンターがバッファーなどを経由して接続されている。** →　プリンターの現在の設定は読み込むことはできません。双方向通信できないときは、初期状態として最大構成が入っています。この場合の構成はプリンタードライバーから設定が可能です。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご確認ください。 **プリンターの情報をうまく取得できない。** →　ネットワークのトラフィックの状況や上位ホストの処理状況により、正しくプリンターの情報が取得できなかったと思われます。プリンターの電源を入れ直してください。情報の更新を行ってください。

リプリント機能が動作しないときは

リプリントがうまくいかなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

症　状	原因と処理方法
リプリント機能が使用できない	**［リプリント機能を提供する］がチェックされていない。** → PrintAgentのプロパティを開き、確認してください。（ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上のPrintAgentのプロパティを開き、設定を確認してください。） **プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** → Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0：［プリンタのプロパティ］の［ポート］－［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。 Windows Me：［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 Windows 98、Windows 95：［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 → 1章の「使用できるプリンターケーブル」（47ページ）を参照して、ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。 **PrintAgent リプリントがインストールされていない。** → PrintAgent リプリント2を追加インストールしてください。（2章の「PrintAgentの追加・削除」（78ページ）参照） **プリンタードライバーがインストールされていない。** → 「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（49ページ）を参照して、ご使用のプリンターのプリンタードライバーをインストールしてください。
リプリントしたい印刷ジョブが蓄えられない	**［リプリント機能を使用する］がチェックされていない。** → Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000：［印刷設定］ダイアログボックスの［メイン］シートで機能選択バーの［リプリント］を選択し、確認してください。 Windows Me、Windows 98、Windows 95：［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、確認してください。 Windows NT 4.0：［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの［メイン］シートで機能選択バーの［リプリント］を選択し、確認してください。 **ドメインに参加していない。** → ドメインに参加していないWindows XPのコンピューターをプリントサーバーとして、クライアントから印刷を行う場合リプリント機能は利用できません。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
蓄えられた印刷ジョブがなくなった	**印刷ジョブのスプールサイズが大きい。** → ［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスを開き、［リプリント機能の設定］ダイアログボックスでディスク領域を大きくしてください。（4章の「リプリント機能を設定する」（261ページ）参照） **ドキュメント数が制限を超えている。** → ［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスを開き、［リプリント機能の設定］ダイアログボックスでドキュメント数の値を大きくしてください。（4章の「リプリント機能を設定する」（261ページ）参照） **有効期限が過ぎている。** → ［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスを開き、［リプリント機能の設定］ダイアログボックスで有効期限の時間を長くしてください。（4章の「リプリント機能を設定する」（261ページ）参照）

ジョブセパレート機能が動作しないときは

データを送ったが、ジョブセパレートできなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
ジョブセパレート機能が使用できない	**A4サイズが縦置き、横置きでセットされていない。** →　プリンターにセットされている用紙の向きを確認してください。（5 章の「用紙のセット方向」（306ページ）参照） **ホッパー、MPの用紙サイズが自動に設定されていない。** →　ホッパーまたはMPの用紙サイズを「ジドウ」に設定してください。 **手差しの用紙サイズが設定されていない。** →　手差しの用紙サイズを「A4ヨコ」もしくは「A4タテ」に設定してください。 →　メニューモードのヨウシメニューで「テサシ　テイケイガイヨウシ」を「OFF」に設定してください。 **用紙種別が一致していない。** →　メニューモードのヨウシメニューで「ヨウシシュベツ」をそれぞれ同じ設定にしてください。 **給紙方法が自動に設定されていない。** →　プリンタードライバーの［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開き、自動に設定してください。 **［ジョブセパレート機能を使用する］がチェックされていない。** →　ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべての利用者（クライアント）の設定をプリンタードライバーで［ジョブセパレート機能を使用する］にしてください。 **プリンターで双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentシステムが起動しないときは」（400ページ）を参照してください。双方向通信ができない場合には、丁合い機能と組み合わせた多部数印刷時のジョブセパレートはできません。
ジョブセパレート機能がうまく働かない	**丁合い機能が正しく選択されていない。** →　アプリケーションの印刷機能から丁合い機能を指定している場合は正しく機能しません。アプリケーションの指定を外してください。 **すべてのクライアントがジョブセパレート機能を使用できる設定になっていない。** →　ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべてのクライアントが［ジョブセパレート機能を使用する］に設定していることを確認してください。
PrintAgent リプリント2でジョブセパレートが設定できない	**プリンタードライバーの給紙方法が［自動］以外の設定で印刷された印刷ジョブを選択している。** →　給紙方法を［自動］に設定し、印刷してください。 **A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブがある。** →　A4サイズで設定された印刷ジョブにしてください。
PrintAgent リプリント2でジョブ結合したとき、ジョブセパレートが設定できない	**A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブがある。** →　A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブの選択を解除してください。 →　結合するジョブをA4サイズで設定された印刷ジョブにしてください。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- ［PrintAgentセットアップ］のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウエアのフォルダー（ディレクトリー）名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー（ディレクトリー）名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびMultiWriterが印刷中の時は、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- 他のユーザーがインストールしようとしているコンピューターにログオンしている場合はインストールできません。
  - Windows XPの場合：
    各ユーザーに切り替えてログオフしてからインストールを行ってください。
  - Windows Server 2003の場合：
    他のユーザーをログオフしてからインストールを行ってください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、［Administrators］または［Domain Admins］グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でPrintAgentのインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー（ディレクトリー）にインストールしないでください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で［プリンタの追加ウィザード］より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバーをPrintAgentで使用している時に、さらに［プリンタの追加ウィザード］でローカル接続のプリンタードライバーをインストールする場合は、［現在のドライバを使う（推奨）］ではなく、［新しいドライバに置き換える］を選択してインストールしてください。
- Windows XP、Windows Server 2003の場合は［コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］より、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentオプションの追加をすると、セットアップに必要なファイル*[1]を要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウエアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウエアCD-ROMよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。

*1　フロッピーディスクをご利用の場合、メッセージに従って、NMPSディスクを挿入してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000およびWindows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は［コンピュータの管理者］およびAdministrators権限のある方が変更できます。

［共有プリンタを利用する］、［共有プリンタを提供する］は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**
  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、［PrintAgentのプロパティ］で［共有プリンタを利用する］のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。
- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**
  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。
  - ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

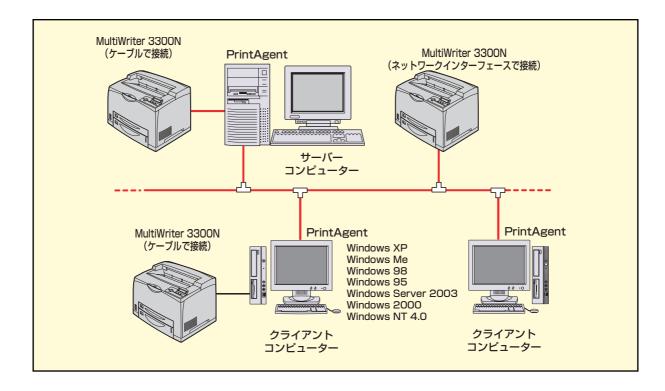
  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。
- **コンピューターの処理能力が十分でない**
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

従量課金回線での課金を最小限（印刷時のみ）とするためには

- クライアントコンピューター側で［PrintAgentのプロパティ］の［共有プリンタを利用する］のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で［PrintAgentのプロパティ］の［共有プリンタを提供する］のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、プリンターの［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は［プリンタのプロパティ］、Windows NT 4.0の場合は［プリンタのプロパティ］の［ポート］－［双方向サポートを有効にする］のチェックを外してご利用ください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の環境でStandard TCP/IP Port (LPR)を使用して印刷する場合は、［SNMPステータスを有効にする］のチェックを外してください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください。

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。

- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーコンピューターの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は［PrintAgentのプロパティ］の設定の［共有プリンタを利用する］のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。
- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。）

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	パラレル インターフェース接続	USB インターフェース接続	LAN 接続
Windows XP、 Windows Server 2003、Windows 2000	LPTx	USBxxx	NEC Network Port
Windows Me、Windows 98、Windows 95	LPTx	USBxxx*	NEC TCP/IP Printing System
Windows NT 4.0	LPTx	－	NEC Network Port

*　Windows 95には、対応していません。

チェック

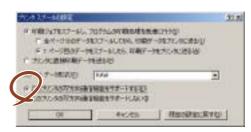
- 上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。この場合、PrintAgentの機能はご利用になれません。
- ネットワークオプションのマルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05)はPrintAgentに対応していません。

- 双方向通信を有効にしてください。

<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>
［プロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

<Windows Meの場合>
［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選択する。

<Windows 98、Windows 95の場合>
［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択する。

<Windows NT 4.0の場合>
［プロパティ］ダイアログボックスで［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[プリンタのプロパティ]の[ポート]−[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、標準のLANインターフェース／無線LANボード／LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。
- PrintAgentはWindows Server 2003, Enterprise Edition 日本語版、Windows Server 2003, Datacenter Edition 日本語版、Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0, Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Serviceを実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの以下に収録しています。
  - Windows Server 2003、Windows 2000対応プリンタードライバー: ¥MW3300N¥WIN2KTS
  - Windows NT 4.0対応プリンタードライバー: ¥MW3300N¥NT40TSE

  プリンタードライバーのインストール方法については、3章の「ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール」（187ページ）を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタードライバーをインストールすることもできます。
- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。
- プリンターソフトウエアをインストールする際に指定する出力ポート（インターフェースコネクター）に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート（インターフェースコネクター）からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーなどを取り外してお使いください。
- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。
- コンピューターのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなどと同一の割り込み要求（IRQ）に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求（IRQ）を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求（IRQ）と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求（IRQ）の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの取扱説明書または各OSのヘルプなどを参照してください。

チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタ ステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgent とプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー（DMITOOLなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。(例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。) 双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート（パラレルポート）の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには「7章　メニューモード」(331ページ) を参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」(76ページ)、2章の「PrintAgentの追加・削除」(78ページ) の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。
- 従来OS用のPrintAgentはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000では使用できません。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0、Windows NT 3.51からWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000へのアップグレードを行ってください。OSのアップグレードが正しく行えた後に、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000に対応したPrintAgentをインストールし、ご使用ください。

チェック

- アップグレード前のOSがWindows NT 3.51で、他のMultiWriterシリーズやPrintAgent対応プリンターのPrintAgentをインストールしてご使用の場合、PrintAgentのアンインストールした後、Windows 2000へのアップグレードを行うと、正しくアップグレードできないことがあります。できなかった場合には、「PrintAgent Eraser」をWindows NT 3.51上で使用して、PrintAgentを削除してください。
- すでにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードしてしまった場合、PrintAgentをアンインストールせずにWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentを削除してください。
- 「PrintAgent Eraser」は、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥PAeraser¥Readme.txt」をご覧ください。
- Web PrintAgentをご利用の場合、OSのアップグレード時に停止されます。アップグレード後、インターネット　インフォメーション　サービス（IIS）のWebサイトを再び開始してください。

ネットワークで思うように印刷できないときは

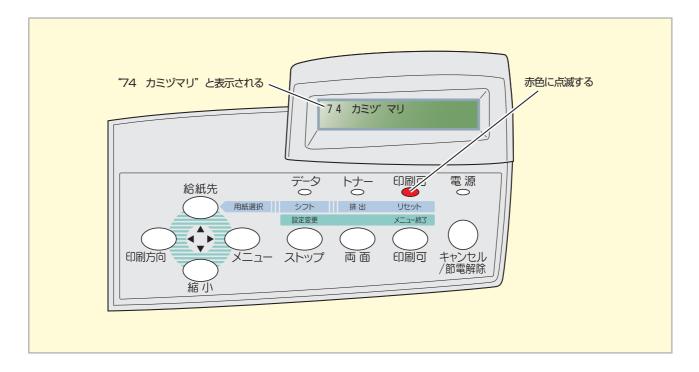
ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンターの故障を疑う前にこのページを参照してください。

症状	原因と対策
Windows XP、Windows ME、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000 をご使用の場合	
プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。	**1.　コンフィグレーションページを印刷して以下の項目を確認してください。** **標準のLANインターフェースをご使用の場合** →　ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？ コンフィグレーションページ「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。 →　プリンターのリンクランプ（橙色）は点灯していますか？ →　プリンターおよびHUBのリンクランプは点灯していますか？ ネットワークケーブルが抜けていないか、ハブの電源がONになっているか確認してください。 →　ネットワーク通信速度は正しく設定されていますか？ 「10BASE/100BASE」の設定が、接続されているハブの通信速度と一致していることを確認してください。「？」と表示されるときはHUBの通信設定を固定にするかWWWブラウザーまたはPrintAgentプリンタ管理ユーティリティを用いてプリンターの通信設定を固定してください。 →　IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されていますか？ IPアドレスとサブネットマスクを確認してください。ルータを越えた環境ではゲートウェイアドレスを設定してください。 **無線LANボードをご使用の場合** →　無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていますか？ 「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。この時に、「No connection」の場合は、「Network Name」、「Access Point Name」、「Channel」、「Encryption」の結果を確認してください。無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていないときは、ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 →　プリンターがセレクト状態で起動し、無線LANボードの電源ランプが点灯していますか？ 無線LANボードに添付の無線LANカード以外のPCカードが取り付けられている、無線LANカードの挿入が不十分、または無線LANボードの取り付け不十分が考えられます。1章の「無線LANボードの取り付け」（38ページ）を参照して正しく取り付けてください。また、無線LANボード電源ランプと送受信ランプが10秒程度の間隔で点滅している場合は、無線LANボードとしては、正常に動作していますが、無線接続が確立していない状態です。ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 →　暗号キーやネットワーク名は間違っていませんか？ 暗号キーやネットワーク名が正しく設定されていないと、無線通信のセキュリティ機能により無線接続されません。この場合はネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。 **2.　コンピューターからPingコマンドを実行し、コンピューターとプリンターが通信できるか、以下の手順に従って確認してください。** →　＜Windows Me 日本語版の場合＞ ①［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［MS-DOSプロンプト］を選択する。 ② ping 123.123.123.123（「123.123.123.123」はプリンターのIPアドレス）。

症　状	原因と処理方法
プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。（続き）	（例） C:¥WINDOWS> ping 123.123.123.123　[return] Pinging 123.123.123.123 with 32 bytes of data: Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Ping statistics for 123.123.123.123: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms 応答がある場合は、コンピューター上のプリンターのプロパティを開いて［印刷先］を再度、確認してください。 また、プリンターの電源をOFFにして応答がないことを確認してください。 プリンターの電源を入れた状態で応答がない場合は、プリンター以外の機器（コンピューター）と通信できるか確認してください。また、コンピューターおよびプリンターのIPアドレスが適切かどうか確認してください。 IPアドレスは、コンピューターのIPアドレスが「192.168.0.1」のとき、プリンターのIPアドレスは「192.168.0.2」のようにネットワークの番号帯が一致している必要があります。プリンターのIPアドレスが「11.22.33.44」のように番号帯が異なる場合は、一致させるようにしてください。
コンフィグレーションページが印刷されない。	→ 標準のLANインターフェースおよび無線LANボード/LANアダプターは動作していますか？ 標準のLANインターフェースおよび無線LANボード/LANアダプターのステータスランプが点灯または点滅している場合は、再度プリンターの電源を入れ直してください。
印刷速度が遅い	→ 無線通信に影響を与えるものがプリンターの周辺にありませんか？ 無線LANボードは最大11Mbpsの無線通信速度に対応していますが、次のような周囲の環境によっては通信速度が低下する場合があります。 • 近くに電子レンジなど同じ周波数帯の電波を放射する機器がある。 • アクセスポイントなどの通信相手との距離が離れていたり間に障害物がある。 • プリンターが壁やパーティションに囲まれている。 コンフィグレーションページを印刷し、「Link Quality」の結果が「Good」以外の場合は設置場所の変更をお勧めします。
丁合い印刷、多部数印刷ができない。 ジョブセパレートができない。	プリンターと双方向通信が有効でない。 → PrintAgentは、IPP印刷、LPR印刷に対応していません。プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にしてください。詳しくは、本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（408ページ）を参照してください。 → 丁合い印刷には、メモリー増設による電子ソート機能を利用することをお勧めします。詳しくは4章の「電子ソート機能」（227ページ）を参照してください。 → 丁合い印刷または部数印刷はアプリケーションの設定を行ってください。
SNMP Trapがホストコンピューターに送信されない。	→ ルーターを越えた環境にSNMPマネージャのコンピューターが存在する場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要になります。
SNMPに応答がない。	→ ホストコンピューターに設定されたコミュニティ名と同じコミュニティ名をLANインターフェースに設定してください。
無線LANカードに添付のユーティリティーから無線LANボードの接続が確認できない。	→ ご使用の無線LANカードに添付のユーティリティーによっては、無線LANボードとの接続状態を表示できない場合があります。この場合は、ご使用のコンピューターからEASY設定ユーティリティを起動し、プリンタリストのウィンドウに接続先の無線LANプリンターが表示されることで接続状態を確認してください。

症　状	原因と処理方法
Windows Me、Windows 98、Windows 95 をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッテイマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、[印刷履歴]を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → パラレルインターフェース、USBインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッテイマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。 白紙が印刷される。	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、[印刷履歴]を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → Standard TCP/IP Port の設定を確認してRAW（9100）になっている場合はLPRに変更してください。 → Standard TCP/IP Port のLPRを用いて印刷している方は、「LPRバイトカウントを有効にする」を有効にしてください。 → パラレルインターフェース、USBインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
従量課金回線でご使用の場合	→ Standard TCP/IP PortのLPRを用いて印刷している場合、「SNMPステータスを有効にする」のチェックを外してください。
Windows NT 4.0 をご使用の場合	
LPR印刷で、しばらくしてプリントマネージャーに「プリンタビジーまたはエラー」と表示される。	→ 他のジョブを印刷している場合に起こることがあります。プリンターが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送り直してください。
LPRで印刷中に、ジョブがキャンセルされる。 「エラー」と表示した状態で停止する。	→ 印刷するページを少なくして、もう一度印刷してみてください。印刷できた場合は、Windows NTのSystemディレクトリーの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。
LPRで大量の印刷を行うと途中で印刷が止まる場合がある。	→ 12ジョブ以上の印刷で止まる場合はWindows NTシステムの設定による可能性があります。マイクロソフト社から提供されている「サポート技術情報」を参考に設定を確認してください。
UNIX をご使用の場合	
lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しく印刷されない。	→ プリンター側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。 → プリンターのコードに変換されていない場合があります。euc コードのフィルター設定を確認してください。フィルターの機能については、3章の「UNIX環境の設定」(190ページ) を参照してください。
putコマンドでデータを転送したが、最後のページが排出されない。	→ テキストファイルなどの転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンター側で自動排出を設定してください。

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、操作パネルの印刷可（赤）ランプが点滅し、ディスプレイに“74　カミヅマリ”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態（印刷可ランプが赤色に点滅）になります。

紙づまりの発生箇所

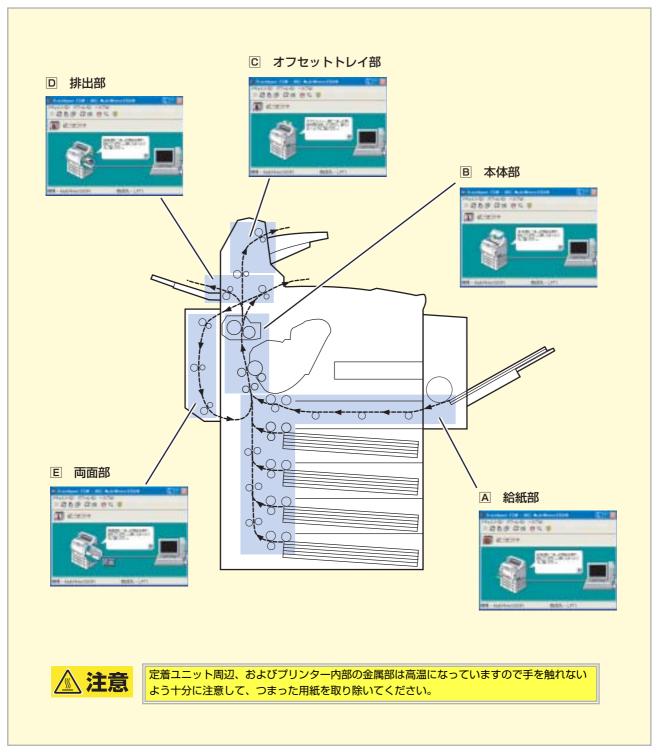
紙づまりのとき、ディスプレイ下段の表示は紙づまりが発生している箇所を表しています。

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“74　カミヅマリ”	“キュウシ”	A 給紙部
	“ホンタイ”	B 本体部
	“オフセットトレー”＊1	C オフセットトレイ部
	“ハイシ”	D 排出部
	“リョウメン”＊2	E 両面部

＊1　オプションのオフセットトレイユニット装着時のみ表示されます。

＊2　オプションの両面印刷ユニット装着時のみ表示されます。

次ページの図のA、B、C、D、Eで示す網掛け部分が紙づまりの発生箇所です。これらのいずれかを開けて、つまった箇所を調べ、「紙づまりの処理」（416ページ）からの手順を参照して紙づまりの処理を行ってください。

C オフセットトレイ部
D 排出部
B 本体部
E 両面部
A 給紙部
注意
定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまりの発生箇所

紙づまりの処理

発生箇所（A、B、C、D、E）に応じて、紙づまりの処理をしてください。

つまった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。トップカバーを開かずに用紙を取り除いた場合は、最後に必ずトップカバーを開閉してください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、「紙づまり処理後の確認」（420ページ）を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

チェック

- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

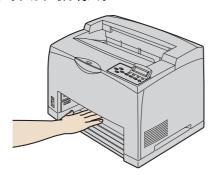
A　給紙部の紙づまり

給紙部で紙づまりが発生した場合の処理方法を用紙カセットと手差しトレイ（オプション）の場合で説明します。

用紙カセットで紙づまりが発生した場合

重要

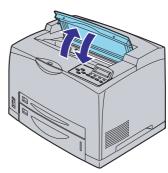
- 用紙カセットを取り外すときは、両手で持ってください。
- 用紙カセットを取り外すときは、ゆっくりと引き出してください。用紙カセットを強く引き出すと、つまっている用紙が切れてしまい、取り除けなくなるおそれがあります。

❶ すべての用紙カセットを引き抜き、しわになっている用紙があれば、取り除く。

❷ プリンターの奥を点検し、つまっている用紙を取り除く。

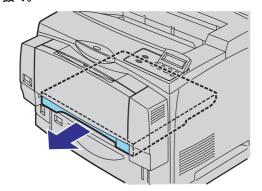
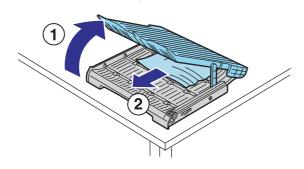
オプションのホッパーを増設している場合に、短い長さの用紙がホッパー奥でつまったときは、両手で用紙の左右の端をつまんで、手前に引き抜きます。

❸ 引き出した用紙カセットを、プリンターの奥に突き当たるまでしっかり押し込む。

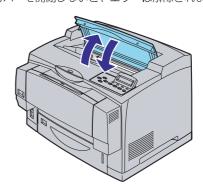
❹ トップカバーを開閉する。

トップカバーを開閉しないと、エラーは解除されません。

手差しトレイ（オプション）で紙づまりが発生した場合

❶ 手差しトレイにセットされている用紙を取り除く。

❷ 手差しトレイ部を閉じて、下部の紙送りユニットを引き抜く。

❸ 紙送りユニットの上部を開け（①）、つまっている用紙があれば取り除く（②）。

❹ 引き出した紙送りユニットを、プリンターの奥に突き当たるまでしっかり押し込む。

❺ トップカバーを開閉する。

トップカバーを開閉しないと、エラーは解除されません。

❻ 手差しトレイ部を開いて、用紙をセットしなおす。

B 本体部の紙づまり

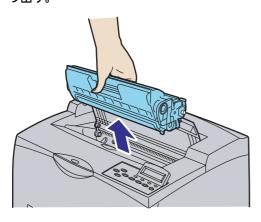
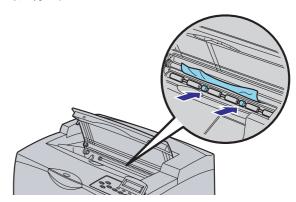
本体部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

注意 定着ユニット周辺および装置内部の金属部は高温になっています。触れるとやけどをするおそれがありますので、十分に注意してください。

1 トップカバーを開ける。

チェック

オフセットトレイユニット（オプション）を取り付けている場合は、オフセットトレイを上に折りたたんでから、トップカバーを開けます。

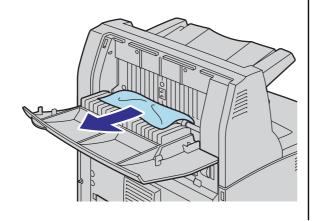
2 EP カートリッジの取っ手を持ってプリンターから取り出す。

3 図の緑色のロールを回して、奥につまっている用紙を取り除く。

4 EPカートリッジを元に戻し、トップカバーを閉じる。

チェック

- オフセットトレイユニット（オプション）を取り付けている場合は、先にトップカバーを閉じてから元に戻してください。
- オフセットトレイを上に折りたたんだ状態で印刷すると、紙づまりの原因になることがあります。オフセットトレイは必ず開いた状態で使用してください。

C オフセットトレイ部の紙づまり

オフセットトレイユニットで紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

1 オフセットトレイユニットリアカバーを開け、つまっている用紙を取り除く。

2 オフセットトレイユニットリアカバーを閉じる。

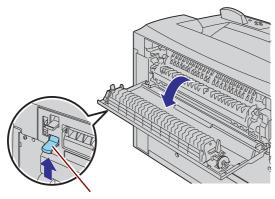
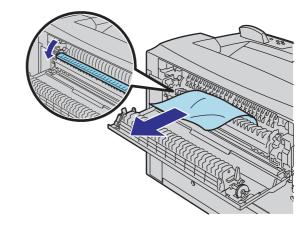
D 排出部の紙づまり

排出部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっています。触れるとやけどをするおそれがありますので、十分に注意してください。

チェック

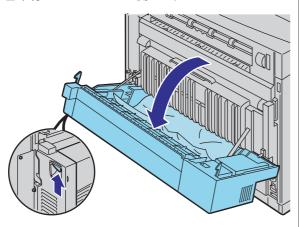
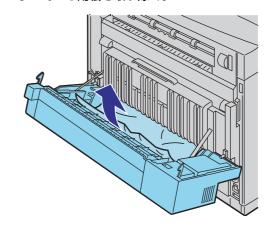
- フェイスアップトレイが取り付けられている場合は、フェイスアップトレイを取り外してください。
- 両面印刷ユニットが取り付けられている場合は、両面印刷ユニットカバーを開けてください。

❶ **リアカバー開閉レバーを持ち上げてリアカバーを開ける。**

❷ **★マークの部分を持ち、定着ユニットのカバーを手前に開いて、つまっている用紙を取り除く。**

❸ **定着ユニットのカバーとリアカバーを閉じる。**

E 両面部の紙づまり

両面部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ **両面印刷ユニットカバー開閉レバーを押し上げて、両面印刷ユニットカバーを開ける。**

❷ **つまっている用紙を取り除く。**

❸ **両面印刷ユニットカバーを閉じる。**

紙づまり処理後の確認

給紙できなかった用紙、またはつまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

- □ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- □ 用紙は正しくセットされていますか。
- □ 5章の「用紙についての注意事項」(305ページ)や「用紙をセットする時の注意」(315ページ)に記載されている事柄は守られていますか。
- □ セットした用紙サイズと操作パネルで設定した用紙サイズは合っていますか。
- □ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、付録の「用紙の規格」(434ページ)に記載されている事柄は守られていますか。
- □ 用紙の量が多すぎませんか。サイドガイドの最大積載表示（ ）以下にセットされていますか。(坪量64.0g/m^2の普通紙で、標準ホッパーの容量は約550枚です。)
- □ 一度印刷した用紙を使用していませんか。
- □ プレ印刷用紙（すでに罫線などが印刷されている用紙）を使用していませんか。
- □ トップカバー、リアカバー、両面印刷ユニットカバー、オフセットトレイユニットリアカバーは確実に閉じられていますか。
- □ 標準カセット、MPカセット、増設カセット、または手差しトレイユニットの紙送りユニットが奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- □ 標準カセット、MPカセット、または増設カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。

上記の確認後、ユーザーズマニュアル1章の「8　テスト印刷をする」に従って印刷が正しく行われることを確認してください。(紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。)

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品、およびオプションを取り外してから行ってください。

❶ **付属品および消耗品（EP カートリッジ、用紙、電源コード、プリンターケーブル）を取り付けたときと逆の手順で取り外す。（ユーザーズマニュアル「1章 プリンターの設置」を参照してください。）**

重要

どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

❷ **オプションを取り付けている場合は、各オプションの設置手順書か、**「1章　オプション」（15ページ）**を参照して取り外す。**

❸ **購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護する。**

❹ **2人以上でプリンター正面（操作パネル側）と背面に立ち、左右両側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持って運搬する。**

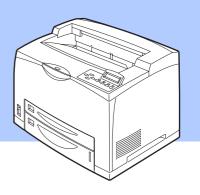
注意

プリンターの質量はオプション品、EPカートリッジ、用紙を除いた本体のみの状態で約22kgあります。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。必ず2人以上で持ち運んでください。

また、プリンターの重心は背面にありますので、背面方向へ倒れないように注意してください。

プリンター、消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出しください。
- NEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については、8章の「EPカートリッジの回収と購入」（380ページ）を参照してください。

10章
ユーザーサービス

NECは、MultiWriter 3300Nの「お客様登録」をされた方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサービスをご利用になる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

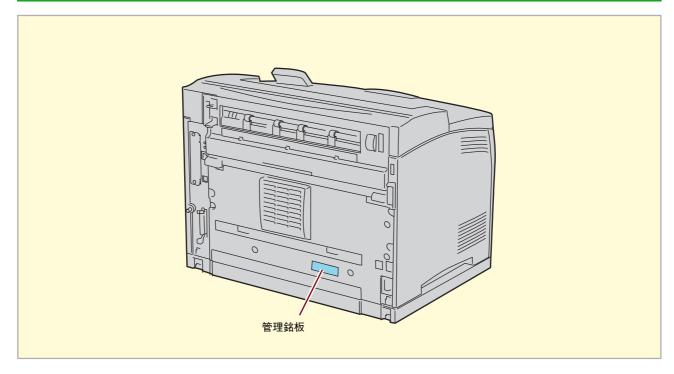
お客様登録について

お客様登録をしていただきますと、安心・充実したサービスとサポートを受けることができます。ぜひご登録ください。
詳しくは、添付の「お客様登録のご案内」をご覧ください。

保証について

プリンターには「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡しします。記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料で修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

チェック

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼られています（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社＊[1] をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- PrinterSupportPack
  プリンター本体の購入時から一定期間（3年/4年/5年）、何度でもオンサイト保守を提供する契約＊[2]。
- **年間保守契約**
  年間一定額の料金にて、プリンターの故障時に何度でも保守員を派遣して、修理を行う契約。
  契約先、契約料など詳細については、ご購入いただいた販売店にお問い合わせください。
- **スポット保守サービス**＊[3]（保守契約をされていないお客様へのサービス：有料）
  - 引き取り修理サービス
  - 出張修理サービス

プリンターの寿命について

MultiWriter 3300Nの製品寿命は、印刷枚数が60万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。10万枚ごとに定期保守が必要です。定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

＊1　受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」もしくは、インターネットの Web ページ http://www.fielding.co.jp/per/index.htm をご覧ください。

＊2　技術料・交通費・交換部品代金を含む。ただし消耗品および規定の寿命に達した有寿命部品（定期交換部品）は有償となります。有寿命部品（定期交換部品）の詳細は、http://nec8.com/care/prchange/ をご覧ください。

＊3　施設により詳細な規定、サービス内容、料金体系、営業日、営業時間が多少異なりますので、各施設にご確認ください。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターでコピー版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になりますので、あらかじめお調べの上お申し込みください。

プリンター型番　PR-L3300N

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、管理銘板や保証書で確認し、型番をメモしておくようにしてください。

NEC PCマニュアルセンター
URL：http://pcm.mepros.com
電話：03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00～12：00/13：00～16：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
FAX：03-5471-3996
受付時間　24時間（ただし、いただいたFAXに対する回答は翌営業日以降になります。）

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報
  インターネット　「NEC 8番街」 URL：http://nec8.com/

- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
  NEC 121コンタクトセンター
  （電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。）

プリンターソフトウエアをフロッピーディスクで必要な場合

通常プリンターソフトウエアのインストールは添付のCD-ROMから行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスクの作成手順については本章の「FD作成（インストール媒体の作成）」（427ページ）をご覧ください。

FD作成（インストール媒体の作成）

「FD作成」はプリンターソフトウエアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、またはハードディスクなど任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウエアをコピーする機能です。

コピーされる形式は次の2通りです。

- マスターとして　本プリンター用プリンターソフトウエアをすべてコピーします。（1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスク9枚が必要です）
- 「カスタム」インストール用として　機能を選択して、インストール用のプリンターソフトウエアをコピーします。（1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスク9枚が必要です）

> プリンターソフトウエアをコピーしたハードディスクを他のコンピューターも共有できるようにしておけば、CD-ROMを使わずにネットワークを介してプリンターソフトウエアをインストールすることができます。複数台のコンピューターに同じ内容のソフトウエアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

ここでは、Windows XP環境でFD作成をする手順を説明します。他のOSにおいても同様の手順です。

❶ **プリンターソフトウエア CD-ROM をセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

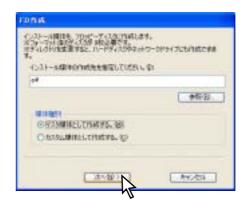
メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。

［インストール］をクリックしてから、［MultiWriter3300N］を選んで［インストール開始］をクリックします。

❷ **FD作成の［作成］をクリックする。**

❸ **インストール媒体の作成先、媒体種別を指定し、［次へ］をクリックする。**

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウエアがフロッピーディスクにコピーされます。インストール媒体作成先に、ハードディスク、ネットワークパスを指定することができます。

［マスタ媒体として作成する。］を選ぶと、CD-ROMと同様の内容をすべてコピーします。

＜［マスタ媒体として作成する］を選んだ場合＞

手順❼へ進んでください。

＜［カスタム媒体として作成する］を選んだ場合＞

手順❹へ進んでください。

❹ プリンタードライバーのインストール、プリンターの接続先を選び、［次へ］をクリックする。

<［未指定］を選んだ場合>

手順❺に進んでください。

<［ローカルポート］を選んだ場合>

希望するポートを選び、［次へ］をクリックする。

<［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合>

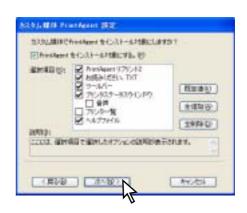
プリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

<［NEC TCP/IP Port］を選んだ場合>

LANインターフェースまたはオプションの無線LANボードやLANアダプターのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して［次へ］をクリックする。

❺ 任意の機能を選んで［次へ］をクリックする。

［全追加］をクリックするとすべてチェックされます。［全削除］をクリックするとすべてチェックが外れます。

> ✔チェック
>
> ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールした後に、クライアントで追加を行おうとしても追加できません。インストールした機能のみ削除できます。

❻ **インストール先、スプール先を指定し、［ 次へ ］をクリックする。**

ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。

❼ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

❽ **[OK]をクリックする。**

インストール媒体の作成が開始します。

❾ **[OK]をクリックする。**

チェック

FD作成によって作成されたフロッピーディスクは、以下のような構成になります。

Disk1：インストールプログラム

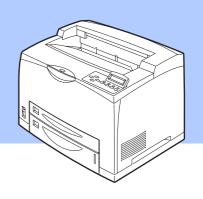
Disk2：Windows Me/98/95
　　プリンタードライバー
　　(Windows Me/98 用USB ドライバーを含みます。)

Disk3：Windows NT 4.0
　　プリンタードライバー

Disk4：Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000
　　プリンタードライバー

Disk5～Disk9：PrintAgentソフトウエア

作成したフロッピーディスクでプリンターソフトウエアのインストールを行うには、Disk1にあるSETUP.EXEを実行してください。

付録
技術情報

この章では、本プリンターの仕様、印刷範囲、文字コード、その他の技術情報について説明します。

仕　様

項目		内容
印刷方式		電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式
印刷速度* （A4サイズ横置き、ホッパー給紙）		片面印刷時：約30.6ページ/分 両面印刷時：約21.4ページ/分 ＜補足＞ • A4サイズで縦置きの場合は、約23ページ/分（片面印刷時）になります。 • 両面連続印刷では、150枚印刷するごとに定着ユニットの温度を下げるために約30秒間印刷を停止します。
ウォームアップの待ち時間（室温22℃）		電源投入時：12秒以下 節電時：12秒以下
ファーストプリントタイム	片面印刷時	A4サイズ：約8.6秒（横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約10.1秒（ホッパー給紙） B4サイズ：約9.8秒（ホッパー給紙）
	両面印刷時	A4サイズ：約13.0秒（横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約16.0秒（ホッパー給紙） B4サイズ：約15.5秒（ホッパー給紙）
用紙容量		標準ホッパー　：550枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合 MP　：200枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合 手差し（オプション）：100枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合
スタック容量		500枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合
ドット間隔		0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ） 0.0635×0.0635mm（1/400×1/400インチ）

* 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

項目		内容
CPU		RM5231A（200MHz）
メモリー		標準24MB、最大280MB（オプション増設時）
オプションメモリーソケット		1ソケット（SO-DIMM用）
インターフェース		IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェースに準拠（背面に1つ装備） USB2.0に準拠＊[1]（背面に1つ装備） イーサネット（10BASE-T/100BASE-TX） IEEE802.11b規格準拠の無線LAN（オプション）
環境		動作温度：10～32.5℃ 動作湿度：20～80%（RH）ただし結露しないこと 保管温度：0～35℃ 保管湿度：10～80%（RH）ただし結露しないこと 塵埃量：一般事務室程度 ガス成分：一般事務室程度 気　圧：1013～752.4 hPa（海抜0～2500m）
騒音 （音圧レベル、A補正）		動作時：53dB以下 待機時：33dB以下
電源		電　圧：AC 100V± 10% 周波数：50/60Hz± 1Hz
消費電力＊[2]	動作時最大＊[3]	プリンター単体時：980W以下（990VA以下） フルオプション時：1100W以下（1140VA以下）
	動作時平均	プリンター単体時：590W以下
	節電モード時	20W以下（節電モード0） 5W以下（節電モード1） 節電モード0から節電モード1への移行時間：5分
外形寸法		505（幅）x 592（奥行き）x 390mm（高さ）　（カセット伸長時、突起部除く） 505（幅）x 376（奥行き）x 390mm（高さ）　（カセット縮小時、突起部除く）
質量		約22kg（EPカートリッジ、オプション含まず） 約24kg（EPカートリッジ含む、オプション含まず）
製品寿命＊[4]		印刷枚数60万ページまたは使用年数5年のいずれか早い方
消耗品寿命		EPカートリッジ（本体添付）：　約6,000枚（印刷枚数） （ただしA4用紙、画像面積比5%片面連続印刷時）
言語		• NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む） • ESC/Pエミュレーション • プロッターエミュレーション（HP 7550A準拠）
内蔵フォント		明朝体-Lアウトラインフォント、ゴシック体-Mアウトラインフォント、 OCR-B相当文字＊[5]、バーコード＊[1、]＊[6]（カスタマバーコード、JAN（8桁、13桁）、Code 39、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128）

＊1　USB インターフェースは、すべての USB 対応機器について動作を保証するものではありません。

＊2　電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

＊3　最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

＊4　10 万ページ印刷毎に定期交換部品の交換が必要です。

＊5　OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読みとりについては、OCR 装置、バーコードスキャナでの評価が必要です。ご使用の前にあらかじめご確認されることをお勧め致します。

＊6　MS-DOS などのアプリケーションがプリンターの制御コードを発行できる環境で使用できます。

項目	内容
対応OS	• Microsoft Windows XP 日本語版＊1、＊2 • Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版＊1 • Microsoft Windows 98 日本語版＊1 • Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版＊1 • Microsoft Windows 95 日本語版 • Microsoft Windows Server 2003 日本語版＊1、＊3 • Microsoft Windows 2000 日本語版＊1 • Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 • 日本語MS-DOS （ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V） • Mac OS日本語版＊4

＊1　USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合せによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821 シリーズのUSB インターフェース接続には対応していません。

＊2　Windows XP 64-Bit Edition には対応していません。

＊3　64 ビットバージョン Windows Server 2003 には対応していません。

＊4　Mac OS 対応プリンタードライバーは、「http://121ware.com/」で提供しています。詳細は、同ホームページをご覧ください。

用紙の規格

用紙の種類	寸法	坪量	表面電気抵抗
片面印刷時			
普通紙 **（乾式PPC用紙）**	A3判（297×420mm） A4判（210×297mm） A5判（148×210mm） B4判（257×364mm） B5判（182×257mm） レターサイズ （約216×約280mm） 定形外用紙 （77～304×100～508mm） 長尺紙 （297×900mm）	60～90g/m^2 （連量*52～77kg）	1×10^9～1×10^{12}Ω
厚紙1		90～157g/m^2 （連量*77～135kg）	
厚紙2		157～216g/m^2 （連量*135～185kg）	
はがき 官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。	官製はがき （100×148mm） 官製往復はがき （200×148mm）	－	－
OHPフィルム 乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。	A4判（210×297mm）	厚さ：0.1mm± 0.025mm （100μm± 25μm）	－
ラベル紙 乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。	A4判（210×297mm） レターサイズ （約216×約280mm）	－	－
封筒 洋形4号、内カマス、のりなしのものに限ります。ただし、材質によってご使用になれない場合があります。	105×235mm	－	－
両面印刷時			
普通紙 **（乾式PPC用紙）**	A3判（297×420mm） A4判（210×297mm） A5判（148×210mm） B4判（257×364mm） B5判（182×257mm） レターサイズ （約216×約280mm） 定形外用紙 （100 ～ 304 × 140 ～ 431mm）	60～90g/m^2 （連量*52～77kg）	1×10^9～1×10^{12}Ω
厚紙1		90～157g/m^2 （連量*77～135kg）	
厚紙2		157～190g/m^2 （連量*135～163kg）	

* 連量とは、用紙788×1091mm（四六判）のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

チェック

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参照ください。

- 坪量：64～67g/m^2（JIS P8124）
- 紙厚：0.085～0.092mm（JIS P8118）
- 平滑度：25～50sec（JIS P8119）
- 剛度：60cm^3/100以上（クラーク式：JIS P8143）
- 表面電気抵抗：1×10^9～1×10^{12}Ω

それぞれの給紙先にセットできる用紙については「5章 用紙のセット」（303ページ）を参照してください。

文字の種類

内蔵文字の種類

表中の「○」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されていることを示します。

1バイト系文字

文字の種類	標準／クーリエ／ゴシック／イタリック
英数字・記号　96種 （スペース、0を含む）	○
カタカナ・記号　63種	○
ひらがな　55種	○
CGグラフィック　56種	○
各国文字　15種	○

2バイト系文字

JIS C6226-1978 準拠*

文字の種類	明朝体アウトライン	ゴシック体アウトライン
記号　96種 （スペースを含む）	○	○
英数字　62種	○	○
ひらがな　83種	○	○
カタカナ　86種	○	○
ギリシャ文字　48種	○	○
ロシア文字　66種	○	○
半角文字　212種 （スペースを含む）	○	○
JIS第一水準漢字　2965種	○	○
JIS第二水準漢字　3384種	○	○

* JIS X0208-1983, JIS-X0208-1990への切り替え可能

文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔（インチ）
1バイト系文字	パイカ	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーショナル	約1/27～1/10
2バイト系文字	7ポイント*1	1/10
	10.5ポイント*2	約1/6.66
	12ポイント	1/6

*1 正確には7.2ポイントです。
*2 正確には10.8ポイントです。

文字構成

1バイト系文字

文字種				ドット構成*1（ボディフェース）<縦 × 横>（ドット）	文字寸法（ボディフェース）<縦 × 横>（mm）
1バイト系文字	標　準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	56×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×A*2	3.39×B*2
		CGグラフィック	パイカ	54×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×40	3.39×2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×A*2	1.69×B*2
		CGグラフィック	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×40	1.69×2.54

*1 論理解像度400dpi時のサイズです。
*2 プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。
A：15〜37ドット（400dpi）、23〜55ドット（600dpi）B：0.95〜2.33mm

2バイト系文字、グラフィック

文字種			ドット構成*3（ボディフェース）<縦 × 横>（ドット）	文字寸法（ボディフェース）<縦 × 横>（mm）
2バイト系文字	7ポイント	全角	40×40	2.54×2.54
		半角	40×20	2.54×1.27
	10.5ポイント	全角	60×60	3.81×3.81
		半角	60×30	3.81×1.91
	12ポイント	全角	67×67	4.23×4.23
		半角	67×34	4.23×2.12
ドット列印刷	40ドット		67×n	4.23×m

*3 論理解像度400dpi時のサイズです。

文字コード表

MultiWriter 3300Nは、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
1バイト系コードは、メモリースイッチ1-1〜1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR		
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒								

00〜10：注15　30：注17　80〜90：注13　A0〜D0：注14　E0〜F0：注13　00〜F0：注16

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR		
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯
A0		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒								

00〜10：注15　30：注17　80〜90：注13　A0〜D0：注14　E0〜F0：注13　00〜F0：注16

注1〜12　各国特殊文字が入ります（メモリースイッチ1-1〜1-3で切り替えます。）
注13　8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
注14　A〜D行はひらがなモード（ESC＆で指定）の場合はひらがな文字、カタカナモード（ESC $で指定）の場合はカタカナ文字になります。
注15　0、1行は制御コードです。
注16　0、1行の空欄は無視されます。2〜F行の空欄はスペース（SP）として処理されます。
注17　3行、0列の「0」の印刷字体はメモリースイッチ2-1により「ø」に変更できます。

国別相違点

注　No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J” のコードは0040＋A＝004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。(本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS　1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。) ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜” のコードは3020＋1＝3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース（SP）です。

漢字コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
2130	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
2140	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
2150	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
2160	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
2170	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
2340		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
2350	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
2360		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
2370	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					
2420		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
2450	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
2460	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
2570	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2620		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
2630	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
3030	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
3070	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
3130	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
3240	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
3340	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
3360	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
3370	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
3420		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
3430	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
3440	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
3450	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
3460	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
3630	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
3730	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
3750	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
3830	鍵	険	顕	験	鹼	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	礦	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3A30	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3A40	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3A60	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
3B30	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3B40	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
3C30	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屢	蘂	縞	舎	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3D40	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靱	笥	諏	須	酢	図	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
3F70	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
4070	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
4160	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
4170	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
4220		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	驒	体	堆
4250	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	簞	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	摑
4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	塡	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顚
4540	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	檮	棟
4570	盗	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	
4620		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
4630	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
4640	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
4650	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弐	邇	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
4730	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	囊	悩	濃	納	能	脳	膿
4740	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
4830	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
4920		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
4930	檜	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4950	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
4A50	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4A60	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
4B70	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	麿	万	慢	満	
4C20		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
4C30	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4C60	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	藪	鑓	愉	愈	油	癒	
4D20		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4E40	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4E60	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
4E70	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4F20		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
4F50	椀	湾	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊
5030	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
5040	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	侭	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
5060	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
5070	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
5120		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂
5130	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
5140	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢
5150	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
5160	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
5170	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	
5220		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵
5230	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
5240	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦
5250	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
5260	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5270	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
5320		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢
5330	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
5340	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜
5350	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
5360	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
5370	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	
5420		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏
5430	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
5440	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹
5450	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
5460	壜	壤	壟	壯	壷	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5470	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩	
5520		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟
5530	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
5540	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾
5550	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
5560	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5570	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	
5620		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶
5630	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
5640	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇
5650	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
5660	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5670	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
5720		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸
5730	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
5740	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從
5750	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
5760	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
5770	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5820		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆
5830	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
5840	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙
5850	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
5860	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5870	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛	
5920		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
5930	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5940	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
5950	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5960	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5970	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5A20		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯
5A30	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5A40	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛
5A50	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5A60	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5A70	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼	
5B20		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦
5B30	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5B40	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤
5B50	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5B60	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
5B70	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	
5C20		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
5C30	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5C40	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝
5C50	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5C60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
5C70	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣	
5D20		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻
5D30	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5D40	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
5D50	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5D60	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
5D70	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
5E20		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒
5E30	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5E40	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭
5E50	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5E60	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
5E70	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
5F20		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘
5F30	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
5F40	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟
5F50	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
5F70	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆
6030	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
6040	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
6050	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6060	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
6120		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎
6130	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
6140	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣
6150	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6160	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6170	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
6220		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴
6230	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
6240	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
6250	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
6260	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
6270	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
6320		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚
6330	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
6340	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗
6350	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
6360	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6370	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
6420		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝
6430	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
6440	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣
6450	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
6460	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6470	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆	
6520		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲
6530	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
6540	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅
6550	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
6560	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6570	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	
6620		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸
6630	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
6640	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋
6650	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
6660	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
6670	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
6720		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
6730	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
6740	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅
6750	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
6760	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
6770	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6820		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚
6830	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
6840	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽
6850	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
6860	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
6870	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈	
6920		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	薮	薇
6930	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6940	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣
6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蛎	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6960	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
6970	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
6A20		蝓	蝣	蝪	蝿	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄
6A30	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6A40	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁
6A50	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6A60	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
6A70	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
6B20		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩
6B30	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6B40	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
6B50	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諌	諳	諧
6B60	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
6B70	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
6C20		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁
6C30	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6C40	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚
6C50	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6C60	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
6C70	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊	
6D20		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁
6D30	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6D40	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜
6D50	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6D60	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	迩	迴
6D70	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	
6E20		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
6E30	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6E40	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢
6E50	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6E60	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
6E70	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮	
6F20		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭
6F30	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
6F40	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩
6F50	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
6F60	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
6F70	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
7020		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
7030	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
7040	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉
7050	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
7060	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
7070	韶	韵	頏	頌	頚	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰	
7120		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒
7130	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
7140	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭
7150	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
7160	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
7170	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	
7220		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲
7230	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
7240	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鯵	鯲	鯱
7250	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
7260	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
7270	鴃	鴆	鴪	鴦	鴬	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈	
7320		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩
7330	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
7340	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩
7350	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
7360	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
7370	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

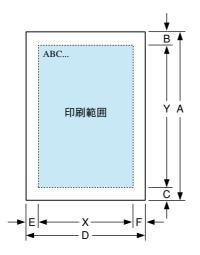
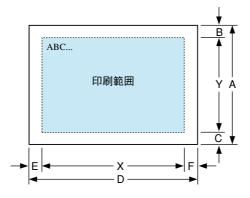
印刷範囲

定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

チェック

添付のプリンタードライバーを使用した場合、プリンタードライバーの機能により余白量をすべて約5mmに設定できます。

- ポートレート

- ランドスケープ

MS-DOS環境

以下の印刷範囲はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで「従来互換の印刷範囲を使用する」をチェックしたときの値です。

- ポートレート

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	17.28	5.94	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	19.39	4.98	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	6.17	3336	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	5.94	3336	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	30.80	3336	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	3336	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	11.12	3336	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	12.49	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	5.40	1920	80	53
	B4	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	11.09	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	5.05	1920	80	53
	A4	297	5.00	4.98	2712	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	9.22	2712	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
A4×2 (80)	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
B5	B4	364	11.35	7.63	2328	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	6.14	2328	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	5.62	2328	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	3288	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	5.64	816	34	22
レター	レター	280	5.00	5.00	2544	63	216	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	70	46
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

*1　論理解像度240dpiの場合。
*2　改行ピッチが6LPIの場合。
*3　文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4　10.8ポイントのフォント使用時。

- ランドスケープ

データ	用紙	A（用紙長）	B（上余白）	C（下余白）	Y（印刷範囲）		D（用紙幅）	E（左余白）	F（右余白）	X（印刷範囲）		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	10.65	8.00	2712	67	297	19.39	4.98	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	14.84	3264	136	90
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	13.56	3264	136	90
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	35.88	3264	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	2280	57	297	9.55	11.01	3264	136	90
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	13.66	3264	136	90
A4	A3	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	A3(80)	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	B4	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	B4(80)	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	A4	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	A4(80)	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B5	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
	B5(80)	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
A4×2（80）	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	15.16	4.98	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	8.00	1608	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.00	1608	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.00	1608	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	2328	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	51.66	3264	136	90
	A4	210	15.73	8.00	2640	66	297	30.82	35.88	3264	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	816	20	148	5.00	5.84	1296	54	36
レター	レター	216	4.80	8.00	1920	48	280	5.00	5.76	2544	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	104	72
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

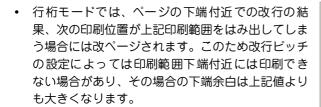
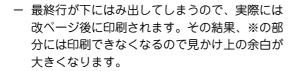
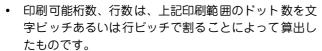
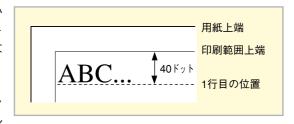
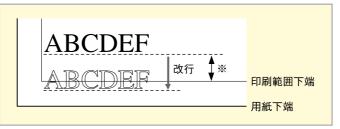
*1　論理解像度240dpiの場合。
*2　改行ピッチが6LPIの場合。
*3　文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4　10.8ポイントのフォント使用時。

補足説明

- 余白量（印刷不可領域）は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲（印刷可能ドット数）は、すべて240dpiで規定されています。各解像度での印刷可能ドット数は以下のようになります。
  400dpi　：240dpiのドット数を5/3倍にした値
  600dpi　：240dpiのドット数を5/2倍にした値

- 行桁モードでは、1行目の位置は240dpi相当で印刷範囲の上から40ドット目（約4.2mm）となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。
  - 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として（0, 39）（240dpi）を指定したのと同じ位置に印刷されます。
  - 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があり、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。

  - 最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。
  計算に用いる値は右のとおりです。
  - 値はすべて240dpiでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240dpiで行います。
  - 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。
  - 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

種　別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポイント(1/10インチ)	24ドット
		10.5ポイント(3/20インチ)	36ドット
		12ポイント(1/6インチ)	40ドット
行数	6LPI(1/6インチ)		40ドット
	8LPI(1/8インチ)		30ドット

プロッターエミュレーションモード

- 印刷範囲
  プリンターの動作エミュレーションがプロッターエミュレーションモード時の印刷範囲を以下に示します。

用紙サイズ	印刷方向	印刷範囲	
		X	Y
A0	ポートレート	33240	46200
	ランドスケープ	46200	33240
A1	ポートレート	23360	32280
	ランドスケープ	32280	23360
A2	ポートレート	16400	22400
	ランドスケープ	22400	16400
A3	ポートレート	11480	16358
	ランドスケープ	16358	11480
A4	ポートレート	7924	11480
	ランドスケープ	11480	7924
A5	ポートレート	5436	8026
	ランドスケープ	8026	5436
B0	ポートレート	40800	56880
	ランドスケープ	56880	40800
B1	ポートレート	28720	39840
	ランドスケープ	39840	28720
B2	ポートレート	20200	27760
	ランドスケープ	27760	20200
B3	ポートレート	14160	19240
	ランドスケープ	19240	14160
B4	ポートレート	9652	14122
	ランドスケープ	13818	9652
B5	ポートレート	6808	9856
	ランドスケープ	9856	6808
帳票	ポートレート	11176	13818
	ランドスケープ	13818	11176
レター	ポートレート	8128	10770
	ランドスケープ	10770	8128
はがき	ポートレート	3454	5588
	ランドスケープ	5486	3454
往復はがき	ポートレート	5516	7603
	ランドスケープ	7603	5516
封筒	ポートレート	9000	3800
	ランドスケープ	3800	9000

単位　1/1016インチ（25μmに相当）

- スケールポイント
  スケールポイントP1およびP2の標準設定値を以下に示します。ポジティブモード、ネガティブモードどちらも同じです。

用紙サイズ		設定値			
		P1		P2	
		XI	Y1	X2	Y2
A0	ポートレート	430	380	29385	43309
	ランドスケープ	380	430	43309	29385
A1	ポートレート	430	380	20778	31304
	ランドスケープ	380	430	31304	20778
A2	ポートレート	430	380	14716	21194
	ランドスケープ	380	430	21194	14716
A3	ポートレート	430	380	10430	15580
	ランドスケープ	380	430	15580	10430
A4	ポートレート	200	430	7400	10430
	ランドスケープ	430	200	10430	7400
A5	ポートレート	200	430	5139	7421
	ランドスケープ	430	200	7421	5139
B0	ポートレート	430	380	35970	53233
	ランドスケープ	380	430	53233	35970
B1	ポートレート	430	380	25477	37400
	ランドスケープ	380	430	37400	25477
B2	ポートレート	430	380	18026	26175
	ランドスケープ	380	430	26175	18026
B3	ポートレート	430	380	12764	18258
	ランドスケープ	380	430	18258	12764
B4	ポートレート	430	380	8838	13502
	ランドスケープ	380	430	13220	8838
B5	ポートレート	200	430	6386	9015
	ランドスケープ	430	200	9015	6386
帳票	ポートレート	430	380	10165	13220
	ランドスケープ	380	430	13220	10165
レター	ポートレート	430	380	7510	10388
	ランドスケープ	380	430	10388	7510
はがき	ポートレート	200	430	3338	5298
	ランドスケープ	430	200	5159	3338
封筒	ポートレート	200	430	3653	8270
	ランドスケープ	430	200	8270	3653
往復はがき	ポートレート	200	430	5212	7053
	ランドスケープ	430	200	7053	5212

単位　1/1016インチ（25μmに相当）

定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンターでサポートしている定形用紙（A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒）以外の大きさの用紙のことです。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンター設定に応じてアプリケーションから正しく制御する必要があります。
Windows環境で定形外用紙を印刷する場合は､使用する用紙の大きさをプリンタードライバーまたはOSで定義してから印刷を行ってください。（詳細は、4章の「定形外用紙サイズの用紙に印刷」（244ページ）を参照）
ここでは、Windows環境以外で印刷する場合について説明します。

チェック

定形外用紙をセットするときの注意

アプリケーションソフトウエアで任意の用紙サイズを指定できても定形外用紙への印刷が行えないことがあります。

また、対応可能な用紙の厚み（坪量）は、定形紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することを強くお勧めいたします。

- 形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- スタックが完全にされない場合があります。この場合はその都度用紙を取り除いてください。
- Windows 環境以外から印刷する場合、メニューモードの「ヨウシメニュー」で「テイケイガイヨウシ」を「ON」にする必要があります。

プリンターの設定について

Windows環境以外では、定形外用紙は、手差しのみで使用できます。プリンターは定形用紙を想定し、印刷位置、印刷範囲の制御を行います。用紙サイズ設定ダイヤルを［その他］に設定してから、操作パネルの［用紙選択］スイッチで印刷させる定形外用紙の用紙サイズに近似した用紙サイズを設定する必要があります。

重要

印刷範囲が定形外用紙内に収まっていない設定のまま印刷を行うと装置内を汚すなど、思わぬ障害の原因となる場合があります。印刷前に十分確認してください。

余白について

印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

重要

印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬ障害の原因となります。

印刷位置について

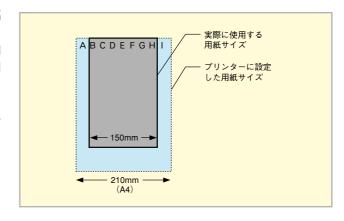
次に様々なケースでの印刷位置、印刷範囲の考え方を説明します。これらの説明は主に行桁モードによる制御を前提にしていますが、それ以外の方法でも同様の考え方による制御を行ってください。

- ポートレートの桁方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

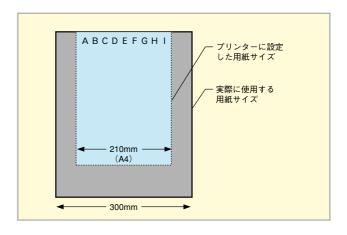
例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左右の端の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

このような場合には、各行の先頭に適当な量のスペースを取ることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

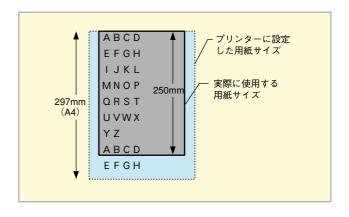
$$必要なスペース＝\frac{A-B}{2}$$

A: プリンターに設定されている用紙の幅
B: 実際に使用する用紙の幅

- ポートレートの桁方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

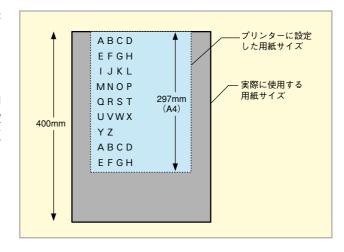
例えば、プリンターの設定をA4にしているときに幅が300mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左右には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし､用紙の左右の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

- ポートレートの行方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに長さが250mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙の長さを超えるような改行命令については自動的に改ページをしますが、使用する用紙が短いために下端付近のデータは用紙をはみ出してしまいます。

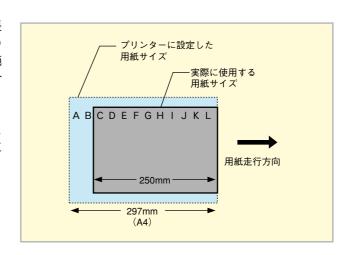
このような場合には､1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

- ポートレートの行方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙を超えるようなデータは印刷しません。その結果、用紙の下端には印刷できない部分が発生します。

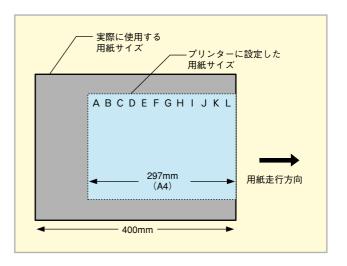
このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の下端部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

- ランドスケープの桁方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが250mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左端（行の先頭）の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には、各行の先頭に適当な量のスペースをとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

必要なスペース＝A－B
A：プリンターに設定されている用紙の幅
B：実際に使用する用紙の幅

- ランドスケープの桁方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左端の部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

- ランドスケープの行方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、ページの上下の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には各ページの先頭に適当な量の余白（改行）をとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要な余白の量は次のように算出してください。

$$必要なスペース= \frac{C-D}{2}$$

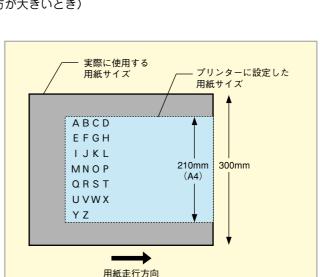
C: プリンターに設定されている用紙の幅
D: 実際に使用する用紙の幅

プリンターに設定した用紙サイズ
実際に使用する用紙サイズ
A B C D
E F G H
I J K L
M N O P
Q R S T
U V W X
Y Z
150mm
210mm（A4）
用紙走行方向

また、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

- ランドスケープの行方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の上下には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙上下の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

チェック

80桁モードについて

本プリンターの印刷可能桁数は78桁（A4用紙、パイカモード時）です。したがって、80桁のシリアルプリンターでバッファーフル印刷を利用して改行を行うソフトウエアを本プリンターで使用した場合、印刷位置が異なることになります。

このため、本プリンターではバッファーフルまでの印刷桁数を印刷範囲に広げることで、80桁にすることができます（A4ポートレートの場合のみ可能です）。設定はメニューモードの「A4ポートレートケタスウ」メニューで行います。

NPDLの初期状態

次の条件で、プリンターの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき
→未印刷データをすべて消します。
- ソフトウエアリセット（ESC c1）を実行したとき
→印刷フォーマット、ホッパー指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- INPUT･PRIME信号を受信したとき
→印刷フォーマット、ホッパー指定、およびセレクト／ディセレクトは初期状態になりません。
未印刷データは印刷されます。
- パラメーターリセット（ESC c8）を実行したとき
→VFU、印刷フォーマット、ホッパー指定、セレクト／ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
現在位置		第1行第1桁				
レフトマージン幅		メニュー設定に従う（工場設定000）				
ライトマージン幅		A3：113　A4：078（80桁モード時 080）　A5：053 B4：095　B5：067　レター：080　はがき：034				
水平タブセット		クリア				
VFU	FF長	A3: 96行　A4: 67行　A5: 47行 B4: 83行　B5: 58行　レター：63行　はがき: 33行				変化せず
	ボトム領域	なし				変化せず
	VTセット（CH2）	A3:第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61､67､73､79､85､91行目 A4:第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61､67行目 A5:第7､13､19､25､31､37、43行目 B4:第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61､67､73､79行目 B5:第7､13､19､25､31､37､43､49､55行目 レター :第7､13､19､25､31､37､43､49､55､61行目 はがき:第7､13､19､25､31行目				変化せず
	VTセット (CH3～CH6)	クリア				変化せず
改行方向		順方向改行				
改行幅		1/6インチ				
セレクト／ディセレクト状態		セレクト状態			変化せず	
受信バッファー		クリア		クリアせず		
ページバッファー		クリア		クリアせず		
未印刷データ		—	クリア	印刷実行		
動作モード		メニュー設定に従う（エミュレーション／ページプリンター）				変化せず
印刷方式		パイカモード				
コード表のシフト状態		カタカナ状態（8ビットコード）				
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う（標準／イタリック／クーリエ／ゴシック）				
漢字書体		メニュー設定に従う（内蔵明朝／内蔵ゴシック）				
漢字	文字サイズ	10.5ポイント				
	文字幅	3/20インチ				
半角	縦書き	解除				
	組文字	解除				
スクリプト文字		解除				
倍率指定		縦横とも解除				
修飾印刷		解除				

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">内部状態</th><th colspan="5">イニシャライズ（初期化）の種類</th></tr>
<tr><th>電源ON</th><th>操作パネルリセット</th><th>ESC c1</th><th>INPUT・PRIME</th><th>ESC c8</th></tr>
<tr><td rowspan="3">アンダーライン</td><td>指定</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>線種</td><td colspan="5">実線、一重線</td></tr>
<tr><td>線幅</td><td colspan="5">2ドット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">網かけ</td><td>指定</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>登録</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td colspan="2">白黒反転</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">固定ドットスペース</td><td colspan="5">左右とも0ドット</td></tr>
<tr><td colspan="2">縦方向文字位置オフセット</td><td colspan="5">0ドット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1バイト文字登録</td><td>パターン</td><td colspan="5">ROMパターン</td></tr>
<tr><td>登録</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td colspan="2">2バイト文字登録</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドット切り替え</td><td colspan="5">メニュー設定に従う（ネイティブモード／コピーモード）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷フォーマット</td><td>印刷方向</td><td colspan="2">ポートレート</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td>縮小モード</td><td colspan="2">解除</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コピー枚数</td><td>コード（FSx）</td><td colspan="2">1枚</td><td colspan="3">メニュー設定に従う</td></tr>
<tr><td>操作パネル</td><td colspan="2">1枚</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">座標指定単位</td><td colspan="5">1/240インチ</td></tr>
<tr><td colspan="2">描画座標</td><td colspan="5">（X，Y）＝（0，0）</td></tr>
<tr><td colspan="2">全点アドレス印刷モード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フォーム</td><td>登録</td><td colspan="4">クリア</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td>参照</td><td colspan="4">解除</td><td>変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">図形印刷モード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">グラフ描画モード</td><td colspan="5">絶対描画モード</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンター単位</td><td colspan="5">1/240インチ</td></tr>
<tr><td rowspan="7">線分</td><td>線種</td><td colspan="5">実線</td></tr>
<tr><td>線幅</td><td colspan="5">1ドット幅</td></tr>
<tr><td>線長</td><td colspan="5">$P_1 P_2$の対角線距離の4%</td></tr>
<tr><td>線端タイプ</td><td colspan="5">断切り型</td></tr>
<tr><td>接続タイプ</td><td colspan="5">マイター接続</td></tr>
<tr><td>選択パターン</td><td colspan="5">黒べた</td></tr>
<tr><td>登録パターン</td><td colspan="4">クリア</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ペン</td><td>座標</td><td colspan="5">（X，Y）＝（0，0）</td></tr>
<tr><td>上下位置</td><td colspan="5">アップ状態</td></tr>
<tr><td colspan="2">塗り潰しモード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td rowspan="2">塗り潰し</td><td>選択パターン</td><td colspan="5">パターン番号1</td></tr>
<tr><td>登録パターン</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スケーリング
ポイント</td><td>P1</td><td colspan="5">（X，Y）＝（0，0）</td></tr>
<tr><td>P2</td><td colspan="5">各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置</td></tr>
<tr><td colspan="2">スケーリング</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウィンドウ領域</td><td colspan="5">各用紙サイズでの最大</td></tr>
<tr><td colspan="2">座標系反転</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">座標系回転</td><td colspan="5">0度</td></tr>
<tr><td colspan="2">論理描画</td><td colspan="5">OR</td></tr>
<tr><td colspan="2">パス構築モード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスデータ</td><td colspan="5">廃棄</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホッパー指定</td><td colspan="2">メニュー設定に従う（ホッパー1/ホッパー2/ホッパー3/ホッパー4/MP/手差し）</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホッパー／MP／手差し</td><td colspan="2">ホッパー給紙</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">両面印刷</td><td colspan="2">メニュー設定に従う（片面印刷/両面印刷）</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
</table>

制御コード

制御コードは「テキストモード」と「図形モード」の2つに分かれています。
制御コードの詳細については別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」を参照してください。なお、「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）」に記載されていない制御コードまたは、機能を拡張した制御コードについては「機能拡張制御コード」（462ページ）で細かく説明しています。

以下の表において「E」と「P」は動作モードを表します。
E：201PLエミュレーションモード　　P：ページプリンタ（NPDL）モード

また、「○」と「×」はそれぞれの動作モードでその制御コードを使用できるか（○）使用できないか（×）を示します。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
ページ制御コード	改ページ指令	FF	○	○
	未印刷データ排出	ESC a	○	○
	未印刷データ排出	ESC b	○	○
	印刷方向の設定およびホッパ選択	FS f c_1 c_2 c_3 .	○	○
	印刷方向の設定および用紙サイズ選択	FS f c_1 c_2 c_3 .	○	○
	印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定	FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
行桁関連制御コード				
■行桁制御印刷コード	ドットスペース（1～8ドットスペース）	ESC <n>	○	○
	ドットスペース（9～25ドットスペース）	ESC <n>	×	○
	固定ドットスペース	FS w	○	○
	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
	ドットアドレッシング	ESC F	○	○
	半角文字の組文字設定	ESC q	○	○
	縮小文字の組文字印刷指定	FS P	○	○
	縦方向オフセット量の設定	FS t	×	○
	VFUの設定開始	GS	○	○
	VFUの設定終了	RS	○	○
	簡易VFUの設定	ESC v	○	○
	垂直タブの実行	VT	○	○
	VFUの実行	US	○	○
	水平タブの設定	ESC (	○	○
	水平タブの実行	HT	○	○
	水平タブの部分クリア	ESC)	○	○
	水平タブの全クリア	ESC 2	○	○
	レフトマージンの設定	ESC L	○	○
	ライトマージンの設定	ESC /	○	○
	1/6インチ改行モードの設定	ESC A	○	○
	1/8インチ改行モードの設定	ESC B	○	○
	N/120インチ改行モードの設定	ESC T	○	○
	印刷位置の復帰	CR	○	○
	改行指令	LF	○	○
	改ページ指令	FF	○	○
	n行改行	US	○	○
	順方向改行モードの設定	ESC f	○	○
	逆方向改行モードの設定	ESC r	○	○
■行桁修飾制御コード	ライン付加モードの設定	ESC X	○	○
	ライン付加モードの解除	ESC Y	○	○
	アンダーライン／オーバーラインの切り替え	ESC _	○	○
	付加ライン線種の設定	FS Ø4 L	○	○
	網かけ・白黒反転モードの設定	FS n	○	○
	網かけ・白黒反転モードの解除	FS E	○	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
■ドット列印刷制御コード	8ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC S	○	○
	16ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC I	○	○
	24ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC J	○	×
	8ビットドット列リピート	ESC V	○	×
	16ビットドット列リピート	ESC W	○	×
	24ビットドット列リピート	ESC U	○	×
	40ビットドット列印刷モードの設定	FS b	×	○
■その他	コピーモードの設定	ESC D	○	○
	ネイティブモードの設定	ESC M	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字関連制御コード				
■文字セット制御コード	英数モードの設定（7ビットコード）	SI	○	×
	カタカナモードの設定（7ビットコード）	SO	○	×
	カタカナモードの設定（8ビットコード）	ESC $	○	○
	英数モードの設定（7ビットコード）	ESC $	○	×
	ひらがなモードの設定（8ビットコード）	ESC &	○	○
	ひらがなモードの設定（7ビットコード）	ESC &	○	×
	CGグラフィックモードの設定（7ビットコード）	ESC #	○	×
	外字（24×24ドット）のロード	ESC +	○	×
	外字（16×16ドット）のロード	ESC ＊	○	×
	1バイトコード文字のダウンロード	ESC /	○	×
	登録文字のクリア	ESC /ø	○	×
	登録文字の印刷	ESC /+	○	×
	プリンター内蔵文字の印刷	ESC /-	○	×
	1バイトコード文字の登録	FS g R	×	○
	2バイトコード文字の登録	FS g R2K	×	○
	1バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC1.	×	○
	2バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC2.	×	○
	1バイトコード内蔵文字印刷	FS g MI1.	×	○
	1バイトコード登録文字印刷	FS g MR1.	×	○
	1バイト文字フォントの選択	FS ø6F1	○	○
	2バイト文字書体の選択	FS ø6F2	×	○
	2バイト文字指定	ESC O	○	○
■文字スタイル制御コード	文字拡大モードの設定（8ビットコード）	SO	○	×
	文字拡大モードの解除（8ビットコード）	SI	○	×
	文字拡大モードの設定（7ビットコード）	DC2	○	×
	文字拡大モードの解除（7ビットコード）	DC4	○	×
	パイカモードの設定	ESC H	○	○
	エリートモードの設定	ESC E	○	○
	コンデンスモードの設定	ESC Q	○	○
	プロポーショナルモードの設定	ESC P	○	○
	漢字（横書き）モードの設定	ESC K	○	○
	漢字（縦書き）モードの設定	ESC t	○	○
	外字の印刷（横書き）	ESC K a_1 b_1	○	○
	外字の印刷（縦書き）	ESC t a_1 b_1	○	○
	半角文字の縦書きモード設定	ESC h1	○	○
	半角文字の縦書きモード解除	ESC hø	○	○
	スーパースクリプトモードの設定	ESC s1	○	○
	サブスクリプトモードの設定	ESC s2	○	○
	スクリプトモードの解除	ESC sø	○	○
	文字サイズの設定	FS ø4S	○	○
	1バイト文字サイズの設定	FS ø7S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS ø7S2	×	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：3/20インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS A	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/5インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS B	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS C	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/10インチ、文字サイズ：7ポイント）	FS F	○	×
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：12ポイント）	FS G	○	×
	縦横拡大率の指定	ESC e	○	×
	文字の拡大率、縮小率の指定	FS m	○	○
	強調印刷モードの設定	ESC !	○	○
	強調印刷モードの解除	ESC ”	○	○
	文字修飾の指定／解除	FS c	○	○
	文字明度の指定	FS $	×	○
■その他	キャラクターリピート	ESC R	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
面制御コード	座標指定単位の設定	FS <	×	○
	描画座標の指定	FS e	×	○
	座標のコピー	FS e	×	○
	罫線の描画	FS l	×	○
	領域指定の網かけ	FS s	×	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
	領域指定のイメージ印刷	FS i	×	○
	全点アドレス印刷モードの設定	FS a	×	○
	全点アドレス印刷モードの解除	FS R	×	○
	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
	フォーム登録モードの解除	FS U	○	○
その他	セレクト状態の設定	DC1	○	×
	ディセレクト状態の設定	DC3	○	×
	201PLエミュレーションモードの設定	FS d 16ø.	○	○
	ページプリンターモードの設定	FS d 24ø.	○	○
	ソフトウエアリセット	ESC c1	○	○
	パラメーターリセット	ESC c8	○	○
	図形モードの設定	FS Y	×	○
	図形モードの解除	FS Z	×	○
	描画論理の指定	FS "	×	○
	クリッピング領域の設定	FS #	×	○

図形モード

図形モードに関する制御コードは、すべてページプリンタモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定	IP	×	○
	座標系の設定	SC	×	○
	ウィンドウ領域の指定	IW	×	○
	回転角の設定	RO	×	○
	座標系の反転	RC	×	○
	プリンタ単位の設定	SU	×	○
線に関する設定	線種の設定	LT	×	○
	線幅の設定	LW	×	○
	線端タイプの設定	LC	×	○
	線接続タイプの設定	LJ	×	○
	線タイプの登録	RL	×	○
	線パターンの選択	LP	×	○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定	XX1	×	○
	塗りつぶしモードの解除	XXø	×	○
	塗りつぶしパターンの選択	PP	×	○
	塗りつぶしパターンの登録	RP	×	○
	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
	描画論理の設定	PM	×	○
図形の描画	ペンを上げる	PU	×	○
	ペンを下げる	PD	×	○
	直線の描画（絶対描画モード）	PA	×	○
	直線の描画（相対描画モード）	PR	×	○
	ペンの移動（絶対描画モード）	MA	×	○
	ペンの移動（相対描画モード）	MR	×	○
	扇形の描画（絶対描画モード）	FA	×	○
	扇形の描画（相対描画モード）	FR	×	○
	円の描画	CI	×	○
	円弧の描画（絶対描画モード）	AA	×	○
	円弧の描画（相対描画モード）	AR	×	○
	円弧の描画（絶対座標）	AX	×	○
	円弧の描画（相対座標）	AY	×	○
	円弧の描画	AT	×	○
	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED	×	○
	楕円弧の描画（逆方向）	EN	×	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画（続き）	枠無し四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	RA	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	RR	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	EA	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	ER	×	○
	枠無し扇形の塗りつぶし	WG	×	○
	枠あり扇形の塗りつぶし	EW	×	○
	閉領域の塗りつぶし	PI	×	○
	パス構築モードの開始	NP	×	○
	パスの閉鎖	CP	×	○
	パス構築モードの終了	EP	×	○
	ストロークの描画	ST	×	○
	フィルの描画（非零則）	FL	×	○
	フィルの描画（偶奇則）	EF	×	○
その他	イニシャライズ	IN	×	○
	初期設定	DF	×	○
	図形モード設定	FS Y	×	○
	図形モード解除	FS Z	×	○

ESC/Pエミュレーションサポートコマンド

コマンド	機　能
ESC C	行単位ページ長設定
ESC C ø	インチ単位ページ長設定
ESC N	ミシン目スキップ設定
ESC O	ミシン目スキップ解除
ESC Q	右マージン設定
ESC 1	左マージン設定
ESC ø	1/8インチ改行量設定
ESC 2	1/6インチ改行量設定
ESC 3	n/180インチ改行量設定
ESC A	n/60インチ改行量設定
ESC +	n/360インチ改行量設定
ESC B	垂直タブ位置設定
ESC D	水平タブ位置設定
ESC /	VFUチャネル選択
ESC b	VFUタブ位置設定
CR	キャリッジリターン
LF	改行
FF	改ページ
ESC J	n/180インチ順方向紙送り
ESC j	n/180インチ逆方向紙送り
HT	水平タブ
VT	垂直タブ
BS	後退
ESC $	絶対位置指定
ESC ¥	相対位置指定
ESC M	12 CPI指定
ESC P	10 CPI指定
ESC g	15 CPI指定
ESC p	プロポーショナル指定、解除
ESC R	国際文字選択
ESC S	スーパー、サブスクリプト指定
ESC T	スーパー、サブスクリプト解除
ESC x	文字品位選択
ESC k	書体選択
ESC 6	上位側コントロールコード解除
ESC 7	上位側コントロールコード指定
ESC t	文字コード表選択
ESC %	ダウンロード文字セット指定、解除
ESC &	ダウンロード文字定義
ESC ：	文字セットコピー
ESC SP	文字間スペース量設定
ESC w	縦倍拡大指定、解除
SI	縮小指定
ESC SI	縮小指定
DC2	縮小解除

コマンド	機　能
ESC -	アンダーライン指定、解除
SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC SO	自動解除付き倍幅拡大指定
DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC W	倍幅拡大指定、解除
ESC E	強調指定
ESC F	強調解除
ESC G	二重印字指定
ESC H	二重印字解除
FS SO	自動解除付き倍幅拡大指定
FS DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC 4	イタリック指定
ESC 5	イタリック解除
ESC q	文字スタイル選択
ESC !	一括指定
FS J	縦書き指定
FS K	横書き指定
FS D	半角縦書き2文字指定
FS W	4倍角指定、解除
FS -	漢字アンダーライン指定、解除
FS !	漢字一括指定
FS &	漢字モード指定
FS .	漢字モード解除
FS SI	半角文字指定
FS DC2	半角文字指定解除
FS r	1/4角文字指定
FS k	漢字書体選択
FS 2	外字定義
FS S	全角文字スペース量設定
FS T	半角文字スペース量設定
FS U	半角文字スペース量補正
FS V	半角文字スペース量補正解除
ESC K	8ドット単密度ビットイメージ
ESC L	8ドット倍密度ビットイメージ
ESC Y	8ドット倍速倍密度ビットイメージ
ESC Z	8ドット4倍密度ビットイメージ
ESC ∗	ビットイメージ選択
ESC ∗	ビットイメージリピート
ESC ?	ビットイメージ変換
ESC @	初期化
DC 1	デバイスコントロール1
DC 3	デバイスコントロール3
DEL	1文字削除
CAN	データ抹消
ESC EM	カットシートフィーダー制御

プロッターエミュレーションサポートコマンド

コード区分	コマンド	機　　能
セットアップ	DF IN IP SC GM	プリンターを標準値状態にする。 プリンターを初期設定する。 スケーリングポイントを設定する。 スケーリングポイントにユーザーユニットを割り当てる。 バッファーサイズを変更する。
基本プロット	SP PU PD PA PR	ペンを選択する。 ペンを上げる。 ペンを下げる。 絶対座標値でペンを移動する。 相対座標値でペンを移動する。
拡張プロット	XT YT TL SM LT	X軸に目盛りを描く。 Y軸に目盛りを描く。 座標軸の目盛りの長さを指定する。 各描画点に文字を描く。 実線と6種の線種タイプを指定する。
円・円弧 多角形プロット	CT CI AA AR FT UF PT WG EW RA EA RR ER PM EP FP	分解能パラメーターのモードを指定する。 円を描く。 絶対座標値で円弧を描く。 相対座標値で円弧を描く。 ハッチングのパターンを指定する。 任意間隔のハッチングを定義する。 ハッチングの間隔を指定する。 扇形にハッチングを行う。 扇形を描く。 絶対座標値で指定された四角形にハッチングを行う。 絶対座標値で四角形を描く。 相対座標値で指定された四角形にハッチングを行う。 相対座標値で四角形を描く。 多角形モードを設定する。 多角形の外周をプロットする。 多角形内部をシェイディングする。（偶奇則）
基本文字プロット	LB DT SI SR SL DI DR LO CP ES BL PB OL	文字描画を行う。 文字描画のターミネーターを指定する。 文字の大きさを絶対値で指定する。 文字の大きさを相対値で指定する。 文字の傾きを指定する。 文字描画の方向を絶対値で指定する。 文字描画の方向を相対値で指定する。 文字のプロット位置を指定する。 指定された文字数だけペンを移動する。 文字や行の間隔を調整する。 ラベルバッファーにラベル用文字列をストアする。 ラベルバッファーの内容をプロットする。 ラベルバッファーの情報を出力する。
拡張文字プロット	CS CA SS SA CM UC DL	標準文字セットを指定する。 代替文字セットを指定する。 標準文字セットを選択する。 代替文字セットを選択する。 文字セットの選択と使用モードを指定する。 任意文字を描画する。 任意の文字セットを作成しダウンロードする。
プロット領域変更	IW OW OH OP RO	設定した領域に描画を制限する。 プリンターのウィンドウを出力する。 ペンが移動できる機械的限界領域の座標値を出力する。 スケーリングポイントを出力する。 座標系を回転する。
プリンタ制御	PG AF AH NR BF RP WD	用紙送り命令を行う。 プロット中の用紙送りを行う。 プロット中の用紙送りを行う。 装置をNOT-READY状態に設定する。 プロット命令をリプロットバッファーにストアする。 リプロットバッファーのデータでリプロットする。 メッセージをフロントパネルに表示する。

プロッターエミュレーションサポートコマンド

コード区分	コマンド	機　　能
デジタイズ	DP OD DC	デジタイズしたい点の座標を読み取る。 デジタイズした座標値とペン状態を出力する。 デジタイズモードを終了させる。
内部状態出力	IM OA OC OE OF OI OO OS OT	各マスク値を設定する。 現在のペンの座標と状態を出力する。 プリンターに送られた最後の座標とペンの状態を出力する。 エラー番号を出力する。 1ミリ当たりのプリンターユニットの数を出力する。 プリンターの機種番号を出力する。 プリンターのオプションの状態を出力する。 プリンターのステータスバイトを出力する。 カルーゼルの型とストールの占有状態を出力する。
デバイス制御命令	ESC. @ ESC. B ESC. E ESC. H ESC. I ESC. L ESC. M ESC. N ESC. O ESC. R ESC. T	プロッターの構成を設定する。 バッファースペースを出力する。 拡張エラーを出力する。 ハンドシェークモード1を設定する。 ハンドシェークモード2を設定する。 バッファーサイズを出力する。 出力モードを設定する。 拡張出力モードとハンドシェークモードを設定する。 拡張ステータスを出力する。 ハンドシェークを再設定する。 バッファーメモリーの割当を行う。

機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字スタイル制御コード	漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定 文字明度の指定 1バイト文字サイズの設定 2バイト文字サイズの設定 1バイト文字縦横サイズの設定 2バイト文字縦横サイズの設定	FS D FS $ FS Ø7 S1 FS Ø7 S2 FS 12 S1 FS 12 S2	○ × × × × ×	× ○ ○ ○ ○ ○
行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
文字ロード	1バイト/2バイトコード文字の登録	FS g	×	○
バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS\`p_1,p_2,p_3,p_4,p_5,p_6,p_7.$d_1d_2d_3d_4$···	○	○
面制御コード	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
ページ制御コード	縮小印字の設定 印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定 両面印刷設定	FS Ø5f FS f $c_1c_2c_3c_4c_5$. FS '	○ ○ ○	× ○ ○
領域指定イメージ	領域指定イメージ描画の設定	FS i	×	○
座標指定単位設定	座標指定単位の設定	FS <	×	○
文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS Ø6 F1- ØØ4	○	○
カスタマーバーコードの印刷	カスタマーバーコード書体の選択	FS Ø6 F2-$n_1n_2n_3$	○	○
漢字コード表切り替えのための制御コード	漢字コード表の設定	FS Ø5 F2	○	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画コード	楕円の描画 楕円弧の描画 自由曲線の描画（絶対座標モード） 自由曲線の描画（相対座標モード）	EL ED, EN BA BR	× × × ×	○ ○ ○ ○
プリンター単位指定	プリンター単位の設定	SU	×	○
塗りつぶしに関する設定	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
楕円弧描画	楕円弧の描画	SG	×	○
弓形描画	弓形の描画	CV	×	○
扇形描画	扇形の描画	FV	×	○
角丸矩形描画	角丸矩形描画	RB	×	○

文字スタイル制御コード

漢字文字幅2／15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定　FS D

全角漢字の文字幅を2／15インチ、文字サイズを9.5ポイントに設定します。

形　式　FS D

記述例

```
LPRINT CHR$（&h1C）; CHR$（&h44）;
または
LPRINT  CHR$（28）; "D";
```

文字明度の指定　FS $

テキストモードでの文字明度を指定します。

FS $は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0～100のパラメーターを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンターでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

形　式　FS $ p_1 .

- p_1 でテキストモードでの文字明度を指定します。
- p_1 の範囲は0～100が有効です。
- p_1 は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。（p_1=0で黒、p_1=100で白）
- p_1 省略時およびp_1 が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

記述例　テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h24）;"50.";
または
LPRINT  CHR$（28）;"$50.";
```

1バイト文字サイズの設定　FS Ø7S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS Ø 7 S 1 — c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4 で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4 の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h30）;CHR$（&h37）;CHR$（&h53）;CHR$（&h31）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"07S1-0200";
```

2バイト文字サイズの設定　FS Ø7S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS Ø 7 S 2 — c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4 で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4 の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h30）;CHR$（&h37）;CHR$（&h53）;CHR$（&h32）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"07S2-0200";
```

1バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S1

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 1 — c_1 c_2 c_3 c_4 — c_5 c_6 c_7 c_8

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_5 c_6 c_7 c_8で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h31）;CHR$（&h32）;CHR$（&h53）;CHR$（&h31）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h35）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S2

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 2 — c_1 c_2 c_3 c_4 — c_5 c_6 c_7 c_8

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_5 c_6 c_7 c_8 で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h31）;CHR$（&h32）;CHR$（&h53）;CHR$（&h32）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h35）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
        CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"12S2-0500-0200";
```

行桁制御印刷コード

2バイトコード文字の文字幅設定　FS p

2バイトコード文字の文字幅（印刷ピッチ）を設定します。

形　式　　FS p 2 , p_1 / p_2 .

- p_1／p_2で文字幅を設定します。
- p_1は文字幅の分子、p_2は文字幅の分母を表します。
- p_2を240に設定したとき、p_1は1～240の値が有効となります。
- p_2を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p_1	p_2	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/15インチ
3	20	3/20インチ

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみ設定可能でしたが、本プリンターでは1/240～240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例　2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ（30/240）に設定するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h70）;"2,30/240.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"p";"2,30/240.";
```

文字ロード

1バイト/2バイトコード文字の登録　FS g

外字パターンのロードをします。

形　式　FS g c_1 c_2 c_3 , p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 . c_4 c_5 d_1 … d_n

- c_1はこの制御コードのモードを表す1バイトの文字です。c_1によってこの制御コードは次の動作をします。

c_1	動作
R A M	登録 クリア 印刷文字選択

- c_2 c_3は印刷方式とキャラクターモードを指定します。

c_2	c_3	印刷方式 / キャラクターモード	
K	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	カタカナ
H	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	ひらがな
2	K	漢字	

- c_1がAのときは、c_2 c_3は次の意味を持ちます。
このとき、この制御コードはp_1 以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
C	1	1バイト系の全クリア
C	2	2バイト系の全クリア

- c_1がMのときは。c_2 c_3は次の意味を持ちます。
このとき、この制御コードはp_1以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
I	1	1バイト系は内部CGを印刷
R	1	1バイト系はダウンロード文字を印刷

- p_1 は文字の高さを表します。p_1 はc_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の高さをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi	動作
H or K	36	60	90	─
2の時	24 26 40	40 60 67	60 90 100	7.2ポイントの登録を意味する 10.8ポイントの登録を意味する 12ポイントの登録を意味する

- p_2は左スペース量を表します。p_2はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の左側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0〜23	0〜39	0〜59
P以外	0		

- p_3は文字幅を表します。p_3はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の文字幅をドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

またc_3=pのときは　$p_2+p_3+p_4≦24$　（240dpi）
$p_2+p_3+p_4≦40$　（400dpi）
$p_2+p_3+p_4≦60$　（600dpi）でなくてはなりません。

c_3	p_3		
	240dpi	400dpi	600dpi
N	24	40	60
H			
E	20	34	50
Q	14	24	35
P	1〜24	1〜40	1〜60
K	p_1	p_1	p_1

- p_4は右スペース量を表します。p_4はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の右側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0〜23	0〜39	0〜59
P以外	0		

- p_1〜p_4はc_1c_2の状態によっては省略可能な場合があります。省略可能な場合は次のとおりです。

c_1c_2	p_1	p_2	p_3	p_4
RK	不可	可（0）	不可	可（0）
RH	不可	可（0）	不可	可（0）
R2	不可	可（0）	可（p_1）	可（0）

（　）内は省略時の値

- c_4c_5は参照に使用する文字コードを表します。使用可能なコードは次のとおりです。

c_2=HまたはKのとき　21h≦c_4≦7Eh　80h≦c_4≦9Eh　A1h≦c_4≦FEh　c_5は指定しない
c_2=2のとき　76h≦c_4≦78h　20h≦c_5≦7Fh

上記以外の値を指定したときは、c_2=HまたはKのときはc_4までを、c_2=2のときはc_5までを読み捨ててシーケンスを終了します。

- d_1〜d_nはパターンデータをバイナリー表現で表します。データ数はp_1×p_4÷8とします。

- この制御コードでパラメーターに不正があったときはピリオドまでを読み捨てて、シーケンスを終了します。ただし文字コードに不正があったときは、文字コードまでを読み捨てます。どちらの場合でもパターンデータの読み捨てはしません（パターンデータはテキストデータとして扱い、印刷される）。

- 本プリンターでは、登録可能な文字数は次のとおりです。

  c_2=HまたはKのもの　128文字（1バイト系）
  c_2=2のとき　256文字（2バイト系）

  また文字の登録があった時、そのエリアに登録されていた前のパターンは同一ページ内では保証されません。

- 未登録の文字コードや文字サイズは空白が登録されているのと同様の印刷を行います。

バーコードの印刷

バーコードの印刷　FS `

チェック

バーコードをご使用になる際の注意

- 読み取り装置によっては、本プリンターで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- p_2で指定されるHRCはOCR-Bフォントで印刷されます。ただし、OCR-Bフォントの最小ピッチは10CPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなることがあります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から超えた場合にはデータを読み捨てます（オートリターンしません）。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
  — 縦横拡大指定（FS m）
  — 網かけ、反転（FS n）
  — アンダーライン／オーバーライン（ESC X）
  — 縦方向オフセット（FS t）
  — 固定ドットスペース（FS w）

形　式　　FS ` p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 , p_6 , p_7 . d_1 d_2 d_3 d_4 …

- p_1はバーコードの種類を設定します。

  ＜201PLエミュレーションモード＞

p_1		バーコードの種類
Ø	1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
Ø	2	NW-7
Ø	3	JAN
Ø	4	CODE 39
Ø	5	INDUSTRIAL 2 OF 5
Ø	6	INTERLEAVED 2 OF 5

＜ページプリンターモード＞

p_1	バーコードの種類
1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE 39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5
7	UCC/EAN-128

p_1の指定により、p_2～p_7、d_1～d_nの値は変化します。

- p_2はバーコードに対するHRC（付加文字）の有無およびその位置を指定します。

p_2	HRC
Ø	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける
3	新料金代理収納ガイドライン形式で文字を下につける（p_1=7の時のみ有効）

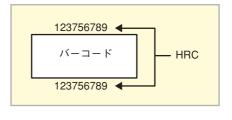
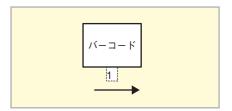
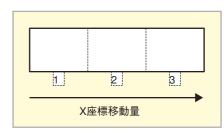
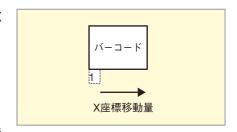
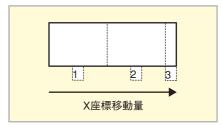
＊ HRCはバーコードの下または上にOCR-Bフォントで印刷します。

バーコードとOCR文字のボディフェースは隣接するべきだが、ページモードでバーコードの上に文字がつく場合に限り、4dot（240dpi）の隙間を空けている。

HRCの均等割付け方法

バーコードより文字列の方が長い場合は、文字幅単位で印刷されます。（以下の例は文字列よりバーコードの方が長い場合を示します。

＜201PLエミュレーション＞

1文字の場合、バーコードの幅の中央に配置し、バーコードの幅の分だけX座標を移動します。

複数文字の場合、バーコードの幅を文字数で割り、その中央に配置します。

<ページプリンターモード>
1文字の場合、バーコードの左側に配置し、文字の幅の分だけX座標を移動します。

複数文字の場合、バーコードの幅から1文字幅引き、文字数-1で割り、その左端に配置します。

- p_3はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。

  <201PLエミュレーション>
  指定範囲：2≦p_3≦4（160dpi）

  <ページプリンターモード>
  指定範囲：4≦p_3≦10（400dpi）、4≦p_3≦15（600dpi）

- p_4はバーコードのワイド／ナローエレメント比を指定します。
  p_4=30のみ有効

- p_5はバーコード高さをドット単位で指定します。

  <201PLエミュレーション>
  0≦p_5≦999（160dpi）
  p_5が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより1/120インチ単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ＋HRCの高さです。

  <ページプリンターモード>
  指定範囲：
  10≦p_5≦1665（400dpi　1ドット＝約0.064mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）
  10≦p_5≦2498（600dpi　1ドット＝約0.042mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）

- p_6はデータキャラクターの長さをバイト単位で指定します。
  この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効な p_6
1	2
2	0～34
3	13または8
4	0～34
5	0～34
6	0～34(偶数のみ)
7	1～25

- p_7はp_3、p_5の解像度を指定します。

  <201PLエミュレーション>
  省略してください。（160dpi）

  <ページプリンターモード>
  指定：p_7=400（400dpi）、p_7=600（600dpi）

- d_1、d_2、d_3、d_4･･･はデータキャラクターまたはスタート／ストップキャラクター（p_1=1のとき）です。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。

記述例　p_1=1、スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき

LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h60）;"1,,,,,2,.ab";
または
LPRINT　CHR$（&h1C）;"`1,,,,,2,.ab";

補足

バーコードの種類によって、パラメーターの意味が少しずつ異なります。

- p_1=1のとき（NW-7のスタート／ストップキャラクターを指定します。）
  - バーコードの印刷ではなく、バーコードの種別NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート／ストップキャラクターの設定を行います。
  - スタート／ストップキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。（初期状態は“a”）
    a b c d e n t ＊ A B C D E N T
    また、p_2～p_5およびp_7は省略されます。
    記述例スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき
    LPRINT CHR$（&h1C）;"`1,,,,,2,.ab";

- p_1=2のとき（NW-7）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 － ＄ . ／ : ＋
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=3のとき（JAN）
  - p_3の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
  - p_6は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - JAN標準でデータキャラクターの1バイト目（フラグキャラクター）が規定外のときは、データキャラクターも含めて読み捨てます。
  - レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。

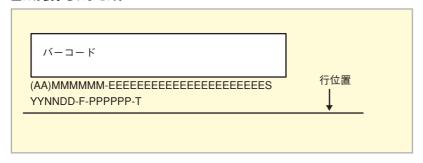
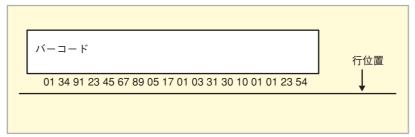
- p_1=4のとき（CODE-39）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクター（“＊”固定）のみ印刷します。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 － ＄ . ／ ＋ % SP（スペース）
    A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=5のとき（INDUSTRIAL 2 OF 5）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=6のとき（INTERLEAVED 2 OF 5）
  - p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
  - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - 2つのデータキャラクターを1組のバーコードデータとして印刷します。
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- p_1=7のとき（UCC/EAN-128）
  - p_3の値が最小バーの幅に対応し、それに対して1:2:3:4の幅で他のバーを表現します。
  - p_6（データキャラクターの長さ）は1～25（バイト）とし、それ以外の時はピリオドまで読み捨てます。
  - データキャラクターとして指定可能な文字はASCIIコードすべてとし、バーコードデータのキャラクター構成は、CODE-128と等しい。
  - 初期コードセットは、CODE Cです。
  - 1個のデータキャラクターを1つのバーコードデータとして印刷します。HRCは本装置の1バイト系文字で印刷可能であればそのまま印刷し、それ以外の場合はスペースを印刷します。HRCは、コードセットに従います。
  - データの最後のストップキャラクターを自動的に負荷して印刷します。
  - データキャラクターには、特殊キャラクターを含みます。特殊キャラクター対応コードを以下に示します。

特殊キャラクター	HEX 表現値
START(CODE A)	F0
START(CODE B)	F1
START(CODE C)	F2
SHIFT	F3
CODE A	F4
CODE B	F5
CODE C	F6
FNC1	F7
FNC2	F8
FNC3	F9
FNC4	FA

  - p_2=3指定の場合は、バーコードの下に以下のようなフォーマットでHRCを付加します。HRCにおける改行表示、括弧「()」、ハイフン「-」は自動的に付加されますが、バーコードには含まれません。また、これらの自動的付加は桁位置で判断し、データの正当性や内容は問いません。データの25バイト目に付加されるチェックデジットは、バーコード上には表示しますが、HRC上には表示されません。

＜補足＞
p_2=1（CODE C）の場合

面制御コード

フォーム登録の開始／参照　FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形　式　FS u c_1 , p_1 , c_2 .

- c_1で登録か参照かを設定します。

c_1	機　能
1	フォーム登録モードを設定（フォーム登録を開始）
2	フォーム参照モードを設定

- p_1でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1～100です。
- c_2はc_1=1（フォーム登録モード）のときは必ず省略してください。c_1=2（フォーム参照モード）のときは、c_2でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c_2	機　能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画（参照）します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

チェック

100面までの登録が可能です。実際にはメモリーの容量に依存しますが、オプションの増設メモリーを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また、従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能となっています。

記述例　フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h75）;CHR$（&h31）;CHR$（&h2C）;"2";CHR$（&h2E）;
または
LPRINT　CHR$（28）;"u1,2.";

ページ制御コード

縮小印字の設定　FS Ø5f

形　式　FS Ø 5 f c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1、c_2、c_3で縮小率を設定します。
  組み合わせは次の中から選択します。

c_1	c_2	c_3	設定内容
1	Ø	Ø	縮小印字解除(原寸)
Ø	8	Ø	4/5縮小印字
Ø	6	7	2/3縮小印字

- c_4で縮小基準位置を設定します。
  設定は次のとおりです。

c_4	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

- すべての文字に対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印字します。
- 行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印字します。
- 縮小印字は受信したデータを2／3または4／5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です。
- プリンターがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また、文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例　縮小率を4／5、左端基準で印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）；CHR$（&h30）；CHR$（&h35）；
CHR$（&h66）；"080L"
または
LPRINT　CHR$（28）；"05f"; "080L"
```

印刷方向の設定およびホッパの選択　FS f c_1 c_2 c_3 .

プリンターの印刷方向およびホッパーの設定を行います。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターではMP指定、手差し指定が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。ただし、MPと手差しは排他で使用可能となるため、それぞれのパラメーターは同じ動作を行います。

c_2	c_3	機　能
M	Ø	手差し指定
M	P	MP指定

記述例　印刷方向をポートレートで、給紙口にMPを指定して印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PMP.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PMP.";
```

印刷方向の設定および用紙サイズの設定　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

プリンターの印刷方向および用紙サイズの設定を行います。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターでは封筒指定、往復はがき指定が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

c_2	c_3	c_4	c_5	機　能
E	N	V	4	封筒
U	P	P	C	往復はがき

記述例　印刷方向をポートレートで、往復はがきに印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PUPPC.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PUPPC.";
```

印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

プリンターの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターでは縮小／拡大機能が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

<追加パラメーター>

c_2	c_3	c_4	c_5	機　能
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4×2→A4
U	P	B	5	B5×2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

記述例　印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PA4A3.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PA4A3.";
```

両面印刷設定 FS '

両面印刷を設定します。

形　式　FS ' c_1 , c_2 , p_1 , p_2 .

- c_1で印刷モードを設定します。

c_1	印刷モード
S	片面印刷
B	両面印刷

- c_1で片面印刷を指定した場合は、c_2以降のパラメーターは無効になります。
- c_2で両面印刷における用紙の印刷開始面を設定します。

c_2	印刷面
F	表面
B	裏面

- c_2を省略した場合は、表面を印刷開始面とします。
- p_1で綴じ代を付加する位置を設定します。

p_1	印刷面
1	長辺綴じ位置1
2	短辺綴じ位置1
3	長辺綴じ位置2
4	短辺綴じ位置2

- p_2で綴じ代として追加する余白量を1mm単位で設定します。範囲は、$0 \leqq p_2 \leqq 20$です。
  綴じ代を付けない場合は、0を指定します。
- p_1、p_2を省略した場合、メニューの設定に従います。
- 本コマンドはページの先頭で使用してください。ページの途中で指定した場合は、改ページを行い、以前のページの用紙をすべて排出した後で、本コマンドの設定に従った印刷を開始します。

記述例　印刷開始面が表面の両面印刷で、長辺綴じ1、余白量を10mmに設定するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）; CHR$（&h27）； "B,F,1,10.";
または
LPRINT　CHR$（28）; " ' "; "B,F,1,10.";
```

領域指定イメージ

領域指定イメージ描画の設定　FS i

描画座標を原点として指定された領域にラスターイメージを描画します。

形　式　FS i p_1 , p_2 , p_3 , p_4 / p_5 , p_6 / p_7 , p_8 , p_9 . d_1 … d_n

- p_1はイメージ領域のXサイズです。
- p_2はイメージ領域のYサイズです。
- p_3はデータの形式です。
- p_4はX方向拡大率の分子です。
- p_5はX方向拡大率の分母です（省略時は1と同等)。
- p_6はY方向拡大率の分子です。
- p_7はY方向拡大率の分母です（省略時は1と同等)。
- p_8はパターンデータのバイト数です。
- p_9はイメージデータの解像度を指定します。p_9を省略した場合、または規定値以外の数値を指定した場合、解像度は240dpiになります。

p_9	解像度
16Ø	160dpi
2ØØ	200dpi
24Ø	240dpi
3ØØ	300dpi
4ØØ	400dpi
6ØØ	600dpi
12ØØ	1200dpi

- d_1～d_nはnバイトのラスターイメージデータ（バイナリー形式）です。

座標指定単位設定

座標指定単位の設定 FS <

面モード時の移動量の基本単位を設定します。

形　式　　FS < p_1 / p_2 , c_1 .

- p_1は単位量の分子を表します。
- p_2は単位量の分母を表します。
- c_1はインチまたはmmの識別を表します。
- p_1、p_2、c_1は下記の値が有効です。

p_1	p_2	c_1	座標指定単位
1	16Ø	i	1/160インチ
1	2ØØ		1/200インチ
1	24Ø		1/240インチ
1	4ØØ		1/400インチ
1	6ØØ		1/600インチ
1	72Ø		1/720インチ
1	12ØØ		1/1200インチ
1	1ØØ	m	1/100mm

- 描画座標指定（FS e）、座標指定罫線（FS l）、領域指定網かけ（FS s）の領域の大きさ、全点アドレス印刷モード（FS a）の移動量、クリッピング領域指定（FS #）が、この制御コードで設定された単位で指定されます。
- 領域指定イメージのビットパターンデータは影響を受けません。
- 上記制御コードの後に、この単位設定を実行しても、それまでに設定した座標、大きさ、移動量などは変化しません。
- p_1が省略された場合は1、p_2が省略された場合は240、c_1が省略された場合はiとみなされます。
- 本コマンドを再度受信するまでは有効です。
- 以下の場合、単位は1/240インチとなります。

① POWER ON時
② 操作パネルでリセットが実行されたとき
③ ソフトウエアリセットを受けたとき
④ インプットプライムを受けたとき

文字セット制御コード

OCR-Bフォントの指定　　FS Ø6F1-ØØ4

FS Ø 6 F 1 — Ø Ø 4

1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

OCR-Bフォントについて

本プリンターはOCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンターの場合10CPI（12ポイント、パイカサイズ）のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大／縮小、ページの拡大／縮小を行うと印刷できません。
- OCR-Bフォントの印刷は本プリンターのNPDLモードでのみ可能です。またOCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- WindowsからOCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。
  - アプリケーションのフォント選択で「OCR-Bフォント」を選択します。

    このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお、文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。またボールド、イタリック（斜体）、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。
  - アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンターフォントがない場合は、本プリンタードライバーの「TrueTypeフォントのプリンターフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します（詳細はプリンタードライバーのヘルプを参照してください）。

    なおOCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」などの固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。
- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印刷にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。
- トナー節約機能は使用しないでください。OCR読み取り装置がうまく読み取れない場合があります。

カスタマーバーコードの印刷

カスタマーバーコード書体の選択　FS Ø6F2

カスタマーバーコードはJANコードなどのバーコードとは異なり、2バイト文字として印刷を行います。
このため、カスタマーバーコードの印刷には、まず2バイト文字書体の選択を行う必要があります。

形　式　FS Ø 6 F 2 - n_1 n_2 n_3

- n_1、n_2、n_3は3桁の文字表現の10進数（‘123’など）であり、書体番号を示します。
  但し、例外として‘CLR’（43h 4Ch 52h）のパラメーターは指定可能です。
- 初期状態ではプリンターのメニュー機能による設定が有効となります。
- 本制御コードによる書体選択制御コードにより他の書体が選択されるまで、現在の書体選択が有効です。
- 初期化処理により書体は初期状態に戻ります。

カスタマーバーコードの書体番号を次のように割り当てます。

851：カスタマーバーコード書体（回転なし）
852：カスタマーバーコード書体（反時計回り90°回転）
853：カスタマーバーコード書体（反時計回り180°回転）
854：カスタマーバーコード書体（反時計回り270°回転）
CLR：初期状態の書体に戻す。（メニュー設定に従う）

- 2桁目の数字‘5’は文字の太さを指定するパラメーターですが、カスタマーバーコード書体の場合は意味を持ちません。
- 8から始まる書体番号において上記に合致しない場合は、カスタマーバーコード書体への切り替えは行わず読み捨てます。その際、書体選択の初期化は行いません。（例：850、861、867）

チェック

- 書体番号851を選択して縦書きで印刷すると書体番号852の印刷結果と等しくなります。同様に書体番号852の縦書きは書体番号853、書体番号853の縦書きは書体番号854、書体番号854の縦書きは書体番号851となります。
- 201PLエミュレーションで使用する場合、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来サポートされておりませんが、カスタマーバーコード書体選択時のみ、201PLエミュレーションでも有効となります。カスタマーバーコード以外の書体を選択した場合には、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来どおり無効コマンドとなります。

チェック

バーコードをご使用になる際のご注意

- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。

カスタマーバーコードのキャラクター指定

カスタマーバーコードの21種のキャラクターは次の文字コードを割り当てます。

数字（‘0’ ～ ‘9’）　　　　　　：2330h～2339h（数字の ‘0’ ～ ‘9’）
ハイフン　　　　　　　　　　　：215Dh（マイナス記号 ‘－’）
英字用制御コード（CC1～CC3）：2361h～2363h（小文字アルファベットの ‘a’ ～ ‘c’）
予備用制御コード（CC4～CC8）：2364h～2368h（小文字アルファベットの ‘d’ ～ ‘h’）
スタートコード（STC）　　　　：2163h（不等号 ‘<’）
ストップコード（SPC）　　　　：2164h（不等号 ‘>’）

上記外の文字コードが指定された場合は全角スペースに置き換えて印刷します。

カスタマーバーコードのサイズの指定

日本郵政公社のカスタマーバーコードの仕様によると、読み取りのためにはバーコードパターンを文字とみなしたときにその大きさを8ポイントから11.5ポイントまでの範囲にする必要があります。（この範囲内で任意の値を指定できます）
一方、プリンタはカスタマーバーコードといえども文字であるため、NPDL2、201PLそれぞれで定義された文字制御に関するすべての機能を有効とします。（例えば、上記範囲から外れる文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など）
このため、カスタマーバーコードの印刷を行うアプリケーションは適切な印刷結果が得られるように留意してください。
また、プリンター側の機能で縮小や拡大を指定しての印刷においても適切な印刷結果が得られなくなります。

カスタマーバーコード（キャラクター指定とバーの組み合わせ）

カスタマーバーコードの体系について
（バーの種類とは、ロングバー：1、セミロングバー（上）：2、セミロングバー（下）：3、タイミングバー：4としたもの。）

•数字（‘0’ ～ ‘9’）

キャラクター	0	1	2	3	4
文字コード	0 (2330h)	1 (2331h)	2 (2332h)	3 (2333h)	4 (2334h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1 4 4	1 1 4	1 3 2	3 1 2	1 2 3

キャラクター	5	6	7	8	9
文字コード	5 (2335h)	6 (2336h)	7 (2337h)	8 (2338h)	9 (2339h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1 4 1	3 2 1	2 1 3	2 3 1	4 1 1

• ハイフン

キャラクター	ー
文字コード	ー (215Dh)
カスタマーバーコード	
バー種類	4　1　4

• 英字用制御コード

キャラクター	CC1	CC2	CC3
文字コード	a (2361h)	b (2362h)	c (2363h)
カスタマーバーコード			
バー種類	3　2　4	3　4　2	2　3　4

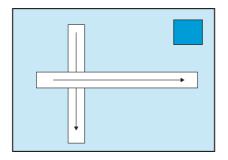
• 予備用制御コード

キャラクター	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
文字コード	d (2364h)	e (2365h)	f (2366h)	g (2367h)	h (2368h)
カスタマーバーコード					
バー種類	4　3　2	2　4　3	4　2　3	4　4　1	1　1　1

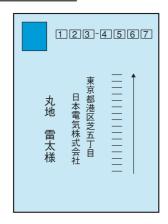
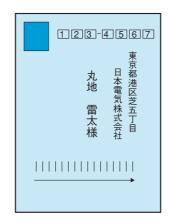
• スタート／ストップコード

キャラクター	スタート	ストップ
文字コード	＜ (2163h)	＞ (2164h)
カスタマーバーコード		
バー種類	1　3	3　1

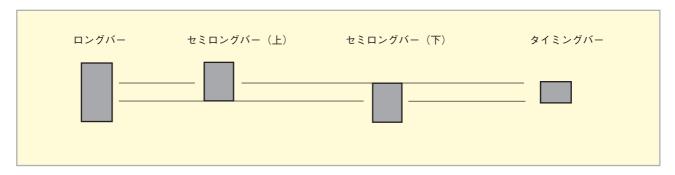
備考（宛名書きとカスタマーバーコードとの関係）

カスタマーバーコードは、封書の切手の位置（はがきの料金印刷部分）を右上に位置付けたときに、下図の示すように上から下、左から右の方向へ印刷されます。

宛名が横書きの場合

日本郵政公社の資料には記載されていない印刷例

宛名が縦書きの場合

カスタマーバーコードの仕様と注意点

カスタマーバーコードの形状

カスタマーバーコードは、上下にバーを延ばしたロングバー、上方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（上）、下方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（下）およびタイミングバーの4つの形状のバーを3本組み合わせて1つのキャラクターを表す4ステイト3バーとします。

カスタマーバーコードの寸法

aポイント、8、9、10、11.5ポイントの場合、次表のとおりとして（10ポイントの場合、a/10=1）、8≦a≦11.5の大きさを許すものとします。

a ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.6×a/10	3.40×a/10〜3.60×a/10
タイミングバー長さ	2	1.2×a/10	1.05×a/10〜1.35×a/10
バーピッチ	2	1.2×a/10	0.95×a/10〜1.30×a/10
バー幅	1	0.6×a/10	0.50×a/10〜0.70×a/10
バースペース	1	0.6×a/10	0.45×a/10〜0.60×a/10

8≦a≦11.5

8 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	2.88	2.72〜2.88
タイミングバー長さ	2	0.96	0.84〜1.08
バーピッチ	2	0.96	0.76〜1.04
バー幅	1	0.48	0.40〜0.56
バースペース	1	0.48	0.36〜0.48

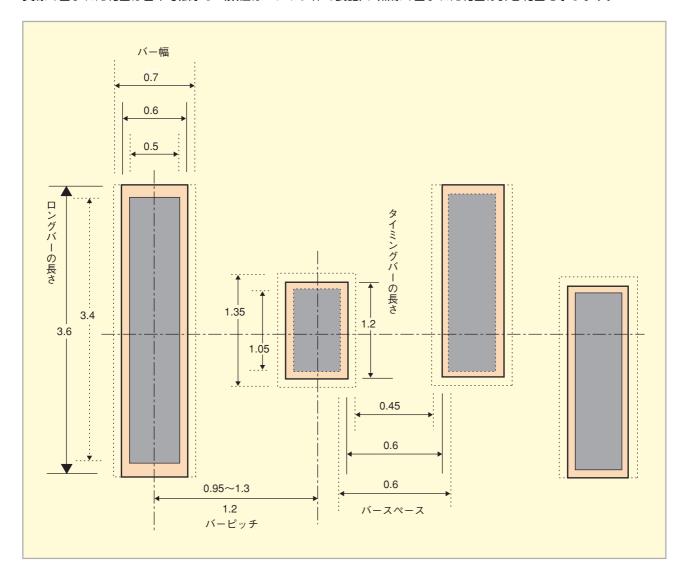
9 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.24	3.06〜3.24
タイミングバー長さ	2	1.08	0.95〜1.22
バーピッチ	2	1.08	0.86〜1.20
バー幅	1	0.54	0.45〜0.63
バースペース	1	0.54	0.41〜0.54

10 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.60	3.40〜3.60
タイミングバー長さ	2	1.20	1.05〜1.35
バーピッチ	2	1.20	0.95〜1.30
バー幅	1	0.60	0.50〜0.70
バースペース	1	0.60	0.45〜0.60

11.5 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	4.14	3.91～4.14
タイミングバー長さ	2	1.38	1.21～1.55
バーピッチ	2	1.38	1.09～1.50
バー幅	1	0.69	0.58～0.81
バースペース	1	0.69	0.52～0.69

（注1）カスタマーバーコードは、すべての規定（ロングバーの長さ、タイミングバーの長さ、バーピッチ、バー幅およびバースペース）が許容範囲に収まらなければなりません。
（注2）各比率に対して、許容範囲の設定に変更がありますが、これは印刷時のバーの太りなどを考慮したものです。

【例1】カスタマーバーコードの寸法（10p相当）

実線で囲まれた範囲は基準寸法示し（数値はゴシック体で表記）、点線で囲まれた範囲は許容範囲を示します。

【例2】ドット割付寸法（参考）

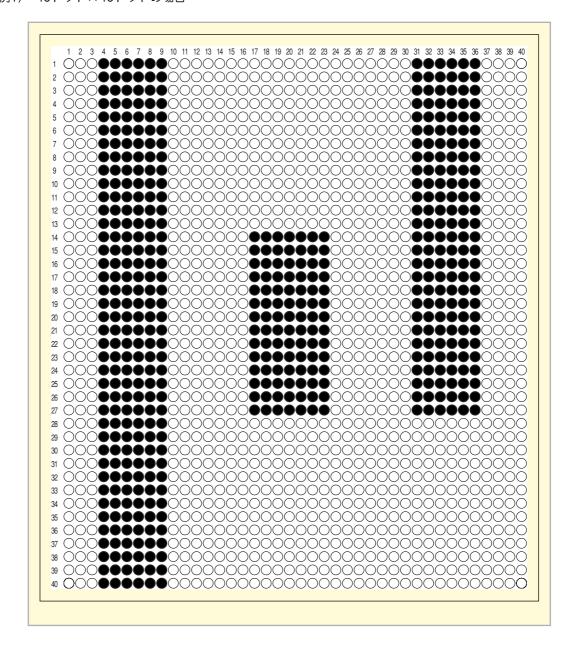
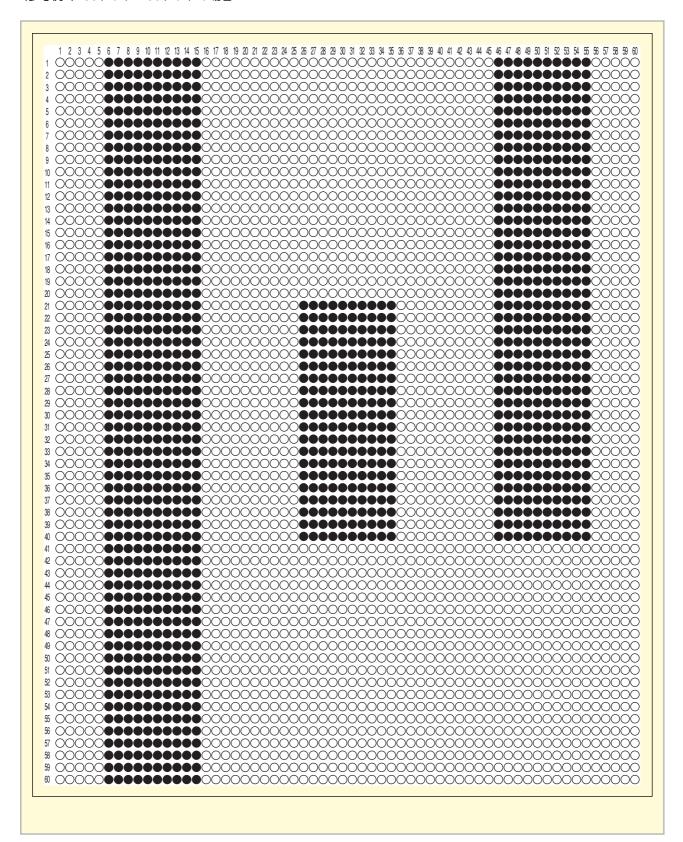
レーザープリンターなどドットマトリックス形式で印刷する場合などは､バーコードの印刷上がりを規定の比率にできるかぎり近づけます。この点を考慮して下記にドット構成の参考を記載します。

マトリックスサイズ	横７分割 W, B, W, B, W, B, W	縦３分割 U, M, L
24×24	2, 4, 4, 4, 4, 4, 2	8, 8, 8
30×30	2, 5, 5, 5, 5, 5, 3	10, 10, 10
32×32	3, 5, 5, 5, 6, 5, 3	11, 10, 11
40×40	3, 6, 7, 7, 7, 6, 4	13, 14, 13
60×60	5, 10, 10, 10, 10, 10, 5	20, 20, 20

（B：バー部のドット数、W：空白部のドット数、U：バー上部のドット数、
M：タイミングバーのドット数、L：バー下部のドット数）

- 上記の表にないマトリックスサイズ（例：48×48等）のドット振り分けは比例的に準じます。

各マトリックスサイズにおけるドットの割付の実際について、次に参考例を示します。

〈参考例1〉 40ドット×40ドットの場合

〈参考例2〉60ドット×60ドットの場合

カスタマーバーコードのフォーマットおよび桁数

カスタマーバーコードのフォーマットは次のとおりとします。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号を連結するハイフンは省くものとします。また、英字1文字は制御コードと数字コードの組み合わせにより表現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット　：スタートコード＋新郵便番号＋住所表示番号＋チェックデジット＋ストップコード
バーコード桁数：　(1)　　(7)　　(13)　　(1)　　(1)

住所表示番号が規定のけた数13桁に対して過不足のある場合には、次のように調節します。

13桁を越える場合：13 桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目に当たる場合は、この制御コードに該当するバーコードまで含めるものとします。

13桁に満たない場合：13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとします。

また、チェックデジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。

各キャラクターのチェック用数字への置き換えは、次のとおりとします。

バーコード用キャラクター	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC 1	CC 2	CC 3	CC 4	CC 5	CC 6	CC 7	CC 8
チェック用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンターは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピューターから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定　FS Ø5F2

形　式　FS Ø 5 F 2 — c_1 c_2

- c_1 c_2で漢字コード表を設定します。

c_1c_2	漢字コード表
ØØ	JIS 1978年版(JIS C6226-1978)
Ø1	JIS 1983年版(JIS X0208-1983)
Ø2	JIS 1990年版(JIS X0208-1990)

- 本プリンターで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理などの都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピューターが対応していないコード表を選択した場合には、コンピューターのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例　JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h30）;CHR$（&h35）;CHR$（&h46）;
        CHR$（&h32）;CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h31）;
または
LPRINT  CHR$（28）;"05F2-01";
```

図形の描画コード

楕円の描画　EL

現在の座標位置を中心に楕円を 描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形　式　E L r_1 , r_2 . θ ;

- r_1は楕円の長軸を、r_2は楕円の短軸を示します。
- θは楕円の回転角度を示します。θは省略した場合0°とみなします。
- θ=360以上を指定した場合、360の剰余とみなします。またθは負の値も設定可能です。たとえば - 1°は359°とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- r_1、r_2は線幅の1/2以下でなければなりません。
- r_1、r_2は下記の値以下でなければなりません。
  400dpiで印刷する場合：　32767-400=32367　（約2055mm）
  600dpiで印刷する場合：　32767-600=32167　（約1362mm）

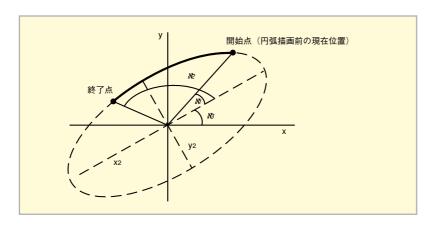
記述例　長軸方向1000、短軸方向500の楕円を30°回転させて描画するとき

```
LPRINT　CHR$（&h45）;CHR$（&h4C）;"1000, 500, 30;";
または
LPRINT　"EL1000, 500, 30;";
```

楕円弧の描画　ED, EN

楕円弧を描きます（直線がはじめに引かれる場合があります）。

形　式　E D x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , θ_1 , θ_2 , θ_3 ;

E N x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , θ_1 , θ_2 , θ_3 ;

- （x_1, y_1）は楕円の中心座標を示します。
- x_2とy_2はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- θ_1とθ_2はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0〜359（度単位）が有効です。
  θ_2が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。θ_1は省略できません。
- θ_3は楕円弧の回転角度を示します。θ_3で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。
  θ_3が省略された場合、回転なしと解釈されます。
- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。

- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド（RC、RO）の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例　長中心点（100,100）、軸方向1000、短軸方向500で、開始角度15°、終了角度120°の楕円弧を反時計方向に30°回転させて描画するとき

LPRINT　"ED100,100,1000,500,15,120,30;";

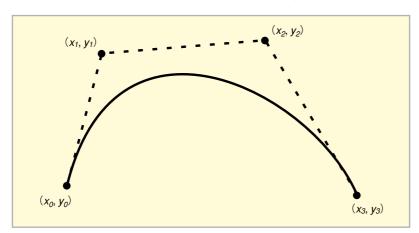
チェック

従来は楕円を回転（傾斜）させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

自由曲線の描画（絶対座標モード）　BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

形　式　B A x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 … , x_n , y_n ;

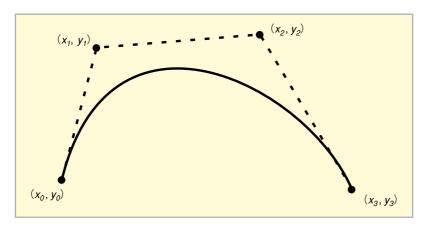
- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。
- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例　現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

LPRINT　CHR$（&h42）;CHR$（&h41）;"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT　"BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";

自由曲線の描画（相対座標モード） BR

曲線を相対座標モードで描画します。

形　式

B R x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 … , x_n , y_n ;

- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。

- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例　現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT  CHR$（&h42）;CHR$（&h52）;"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT  "BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

プリンター単位指定

プリンター単位の設定　SU

図形モードのプリンター単位を設定します。

形　式　　S U n_1 , n_2 , n_3 ;

- n_1、n_2、n_3でプリンター単位を設定します。

n_1, n_2, n_3	プリンター単位
1,16Ø,Ø	1/160インチ
1,2ØØ,Ø	1/200インチ
1,24Ø,Ø	1/240インチ
1,4ØØ,Ø	1/400インチ
1,6ØØ,Ø	1/600インチ
1,72Ø,Ø	1/720インチ
1,12ØØ,Ø	1/1200インチ
1,1ØØ,Ø	1/100ミリ

- プリンター単位の初期設定は 1/240 インチです。初期化動作（電源 ON、操作パネルのリセット操作、リセットコマンド他）およびイニシャライズ（IN）制御コードにより1/240インチに初期化されます。
- プリンター単位設定により初期化が実行されます。
- 上記以外の組み合わせは無効です。
- パラメーターを省略することはできません。省略した場合、コマンドは無効となります。

塗りつぶしに関する設定

グレーレベルパターンの設定　SG

フィル描画（FL, EL）や閉領域塗りつぶし描画（PI）で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

SGは形式、パラメーターの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンターでは64階調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

形　式　　S G n_1 , n_2 ;

- n_1、n_2は明度を示します。

パラメーター	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0～100
n_2	線分描画で使用	0～100

- n_1、n_2の設定範囲は0（黒ベタ）から100（白）までです。（初期値は0です。）
- n_1、n_2とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は以下の①～④まで有効です。

  ① 初期化動作（電源ON、リセット動作など）
  ② イニシャライズコマンド（IN）実行
  ③ 初期化を伴うコマンド（RC、SU、DF）の実行
  ④ 塗りつぶしパターン選択（PP）の実行

- 塗りつぶしパターン選択コマンド（PP）が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし（PI）の使用は避けること。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45°です。
- パラメーターを省略したとき、いずれか一方でもパラメーターを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメーター値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第 1 位を四捨五入した値です。

  パターン番号 ＝ パラメーター × 63/100

  （例）　パラメーターで70を指定するとき
  70 × 63/100 ＝ 44.1
  選択されるパターンはパターン番号44となります。

記述例　面分描画での明度を50、線分描画での明度を0（黒）に設定するとき

```
LPRINT　CHR$（&h53）;CHR$（&h47）;"50,0;";
または
LPRINT　"SG 50,0;";
```

楕円弧描画

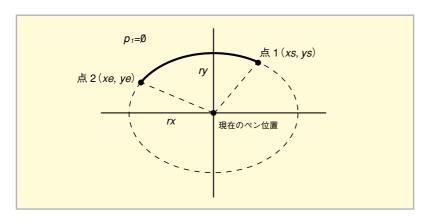
楕円弧の描画　AV

矩形領域に内接する楕円弧を描画します。

形　式　A V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p_1 ;

パラメーター

① *rx*.............x半径
② *ry*.............y半径
③ *xs*............点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*............点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*............点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*............点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（xe、ye）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画方向に従い描画します。
- p_1＝0の時、反時計回り
  p_1＝1の時、時計回り
- 省略時は反時計回りになります。
  p_1に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が中心点と同じ場合、楕円弧を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2>半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画するとき

```
LPRINT  CHR$（&h41）; CHR$（&h56）; rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ;
または
LPRINT  " AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ; "
```

弓形描画

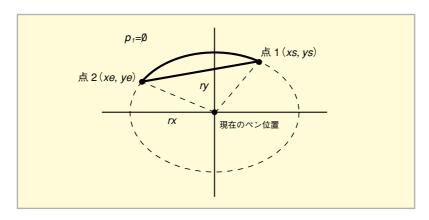
弓形の描画 CV

矩形領域に内接する楕円弧を基に弓形を描画する。

形　式　C V *rx* , *ry* , *xs* , *ys* , *xe* , *ye* , p_1 , p_2 ;

パラメーター

① *rx*.............x半径
② *ry*.............y半径
③ *xs*............点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*............点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*............点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*............点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.............描画モード
⑧ p_2.............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に弓形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画する。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、弓形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする弓形を描画するとき

LPRINT　CHR$（&h43）; CHR$（&h56）; " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT　"CV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "

扇形描画

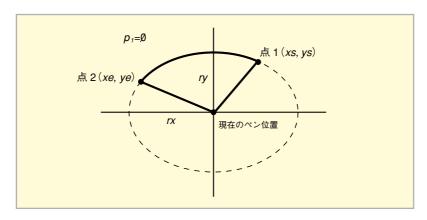
扇形の描画　FV

矩形領域に内接する楕円弧を基に扇形を描画します。

形　式　F V *rx* , *ry* , *xs* , *ys* , *xe* , *ye* , p_1 , p_2 ;

パラメーター

① *rx*.............x半径
② *ry*.............y半径
③ *xs*............点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*............点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*............点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*............点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.............描画モード
⑧ p_2.............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に扇形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、扇形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする扇形を描画するとき

```
LPRINT   CHR$（&h46）; CHR$（&h56）; " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT   "FV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "
```

角丸矩形描画

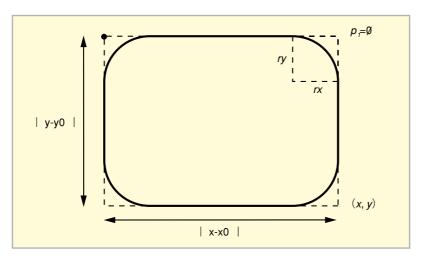
角丸矩形の描画　RB

指定された2点を基に角丸矩形を描画する。

形　式　　R B *x* , *y* , *rx* , *ry* , p_1 ;

パラメーター

① *x* ....矩形の対角のx座標（絶対座標）
② *y* ....矩形の対角のy座標（絶対座標）
③ *rx* ....角丸のx半径
④ *ry* ....角丸のy半径
⑤ p_1.............描画モード

- 現在のペン位置からx、yで示される矩形の角に半径rx、ryの1/4楕円を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- ｜x-x0｜＞2 × *rx*かつ｜y-y0｜＞2 × *ry*のとき角丸めを行い、それ以外は角丸めを行いません。
- *x*、*y*半径が32767 - 解像度を超える場合は、32767 - 解像度に丸める。
- 対角点の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　　現在のペン位置から *x*、*y*で示される矩形に半径 *rx*、*ry*の角丸矩形を描画するとき

```
LPRINT  CHR$（&h52）; CHR$（&h42）; " x, y, rx, ry, p1; ";
または
LPRINT  " RB x, y, rx, ry, p1; ";
```

ディスプレイ表示一覧

ディスプレイの表示の一覧を以下の表に示します。

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	給紙方法に関する表示	ホッパ XXX XXX	ホッパー給紙を選択しています。
		ホッパ1 XXX XXX	上から1段目のホッパーからの給紙を選択しています。*[1]
		ホッパ2 XXX XXX	上から2段目のホッパーからの給紙を選択しています。*[1]
		ホッパ3 XXX XXX	上から3段目のホッパーからの給紙を選択しています。*[1]
		ホッパ4 XXX XXX	上から4段目のホッパーからの給紙を選択しています。*[1]
		MP XXX XXX	MP給紙を選択しています。*[2]
		テサシ XXX XXX	手差し給紙を選択しています。*[3]
	用紙サイズに関する表示	XXX A3 XXX	A3サイズの用紙を選択しています。
		XXX B4 XXX	B4サイズの用紙を選択しています。
		XXX B5 XXX	B5サイズの用紙を選択しています。
		XXX A5 XXX	A5サイズの用紙を選択しています。
		XXX LT XXX	レターサイズの用紙を選択しています。
		XXX ハガキ XXX	はがきサイズの用紙を選択しています。
		XXX フウトウ XXX	封筒サイズの用紙を選択しています。
		XXX A4タテ XXX	A4サイズ（縦置き）の用紙を選択しています。
		XXX A4ヨコ XXX	A4サイズ（横置き）の用紙を選択しています。
		XXX ハガキ2 XXX	往復はがきサイズの用紙を選択しています。
		XXX テイケイガイ XXX	定形外用紙を選択しています。
	縮小／拡大モードに関する表示*[4]	XXX A4→A3 XXX	A4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX B4→A3 XXX	B4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX A3→B4 XXX	A3サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX LP→B4 XXX	帳票サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX A4→B4 XXX	A4サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX B5→B4 XXX	B5サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX A3→A4 XXX	A3サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX B4→A4 XXX	B4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX LP→A4 XXX	帳票サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX A4 × 2 XXX	A4サイズ2ページ分のデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX B4→B5 XXX	B4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX A4→B5 XXX	A4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX B5 × 2 XXX	B5サイズ2ページ分のデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX B5→A4 XXX	B5サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	印刷方向に関する表示	XXX XXX ポート	印刷方向にポートレートを選択しています。
		XXX XXX ランド	印刷方向にランドスケープを選択しています。

*[5]　オプションの増設ホッパーを取りつけている場合のみ表示されます。
*[6]　オプションの手差しトレイユニットを取り付けている場合は表示されません。
*[7]　オプションの手差しトレイユニットを取り付けている場合のみ表示されます。
*[8]　プロッター縮小機能が無効の場合

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	用紙の種類に関する表示	フツウシ　XXX　XXX	普通紙を選択しています。
		アツガミ1　XXX　XXX	厚紙1を選択しています。
		アツガミ2　XXX　XXX	厚紙2を選択しています。
		OHP　XXX　XXX	OHPシートを選択しています。
	動作モードに関する表示	XXX　XXX　NPDL	動作モードにNPDLモードを選択しています。
		XXX　XXX　ESC/P	動作モードにESC/Pモードを選択しています。
		XXX　XXX　プロッタ	動作モードにプロッターモードを選択しています。
ステータス表示		コピー　XXX　マイ	コピー枚数がXXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大20枚まで設定できます。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向（例：“ホッパA4ポート”）の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚（オリジナルのみ）の場合には表示されません。
		イニシャライズチュウ	電源投入時のイニシャライズを実行中です。
		ウォームアップチュウ	ウォームアップ中です。
		ジュシンチュウ	データを受信中です。
		セツデンチュウ	節電中です。
		ショリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、用紙が排出可能となるまで表示されます。
		インサツチュウ	印刷中です。用紙が排出されるまで、表示されます。
		テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。
		データガノコッテイマス	未印刷データがプリンター内に残っています。
		16シンダンプチュウ	16進ダンプ印刷を実行中です。
		リセットジッコウ	リセット中です。
		キャンセルチュウ	ジョブをキャンセル中です。
アラーム表示		ホッパX　XX　ホキュウ MP　XX　ホキュウ テサシ　XX　セット	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がありません。増設ホッパーを取り付けている場合には、「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパー番号が表示されます。
		ヨウシサイズヲヘンコウシマス	定形外用紙のサイズが異なっています。
		XXX　カクニン	セットされている用紙種類が異なります。Xの箇所に指定された用紙種類が表示されます。
		ヨウシカセット　ナシ XXX	用紙カセットがセットされていません。Xの箇所にセットされていないカセットが表示されます。
		72　カバーオープン ホンタイ	トップカバーまたはリアカバーが開いています。
		72　カバーオープン リョウメン	両面印刷カバーが開いています。
		72　カバーオープン オフセットトレー	オフセットトレイのリアカバーが開いています。
		73　EPカートリッジナシ	EPカートリッジが取り付けられていません。
		74　カミヅマリ キュウシ　ホンタイ　ハイシ リョウメン　オフセットトレー	給紙部、プリンター本体、排紙部、両面印刷ユニット、オフセットトレイで紙づまりが発生しています。ディスプレイ下段には紙づまりが発生している箇所のみ表示されます。
		75　ヨウシサイズエラー	指定されているサイズと異なる用紙がセットされています。
		76　トナーナシ EPコウカン	EPカートリッジの交換時期です。
		77　テイキホシュ テイチャクキ	定期保守（定着ユニットなどの交換）の必要な時期です。
		77　テイキホシュ テンシャロール	
		77　テイキホシュ ハンソウロール	
		79　ハイシレバーキリカエ スタッカ	フェイスアップトレイ排紙レバーがフェイスアップトレイ側になっています。
		79　ハイシレバーキリカエ フェイスアップトレー	フェイスアップトレイ排紙レバーがスタッカー側になっています。
		79　ハイシレバーキリカエ オフセットトレー	フェイスアップトレイ排紙レバーがフェイスアップトレイ側になっています。
		81　スタックフル スタッカ	スタッカーに規定以上の用紙枚数が排出されています。
		81　スタックフル オフセットトレー	オフセットトレイに規定以上の用紙枚数が排出されています。

表示の種類	表　示	表示の意味
アラーム表示	81　スタックフル スタッカ　オフセットトレー	スタッカーおよびオフセットトレイに規定以上の用紙枚数が排出されています。
	82　メモリオーバー メモリヲゾウセツシテクダサイ	データを印刷するためのメモリーが不足しています。
	83 インサツフカ メモリヲゾウセツシテクダサイ	プリンターのメモリーオーバーのため解像度を落として印刷しようとしましたがそれでもメモリーが不足したため印刷できませんでした。
	84　フォーム　オーバー XXX	フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。
	85　セツゾクエラー インタフェース2	インターフェーススロットへの不正な接続をしています。
	85　セツゾクエラー カミオクリユニット	オプションの手差しトレイユニットを取り付けている場合、手差し下部の紙送りユニットが正しく取り付けられていません。
	88　EPタイプチガイ EPコウカン	EPカートリッジのタイプが違います。
	89　EPジュミョウ EPコウカン	EPカートリッジの寿命です。
	その他の表示	障害が発生しています。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニュー表示については「7章 メニューモード」（331ページ）をご覧ください。	

テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズの用紙に印刷したものを33%に縮小しました。

テスト印刷

テスト印刷では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系明朝体の7ポイントの第一水準漢字のすべて、第二水準漢字の一部分と2バイト系明朝体の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、第二水準漢字の一部分を順次印刷します。

←1バイト系　標準　パイカ文字

←1バイト系　標準　エリート文字

←1バイト系　標準　コンデンス文字

←1バイト系　標準　プロポーショナル文字

←1バイト系　イタリック　パイカ文字

←1バイト系　イタリック　エリート文字

←1バイト系　イタリック　コンデンス文字

←1バイト系　イタリック　プロポーショナル文字

←1バイト系　クーリエ　パイカ文字

←1バイト系　クーリエ　エリート文字

←1バイト系　クーリエ　コンデンス文字

←1バイト系　クーリエ　プロポーショナル文字

←1バイト系　ゴシック　パイカ文字

←1バイト系　ゴシック　エリート文字

←1バイト系　ゴシック　コンデンス文字

←1バイト系　ゴシック　プロポーショナル文字

←2バイト系　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字（7ポイント）

ステータス印刷

ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、本プリンターの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次にステータス印刷の結果例を示します。設定値が工場出荷時の設定以外はアンダーラインが引かれます。（このステータス印刷はNPDL使用時のものですが、一部の設定はESC/Pエミュレーション、プロッターエミュレーションでも有効です。）

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊

MultiWriter3300N
00000000

H/W情報

項目	設定	値
Version	コントローラ	00．00
LANボード	なし	
メモリ容量	24MB	
給紙構成	ホッパ1	Ａ４　横
	MP	Ａ４　横

メニュー情報

メニュー	項目	値
印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	トナー節約	OFF
	印字濃度	普通
用紙メニュー	ホッパ初期設定	ホッパ1
	用紙種別	
	ホッパ1	普通紙
	MP	普通紙
	用紙サイズ設定	
	ホッパ1	自動
	MP	自動
	停止確認	する
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	OFF
	MP	OFF
	ジョブセパレート機能	無効
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	MP微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
運用メニュー	節電機能	有効
	節電時間設定	10分
	自動排出	無効
	メモリ設定	標準
	総印字枚数	1枚
	解像度設定	600DPI
	プロッタ縮小機能	無効
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	0
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本

メニュー	項目	値
動作メニュー	動作エミュレーション	
	インタフェース1	NPDL
	インタフェース2	NPDL
	USB	NPDL
	動作自動切り替え	
	インタフェース1	OFF
	インタフェース2	OFF
	USB	OFF
NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
プロッタ設定	ペン幅設定	
	ペン1	0.1mm
	ペン2	0.1mm
	ペン3	0.1mm
	ペン4	0.1mm
	ペン5	0.1mm
	ペン6	0.1mm
	ペン7	0.1mm
	ペン8	0.1mm
	原点位置設定	左下
	任意スケール	100%
	回転角度設定	0°
	線端形状	なし
	接続形状	マイタ
	マイタリミット	なし
	SPコマンド排出	OFF
	ミラー設定	OFF
	オーバレイ設定	OFF
	NRコマンド動作	オンライン
	カルーゼル番号	1
	拡張モード	無効
I/F設定	インタフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インタフェース2	
	IPアドレス	11.22.33.44
	サブネットマスク	255.0.0.0
	ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0
	DHCP	OFF
	イーサネット設定	自動
	アクセス制限	OFF
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000000
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

ステータス印刷例

増設メモリー対応表

MultiWriter 3300Nの増設メモリー対応表を次に示します。

プリンターの設定																		
メモリー容量			24MB（標準）		+64MB				+128MB				+256MB			
メモリー割当設定			標準		標準		電子ソート優先		標準		電子ソート優先		標準		電子ソート優先	
プリンタードライバーの設定	用紙サイズ	用紙解像度	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi
	A3片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎
	A3両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	ー	○	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎
	B4片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎
	B4両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	ー	○	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎
	A4横片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎
	A4横両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎	ー	◎

◎：印刷保証
○：印刷可能（印刷データによっては、メモリーの増設を必要とする場合があります）
ー：解像度400dpiで印刷されます。

メモリー割当て設定について

プリンターの操作パネルで切り替えます。
メニューモードの「運用メニュー」の「メモリー設定」で行います。詳しくは「7章 メニューモード」(331ページ)をご覧ください。

メモリー増設量	メモリー割当設定	
64MB〜増設時	ヒョウジュン	<デンシソートユウセン>

<文字>は、メモリーを増設したときの初期設定です。

プリンターの電源投入時の解像度について

プリンターの操作パネルで切り替えます。工場出荷時は、600dpiに設定されています。

電源投入時の解像度	設定の変更方法（以下のいずれかの方法で行います。）
400dpi	• メモリスイッチの設定：MSW4-1＝ONに設定 • メニューモードの“ウンヨウメニュー”→“カイゾウドセッテイ”を400dpiに設定
<600dpi> （工場出荷時の設定）	• メモリスイッチの設定：MSW4-1＝OFFに設定 • メニューモードの“ウンヨウメニュー”→“カイゾウドセッテイ”を600dpiに設定

電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表

電子ソート機能有効時の増設したメモリーによる印刷保証枚数は以下のとおりです。

プリンターとコンピューターの双方向通信が無効な場合、以下の表に示す印刷ページ数が1部を超えた複数部数印刷はできません。

用紙サイズ	解像度（dpi）	増設メモリー容量		
		+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	400	13枚	31枚	67枚
	600	3枚	11枚	28枚
B4片面	400	18枚	42枚	90枚
	600	5枚	15枚	37枚
A4片面*	400	27枚	63枚	135枚
		13枚	31枚	67枚
	600	7枚	23枚	56枚
		3枚	11枚	28枚

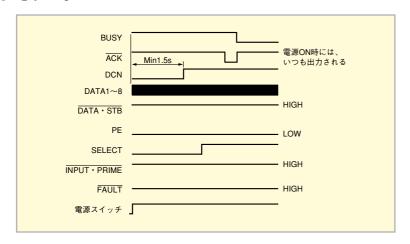
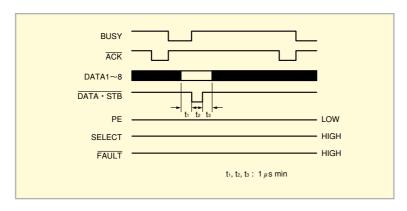
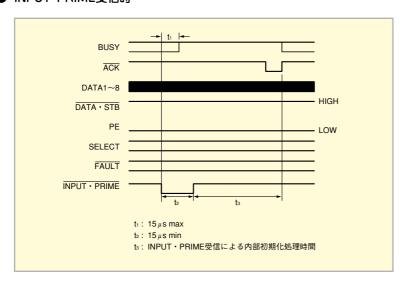
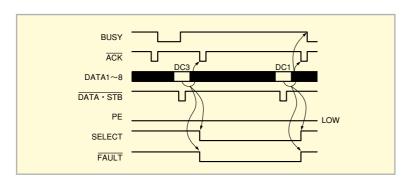
* それぞれの解像度の上段はプリンタードライバーなどでジョブセパレート＝OFFとして印刷した場合です。
下段はプリンタードライバー上でジョブセパレート＝ON（プリンタードライバーの初期設定）として印刷した場合です。

インターフェース

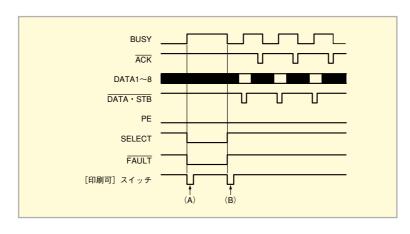
インターフェース信号の機能

ピン番号	信号名	略称	信号の方向	機能
1	データストローブ	DATA·STB	PR←PC	DATA 1〜8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1〜8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。 DATA1〜8 / DATA・STB / BUSY / 1μs min 1μs min 1μs min
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	PR←PC	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。上図に示すDATA·STBの前後1μsの範囲でDATA 1〜8は確定していること。
10	アクノリッジ	ACK	PR→PC	受信したデータをプリンター内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA·STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	PR→PC	プリンターがデータ受信不可能（BUSY中）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 • SELECT信号がLOWのとき。 • FAULT信号がLOWのとき。 • INPUT·PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過したのちHIGHとなり、内部初期化処理が終了するまでの間。 • データを受信してから、プリンター内へ取り込み完了するまでの間。 • 操作パネルによるリセットを行ってから、内部初期化処理が終了するまでの間。 [補足] 本プリンターは印刷処理用の1ページ分バッファーのほかに、受信用のバッファーを持ち、データを受信するとまず受信用のバッファーに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンターの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファーが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。
12	ペーパーエンド	PE	PR→PC	用紙がなくなったときHIGHになる。 • 設定されたサイズの用紙がホッパーに存在せず、縮小もできない場合 • データが存在して用紙がない場合
13	セレクト	SELECT	PR→PC	プリンターがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。 [セレクトになる条件] • 電源ONしたとき • ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 • メモリースイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。 [ディセレクトになる条件] • セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 • メモリースイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。 • PE=1のとき。 • FAULT=0のとき。
14〜15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	PR→PC	プリンターの電源がONになっていることを表す。操作パネルのリセットスイッチでリセットを実行した場合、最小で1.5秒間LOWとなる。
19〜30	GND	—	—	(信号グランドに接続されている。)
31	インプットプライム	INPUT·PRIME	PR←PC	この信号がLOWになるとプリンターは初期状態になる。パルス幅は15μs以上必要。SELECT 信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT·PRIMEは有効。INPUT·PRIMEによる初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。
32	フォルト	FAULT	PR→PC	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。(本信号をLOWにするときは、必ずBUSYを先または同時にHIGHにすること) • SELECT＝0のとき。 • プリンターがエラーのとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34〜36	—	—	—	将来の拡張用

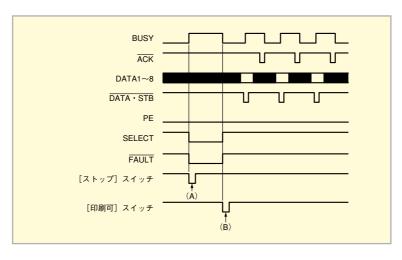
タイムチャート

● 電源ON時

● データ受信時

● INPUT･PRIME受信時

● DC1、DC3によるセレクト、ディセレクトの切り替え

◇ DC1、DC3の処理は受信用バッファーから読み出された後に実行される。

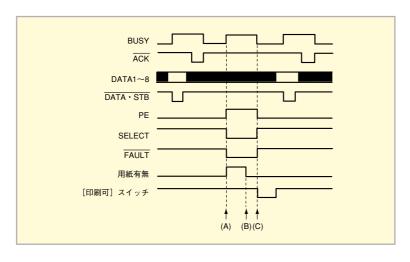
◇ DC3処理後はBUSY、ディセレクトのため、実際には通常の送信方法ではDC1はプリンターに対して送信できない。

● 操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え

（A）セレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

（B）ディセレクト状態で［印刷可］スイッチを押すとセレクト状態になる。

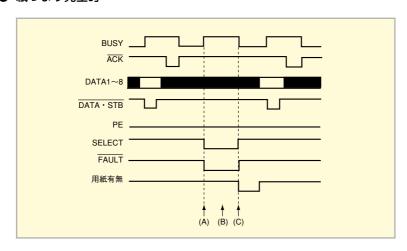
● ［ストップ］スイッチによる一時停止

（A）セレクト状態で［ストップ］スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

（B）ディセレクト状態で［印刷可］スイッチを押すとセレクト状態になる。

● 用紙なし発生時

（A）印刷データ受信後、用紙なしを検出するとただちにディセレクト状態になる。

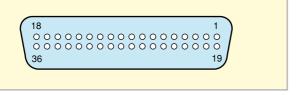
（B）用紙をセットする。

（C）用紙をセットすることによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

● 紙づまり発生時

（A）用紙ジャム発生状態

（B）用紙を取り除く。用紙が取り除かれるまで状態は続く。

（C）［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を再開する。

コネクターピン配置

各ピンの信号については「インターフェース信号の機能」（510ページ）をご覧ください。

16ピン、19〜30ピン、33ピンのピンの端子はプリンター内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA1～8 ［インタフェース1］	+5V / 1kK / 510K / 470pF / LS244相当品
$\overline{\text{DATA・STB}}$ $\overline{\text{INPUT・PRIME}}$	+5V / 1kK / 510K / 470pF / LS14相当品

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ BUSY PE SELECT $\overline{\text{DCN}}$	LS240相当品 / 220pF

用語解説

英数字

[?]ボタン

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

10BASE-T/100BASE-TX

ネットワークの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターではこれらの規格のケーブルを使ってネットワークに接続することができる。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。(→ステータス印刷)

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウエアまたはプロトコル。

CR

Carriage Return(キャリッジリターン)の略。改行を表す文字コード。もともとはタイプライターのキャリッジを左端に戻すという意味。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。ネットワーククライアントにIPアドレスなどのパラメーターを配布するプロトコル。DHCPサーバーにおいてIPアドレスなどを一括管理し、クライアントは起動時にDHCPサーバーにIPアドレスの貸し出しを要求する。IPアドレスの一括管理によりアドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

DPI(dpi)

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。(→解像度)

EPカートリッジ

OPCドラム、現像ユニットなどが一体化された部品。ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させるはたらきをする(→OPC)。消耗品のため「76 トナーナシ EPコウカン」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数はカートリッジの種類、印刷するデータによって異なる(詳細は「8章 日常の保守」(379ページ)参照)。

ECP

Extended Capabilities Portの略。コンピューターとプリンターをつなぐパラレルインターフェースであるIEEE1284が使用する、データ転送モードのひとつ。米マイクロソフト社と米ヒューレット・パッカード社が中心となって提案した。データ転送速度は従来のセントロニクスの最大150KB/秒に比べ、2MB/秒と高速である。また、双方向通信機能やデータ圧縮機能を備える。使用するにはコンピューターとプリンターなど周辺機器の両方が対応している必要がある。

ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令(コマンド)の集まり。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPP

Internet Printing Protocolの略。Windows 2000で標準にサポートされたインターネット印刷プロトコル。イントラネットやインターネットを通じてURLの指定を受けたプリンターに印刷することができる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。

LPR
Line Printer Remoteの略。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、UNIXに標準でサポートされている。ネットワーク上でコンピューターからプリンターへ印刷することができる。

LPRバイトカウント
LPRプロトコルで、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能。

Macintosh
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターの総称。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。

Mac OS
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem（日本語では漢字Talk）であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB
Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MOPYING
Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MP
Multi Purposeの略。いろいろなサイズの用紙をセットできる給紙機構のこと。

MS-DOS
Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

NetBEUI
ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare
ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

NMPS
NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンターの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるようにするためのシステム。

NPDL
NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム
OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。本プリンターで印刷するときは、MPまたは手差しを用いる。

OPC
Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

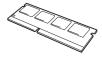
ping
packet internet groperの略。インターネットなどのTCP/IPネットワークで相手のコンピューターに小さなパケットデータを送り、その戻り時間により相手先コンピューターや通信回線の状況をチェックするのに利用するコマンド（→TCP/IP）

PrintAgent
双方向通信により、コンピューターの画面上で印刷状況の確認、プリンターの設定をすることを実現したソフトウエア。MultiWriterシリーズに搭載。

RGBガンマ
Red Green Blueガンマ
使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SET
Sharp Edge Technologyの略。MultiWriterシリーズに採用されている高精細印字機能。

SNMP
Simple Network Management Protocolの略。ネットワーク管理プロトコルの一種。事実上TCP/IPを使ったネットワーク管理の標準。コンピューター間ではMIBで定義された管理情報がやり取りされる。（→MIB）

SO-DIMM
SO=Small Outlineの略。Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどに使われるメモリーの一種。

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType
米国アップルコンピュータ社と米国マイクロソフト社が開発したソフトウエアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX
AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB
Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。

WAN
Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows 2000
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOS。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWinodws 98 Second Editionもある。

Windows Me
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 98の後継にあたる。主にマルチメディア、ネットワークなどの機能強化が図られた。

Windows NT
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

Windows Server 2003
マイクロソフト社が開発したサーバー用OS。Windows 2000 Serverの後継にあたる。

Windows XP
マイクロソフト社が開発したOS。ビジネスユーザー向けとされるWindows 2000の安定性を受け継ぐ。ただし製品としては、Windows 2000の他、家庭向けのWindows Me、Windows 98後継にも位置づけられ、インターネット接続性の機能強化が図れた。

WWW
World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン
アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

アウトラインフォント
文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アクセスポイント
ネットワークに外部から接続（アクセス）するための受け口。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、アクセスポイント経由の接続に対応する。

アドホック（ad hoc）
無線LAN機器が備える動作設定のひとつ。無線親機（アクセスポイント）なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

アドミニストレーター（Administrators）
管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。（→システム管理者）

アプリケーション
文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール
インストールしたソフトウエアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イーサネット（Ethernet）
LANの伝送路に関する規格。米ゼロックス社と米ディジタルイクイップメント（DEC）社と米インテル社が協同で開発、規格した。3 社の頭文字をとって DIX 規格と呼ぶこともある。IEEE802.3標準の伝送速度10Mbpsの規格とほぼ同義。コンピューター同士をどのようなケーブルで結び、どのような信号で、どうやり取りするかなどを決めている。同軸ケーブル上で電波を使って通信する仕組みで、複数の端末が通信するために、CSMA/CDという信号制御方式を採用している。現在では同軸ケーブルではなくツイストペアケーブルを使うことが多い。

イニシャライズ
初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンターをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ
アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長（ランドスケープ）と縦長（ポートレート）がある。

印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウエアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能

他のプリンターのために開発されたソフトウエアの制御コードを本プリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ（25.4mm）当たりのドット数で表す。

拡張子

MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC （1BH）、FS （1CH）、のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。（↔基本制御コード）

紙づまり

用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

かんたん設定

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート右上のリストビュー。リストビューのアイコンをクリックすると、プリンターで登録済みの設定や、ユーザーが用途に合わせて登録した設定が読み込まれる。

輝度

モニターなどの画面の明るさ。

機能選択バー

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート左側にある縦向きのバー。ボタンをクリックすると[複数ページレイアウト]、[リプリント]などの機能の設定項目が[メイン]シート右下に表示される。

基本制御コード

制御コードのうち、CR （0DH）、LF（0AH）のように単独で機能を表すコード。（↔拡張制御コード）

クライアント

ネットワークを介して他のコンピューター（またはサーバー）にアクセスしている利用者、または利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー（システム）

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター（サーバー）が共有の資源（ハードディスクやプリンター）を管理し、接続を許されたコンピューター（クライアント）が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。（→ピア・ツー・ピア）

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。

グレースケールイメージ

白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。（→ハーフトーン）

現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。ドラムカートリッジに内蔵されている。

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル
Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能
データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

システム管理者
コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウエアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙
カット紙（単票用紙）を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出
コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター
文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

ジョブ結合
PrintAgent リプリント2で実現する機能。これを利用すると一度印刷してスプールしてあるドキュメントを組み合わせて、一つにまとめて印刷することができる。再印刷のために複数のアプリケーションを起動する手間を省くことができる。

[スタート]ボタン
Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

ステータス印刷
テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール
ドキュメント（文書）を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード
プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR（改行コード）やFF（改ページ）など。

セントロニクス・インターフェース
旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピューター間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われ続けている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクターで使用できる。

双方向通信
コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には、セントロニクスインターフェースか双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターである、またはUSBやネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウエア
コンピューターやプリンターなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。（⇔ハードウエア）

ダイアログボックス
設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー
ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、［コントロールメニュー］ボックスや［最大表示］、［アイコン化］、［最小化］ボタンなどもついている。

タブ
Windowsでは、ダイアログボックスの中に複数の設定画面（シート）がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみのこと。

ダブルクリック
マウスのポインター（矢印）を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス
ダイアログボックスの中の小さな正方形で、ON／OFFの切り替えができるオプション（機能）を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。

通常使うプリンタ
アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量
用紙の重さを表す単位。用紙1枚 1m^{2}単位の重さをいう。(ユーザーズマニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/m^2)。

ツールバー
ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

定着ユニット
用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

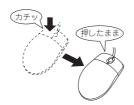
テスト印刷
プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート
複数部数を印刷する場合にコンピューターから一部目だけ印刷データを送り、二部目以降はプリンターのメモリー上で印刷データ処理を行う機能。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることで実現する。

動作環境
ソフトウエアや周辺機器が正しく動作するために必要な環境条件。

ドライバー
周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。
(→プリンタードライバー)

ドライブ名
ハードディスク内やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ
マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク
複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

バーコード
白と黒の縞模様を線の太さと間隔を変えながら書き並べてデータを表し、印刷されたコード。国名、商品名、価格など、主として流通や商品管理で必要な管理情報、POS用のコードを表すのに使われる。本製品は、カスタマバーコード、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128に対応する。

ハードウエア
コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。(↔ソフトウエア)

ハーフトーン
画像を表示・出力する際に、一定間隔の点（網点）に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

バッファーフル
ページバッファーに1ページ分の印刷データがたまることをバッファーフルという。バッファーフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハブ
LANでコンピューターなどの端末を放射線状に配線する際、中心に配置する集線装置。一般には10BASE-Tや100BASE-TXのLANケーブルを接続する集線装置を指す。RJ-45のジャックを4～32口程度持つ箱で、各コンピューターのLANボードとツイストペアケーブルで接続して使う。動作によってリピーターハブとスイッチングハブ（スイッチ）に大別できる。

パラレルインターフェース
同時に複数の信号を並列に送るデータ転送方式、あるいは物理的な接続コネクターのこと。MultiWriterとコンピューター間ではセントロニクス仕様に準拠した方式(IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース）が用いられる。

ピア・ツー・ピア
小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず､コンピューター同士､コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード／LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(↔クライアント・サーバー)

ピア・ツー・ピアグループ
無線LAN機器が備える設定の一つ。無線親機（アクセスポイント）なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

ヒートローラー
定着ユニットにあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル
Pixel（Picture elementからの合成語）。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ
画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷
見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント
同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー
電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー

インターネット上のWebページを閲覧（ブラウズ）するためのソフトウエア。WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigatorがある。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバー

コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファー

一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファーと呼ぶ。

プリンタープール

複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プロトコル

コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

ファイルやソフトウエアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字

印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語

１ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター

ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開（作成）して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント（マウスの）

マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント（文字の）

印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。（↔ランドスケープ）

ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

マウスポインター

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。

丸め誤差

四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

無線LAN

ケーブルの代わりに電波などを利用してネットワーク（LAN）を構成するシステム。IEEE802委員会がIEEE802.11標準として勧告しているシステムが代表例。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、IEEE802.11bに準拠している。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メニューモード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ（MSW）

不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON／OFFを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでONだったものが連動してOFFになる。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。（⟷ポートレート）

リストボックス

ユーザーに対して項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リプリント

一度印刷した印刷データのスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、いちいちアプリケーションを再起動する必要がない。標準シートとジョブ結合シートがある。

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、PrintAgent リプリント2のウィンドウを使って実現し、その際に、丁合い、ジョブセパレート、両面印刷の設定も可能。

PrintAgent リプリント2のウィンドウ

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

A

B

C

D

E

F

G

H

I

L

M

N

O

P

S

T

U

V

W

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

ツ

テ

ト

ナ

ニ

ヌ

ネ

ノ

ハ

ヒ

フ

へ

ホ

マ

ミ

ム

メ

モ

ユ

ヨ

ラ

リ

レ

ロ

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2適合品です。

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両波性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、ネットワークオプション*の無線LANボード(型番：PR-WLX-13)およびマルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

なお、この装置にネットワークオプション*のLANアダプタ（TCP/IP）（型番：PR-NP-02T2／PR-NP-03TR2）を接続して使用した場合、接続したオプションを含むプリンター全体としては情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置になります。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

* オプションについては、「1章　オプション」（15ページ）を参照してください。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

レーザー製品の安全基準について

この装置は、JIS C 6802規格に基づくクラス1レーザー製品です。本書に記載されている以外の操作や調整および分解は行わないでください。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

MultiWriter 3300N

NEC